

ナイジェリア国
国立女性開発センター

ナイジェリア国
女性の生活向上のための
女性センター活性化支援プロジェクト
フェーズ2
業務完了報告書

平成 27 年 3 月
(2015 年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)
オーピーシー株式会社

基盤
JR
15-067

ナイジェリア国
女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクトフェーズ2

プロジェクト業務完了報告書

目次

案件位置図

略語表

第1章	プロジェクトの概要	1
1-1.	プロジェクトの背景・経緯	1
1-2.	プロジェクトの目的	2
1-3.	プロジェクトの実施対象地域	3
第2章	活動の内容	4
2-1.	成果1にかかると活動	4
2-2.	成果2にかかると活動	16
2-3.	成果3にかかると活動	23
2-4.	その他の活動	30
第3章	プロジェクト運営実施上の課題・工夫・教訓	37
第4章	プロジェクト目標の達成度	40
4-1.	成果1の達成度	40
4-2.	成果2の達成度	42
4-3.	成果3の達成度	44
4-4.	プロジェクト目標の達成度	45
第5章	プロジェクト活動の成果と残された課題	46
第6章	上位目標の達成に向けての提言	50

添付資料

別添1： PDM

別添2： 業務フローチャート

別添3： 詳細活動計画

別添4： 専門家派遣実績（要員計画）

別添5： 合同調整委員会議事録等（2013年12月、2014年12月）

別添6： プロジェクト・メンバーリスト

別添7： その他活動実績

- ① プロジェクト前半活動のレビュー
- ② データベース調査質問票
- ③ WDC Activation Map
- ④ ラジオ放送による啓発活動報告書
- ⑤ List of Opportunity for Capacity Development
- ⑥ 活動実施計画策定書（例：ナイジェリア州）
- ⑦ モニタリング質問票
- ⑧ 第1回モニタリング結果（和文）
- ⑨ 第2回モニタリング結果（和文）

- ⑩ グッドプラクティス
- ⑪ フェーズ1対象のカノ州 6WDC へのフォローアップ調査
- ⑫ ナイジャ州ステークホルダー定例会議報告書
- ⑬ 会議・WS リスト
- ⑭ 供与・携行機材引渡確認同意書

図表目次

表 1-1：対象州における対象行政区	3
表 2-1：Roles and Responsibilities	5
表 2-2：人材育成研修計画.....	7
表 2-3：NCWD を対象とした研修実績.....	8
表 2-4：SMWA、SMLG、WDO を対象とした研修実績.....	8
表 2-5：WDC を対象とした研修実績	8
表 2-6：プロジェクト前半で作成された研修用教材	10
表 2-7：プロジェクト後半で策定された研修教材	10
表 2-8：モニタリング・評価にかかる研修プログラム	11
表 2-9：データ分析研修プログラム	11
表 2-10：「女性のエンパワーメントとコミュニティ開発」研修プログラム.....	12
表 2-11：データベースの項目	13
表 2-12：データベースの情報収集にかかる調査方法.....	13
表 2-13：WDC の分類.....	13
表 2-14：データベースの情報収集結果.....	14
表 2-15：各号ニュースレターの概要	15
表 2-16：ラジオ番組の構成.....	15
表 2-17：ベースライン調査実施状況	16
表 2-18：対象 6 州における活動実施計画書策定ワークショップ実施状況.....	17
表 2-19：活動実施計画書フォーマット.....	18
表 2-20：2013/2014 年活動実施計画書策定ワークショップ（5 日間）	18
表 2-21：活動実施計画書ワークショップ対象者（各州）	18
表 2-22：活動実施計画書策定ワークショップの内容.....	19
表 2-23：第 2 回モニタリング調査による各 WDC マネジメントの状況.....	21
表 2-24：州コア会合の概要.....	22
表 2-25：モニタリング質問票最終版の概要	23
表 2-26：第 1 回モニタリング調査日程（概要）	24
表 2-27：第 1 回モニタリング調査結果概要.....	24
表 2-28：第 2 回モニタリング調査結果概要.....	26
表 2-29：NCWD から州・LGA への提言	27
表 2-30：グッドプラクティス例.....	28
表 2-31：カノ州におけるフェーズ 1 対象 WDC へのフォローアップ調査項目 （WDO/HOC）	29
表 2-32：マニュアル章立て（ドラフト）	29
表 2-33：JCC 概要	30
表 2-34：本邦研修参加者リスト.....	32
表 2-35：メディア取材対応一覧.....	35
表 3-1：課題と工夫・解決策	37
表 4-1：開発された研修教材	40
表 4-2：開発された啓発資料.....	41
表 4-3：NCWD が州関係対象に実施した研修	42
表 4-4：WDC への登録数の変化	43

図 2-1 : 3 層の行政機関の役割とプロジェクトにおける能力強化体制	4
図 2-2 : NCWD 組織図	6
図 2-3 : NCWD プロジェクト・メンバーのリソース・パーソンとしての自信.....	9
図 2-4 : 活動実施計画書策定手順.....	18
図 4-1 : 活性化モデル 4 側面.....	45

案件位置図



出典：国際連合による地図を参照し、プロジェクトが作成。

首都：アブジャ

対象州：アナンブラ州、クロスリバー州、カドゥナ州、カノ州、クワラ州、ナイジャ州

略語表

略語	正式名称	日本語名称
CEDAW	Convention on Elimination of All Forms of Discrimination against Women	女性差別撤廃条約
C/P	Counterpart Personnel	カウンターパート
DG	Director General	センター長
FCT	Federal Capital Territory	連邦首都区
FMWA (SD)	Federal Ministry of Women Affairs and Social Development	連邦女性社会開発省
GO	Government Organization	政府機関
HOC	Head of Women Development Centre	女性センター校長
HOD	Head of Department, LGA	局長(本報告書では主に地方行政区(LGA)のコミュニティ開発局長を指す)
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
LGA	Local Government Area	地方行政区
NCWA	National Council for Women Affairs	全国女性評議会
NCWD	National Centre for Women Development	国立女性開発センター
NGO	Non-Governmental Organization	非政府組織
NDE	National Directorate of Employment	人事院
OJT	On the Job Training	職場研修/現場研修
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operation	工程表
PRS	Planning Research and Statistics	計画調査統計局
R/D	Record of Discussions	討議議事録
SMEDAN	Small Medium Enterprises Development Agency of Nigeria	中小企業開発庁
SMLG	State Ministry of Local Government	州地方行政省
SMWA	State Ministry of Women Affairs	州女性省
TOR	Terms of Reference	委託事項/権限
TOT	Training of Trainers	指導員育成訓練
UNDP	United Nations Development Program	国連開発計画
WDC	Women Development Centre	女性センター
WDO	Women Development Officer	女性開発オフィサー

第1章 プロジェクトの概要

1-1. プロジェクトの背景・経緯

ナイジェリアは西アフリカに位置し、人口約1億5800万¹、250以上の民族で構成され²、主要3民族を合わせても55%に過ぎない多民族国家である。宗教はイスラム教44.5%、キリスト教42%に大別される。1960年に英国より独立し、数度のクーデターや軍事独裁政権を経て1999年に民主政権が成立した。サブサハラアフリカで2番目³の経済力を持ち、アフリカ最大の原油輸出国である。しかしながら貧困国の1つでもあり、2013年の人間開発報告書では人間開発指数の順位が187カ国中153位（UNDP、2013）で、低開発国に位置付けられている。

ナイジェリアは1975年の第1回世界女性会議に参加し、翌年、連邦社会開発・青年・スポーツ省に女性開発部を設置した。1982年には「開発と女性」に関する全国委員会を設立し、1985年にはConvention on Elimination of All Forms of Discrimination against Women（CEDAW：女性差別撤廃条約）を批准している。1987年にババンギダ大統領夫人が開始した「ベターライフプログラム（Better Life Program: BLP）」は村落部の女性の生活向上を目的とし、農業、保健衛生、識字教育、手工芸品製作、協同組合設立など多様な活動が全国で実施された。収入向上スキルと識字教育の場として女性センター（Women Development Centre: WDC）が全国に設立され、連邦レベルは大統領夫人、州レベルは州知事夫人、地方行政区レベルは区長夫人がそれぞれ BLP 委員長となり村落部の女性達を動員した。1992年には BLP の本部として国立女性開発センター（National Centre for Women Development: NCWD）が首都に開設された。また、1994年にはアバチャ大統領夫人が「ファミリー・サポート・プログラム（Family Support Program: FSP）」を開始し、家族の福祉向上を目標に BLP と同様にトップダウンで推進し、以後1998年まで続けられた。BLP と FSP は1987年から1998年まで約10年間にわたり草の根レベルの女性を対象に教育や収入向上の機会を作り、人々の意識を変え、その後の女性関連の活動に携わる人材を育てた。

1999年に軍事政権から民主政権へ移行し、WDCに関わる国家プログラムは消滅し、WDCは地方行政区（Local Government Area: LGA）の所管となる。国家プログラムでは潤沢な予算がWDCに充てられていたが、地方行政区の予算ではWDCに十分に配分できず、多くのWDCは次第に荒廃した。NCWDは1995年に大統領府下の機関となり、1999年には連邦女性社会開発省の附属機関となって、本日に至るまでナイジェリアのジェンダー課題に関わる調査・研修を実施している。

2001年から2005年にかけて実施された全国WDCの現況調査によれば、多くのWDCの施設は老朽化し、機材や材料が不足、WDCに学びに来る女性も減った。更に2004年にNCWDは北

¹ 本文は、プロジェクト開始された時点における人口数。2014年に経済規模、貧困データについての計算方法の見直しが行われ、国際連合人口基金（United Nations Population Fund :UNFPA）作成の「The State of World Population 2014」によると、1億7850万人であると発表されている。UNFPA ホームページ、出版物（<http://www.unfpa.org/publications>）

² 外務省ホームページ

³ 2014年4月に南アフリカを抜いてアフリカ最大の経済国となった。日本貿易振興機構（JETRO）ホームページ、基礎データ・経済動向（http://www.jetro.go.jp/world/africa/ng/basic_03/）

部のカノ州 10 ヲ所の WDC の現況調査を実施し、老朽化や不十分な予算といった問題以外にも、「コミュニティの人々が WDC を有益な場と認識していない」、「夫が WDC へ毎日通学することを良く思わない」等、コミュニティから受容されていない WDC の存在が明らかになった。NCWD は調査結果を 2004 年の全国女性評議会（National Council of Women Affairs : NCWA）で報告し、WDC の活用の必要性が認識され始め、2006 年の NCWA では「WDC の活性化に向けたガイドライン作成」が決議され、ガイドライン作成は NCWD のマンデートとされた。独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）は、WDC 活性化ガイドライン作成がマンデートとなった NCWD を支援することを決め、2007 年 1 月より 3 年間、「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト（フェーズ 1）」を実施した。

フェーズ 1 は、カノ州の 6 つの WDC において WDC 活性化のためのパイロット活動を実施し、このパイロット活動から抽出されたグッドプラクティスを基に、WDC 活性化とマネジメントのための効果的な「WDC 活性化ガイドライン」が策定された。なお、WDC 活性化の要素を、1) WDC のサービスの質の向上、2) コミュニティからの WDC への肯定的認識の向上、3) WDC のマネジメントの向上、の 3 点とした。

2011 年 2 月から 4 年間の予定で対象州を 6 州（アナンブラ州、クロスリバー州、カドゥナ州、カノ州、クワラ州、ナイジャ州）に拡大したフェーズ 2 を実施している。フェーズ 2 では、各対象州から 3 ヲ所の WDC をパイロットとして選定し、WDC 活性化ガイドラインの有効性を検証する活動を行っている。なお、フェーズ 2 では WDC 活性化の要素としてフェーズ 1 の 3 点に「関係機関との連携強化」を加え、これら 4 要素を目指す活動パッケージを「WDC 活性化モデル」としている。本プロジェクトは、「WDC 活性化モデル」を全国に普及していく NCWD の取り組みを支援するもので、その具体的なアプローチとして、6 州においてパイロット事業を実施し、そのプロセスやインパクトから得られる新たな知見・教訓を現行のガイドラインに反映させるとともに、WDC 活性化マニュアルを作成するものである。

1-2. プロジェクトの目的

「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト（フェーズ 2）」は、JICA が 2010 年 10 月 12 日に NCWD と締結した当該プロジェクトに係る討議議事録（Record of Discussions : R/D）に基づき、以下のような成果・目標を定め、2011 年 2 月に開始された。

【プロジェクト目標】

対象州における WDC 活性化を通じて連邦レベルで WDC 活性化モデルが拡大化する。

【成果】

- 成果 1 WDC 活性化のために必要な連邦政府と州と LGA のネットワークが対象州において確立する。
- 成果 2 カノ州において WDC 活性化モデルが十分に確立し、拡大する。
- 成果 3 対象州で、WDC 活性化モデルが機能する。
- 成果 4 ガイドラインを用いて、WDC の活動が促進される。
- 成果 5 WDC 活性化を促進するための NCWD と州女性省（State Ministry of Women Affairs:

SMWA) の機能が向上する。

プロジェクト後半は、2011年2月～2013年4月実施のプロジェクト前半における活動を引き継ぎ、2013年6月から2015年2月まで実施するものである。なお、プロジェクトの成果は、2012年11月の中間評価にて以下のとおり変更され、関係者間で合意されている。プロジェクト開始後の治安悪化に伴う対象州における活動制限に伴い、対象州への介入の仕方について見直しを行うと共に、連邦レベルへの拡大を見越した NCWD の能力強化に活動の重点を置くこととなった。

【プロジェクト目標】

対象州における WDC 活性化を通じて連邦レベルで WDC 活性化モデルが拡大化する。

【成果】

- 成果1 NCWD の WDC 活性化推進・監督能力が向上する。
- 成果2 NCWD 及び SMWA の連携のもとで実施されるパイロット活動の経験を通じて WDC 活性化モデルの有効性が検証される。
- 成果3 パイロット活動での経験を踏まえ、NCWD 及び SMWA、女性開発オフィサー (Women Development Officer: WDO) 向けの WDC 活性化に向けた「実用マニュアル/手引書」(以下、「WDC 活性化マニュアル」) が策定され、全国レベルで共有される。

1-3. プロジェクトの実施対象地域

対象地域はナイジェリア首都アブジャ、及びパイロット活動を実施する対象6州(アナンブラ州、クロスリバー州、カドゥナ州、カノ州、クワラ州、ナイジャ州)とする(巻頭案件位置図参照)。また各州においてそれぞれ3LGA/WDCがパイロットLGA/WDCとして選定されている。

対象地域は、「地理的政治的区分」の6ゾーンから1つずつを基本として、その選定州を地理的に3地区に分けて、それぞれの地区の中で州都に最も近いLGAを選定した。

表 1-1 : 対象州における対象行政区

対象州	対象 LGA/WDC		
アナンブラ	Idemili North	Ogbaru	Orumba South
クロスリバー	Abi	Akampka	Ogoja
カドゥナ	Igabi	Jaba	Zaria
カノ	Dala	Dawakin tofa	Wudil
クワラ	Barunten	Ifelodun	Illorin West
ナイジャ	Agai	Paikoro	Wushishi

第2章 活動の内容

2-1. 成果1にかかる活動

活動 1-1： WDC 活性化に関する組織の役割・能力の把握

本プロジェクトのプロジェクト・ディレクターは、NCWD の Director General (DG) であり、プロジェクト・マネージャーは、その計画・調査・統計局 (Department of Planning, Research and Statistics: PRS) の部長が務める。プロジェクト・メンバーは、NCWD の PRS 局、研修局、会計局、資産局、総務から総計 25 名のメンバーが選出されたが、これらのメンバーにより、本プロジェクトでは、対象 6 州の総計 18 の WDC 活性化が図られている (図 2-1 参照)。

NCWD のプロジェクト・メンバーの役割は、対象 6 州の SMWA と州地方行政省 (State Ministry of Local Government: SMLG) が地方の WDC の活性化を支援するための啓発と指導を行うことである。プロジェクトでは、SMWA と SMLG に各 1 名のデスクオフィサーを任命しており、NCWD プロジェクト・メンバーのうち、各州担当のフォーカル・パーソンを任命している。

また、LGA とその職員である WDO が、LGA 内の女性センターの財政的・技術的支援を直接行っている。(別添 6 プロジェクト・メンバーリスト参照)

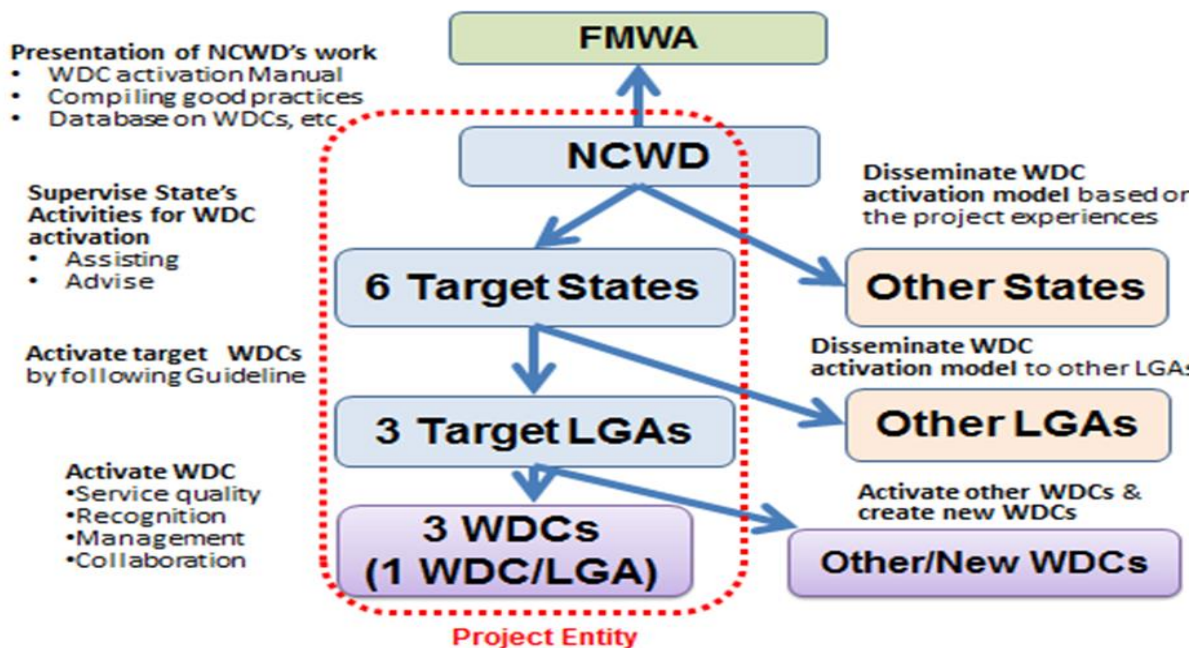


図 2-1：3 層の行政機関の役割とプロジェクトにおける能力強化体制

上記の各機関の役割は、次の表 2-1 のとおり関係者に確認されている。また、NCWD の組織体制は以下の図 2-2 のとおりである。

表 2-1 : Roles and Responsibilities

NCWD	SMWA	SMLA	LGA (HOD)	LGA (WDO)
<p>1. Presentation on Progress of WDC Activation</p> <ul style="list-style-type: none"> Reporting progress/ problems of WDC activation Documentation of good practices of WDC activation Revising Guidelines of WDC activation 	<p>1. Activate staff to WDC/WDCs in State</p> <ul style="list-style-type: none"> Monitoring and Evaluation on WDCs (Regular tour to WDCs) Supervise WDOs' work and give feedback to their work Organize workshop/ training for WDCs Organize meetings with SMLG/LGA/WDO Liaise SMWA with NCWD/SMLG/LGA Provision of capable staff to WDC activities Provision of equipment/materials/other support to WDCs 	<p>1. Activate WDCs in State</p> <ul style="list-style-type: none"> Adequate budget provision for WDCs Direct the LG Chairperson to provide adequate budget for WDCs Provision of equipment/ materials for WDCs Provision of capable staff to WDCs Monitoring and evaluation (if adequate budget is provided for WDCs) 	<p>1. Activate WDCs in State</p> <ul style="list-style-type: none"> Liaising LGA with SMWA/SMLG and others Provision and maintenance of equipment for WDC Provision of working materials for WDC Provision of capable staff to WDC Renovation. Construction. Maintenance of WDC Give support to WDC graduates Liaising WDC graduates with Microfinance bank/ cooperatives Supervising and monitoring WDC (regular visit) Advocacy to community leaders on WDC activities Sensitizing/ mobilizing community people on WDC 	<p>1. Activate WDCs in State</p> <ul style="list-style-type: none"> Supervise WDC activities (regular visit) Liaise WDC with LGA/ SMWA Writing progress report on WDC to LGA/ SMWA Maintaining the management of WDC Ensuring the standard of WDC instructors/ staff Advocacy to community leaders on WDC activities Sensitize/ mobilize community people on WDC Sensitizing/ mobilizing women on WDC
<p>2. Supervision on target States' activities on WDC activation</p> <ul style="list-style-type: none"> Provide technical assistance (survey, training, etc.) Advocacy in the State (Dissemination of information of project activities) Monitoring and evaluation on WDC activation Coordinating stakeholders in States 	<p>2. Disseminate WDC activation model in State</p> <ul style="list-style-type: none"> Replicate a series of activities for WDC activation to other LGAs in State 	<p>2. Disseminate WDC activation model in State</p> <ul style="list-style-type: none"> Replicate a series of activities for WDC activation to other LGAs in State 	<p>2. Disseminate WDC activation model in State</p> <ul style="list-style-type: none"> Replicate a series of activities for creating WDCs in other wards 	<p>2. Disseminate WDC activation model in State</p> <ul style="list-style-type: none"> Replicate a series of activities for creating WDCs in other wards
<p>3. Dissemination of WDC activation to other States</p> <ul style="list-style-type: none"> Replicate a series activities for WDC activation 				

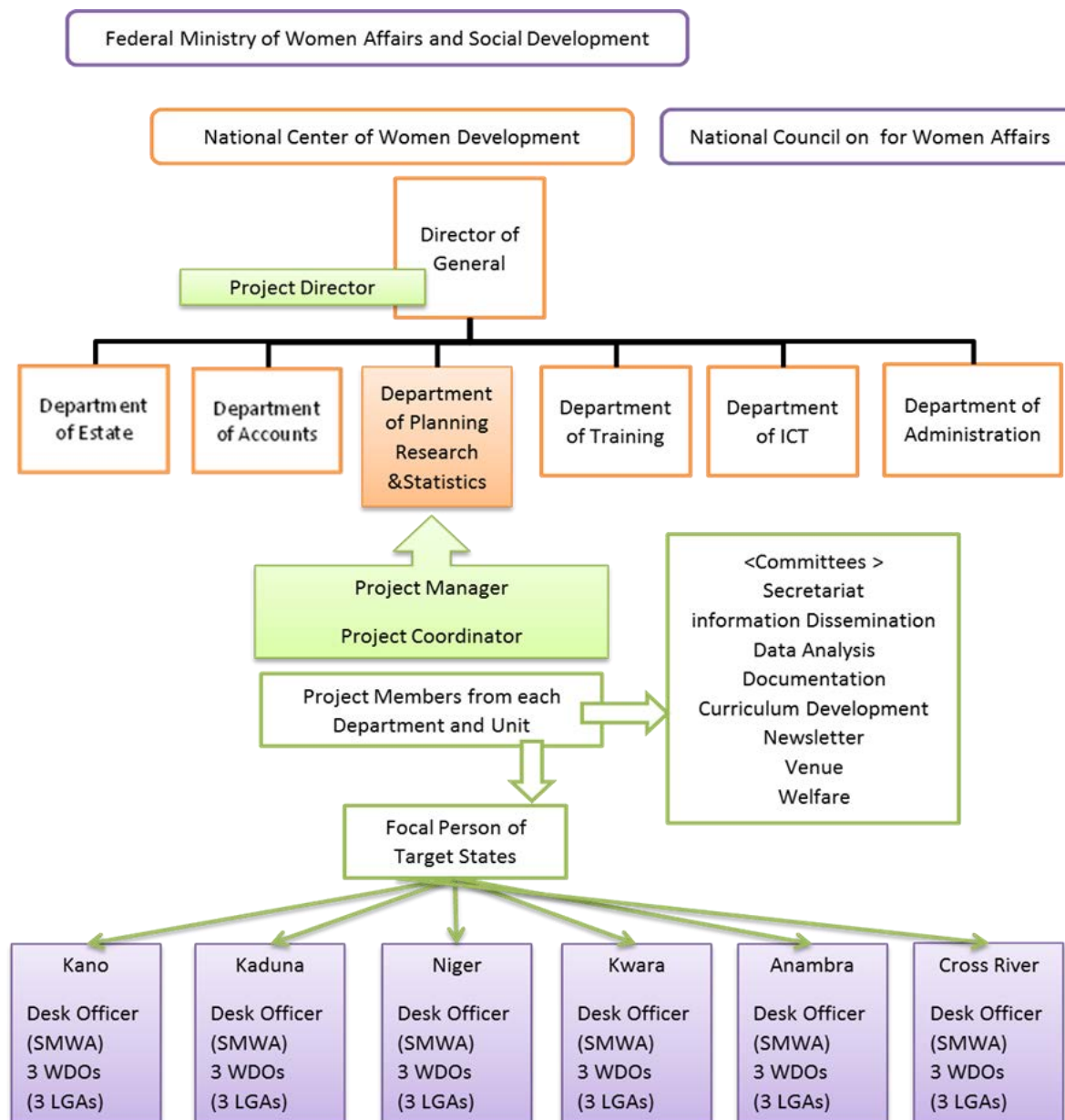


図 2-2 : NCWD 組織図

活動 1-2 : WDC 活性化に向けた組織の研修ニーズ結果の把握
活動 1-3 : WDC 活性化に向けた人材育成研修計画の内容の理解

プロジェクト前半では、NCWD（中央）、SMWA/SMLG（州）、WDO/WDC 講師（LGA）の3層それぞれへの研修ニーズ調査を基に「人材育成研修計画（Total Training Plan）」が作成された（表 2-2 参照）。

プロジェクト後半開始時（2013年6月）にNCWDプロジェクト・メンバーの今後の研修ニーズを聞き取り調査したところ、人材育成研修計画の内容のうち、「モニタリングと評価」「データ分析」「女性のエンパワーメントとコミュニティ開発」の能力強化への高い関心が確認された。

表 2-2：人材育成研修計画

対象	人材育成研修上の研修名	
NCWD	N1	Team Building (チーム・ビルディング)
	N2	Organizational Capacity Development (組織能力強化)
	N3	Gender Issue (ジェンダー課題)
	N4	Data Analysis from Gender Perspective (ジェンダー視点からのデータ分析)
	N5	Women's Empowerment (女性のエンパワーメント)
	N6	WDC Database Management (WDC データベース・マネジメント)
	N7	Research Methodology and Impact Assessment (調査手法とインパクト・アセスメント)
	N8	Computer Training (コンピュータスキル研修)
SMWA/ SMLG/WDO	S1	Team Building and Management Training (チーム・ビルディングとマネジメント)
	S2	Gender Training/ Women's Empowerment and Community Development (ジェンダー/女性のエンパワーメントとコミュニティ開発)
	S3	Profiling Training (プロファイル)
	S4	Research Methodology and Impact Assessment (調査手法とインパクト・アセスメント)
WDC	W1	Management Training for WDC (マネジメント)
	W2	Maintenance and Proper Use of Equipment (資機材の維持管理)
	W3	Skill-up Training (スキルアップ)
	W4	Business Education (ビジネス・教育)
	W5	Home Management (家政科)
	W6	Women's Empowerment (女性のエンパワーメント)
	W7	Food Processing and Food Preservation (食品加工と食品保存)

また、同人材育成研修計画に沿って、プロジェクト前半では、NCWD、州レベル、WDO、HOC に対する研修が下記表 2-3、2-4、2-5 のように実施されたことが確認された。

右を踏まえ、プロジェクト後半では、特に NCWD への研修と、NCWD 職員による SMWA、SMLG、WDO を対象とした研修に注力することとした。

表 2-3 : NCWD を対象とした研修実績

現行 PDM 上の研修名		人材育成研修計画上の研修名		実施時期	講師
1-4-1	Organizational Capacity (Management)	N1	Team Building	2012 年 5 月	NCWD
		N2	Organizational Capacity Development	2012 年 11 月	外部機関
1-4-2	Gender Analysis	N3	Gender Issues	2012 年 4 月	NCWD
		N4	Data Analysis from Gender Perspective	2012 年 5 月	NCWD
1-4-3	Women's Empowerment & Community Dev.	N5	Women's Empowerment	2012 年 4 月	NCWD
1-4-4	Planning (Budget Planning to be Included)	*人材育成計画には含まれず		未実施 ⁴	
1-4-5	Data Analysis	N6	WDC Database Management	未実施	
1-4-6	Monitoring and Evaluation	N7	Research Methodology and Impact Assessment	2012 年 10 月	外部機関講師
*PDM には含まれず		N8	Computer training	2012 年 4 月	専門家

表 2-4 : SMWA、SMLG、WDO を対象とした研修実績

現行 PDM 上の研修名		人材育成研修計画上の研修名		実施時期・対象	講師
2-7	Management Training	S1	Team Building and Management Training	2012 年 5 月	NCWD
			Management Workshop (活動実施計画作成時)	2012 年 7 月	NCWD
			Management Training (Book-keeping, Reporting, Accounting)	2013 年 4、5 月	NCWD/専門家
*PDM には含まれず		S2	Gender Training	2012 年 5 月	NCWD
				2013 年 4、5 月	NCWD/専門家
				対象 6 州に実施 (S1 と同時)	
*PDM には含まれず		S3	WDC Profiling	未実施	
*PDM には含まれず		S4	Research Methodology and Impact Assessment (コンピューター基礎研修)	2012 年 10、12 月	専門家
				対象 6 州のデスクオフィサー対象	

表 2-5 : WDC を対象とした研修実績

現行 PDM 上の研修名		人材育成研修計画上の研修名		実施時期・対象	講師
2-8	Management Training	W1	Management Training	2012 年 7 月、9 月	NCWD 研修部講師
				ナイジェリアのみ実施 (S1 と同時)	
2-6	Skill-up Training	W2	Maintenance and Proper use of Equipment	2012 年 1,7,10 月 (W2、W3 同時)	NCWD 研修部講師
		W3	Skill-up Training	対象 6 州 WDC 講師対象	
*PDM には含まれず		W4 W5 W6	Business Education Home Management Women's Empowerment	未実施	
2-6	Skill-up Training	W7	Food Processing and Food Preservation	2012 年 2 月	NCWD 研修部講師
				対象 6 州 WDC 講師対象	

⁴ 活動実施計画ワークショップ実施時に、NCWD プロジェクト・メンバーにより Budget Planning を含めた Planning の説明が行われている。

活動 1-4: Training of Trainers (TOT) の実施状況と到達状況の把握

NCWD プロジェクト・メンバーは、研修受講後に研修内容を SMWA/SMLG に教えることが期待されている。人材育成研修計画に基づき NCWD プロジェクト・メンバー向けに実施された研修実施状況は前述の表 2-3 のとおりである。

プロジェクト後半開始時（2013 年 6 月）に NCWD プロジェクト・メンバー 23 名に対し実施済みの指導員育成訓練（Training of Trainers: TOT）の 4 科目①組織能力強化（Organizational Capacity Development）、②ジェンダー分析（Gender Analysis）、③女性のエンパワーメントとコミュニティ開発（Women’s Empowerment and Community Development）、④調査手法とインパクト・アセスメント（Research Methodology and Impact Assessment）に関し、理解度、満足度、業務への活用度の観点からの質問票による自己評価を行った。「組織能力強化」、「ジェンダー分析」、そして「女性のエンパワーメントとコミュニティ開発」の 3 科目に関しては、理解度、満足度、業務への活用度は「良い」という回答が多いが、調査手法とインパクト・アセスメントに関しては「良い」という回答が他の 3 科目に比べて少なかった。

また、これまで NCWD プロジェクト・メンバーが教えた実績のあるトピックのうち、「マネジメント」、「ビジネス教育」、「活動実施計画書」の 3 トピックは、回答したメンバーの半数が講師として活動する自信があると肯定的に捉えているものの、他の科目については講師として教える自信のあるメンバーは 3 割程度であることがわかった。

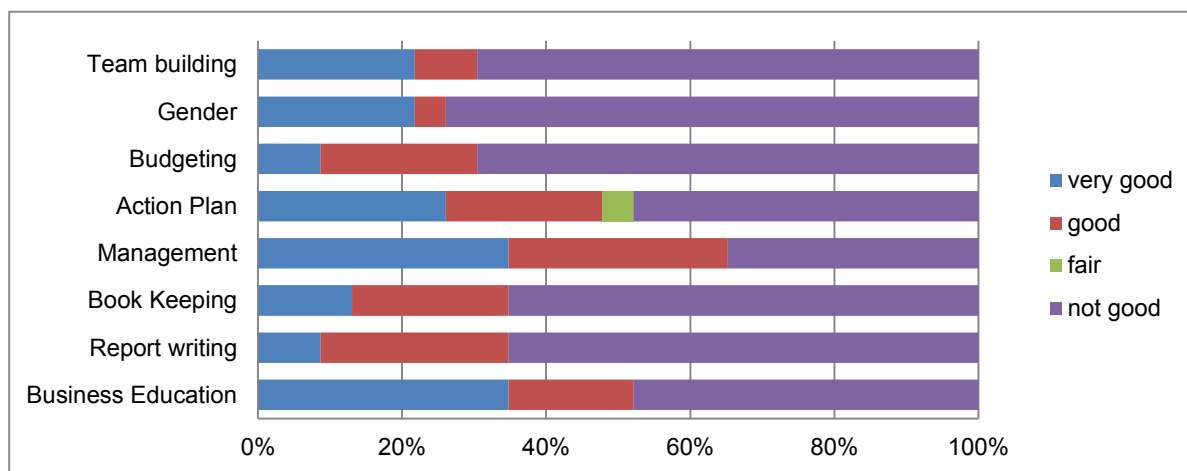


図 2-3 : NCWD プロジェクト・メンバーのリソース・パーソンとしての自信

活動 1-5 : 研修教材の改訂

プロジェクト前半に NCWD プロジェクト・メンバーが講師として教えたトピックに関しては、パワーポイントの資料、もしくは説明用文書が作成されていることが確認された。

表 2-6：プロジェクト前半で作成された研修用教材

トピック		
1	Budget Preparation	予算策定
2	Situation Analysis	状況分析
3	Action Plan Development	活動実施計画書策定
4	Team Building	チーム・ビルディング
5	Management	マネジメント
6	Gender	ジェンダー
7	Micro-credit	小規模金融
8	Micro Enterprise	小規模事業
9	Cooperative Society	協同組合
10	Business Education	ビジネス教育
11	Business Plan	ビジネス・プラン
12	Book Keeping	記録簿
13	Reporting System	レポーティング・システム
14	Organizational Management	組織マネジメント

研修教材の改訂は、「活動 3-4：マニュアル作成」と重複することのないよう調整された。その結果、アブジャで開催している州ステークホルダー定例会議（以後、州コア会合）等で NCWD プロジェクト・メンバーが州関係者への指導に用いている既存のパワーポイントの資料や説明資料を整えることとなった。プロジェクト後半で策定された研修教材は次のとおりである。

表 2-7：プロジェクト後半で策定された研修教材

トピック				対象
1	会計・報告書システム	Review Report Writing with Example	報告書策定	州関係者
2	データベース	Utilizing “WDC Activation Database (Microsoft Access)” - 1	データベース利活用	NCWD
3		Utilizing “WDC Activation Database (Microsoft Access)” - 2	データベース利活用	NCWD
4	調査・モニタリング	Conducting Interview	インタビュー方法	NCWD
5		How to Write Monitoring Report?	モニタリング報告書作成方法	NCWD
6		What is Recommendation and Lesson Learnt?	提言・教訓とは	NCWD

活動 1-6：TOT フォローアップ研修

活動 1-4 での TOT 実施状況、中間評価時に改定された PDM Ver.1 と NCWD プロジェクト・メンバーからの要望を踏まえ、TOT は、①モニタリング・評価、②女性のエンパワーメントとコミュニティ開発、③データ分析の 3 つの研修を実施する必要性が確認された。

それぞれの TOT における当初計画では、アブジャにて日本人専門家や NCWD 内部のリソース・パーソンによって実施される予定であったが、研修内容の難易度とニーズに応じて、「モニタリング・評価」はラゴスの外部研修機関にて 5 日間開催（2013 年 9 月）、「データ分析」は、アブジャ市内にて外部講師により 3 日間開催（2014 年 2 月）、「女性のエンパワーメントとコミュニティ開発」の TOT フォローアップ研修は、アブジャ市内にて外部機関を講師に招き、3 日間（2014 年 9 月）にて開催された。

TOT「モニタリング・評価」に関しては、WDC 活性化モデルの4側面（①サービスの質向上、②コミュニティの認識、③マネジメントの向上、④他機関との連携）、エンパワーメントの5側面（①経済的、②身体的、③社会的、④心理的、⑤政治的）、等を考慮した各種モニタリング・フォーマットを協議・策定し、定期的なモニタリングが実施できるようにNCWDが州政府関係者を支援することを目的とした。2012年10月に大学講師による「調査手法とインパクト評価にかかる研修（人材育成研修計画：N7）」が実施されていたものの、調査手法が重点となっていたため、体系だったモニタリング・評価への理解が十分ではないことから、各種研修・調査に定評のあるCentre for Management Development（CMD：政府外郭研修団体、於ラゴス）にて、本プロジェクトに適した実践的なモニタリング・評価にかかる研修を実施した（2013年9月9日～同年月13日）。

表 2-8：モニタリング・評価にかかる研修プログラム

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
1	Registration/ Opening Ceremony Pre-Test	Logical Framework (LOGFRAME) Methodology in Project M&E	Methodology for M&E Data Collection and Analysis	M&E Case Study	Post-Test
2	Concept, Types & Roles of M&E	M&E: Tools and Techniques	M&E Report Writing & Presentation	M&E Case Study	
3	Results-Based M&E	Developing & Implementing Effective M&E System	Developing Key Performance Indicators	M&E Case Study	

TOT「データ分析」は、2014年2月に実施した（2014年2月5日～同年月7日）。本研修の目的は、プロジェクトが対象とする18のWDCにおいて実施した第1回モニタリング（2013年11月）の報告書を作成し、対象州に対してモニタリングの結果とWDC活性化に向けた適切な提言が出来るスキルを身につけることであった。講師は、フェーズ1、フェーズ2前半の調査関連研修講師をしたカノ州のバイエロ大学社会学部の講師2名に依頼した。TOTの内容は、NCWDプロジェクト・メンバーがモニタリングを実施し適切な報告書を作成するために必要なスキルを学ぶ内容とするため、実際のモニタリングデータを用いながらの演習を中心とした研修内容とした。

表 2-9：データ分析研修プログラム

	1日目	2日目	3日目
①	Purpose of TOT Self-introduction Ground rule for training Pre-test by lecturer	Presentation of homework ・ Questions to each team ・ Discussion	Presentation of monitoring survey report: ・ Description ・ Findings
②	Report Writing ・ Quality of report ・ Structure of report	Practical session ・ Group work on the respective monitoring report	Presentation of monitoring survey report continued ・ Recommendation
③	Data Analysis ・ Quantitative and Qualitative ・ Description of data ・ Specific/ General findings Homework	Practical session continued ・ Group work with lecturers assistance	Post-evaluation

TOT「女性のエンパワーメントとコミュニティ開発」は、中小企業開発庁（Small and Medium Enterprises Development Agency of Nigeria : SMEDAN）と計画し、2014年9月23日～25日の3日間で実施した。本TOTの目的は、NCWD職員の女性の経済的エンパワーメントとコミュニティ開発に係る能力を向上することであった。特に、将来的には地域資源を活かした産品製作をWDC研修コースに取り入れること、地域と連携した商品開発を行う能力を育成することを目指した。研修は、講義による座学と実践的な視察を組み合わせ、「ビジネス機会・アイデアの創出」「協働組合の立ち上げ方」「効果的なマーケティング」等の講義に加え、2日目の午後には、アブジャ近郊の地方行政区を訪問し、2つの女性組合のヒアリング、並びに組合員が行っているナマズの養殖を視察した。講義全内容は、次の表2-10のとおりである。

表 2-10 : 「女性のエンパワーメントとコミュニティ開発」研修プログラム

	1日目	2日目	3日目
午前	Registration/Inauguration Leveling of Expectation	Recap of Day1	Recap of Day1
	Personal and Business Visioning	Team Dynamics/Leadership	How to form cooperatives
	Business Opportunities/Idea Generation	Book Keeping	Counselling, Motoring & Coaching
午後	How to form cooperatives	Visits to Cooperative Groups in Karu	Introduction to Business Plan
	Finance for Small Enterprise		Business Ethics /Customer Care
	Q & A		Closing Ceremony

TOT「女性のエンパワーメントとコミュニティ開発」の修了証書授与式にはJICAナイジェリア事務所長代理、SMEDAN研修担当部長、NCWDのDGが出席し、本授与式の模様は、9月26日19時にNigerian Television Authority (NTA)のニュース番組で放映されるとともに、Daily Trust紙（10月3日付）に掲載された。

それぞれのTOTで習得した知識と情報は、プロジェクト活動に反映されている。受講者であるNCWDプロジェクト・メンバーが州関係者に同一内容の「研修」を実施していないものの、TOT「モニタリング・評価」は、プロジェクト後半にてモニタリングを実施する際に活かされ、TOT「データ分析」は第1回目のモニタリング調査で得られたデータを基にした研修であったため、モニタリング報告書に成果が反映されるとともに、モニタリング調査を検討する際の留意事項へと発展させることができ、第2回目のモニタリング調査に反映されている。また、TOT「女性のエンパワーメントとコミュニティ開発」に関しては、「ビジネスを始める前にWDC生徒が知っておくこと・考えておくこと」にまとめ直し、NCWDプロジェクト・メンバーが、州コア会合の際に州関係者に対して研修を実施し、州の関係者もその内容を習得することになった。

活動 1-7 : WDC 活性化の状況把握に向けたデータベースの構築およびデータベース利用研修

データベース構築にかかり、NCWDの意向を再度確認のうえ、対象州6州における全LGAにあるWDCの情報を取りまとめるデータベースを構築することとした。データベース構築のための情報収集は、当初に計画していた日本人短期専門家の投入を変更し、州関係者を含むプロジェクト関係者にて質問票と調査スケジュールを策定し、調査員とSMWAから1名、SMLG

から1名の計3名にて行うこととした。また、NCWD 職員及び SMWA/SMLG が、今後の WDC 活性化を計画する際に活用できる簡易なものとする方向性で合意された。なお、データベースに含める項目は、「WDC の一般状況情報」と「WDC 活性化の状況」の2項目とした（表 2-11 参照）。

表 2-11：データベースの項目

	大項目	中・小項目
①	WDC の一般状況	設立年、女性センター校長（Head of WDC : HOC）情報、施設、開講コース科目、コース期間、スタッフ/講師数、資機材、生徒数、卒業生数、WDC 製品の種類と販売状況、WDC と他機関との連携状況、WDO 情報、WDC 予算
②	WDC の活性化状況	サービスの質、コミュニティの認識、マネジメント、他機関との連携

データベース構築にかかる概要は、表 2-12 のとおりである。2014 年 3 月に開催した州コア会合（活動 2-9）において、本活動の準備のために NCWD プロジェクト・メンバーがデータベース構築・調査の概要について州関係者に説明し、各州の調査日程を協議・作成した。

表 2-12：データベースの情報収集にかかる調査方法

	項目	内容
①	調査対象 WDC	・ プロジェクト対象 6 州における全ての WDC。 ・ 各 LGA に複数の WDC がある際は、主要 WDC を対象とする。
②	調査者	各州：調査員（現地補助員）、SMWA（1 名）、SMLG（1 名）
③	質問票	プロジェクト関係者と協議の上、データベースの項目（表 2-2）にかかる質問票策定。
④	調査スケジュール	プロジェクト関係者と協議の上、策定
⑤	対象 WDC 調査時期	■2013 年 12 月～2014 年 3 月：質問票策定、調査スケジュール調整 ■2014 年 3 月下旬～5 月：対象 WDC における調査・データベース（Microsoft Access）へのデータ入力 ■2014 年 6 月～12 月：入力データの整理、精査 活性化状況にあわせたマッピング データ検索・集計方法の構築

対象州 6 州における全 LGA にある WDC の情報データベース構築のための現地調査は、2014 年 4 月に実施された⁵（データベース調査質問票は、添付資料 7-②）。調査データは構築したデータベース（Microsoft Access）に入力され、データの検索・集計方法を構築した。また、各州、そして州内 LGA の活性化状況は「信号機」の緑・黄・赤で視覚的にわかるよう、色分けされた地図が作成された（別添 7-③）。

データベース調査は、次の表 2-13 に基づいた分類が行われ、各州の概要は表 2-14 のとおりである。

表 2-13：WDC の分類

⁵ 調査員（現地補助員）は事前にプロジェクトからの指示に従って、カノ州バイエロ大学社会学部の講師による調査手法の研修を受けた。

分類	内容
Functional (機能している)	コースが開講され生徒がいる
緑	活性化状況：活性化十分 (70~100%)
黄	活性化状況：活性化途上 (20~69%)
赤	活性化状況：活性化不十分 (0~19%)
Not Functional (機能していない) : グレー	コースは開講されておらず生徒もいない
Not Existing (存在していない) : 白	建物そのものが存在していない
Converted (転用) : 紫	建物はあるが、WDC 以外の用途で活用されている。

表 2-14 : データベースの情報収集結果

対象州	WDC 総数	Functional	Not Functional	Not Existing	Converted
アナンブラ	20	4	11	5	0
クロスリバー	18	12	1	4	1
カドゥナ	23	16	4	3	0
カノ	44	16	17	6	5
クワラ	16	13	3	0	0
ナイジャ	25	24	1	0	0

※単位：WDC 数

なお、構築されたデータベースを活用できるよう NCWD プロジェクト・メンバー対象にデータベース利活用研修が 2014 年 10 月 29~30 日の 2 日間開催された。本データベースを構築した専門家（日本人追加団員）を講師として、データベースの意義と特徴、エクセルとアクセスのそれぞれの利点・特徴、実際のデータベースを用いた演習（新たなデータの入力方法、データの検索方法・集計方法、等）を行った。また、NCWD プロジェクト・メンバーのうち、NCWD のデータを取り扱うメンバーに対し、構築したシステムの内容を説明・引継ぎを行い、今後彼らを中心に管理できるようにした。そして、NCWD プロジェクト・メンバーそれぞれの PC に対象 6 州のデータ・集計等が含まれたデータベースを入れるとともに、プロジェクト PC、そしてデータを取り扱うメンバーの PC を今後更新される主データベースとした。

活動 1-8 : WDC 活性化に関する啓発教材の作成及び啓発キャンペーン活動の実施

プロジェクト前半で作成されたアドボカシー教材に加え、プロジェクト後半では次の活動に取り組んだ。

■プロジェクトのニュースレターの作成

プロジェクト前半では、ナイジャ州のプロジェクト・ニュースは作成されていたものの、プロジェクトのニュースレターは発行されていなかった。プロジェクト後半では、本プロジェクトの活動紹介と、WDC 活性化支援について関連機関の意識向上を図るため、プロジェクト・ニュースレターを計 3 号発行した。ニュースレターは、ニュースレター委員会を中心に構成並びに記事が作成され、関係省庁、対象州関係者への配布が行われた。

当初、年 2 回の発行を目指していたが、記事作成・編集からプロジェクト・マネジャーによる最終案の承認までに想定以上の時間を要したため各号の発行に遅れが生じた。また、2014 年 12 月に発行予定としていた第 3 号については、委員会のメンバー及びプロジェクト・マネジャーがプロジェクト完了に伴う他活動に繁忙となることから、特別号としての構成を再検討し、

次の表の通りの内容にて発行することとした。

表 2-15 : 各号ニュースレターの概要

号数	発行時期	内容	部数 (頁数)	配布先
第1号	2013年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ NCWD PM インタビュー特集 ・ プロジェクト活動報告 ・ フォーカル・パーソン紹介 ・ 専門家紹介 	1,000部 (8頁)	FMWASD, Federal Ministry of Education (FME), FCT -WDC Office, Abuja Municipal Area Council (AMAC), Women Affairs, National Planning Commission (NPC), 6 targeted states (SMLG/SMWA/LGAs)
第2号	2014年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ NCWD DG インタビュー特集 ・ プロジェクト活動報告 ・ フォトニュース (活動写真) 	1,500部 (24頁)	
特別号	2014年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ NCWD DG インタビュー特集 ・ プロジェクト活動実績一覧 ・ フォトニュース (活動写真) 	1,500部 (16頁)	

■2014年カレンダー

2014年版カレンダーを1,000部作成し2013年12月上旬に開催された合同調整委員会 (Joint Coordination Committee : JCC) で配布するとともに、他関係中央政府関係者、対象6州の学校やクリニック等、また対象州以外の30州に郵送した。カレンダーの写真は、WDCが開講するコースに参加している女性の様子、WDC生徒による作品例、WDC活性化に取り組む州関係者の様子などを用いた。

■プロジェクト紹介リーフレットの作成

プロジェクトへの視察、取材、訪問者の増加と、対象州であるナイジャ州への渡航許可が下り訪問が増えたことから、2014年4月にプロジェクト紹介のリーフレットを更新し、見やすくカラフルなデザインで取り纏めた。

■ラジオ

ラジオを活用したコミュニティ啓発に関し、フェーズ1でのカノ州における経験を参考に、対象州でラジオ番組の枠を購入し、NCWDプロジェクト・メンバー、SMWA、対象LGA、WDO、HOCがWDC活性化の意義やプロジェクトの活動について説明したり、対象WDCの卒業生や夫、コミュニティの伝統的リーダー等がWDCの効果を説明したりしてもらうこととした。各週のトピックスは、関係者と協議の上、表2-16のとおり決定した。

表 2-16 : ラジオ番組の構成

週	トピック	出演者
第1週	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト概要 ・ NCWD インタビュー ・ 女性のエンパワーメントにおけるWDCの役割 	NCWD 代表 JICA ナイジェリア事務所長 SMWA
第2週	WDCのプログラムと参加する方法	HOC
第3週	WDCのプログラムに参加しよう:参加女性と家族にとってのメリット	LGAのWDO
第4週	WDC運営にかかるLGAの役割	LGA
第5週	コミュニティと家族の理解あつての女性センターのプロ	コミュニティのリーダー

	グラムへの参加	
第6週	・ WDC 卒業生が小規模金融にアクセスするには ・ コミュニティ開発における WDC の役割: WDC で作成する商品と地域の資源を活用した商品	小規模金融団体、等
第7週	WDC を通じた女性のエンパワーメント (政府の取組み)	SMWA・SMLG
第8週	WDC 卒業生と家族へのインパクト	卒業生・卒業生の夫
第9週	WDC 参加者へのインパクト	参加者・参加者の夫
第10週	WDC は技術向上の場	SMWA・SMLG

ラジオ放送は、2014年1月下旬より対象6州で放送が始まり、次の5点に配慮して放送された: ①毎週1回、②30分番組/回、③10週連続放送、④特に女性が聞きやすい時間帯に放送(例: 夕食の支度をする夕方)、そして⑤対象州で一番使用されている言語を用いる。各週のトピックは計画通り収録され、2014年5月までに全6州で10週分の番組が終了した⁶。

また、「ジングル」と呼ばれる1分程度の広告枠も作成され、女性センターが何をしているのか、どのように女性を支援しているかを歌や寸劇などを用いて紹介している。ジングルは、各州において複数言語で作成され、ニュース等のように、良く聞かれている番組の前後に流し、多くの人に聞いてもらえるように放送された。

放送内容の要約とラジオ番組の中で紹介されているグッドプラクティス、放送による効果は別添7-④の通り報告書に取りまとめている。

2-2. 成果2にかかると活動

活動2-1: 対象州におけるLGAおよびパイロットWDCの状況把握

プロジェクト前半で対象6州においてベースライン調査が下記のように実施されている。

表2-17: ベースライン調査実施状況

州	実施時期	調査内容	報告書の有無
アナンブラ	2012年5月	WDC/州の基礎情報	有
クロスリバー	2012年2月	WDC/州の基礎情報	有
カドゥナ	2012年2月	WDC/州の基礎情報 SMWA/SMLG/LGA/WDOの役割と責任	有
カノ	2011年11月	WDC/州の基礎情報 SMWA/SMLG/LGA/WDOの役割と責任 WDC生徒、夫の生活状況・WDCへの認識	データのみ
クワラ	2012年2月	WDC/州の基礎情報	有
ナイジャ	2011年11月	WDC/州の基礎情報 SMWA/SMLG/LGA/WDOの役割と責任	有 (短期専門家)

プロジェクト前半では対象州のカテゴリー分けがあったため、カテゴリーCの3州(アナンブラ、クロスリバー、クワラ)に関しては、NCWDプロジェクト・メンバー3名による簡単な調査のみであった。一方、カテゴリーA(カノ)、カテゴリーB(カドゥナ、ナイジャ)の州でのベースライン調査は、NCWDプロジェクト・メンバー10名以上が参加し、SMWA、SMLGと

⁶ 毎週1回、全10週にわたる番組の編成ではあったが、政見放送等で繰り越されることなどもあり、州によって終了までに要した期間が異なる結果となった。

共に各 WDC と LGA の基礎情報を収集している。短期専門家の投入があったナイジャ州のベースライン調査に関しては報告書にまとめられているが、他州に関しては報告書があるものの必要な情報がまとめられていない、または生データのみで報告書として十分ではない。また、WDC 活性化ガイドラインでは、WDC 活性化の 4 側面に沿った情報を集めるように示しているが、実施されたベースライン調査は WDC 活性化の 4 側面に十分に留意しておらず、ベースラインとなる情報として不十分であった。

活動 2-2： ベースライン調査に関する追加研修

プロジェクト前半に実施されたベースライン調査では、プロジェクトで定義している WDC 活性化に沿う項目が十分に収集されておらず、また各州で内容が統一されていなかった。そこで、活動 3-1 のモニタリングの準備活動を通して、モニタリング・フォーマットを WDC 活性化の 4 側面、女性のエンパワーメントの 5 側面に準じた質問項目に改訂し、WDC 活性化の定義に沿って調査を行うことを、日常業務のなかで NCWD プロジェクト・メンバーに指導した。また前述の活動 1-6 のデータ分析 TOT では、モニタリング調査で得たデータを WDC 活性化の定義に沿って分析し、提言を導き出す演習を行った。これらの活動を通じ、メンバーは調査目的に沿う質問項目・調査対象者の設定、選択式・YES/NO 回答式・記述式など回答方法の選択、等を学ぶ機会となった。これらの現場研修（On the Job Training：OJT）と TOT を通じ、ベースラインの追加研修が実施された。

活動 2-3： 活動実施計画書（Action Plan）のレビュー

プロジェクト前半では、対象 6 州において活動実施計画書の策定ワークショップは、下記のように実施されている。このレビューの結果から、プロジェクト・メンバーへの確認を行い、予算年度を考慮の上、各州の 2013 年度の残りと 2014 年度の活動実施計画書を 2013 年 9 月（予算年度を考慮のうえ）に早急に策定することを決定した。

表 2-18：対象 6 州における活動実施計画書策定ワークショップ実施状況

州	開催時期	対象年度	開催場所	報告書有無
アナンブラ	2013 年 2 月	2013 年 1～12 月	アブジャ	教材のみ
クロスリバー	2013 年 2 月	2013 年 1～12 月	アブジャ	教材のみ
カドゥナ	2012 年 5 月	2012 年 8 月～2013 年 7 月	州	有
カノ	2011 年 5 月	2012 年 1～12 月	州	無
クワラ	2013 年 2 月	2013 年 1～12 月	アブジャ	教材のみ
ナイジャ	2012 年 5 月	2012 年 8 月～2013 年 7 月	州	教材のみ

プロジェクト前半では、各州の WDC 活性化のための活動実施計画書は、5 日間のワークショップを開催し、州関係者（SMWA、SMLG、LGA、WDO、HOC）を招いて、NCWD プロジェクト・メンバーのファシリテーションによって、次の手順で策定されていた。



図 2-4：活動実施計画書策定手順

活動実施計画書は、WDC 活性化の 4 側面のうち 3 側面に即した共通フォーマットが作成されており、それぞれの活性化側面ごとに小項目が設けられていた。それぞれの小項目に沿って、各センター及び SMWA、SMLG が、それぞれの活動の詳細活動、時期、指標、担当者、予算などを計画するように作られていた。但し、実際に記録として残されていたものは、カドゥナ州のみであり、その内容もベースライン調査との整合性がなく、予算計画もそれぞれの WDC の現実的な問題に対応して達成可能な内容とは言えないものであった。

表 2-19：活動実施計画書フォーマット

大項目	内容	項目例
WDC 活性化 1	サービスの質の向上	研修内容、施設、機材、卒業生支援、カウンセリング、活動予算、カリキュラム
WDC 活性化 2	コミュニティの認識	夫の認知、アドボカシー活動、宣伝
WDC 活性化 3	マネジメントの向上	記録、記帳、報告、フィードバック、職員管理・育成

活動 2-4：パイロット WDC 活性化のための活動実施計画書（Action Plan）の作成支援

■2013/2014 年活動計画策定ワークショップ

活動 2-3 の状況を受け、2013 年 8 月以降の活動実施計画書を策定していない 4 州（アナンブラ、クロスリバー、カノ、クワラ）においては、7 月下旬に各州都にて 2013 年 8 月～12 月、そして 2014 年の活動計画策定にかかる 5 日間のワークショップを実施した。また 9 月上旬には、2014 年の活動計画を策定するために残り 2 州（カドゥナ、ナイジャ）で同ワークショップを実施した（表 2-20）。また、同ワークショップの参加者は、表 2-14 のとおりである。

表 2-20：2013/2014 年活動実施計画書策定ワークショップ（5 日間）

州	開催時期	対象年度	開催場所 (州都)
アナンブラ	2013 年 7 月 22 日～26 日	2013 年 8 月～2014 年 12 月	Awka
クロスリバー			Calabar
カノ			Kano
クワラ			Ilorin
カドゥナ	2013 年 9 月 2 日～6 日	2014 年 1 月～2014 年 12 月	Kaduna
ナイジャ			Minna

表 2-21：活動実施計画書ワークショップ対象者（各州）

対象者	人数
NCWD プロジェクト・メンバー	3 名
SMWA	2 名
SMLG	2 名
HOD	3 名 (1 名/LGA×3LGA)
WDO	3 名 (1 名/LGA×3LGA)
HOC	3 名 (1 名/WDC×3WDC)
合計	17 名

活動 2-3 の図 2-4 の手順に従い、各分析を踏まえたうえで、SMWA、SMLG、WDC/LGA の 3 種の活動実施計画書が策定された。活動計画には、女性センターの改修やカリキュラム開発、啓発活動等が各活動に必要な予算額とともに記載されている。ワークショップ終了後、対象州

を担当した NCWD プロジェクト・メンバーと策定された活動実施計画書の内容をレビュー・確認し、NCWD の DG による確認の上、州に返送した。この行動実施計画書に基づき、モニタリングや州からのレポートを通じ、進捗状況がフォローアップされた。

■2015 年活動計画策定ワークショップ

2015 年度の活動計画のために、2014 年 9 月 8 日～12 日（5 日間）に、2015 年度活動計画策定のための活動実施計画書策定ワークショップを各州で開催した。ワークショップには、昨年同様に州関係者（SMWA、SMLG、HOD、WDO、HOC）が州都に集まり、NCWD プロジェクト・メンバー2 名/州のファシリテーションのもと活動実施計画書を策定した。本ワークショップへの NCWD チーム参加メンバー数は、先方政府の予算配分の都合上、当初の計画を変更し、3 名から 2 名に削減した。

各セッションで使用した教材には、昨年策定した 2014 年度活動実施計画書のレビューをするセッションを追加した。また、関係者分析・問題分析・ジェンダー分析の各セッションでは、第 1 回モニタリング調査の結果を基にした各州の事例を組み入れ、参加者がより具体的に自分たちの問題を考えられる内容に修正した。また、作成した 2015 年度の活動計画を今後 3 ヶ月ごとにレビューし、予定通り活動が行われたかどうかとその理由を記入し、WDO が作成している 3 ヶ月ごとの WDC 報告書に添付するよう指導した（表 2-22 参照）。各セッションではグループ協議を行い、結果を発表した。

表 2-22：活動実施計画書策定ワークショップの内容

	項目	内容
①	活動実施計画書とは	PDCA サイクルにおける活動実施計画書の位置づけ
②	活動実施計画書の目的	活動実施計画書が、課題や活動計画・予算計画を他の人と共有するための「道具」であることの共通見解の醸成。
③	前年活動実施計画書のレビュー	前年活動実施計画書に基づき、活動を実施出来たこと・出来なかったことを把握し、実施出来た理由・出来なかった理由を、グループ（SMWA、SMLG、LGA）毎に分析。
④	関係者分析	2014 年 3 月に開催された州コア会合にて各州が特定した WDC 活性化にかかるステークホルダー一覧を基に、各々の WDC 活性化に向けた役割を分析。
⑤	ジェンダー分析	2013 年 11 月に実施した第 1 回モニタリング調査結果を用い、女性のエンパワーメント 5 側面の状況を分類し、各状況の改善策を分析。
⑥	問題分析	2013 年 11 月に実施した第 1 回モニタリング調査結果を用い、WDC 活性化の 4 側面の状況を確認し、改善策を分析。
⑦	予算の策定	WDC 運営に関わる費用を、①講師の給料やコースの材料費など毎月必要な運営費、②修繕や卒業生支援など定期的に必要な費用に分けて、各項目にどれだけの額が必要かを確認。
⑧	活動実施計画書策定	上記①から⑦の分析結果を用いながら、2015 年度の活動実施計画書をグループ毎（SMWA/SMLG/LGA）に策定。
⑨	活動実施計画書進捗確認	策定した活動実施計画書の活用方法として、①3 ヶ月ごとに、②実施状況の確認、並びに理由を分析し、随時修正することの確認。

各州でのワークショップ終了後には、策定された活動実施計画書とワークショップの各セッ

ションで策定された分析内容をまとめた報告書が作成された。同資料はプロジェクト・マネジャーの確認のうえ、州に返送された（別添 7-⑥にナイジャ州の一例を添付）。

活動 2-5：対象州関係者（SMWA、SMLG）への予算策定計画ワークショップ

前述活動 2-4 の活動実施計画書策定ワークショップを実施する際に、本活動である予算策定計画を含めた。5 日間の活動実施計画策定のプロセスのうち、「予算準備」として NCWD プロジェクト・メンバーによる半日間のセッションを設け、それぞれの活動ごとの予算の試算、予算の交渉などについて講義を行った。この際、活動予算は、実行可能で現実的な額を算出するように指導を行った。

活動 2-6：活動実施計画書に基づき、SMWA および WDO が実施する WDC サービスの質の向上に向けた支援

第 1 回モニタリング調査の結果や、半年ごとに NCWD に提出される SMWA からの報告書のレビューによって、対象 WDC において、WDC サービスの質の向上が見られ、WDC が提供しているコース内容や講師の質に関して、WDC 生徒からの満足度はどの WDC でも高く、プロジェクト前半におけるスキルアップ研修の支援に十分に効果がみられたことがわかった。

WDC の施設や機材に関しては、多くの WDC で LGA が WDC の改修や新築を行ったり、LGA が機材を供与したりしており、そのような WDC では施設や機材に関して生徒の満足度は高かった。また LGA が毎月一定額を WDC の運営費として支出している WDC では、授業に必要な材料への大きな不満は見られない。WDC への入学希望者が増えたことで機材が不足するようになった WDC も見られるが、LGA や州が機材を支援するところもあるので、プロジェクトが追加で機材を支援する必要はみられなかった。

また、卒業生に対する支援に関しては、プロジェクト開始以降、幾つもの WDC で LGA や州により卒業生支援が実施されており、WDC サービスの質に向けた支援は既に LGA や州が行っているところも多いことから、追加支援の必要はないと判断された。

活動 2-7：対象州の SMWA 及び WDO に対するマネジメント・調整力向上に向けた基礎研修の実施

2013 年 6 月に関係者とプロジェクト前半に実施した活動をレビューした際に、本活動は 2013 年 3 月～4 月に実施済であることが確認された。しかしながら、活動 2-4 の対象州の活動実施計画書では、マネジメントやレポーティングに関する再研修の必要性が記載されていたことから、モニタリング等を通じ、州関係者の状況を踏まえたうえで、再研修実施の有無を検討することとした。

第 1 回モニタリングの結果によると、対象 18 の WDC において記録付や報告書作成、スタッフ間の定例会合が行われており、WDC のマネジメントに大きな問題は見られないことが確認された。但し、報告書については、提出されてはいるものの定期的ではなく、プロジェクト前半で作成したマネジメントの教材を用いて作成している WDC、WDO、SMWA がほとんどないのが現状であった。また、右マネジメント教材の報告書フォーマットには、どのように報告書を記載すれば良いかという実例がないため、報告書に記載する事柄が関係者に十分に理解されていないことがわかった。

2014年8月に実施した第2回モニタリング調査の結果からは、第1回モニタリング同様に、WDC マネジメントの状況には大きな問題は見られないことが次の表のとおり確認された。

表 2-23 : 第 2 回モニタリング調査による各 WDC マネジメントの状況

	対象州・LGA	Anambra			Cross River			Kaduna			Kano			Kwara			Niger		
	項目	Or	Og	Id	Ab	Ak	Oj	Ig	Ja	Za	Dt	Da	Wu	Il	If	Ba	Ag	Pa	Ws
オフィス環境	WDOの机/部屋	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HOCの机/部屋	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓
	講師の机/部屋	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓			✓	✓	✓	✓	✓
記録付け	コースリスト	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムテーブル	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	登録フォーム	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	講師出席簿	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	生徒出席簿	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	機材リスト	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	議事録	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	在庫記録	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
人事管理	講師規則	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	生徒規則	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	講師定例会合	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	講師業務TOR	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
報告書	報告書提出	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	フィードバック受領	✓	✓	✓		✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
会計	WDC製品の販売	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WDC運営費受領		✓	✓	✓		✓				✓	✓			✓			✓	✓

※対象州名の下段は対象 LGA の略。例：「Or」は「Orumba South」、「Og」は「Ogbaru」

報告書に関しては、2014年3月にアブジャで開催した州コア会合において、報告書の提出ラインと報告書記載方法にかかるセッションを設け、報告書提出頻度と提出先等にかかる指導を行った⁷。第2回モニタリングの結果からは、HOCが毎月作成するWDC報告書はWDOへ、WDOが3ヵ月ごとに作成する報告書はLGAへ定期的に提出されており、州コア会合での指導の成果が見られた。また、2014年9月に実施した活動実施計画書策定ワークショップの機会を利用し、NCWDプロジェクト・メンバーは各州の報告書提出状況と報告書内容を確認し、問題があれば指導を行った。この確認作業を通じ、多くのWDOとHOCは問題がないものの、一部ではまだフォーマットを理解していない例があったこと、またSMWAの半期報告書が作成されていないこと、WDOへのフィードバックが行われていないことが明らかになった。この状況を受け、2014年11月にNCWDにおいて開催した第3回州コア会合において、報告書作成を復習するセッションを設けた。NCWDメンバーが報告書フォーマットの記入の仕方を事例に従って説明し、WDO・HOCの報告書フォーマットの不明な点が理解された。

活動 2-8 : 対象州の SMWA 及び WDO による HOC 向けのマネジメント研修の実施支援

活動 2-7 で実施した第 2 回州コア会合（2014 年 3 月）で実施した報告書作成指導セッションにおいて、参加者には、WDC 報告書用にフォーマットのコピーを 1 年分配布した。HOC は、

⁷ プロジェクト前半で策定された報告書フォーマットを再度周知するため、各種報告書フォーマットと具体的な記入例とともに、NCWD プロジェクト・メンバーが SMWA、SMLG、WDO に指導した。

既に月例報告書作成は努めて行っているが、それぞれがバラバラなフォーマットを使っていることが課題であることがわかり、現場にて WDO が HOC に対して、同フォーマットを活用して報告書を作成するように随時指導することとなった。

このような日常的な指導の効果は第 2 回モニタリングの際に確認し、必要に応じ、活動実施計画書策定ワークショップ（活動 2-4：2014 年 9 月実施）や州コア会合（活動 2-9：2014 年 3 月、11 月実施）等の機会を活用し、フォーマットに沿った報告書作成のセッションを設け、WDO と HOC への指導を行った。

第 2 回モニタリング調査の結果から、WDC のマネジメントには大きな問題はないことが確認されている。報告書作成に関して報告書フォーマットの理解不足が見られたが、上記 2-7 の活動において、HOC が作成する WDC 報告書の作成についても NCWD メンバーが SMWA 及び WDO に講義を行い、理解された。

活動 2-9：対象州の SMWA 及び WDO による WDC 活性化に向けた調整・連携のためのステークホルダー定例会議の開催支援

各州における州ステークホルダー定例会議は、治安状況や予算措置の関係で 2013 年に開催することが困難であった。右を考慮し、プロジェクト活動に対する州の理解やコミットメントを高めるために、6 州のプロジェクト関係者（SMWA/SMLG/HOD/WDO）を一同に集めた「州コア会合」を NCWD（於アブジャ）で 3 回開催し、州ステークホルダー定例会議で予定していた活動の一部を補完した。州コア会合は、第 1 回目は 2013 年 10 月、第 2 回目は 2014 年 3 月、第 3 回目は 2014 年 11 月に開催し、プロジェクト活動進捗状況の関係者間の共有や、今後の主な活動にかかる協議と準備を行った。各回の内容は次の表のとおりである。

表 2-24：州コア会合の概要

回数	日時	内容	参加者
第一回	2013 年 10 月 22 日~24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト概要の確認 ・ モニタリング質問票確認 ・ ラジオ放送準備 ・ ステークホルダー定例会議の意義 ・ フォーカル・パーソンの役割 	NCWD、 対象 6 州関係者 (SMLG/SMWA/HOD/WDO)
第二回	2014 年 3 月 11 日~13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一回モニタリングの報告 ・ レポーティング・システム研修 ・ データベース調査準備 ・ ラジオ放送の結果報告 ・ ステークホルダー定例会議の計画 ・ グッドプラクティスのインタビュー 	
第三回	2014 年 11 月 18 日~20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回モニタリングの報告 ・ マニュアル・ドラフトの共有とフィードバック ・ データベースの結果報告 ・ ナイジャ州ステークホルダー定例会議の報告 ・ レポーティング研修 ・ 女性のエンパワーメントとコミュニティ開発の研修（TOT で学んだことを州関係者と共有） ・ グッドプラクティスの演習と発表 	

対象 6 州の関係者をアブジャに集めて開催する州コア会合を通じ、プロジェクトの進捗、今

後の予定、課題を定期的に共有してきた（2013年10月、2014年3月、2014年11月開催）。また、6州の関係者が一堂に集まる機会を活用して、NCWDのプロジェクト・メンバーがTOTなどで習得した知識や情報を、リソース・パーソンとして州関係者に教える場とした。

州都でのステークホルダー定例会議は、当初から計画を指導してきたが、治安の悪化や、NCWDの予算の遅延などの関係で、NCWDのプロジェクト・メンバーが直接に州都を訪問して指導することには至らなかった。しかし、SMWAの自主的な努力により、2014年11月4日にカドゥナ州にて、2014年11月13日にナイジャ州にて、州都でのステークホルダー定例会議が実現した。これらの会では、州の主要関係者に対して、WDC活性化の意義が伝えられるとともに、プロジェクトが開発した活性化モデルの紹介、WDCの生徒や卒業生の製作物の展示などが行われた。ナイジャ州では、SMWAの事務次官（Permanent Secretary: PS）と局長（Director）、州政府議長、各LGA長および局長（Director）、LGAコミュニティ・リーダーなどが参加した。これらの発表を受けて、2014年12月アナンプラ州のPSから開催への意欲が表明されている。

2-3. 成果3にかかると活動

活動3-1：モニタリング・フォーマットのレビューと分析

2013年9月中旬に実施したモニタリング・評価のTOT（活動1-6参照）を受け、「モニタリング」にかかると作業を開始した。プロジェクト前半では、データ分析委員会が中心となり、フェーズ1時のモニタリング質問票をもとに①WDC活性化、②エンパワーメントを図る質問票が作成され、メンバー間で合意されていた。モニタリング・評価のTOTの後に、再度この質問票の質問をNCWDプロジェクト・メンバー全員で確認、必要に応じて加筆・修正を行う勉強会を2日にわたり実施した。その後、アブジャ連邦首都区（Federal Capital Territory: FCT）のZuba WDCの協力を得て、WDC生徒、夫、地域のリーダー、WDC生徒でない女性、WDC卒業生および、WDC講師やLGA職員を対象に本質問票を用いたインタビューを実施し（実施日：2013年10月2日）、その結果を反映・修正、更に州コア会合で対象州のSMWA、SMLG、LGA、WDOと共に1問ずつ検討し最終的な調整を行った。質問票最終版の概要は表2-25のとおりである。

表 2-25：モニタリング質問票最終版の概要

質問票	質問内容	調査対象者
Form 1	WDCサービスの質	WDC生徒
Form 2	WDCへの肯定的認識	WDC生徒の夫
Form 3	WDCへの肯定的認識	コミュニティ・リーダー
Form 4-1	WDCへの肯定的認識	非生徒の女性
Form 4-2	女性のエンパワーメント	非生徒の女性
Form 5	女性のエンパワーメント	WDC卒業生
Form 6	WDCマネジメント	HOC/WDO
Form 7	WDC基礎情報	HOC/WDO

なお、データ入力シートはMicrosoft Excelによる簡易なものとし、NCWDプロジェクト・メンバーがデータ入力シートの作成過程を習得できるよう、NCWDのITセンターでの内部勉強会を2013年10月から同年11月にかけて2回開催した。NCWDプロジェクト・メンバーの

多くは通常の業務で使用する機会が少ないエクセルにて「ドロップダウンリストの作成」、
「COUNT IF 機能による集計」、「集計したデータからグラフの作成」の3点を学んだ。

活動 3-2：定期的にモニタリングを実施し、グッドプラクティス及び教訓を収集する

2013年11月に、対象6州において第1回モニタリング調査を実施した。NCWD プロジェクト・メンバーは3名ずつ各州担当に分かれ、州側はSMWAとSMLG合わせて7名の職員が加わり、各州10名の調査チームで3WDCを調査した。モニタリング調査日程の大枠は、NCWD プロジェクト・メンバーの各州担当リーダーとの準備会合で次のとおりとなった⁸。

表 2-26：第1回モニタリング調査日程（概要）

日程	活動
1日目	SMWA/SMLGのモニタリング調査メンバーとともに質問票の内容を再確認。
2～4日目	対象3WDCの調査（各WDCで7種の質問票を用いる）
5日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ SMWA/SMLGメンバーとともに調査の振り返り。 ・ 将来的にはSMWA/SMLGがモニタリング収集データの入力が行えるよう、データ入力シートと入力方法を説明。

モニタリング調査後、NCWD プロジェクト・メンバーは各州チームに分かれてデータ入力、集計したデータのグラフ作成、報告書作成を行った。第1回モニタリングの結果は表 2-27 のとおりである（詳細は別添 7-⑧参照）。

表 2-27：第1回モニタリング調査結果概要

調査項目	調査結果
WDCの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ LGAの予算により、①WDC増築・改修（11WDC）、②機材供与（5WDC）、③毎月の運営費支給（12WDC）、卒業生支援の機材・資金供与（11WDC）が確認された。 ・ コース内容・コース期間・講師の質に関しては、どのWDCでも生徒の満足度が高い。 ・ 施設・機材・材料・卒業生支援に関しては、WDCにより満足度が大きく異なる。LGAが施設の改修・機材の供与・WDC運営費支給・卒業生支援の実施しているWDCでは生徒の満足度が高い。 ・ ほとんどのWDCで入学希望者・生徒数が大幅に増加した。
WDCへの肯定的認識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全てのWDCで、生徒の夫・コミュニティ・リーダー・WDC生徒でない女性から、WDCは有益な場と理解されている。 ・ 全てのWDCで、生徒の夫・コミュニティ・リーダーはWDCに満足し、他の男性に妻・娘を通わせるよう推薦している。 ・ 多くの夫は妻のWDC通学のインパクトとして「妻がビジネスを始め、経済的に家庭に貢献している」「読み書きが出来るようになり、子供に勉強を教えている」を挙げている。 ・ 全てのWDCで、WDCに通学していない女性は「自分もWDCに通いたい」と回答し、これまで通学していない理由として「WDCの存在や活動内容を知らなかった」「WDCが自宅から遠くて交通費がない」が挙げられた。
WDCマネジメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ全てのWDCで、記録付や定例会開催、報告書作成が定着し、マネジメントの向上がみられる。

⁸ 実際のモニタリング調査にかかる日数は、州都からLGA、LGAからLGAへ移動時間等を考慮し、州によって調整されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの WDC で支出入の記録付は不十分。
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協同組合、マイクロファイナンス機関、NGO や政府機関と会合をもつ WDC がある (9WDC)。
女性のエンパワーメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDC 卒業生は非生徒よりも経済活動に従事 (10WDC)。 ・ WDC 卒業生は洋裁、ケータリングなど WDC で得たスキルを活用した経済活動が多く、非生徒は小商い (Petty trading) が圧倒的に多い。 ・ WDC 卒業生は保健の知識の主な情報源が WDC である。 ・ WDC 卒業生・非生徒とも主な情報源はラジオである。 ・ WDC 卒業生は非生徒よりも協同組合に参加している。

第2回モニタリング調査を実施するにあたり、①第1回モニタリング調査反省会、②質問票の修正、③データ入力フォーマットの作成と入力方法の指導、④モニタリング準備会を4月から8月にかけて継続的に実施した。

第1回目のモニタリング調査の振り返りでは、①第1回モニタリング調査時にメンバーが撮影した写真を基に被調査者のプライバシーへの配慮に関する考察、②調査票記入の良い例・改善が必要な例の提示、また、調査・データ入力・報告書作成の活動を通して課題を振り返った。

また、第2回目のモニタリング調査に向け、女性のエンパワーメントに関する質問は質的回答を得られるよう修正することに加え、ラジオ番組放送 (活動 1-8 : WDC 活性化に関する啓発教材の作成及び啓発キャンペーン活動の実施) の視聴の有無を追加した。改定されたモニタリング調査票をもとに、データ入力後の集計作業等でのミスと作業量の軽減を図るためデータ入力・集計フォーマットを改訂し、新しいデータ入力フォーマットへの入力方法等にかかる指導が行われた。

これらの改訂を踏まえ、第2回モニタリング調査は、2014年8月17日から対象6州において実施された。各州での調査チームは、NCWD プロジェクト・メンバー3名、州側は SMWA と SMLG 合わせて7名の職員の計10名で編成され、各州対象3WDCを調査した。今回は調査後のデータ入力を NCWD メンバーが SMWA/SMLG に指導する活動を2日間組み入れ、基本的には全6日間の日程で調査が実施された⁹。

州でのモニタリング調査とデータ入力終了後、第2回モニタリング調査の振り返りと報告書作成・データ分析にかかるワークショップを設けた。ナイジェリア州の調査に同行した専門家の観察と他州チームリーダーからの観察が共有された¹⁰。また、報告書作成に関しては、報告書に含める項目、グラフの記述の仕方、質的データの分析の仕方、グッドプラクティス、課題、提言、教訓の書き方が指導された。

モニタリング調査に参加したプロジェクト・メンバーは、各回州チーム毎に報告書を取り纏めており、プロジェクト・マネジャーの承認を経て各州へ送付した。また、11月の州コア会合では、NCWD プロジェクト・メンバーは州関係者に調査結果の概要を発表するとともに、WDC

⁹ 実際のモニタリング調査にかかる日数は、州都から LGA、LGA から LGA へ移動時間等を考慮し、州によって6~8日で調整されている (NCWD メンバーのアブジャ、州都間の移動は含まず)。

¹⁰ モニタリング調査の振り返りの視点としては「言語」と「調査チームのリーダーの役割」が上げられた。言語に関しては、対象州のパイロット LGA では一般的な現地語が別があり、州の職員も対応出来ない場合もあったこと、また、対象州・LGA の現地語が理解出来るプロジェクト・メンバーを当該州に派遣することが必要である点が確認された。また、調査チームのチームリーダーは、調査状況を把握し、各メンバーを指導する立場となることが円滑な調査に必要であるという点が挙げられた。なお、第1回モニタリング反省会で挙げられた調査対象者のプライバシーの確保に関しては、第2回モニタリング調査では十分に解決されたことが確認されている。

活性化の4側面（WDCの質の向上、WDCへの肯定的認識、WDCマネジメントの向上、関連機関との連携）に沿ってモニタリング調査の結果と今後のWDC活性化への提言を述べた。

第2回モニタリング調査の調査結果の要約は次の表2-28の通りである。

表 2-28：第2回モニタリング調査結果概要

調査項目	調査結果
WDCの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回モニタリング調査時よりもWDCサービスに対する生徒の満足度は増加（9WDCで満足割合が90%を超える）。 ・ LGAが施設の改修・機材の供与・WDC運営費を支給しているWDCでは生徒の満足度が高い。 ・ 多くのWDCで卒業生支援の不足に対する不満が高い（9WDCで不満割合が40%を超える）。
WDCへの肯定的認識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回モニタリング調査時と変わらず、WDCへの肯定的認識は非常に高く、全てのWDCで生徒の夫・コミュニティ・リーダー・WDC生徒でない女性から、WDCは有益な場と理解され、生徒の夫・コミュニティ・リーダーはWDCに満足し、他の男性に妻・娘を通わせるよう推薦している。 ・ 多くの夫は妻のWDC通学のインパクトとして「ビジネスを始め、経済的に家庭に貢献している」「料理が上手になった」「家の衛生に気を付けるようになった」を挙げている。 ・ コミュニティ・リーダーは、「WDCに土地を提供」「WDCに材料や水を提供」「WDCの周囲の清掃」「WDC周辺のセキュリティを監視」等のサポートをしている。 ・ 全てのWDCで、WDCに通学していない女性は「自分もWDCに通いたい」と回答し、これまで通学していない理由として「WDCが自宅から遠くて交通費がない」「WDCの生徒が多すぎて入学できず、許可を待っている」が挙げられた。
WDCマネジメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ全てのWDCで、オフィス環境の整備、記録付や定例会開催、報告書作成が定着し、マネジメントの向上が見られる。 ・ WDC運営費をLGAから得ていないWDCが半数に上るが、WDC製品を販売してWDC運営費に充てている。
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回モニタリング調査時に比べ、保健ワーカーと会合を持ったWDCが増加した。 ・ マイクロファイナンス機関、協同組合とWDCの会合が見られるが、定期的な活動にはなっていない。
女性のエンパワーメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14WDCで、WDC卒業生の80%以上が経済活動に従事している。 ・ WDC卒業生の大半は、スキルを活かした経済活動、子どもにスキルを教える、子どもや親戚の服を縫う等、WDCで得たスキルを活用している。 ・ 大半のWDCで生徒は保健衛生について学び、WDC卒業生はWDC参加後に家族の保健衛生に良い影響があった。 ・ WDC生徒・卒業生はWDCを契機に社会ネットワークが広がり、協同組合やマイクロファイナンス機関を知ったり、卒業生同士で頼母子講を結成したりしている。 ・ WDC生徒・卒業生とも自分のビジネスを始めたいという具体的な目標を持つようになった。 ・ WDC生徒・卒業生は日々の買い物や子どもに関することで世帯内の意思決定に参加している。
WDCのインパクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夫にお金を頼まなくなり、世帯に経済的に貢献できるようになった。 ・ 家族が経済的・物質的によりよい暮らしを送るようになった。

表 2-29 : NCWD から州・LGA への提言

提言		AN	CR	KD	KA	KW	NI
WDC サービスの質向上	・ LGA は WDC の拡大・教室を増設				✓		
	・ 州・LGA は WDC に十分な機材を供与	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	・ LGA は WDC に十分な材料を供与	✓					✓
	・ WDC に水、電気、警備を確保			✓			
	・ WDC 講師のトレーニングを定期的に行う	✓			✓		
	・ LGA は資格のある講師を雇う				✓		
	・ WDC のカリキュラムを作る				✓		✓
	・ WDC は識字クラスを含める	✓			✓		✓
	・ WDC で健康に関する講義を行う			✓			
	・ WDO/HOC/講師は生徒が他のコースにも興味を持つようアドバイス・奨励する				✓		✓
	・ 州・LGA は WDC 卒業生支援を提供	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	・ WDC 製品を販売するトレードフェアをコミュニティで開催			✓			
WDC への肯定的認識の向上	・ 州・LGA はメディア、ポスター、ラジオ、看板などを使って啓発活動を続ける	✓	✓	✓	✓		✓
	・ 州はステークホルダー定例会議を定期的に行う	✓					✓
	・ SMWA・SMLG は LGA や伝統的リーダーなどが WDC 運営に積極的に関わるよう促す			✓			✓
	・ WDO はコミュニティ・リーダーを WDC 活動に巻き込むよう働きかけを続ける			✓			
WDC マネジメント	・ SMWA と SMLG は WDC を定期的に訪問し、問題を把握						✓
	・ SMWA と SMLG は WDC の活動の監督とモニタリング体制を強化	✓				✓	
	・ 生徒登録フォームや出席簿をきちんと記録			✓			
	・ 州・LGA は WDC 運営の適切な予算を配賦	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	・ LGA は WDC 講師の給料を定期的に支払う	✓					✓
関係機関との連携	・ WDO と HOC は WDC 卒業生が社会ネットワークを作れるよう奨励			✓			
	・ SMWA と SMLG はマイクロファイナンス機関と連携し、WDC 卒業生にローンを提供				✓		✓
	・ LGA は協同組合のプロセスを簡素化				✓		
	・ WDO と HOC はより多くの機関と協同が行われるようネットワークづくりに努め、ミーティングやセミナーを行う					✓	

また、モニタリング調査や州コア会合での州関係者へのインタビュー等から、下記の表 2-3 のように WDC 活性化のグッドプラクティスが抽出された（詳細は別添 7-⑩）。

表 2-30 : グッドプラクティス例

項目	グッドプラクティス
WDCサービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ LGA により WDC の改修が行われ、より快適な場となり、生徒数が大幅に増えた。 ・ LGA 内に、別の WDC が LGA により新設され、より多くの女性が学ぶ機会を得た。 ・ NYSC¹¹が講師として採用され、新たなスキルを生徒に指導できた。
WDCへの肯定的認識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDC が女性リーダーと会合を持ち、教会やコミュニティで WDC 活動を説明したところ、WDC 活動への関心が高まり生徒が増えた。 ・ WDC がコミュニティ・リーダーと会合を持つようになり、コミュニティ・リーダーからアドバイスを受れたり、コミュニティの啓発をしたりするようになった。
WDCマネジメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDC 活動報告書を LGA に定期的に提出したところ、LGA が WDC 活動に関わるようになり、WDC 講師や生徒が真剣に取り組むようになった。 ・ WDC 製品を販売し、WDC の運営費、材料費に補充するようになった。
他機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDC が協同組合やマイクロファイナンス機関と会合を持つようになり、WDC 生徒がクレジットにアクセスできるなど経済活動開始の助けとなった。
WDC 予算配賦の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDO が LGA の予算申請に間に合うよう活動実施計画書を副 LGA 長に提出しロビー活動をした結果、提案した活動実施計画書の活動が予算計画に含まれると副 LGA 長からの約束を取り付けた。
WDC 活性化モデルの広がり	<ul style="list-style-type: none"> ・ SMWA は州内 25LGA のうち 16LGA にある WDC に機材を供与し、各 WDC2 名に対して SMWA 所管の WDC でスキルアップ研修を行った。
コミュニティによる WDC 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティの土地が WDC 建設に提供され、コミュニティ・リーダーは女性が WDC に通うように呼びかけた。
女性のエンパワーメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ WDC 卒業生の夫は、妻が世帯に経済的に貢献するようになり、何かを決めるときに妻の意見を聞くようになった。 ・ WDC 卒業生は習ったスキルで収入を得て、夫にお金がないときに食料を買ったり、子どもの制服や本を買ったりできるようになった。

活動 3-3 : カノ州における先行支援 WDC のフォローアップ調査を実施し、現在の課題や得られる知見・教訓をまとめる

本プロジェクトのフェーズ1でパイロット WDC となったカノ州の6WDCにおいて、現在の状況及び先行的に WDC 活性化の知見と教訓を得るために、フォローアップ調査を実施した。

調査は、対象 6WDC の HOC 及び WDO、また SMWA/SMLG のデスクオフィサーに対し、WDC 活性化の定義に沿ったインタビューを実施した。質問票はプロジェクト関係者で策定され、HOC/WDO には、表 2-6 のように WDC 活性化 4 側面にかかる状況を質問するとともに、SMWA¹²にはフェーズ 1 の時からの変化を聞いた。活動 1-7 のデータベース構築にかかる対象州での WDC 調査の際に、調査補助員、SMWA/SMLG のデスクオフィサーが、あわせ情報を収集した。現在調査で得られた情報を分析し、報告書として取りまとめた（別添 7-⑪）。

¹¹ NYSC (National Youth Service Corps)。ナイジェリアでは大学を卒業後、政府関連機関などで1年間ボランティアとして従事する。

¹² 現在との比較、SMWA の女性センター活性化にかかる努力、他 LGA への普及、女性センター活性化 4 側面にかかる現在直面している課題、予算措置、他州からの問い合わせ、活動を通じた学び、等

表 2-31 : カノ州におけるフェーズ 1 対象 WDC へのフォローアップ調査項目 (WDO/HOC)

調査大項目	小項目
WDC サービスの質	講師のレベルとレベルアップへの支援、コースの多様性、機材状況と対応、コースにかかる資材状況・対応、卒業生への支援状況と対応、施設状況と対応、WDC サービスの質向上にかかる活動を通じた学び、等
WDC への肯定的認識	夫・コミュニティの男性からの認識と対応、コミュニティ・リーダーからの認識と対応、コミュニティの女性からの認識と対応、肯定的認識向上にかかる活動を通じた学び、等
WDC マネジメント	記録 (帳簿・出席簿等) 状況・課題・対応、WDC への予算、自己資金向上のための活動、定期的な活動報告書にかかる状況・対応、マネジメントにかかる課題、等
他団体との連携	WDC と他団体との協働状況と課題、学び、等
その他	WDC 活性化にかかる課題、課題克服のための活動状況、学び、等

活動 3-4 : パイロット活動での知識経験を踏まえ、NCWD、SMWA、WDO の実務参考書となるマニュアルを作成する

2014 年 3 月にマニュアル委員会が発足され、マニュアルは、NCWD 向け、SMWA 向け、WDO 向けと 3 層を対象とし作成することとした。また、本プロジェクトのフェーズ 1 で作成された WDC 活性化ガイドラインを補完し、実務的、かつユーザーフレンドリーな形式をとることとし、表面は視覚的に図で理解するとともに裏面に説明文を記載する紙芝居形式で作成することが、マニュアル委員会内で合意された。

マニュアルの章立ては、次のとおりであり、作業を進める過程で JICA 本部の見解を踏まえ、また CP と協議を重ねながら、CP のニーズを尊重し更に必要な章を追加していった。また各章の構成については、対象層の実施の手法とあわせて内容は異なる。

表 2-32 : マニュアル章立て (ドラフト)

	NCWD	SMWA	WDO
はじめに	マニュアルの使い方	マニュアルの使い方	マニュアルの使い方
第 1 章	WDC 活性化とは	WDC 活性化とは	WDC 活性化とは
第 2 章	アドボカシー	アドボカシーと啓発活動	WDC 活性化：サービスの質
第 3 章	活動実施計画書策定	活動実施計画書策定	WDC 活性化：肯定的な認識
第 4 章	モニタリング	モニタリング	WDC 活性化：マネジメント
第 5 章	報告	報告	WDC 活性化：他との連携
第 6 章	小規模事業を始めるにあたり	小規模事業を始めるにあたり	報告
第 7 章	データベース利活用	グッドプラクティス	活動実施計画書策定
第 8 章	グッドプラクティス		モニタリング
第 9 章			小規模事業を始めるにあたり

2014 年 9 月に実施された活動実施計画書策定ワークショップでは、活動実施計画書策定にかかるマニュアル・ドラフトを各州で用い、マニュアル利用者のフィードバックを得る機会とした。結果は概ね好評であり、ワークショップでは指導がし易かった、理解し易かったとの反応が多かった。

各章は順次策定され、関係者からのフィードバックをもとに、マニュアル委員会を中心にマニュアル・ドラフト作成作業が継続して行われた。11 月に開催されたアブジャでの州コア会合

では SMWA と WDO 用のマニュアル・ドラフトが州関係者と共有され参加者からのフィードバックを得た。また、12 月に開催されたナショナル・ワークショップでは、同マニュアル・ドラフトを全 36 州の SMWA に紹介し、フィードバックを得た。これらを反映し、NCWD にて最終版（案）を策定し、2015 年 2 月に予定¹³されている総選挙後に行われる予定の全国女性評議会にて確認を得て出版する予定である¹⁴。

2014 年 10 月には実務参考書となるマニュアルの品質向上を考慮し、研修教材作成の日本人専門家を追加要員として配置した。

活動 3-5：全国の SMWA 並びに関連主要機関に対する知見共有のワークショップの開催

2014 年 12 月 11 日に、全 36 州の SMWA と SMLG 関係者（PS・Director）を招いて実施された。本会議では、プロジェクトの達成について、プロジェクト・マネジャーが発表したのちに、マニュアル委員会の議長により、マニュアル・ドラフトの紹介が行われた。マニュアル・ドラフトは、特に SMWA 用と WDO 用のものを紹介し、内容に関するコメントや意見を収集した。参加できなかった州には、マニュアル・ドラフトを郵送しフィードバックを求めた。

12 月の年末と選挙準備期間が重なる時期であったため、他州からの参加者は多くは見込めず、結果的には 3 州（Plateau、Yobe、Kogi）からの参加となった。今後、マニュアル委員会でのさらなる協議により、マニュアル最終版が完成したのちに、NCWD が全州を集めてワークショップを開催し、本格的にマニュアルの普及に取り組むこととする。

活動 3-6：全国女性評議会におけるプレゼンテーション実施

全国女性評議会は、2014 年 11 月にベヌエ州での開催が延期となり、今後の開催日程は選挙後とされているが、日時は未だ決定していない。開催の際には、NCWD が用意するメモランダムに、WDC 活性化プロジェクトの進捗（マニュアル紹介を含む）を含め、関係者に周知させるものとする。また、可能であればプロジェクト作成の普及・啓発ツールも、本会場での配布を検討することとする。

2-4. その他の活動

JCC

JCC は、2013 年 12 月上旬と 2014 年 12 月上旬に開催された。各回の参加者と議題は、次の通り。

表 2-33：JCC 概要

	第 2 回 JCC ¹⁵	第 3 回 JCC
開催日	2013 年 12 月 4 日	2014 年 12 月 3 日
参加者	計 60 名	計 43 名

¹³ ナイジェリア国選挙管理委員会は、2015 年 2 月 9 日までに大統領選の延期（3 月 28 日）を発表。

¹⁴ ナショナル・ワークショップに参加できなかった州にはマニュアル・ドラフトを郵送しコメントを得た。

¹⁵ プロジェクト前半にて、第 1 回目の JCC を開催している。

	6州代表 ¹⁶ :計33名、NCWD:21名、JICA事務所:3名、JICAプロジェクトチーム:3名	6州代表 ¹⁷ :計14名、NCWD:17名、終了時評価団:4名、JICA事務所:2名 JICAプロジェクトチーム:6名
議題	<ul style="list-style-type: none"> ① 2013年11月～2014年11月の活動進捗・成果達成 ② 6州からの活動進捗 ③ 第1回モニタリング結果発表 ④ 課題論議 ⑤ 提言 ⑥ 今後一年の活動計画、改訂行程表(Plan of Operation: PO)の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ① 活動進捗・成果達成報告 ② 対象6州SMWAからの活動報告 ③ WDC活性化データベースの発表、対象6州WDC活性化状況マッピング結果の共有 ④ 終了時評価調査結果報告 ⑤ 終了時評価ミニッツへの署名

第2回JCCでは、プロジェクトの2012年11月から2013年10月までの一年間の活動の進捗を報告するとともに、対象州の活動の進捗と課題を共有する場とした。2013年11月に実施された第1回モニタリング調査の結果が報告されたのち、プロジェクト・マネジャーより今後一年の計画が周知され、POのVersion2が承認された。

第3回JCCでは、プロジェクト・マネジャーが第2回JCC(2013年12月開催)以降の活動報告を行い、各活動を通じてNCWD、州関係者(SMWA/SMLG)の能力強化が十分に行われたことを説明した。NCWDのDGからは、予算確保、配布の遅れなどの課題がありながらも、WDCのマネジメントスキルの向上、コミュニティのWDCに対する肯定的認識の高まりは特筆すべき成果であると伝え、さらにフェーズ2実施期間にもWDC活性化モデルを他の6州¹⁸へ展開したことも報告された。

また、JCCに出席することのできた対象州のうちの4州からは、ラジオを使ったコミュニティ啓発による生徒数の増加、独自で行った教会での啓発ワークショップ(アナンブラ州)、WDCの新設・機材供与の実施、卒業生支援の取り組み(カノ州)、SMWAによるWDC関係者対象の能力強化研修の開催、州ステークホルダー定例会議の開催(ナイジャ州)等の活動が報告され、パイロット活動を通じて変化が生じていることが伝えられた。

プロジェクトの完了にあたり、プロジェクト・マネジャーはWDC活性化を持続的に発展させていくために次の行動が取られるべきだとして、NCWDは2015年2月以降の他州展開を確認するとした。WDC活性化のためには、①SMWA/SMLGと州政府間の更なる連携が必要であること、②多くのWDCが、予算計画書の不十分さに起因する資金不足から目標達成できていないこと、③LGAと州政府は活動予算の確保を目指して、より啓発活動に注力すること、の3点が重要であるとした。詳細は、別添5の議事録を参照。

連邦女性社会開発省への表敬

連邦女性社会開発省(Federal Ministry of Women Affairs and Social Development: FMWASD)への表敬が2回行われた。

第1回目は2014年8月28日に行われた。当時のPSは以前NCWD職員であったことから本プロジェクトのフェーズ1を含め、本プロジェクトに対し造詣が深く、特にWDC活性化ガイ

¹⁶ 州事務次官(Permanent Secretary)、SMWA局長(Director)、SMLG局長(Director)、HOC。

¹⁷ 州事務次官(Permanent Secretary)、SMWA局長(Director)、SMLG局長(Director)、HOD。

¹⁸ Ebonyi, Ekiti, Oyo, Adamawa, Gombe, Zamfaraの6州に展開。

ドラインや研修教材、マニュアル等への関心が高いため、全国で建設中の技能習得センター¹⁹ (Skill Acquisition Centre) においても、WDC 活性化ガイドラインや本プロジェクトで開発される研修教材等を活用していきたいとの意向であった。技能習得センターは、地方の女性のみならず、若者や障害者も対象とし、生計向上手段の確保のための技能を提供するものである。全国の就業支援と雇用対策を目的に設置され、1 センターあたり年間 500 名の受益者を見込んでいる。PS からは、本プロジェクト実施への感謝とともに、ナイジェリアのジェンダー分野における更なる協力及び JICA への期待が表明された。

第 2 回目は、2014 年 6 月に、同じく FMWASD の PS を JICA ナイジェリア事務所・NCWD プロジェクト・コーディネーターとともに表敬し、プロジェクトの進捗を報告した。特に過去 6 ヶ月の主な活動を共有するとともに、本プロジェクトの業務進捗報告書、ニュースレター、リーフレットを進呈した。PS からは、JICA の支援に対する感謝と WDC 活性化普及へのコミットメントが表明された。

本邦研修

当プロジェクト関連本邦研修の参加者（2013 年 6 月以降～2014 年 3 月）は次のとおりである。

表 2-34：本邦研修参加者リスト

	氏名	所属先	研修名	研修期間
1	Halima Shero Yanki	クワラ州 Baruteen WDC 講師	Development and Marketing of Processed Agricultural Products for Better Living of Women in Farming Communities	2013 年 8 月 28 日 ～同年 10 月 11 日
2	Ramata Bimbola Mohammed	クワラ州 Ilorin West WDC センター長	同上	同上
3	Amina Sadeeq Omar	NCWD	Empowerment of Rural Women	2013 年 9 月 23 日 ～同年 12 月 7 日
4	Maryam Ibrahim	ナイジャ州 Minna Multipurpose Centre センター長	同上	同上
5	Jude Onyebuchi Nwakeme	アナンブラ州 本プロジェクトの デスクオフィサー	Life Improvement Activity and IGA (Income Generation Activity) for Small Rural Communities in African Countries	2014 年 1 月 13 日 ～同年 3 月 1 日
6	Mr. Abdul Bolakale A	PRS, NCWD	課題別研修「アフリカ地域：地域資源を活用した地域振興支援政策」(Supporting Regional Development by Utilizing Local Resources in Africa)	2014 年 5 月 6 日 ～同年 6 月 7 日
7	Ms. Atu Adiah Ibanga	クロスリバー州 本プロジェクトの デスクオフィサー (SMWA)	課題別研修「アフリカ地域・生活改善アプローチによる農村コミュニティ開発」(Rural Community Development by Life Improvement Approach for Africa)	2014 年 7 月 6 日 ～同年 8 月 23 日

¹⁹ FMWASD は、全国で 77 施設設置する予定であり、うち 24 施設が完成している。

マンスリー・ミーティング

メンバー間、並びに日本人専門家とメンバー間の情報共有の一環として、原則として毎月最終月曜日にマンスリー・ミーティングの開催を2013年7月以降、毎月行った。マンスリー・ミーティングの主な目的は、当該月のプロジェクト活動の進捗状況の共有、並びに翌月の活動予定を確認することである。開始当初から回ごとに改善を重ね、NCWDプロジェクト・メンバーのプロジェクトへの理解促進を図ってきた。

NCWDプロジェクト・メンバーが全員出席できないこと、また出席しても途中入退出が多いことを踏まえ、月例会の配布資料に当該月に予定していた活動と実績及び状況を表でまとめ、かつ翌月の活動予定を記載することで、出席者・欠席者の双方が進捗状況を共有できるように改善し、またそれをプロジェクト・マネジャー確認済の議事録として回覧することとした。また、事前にアジェンダを作成し内容を協議することで、ミーティングでは日本人専門家が介入することなく、ほぼプロジェクト・コーディネーターがミーティングを進行して行われた。

2013 National Ministerial Platform における本プロジェクトの紹介

2013年6月25日に発表された連邦女性社会開発省大臣 Ms. Hajiya Zainabu Maina のプレス向け資料において、NCWDのWDC活性化の活動が、草の根の女性のエンパワーメントと貧困削減を目的として全国774のLGAで展開されていることが取り上げられた。また、JICAの技術協力により、パイロット州のWDCの講師の訓練、機材の供与などが実施されており、NCWDがこのモデルを全国に波及する役割を果たすことも明記された。本資料は、プロジェクト・マネジャーにより日本人専門家に共有され、JICAナイジェリア事務所にも報告された。

ナイジャ視察

2014年2月まで、治安の状況により日本人専門家の対象州への渡航が禁止されていたが、ナイジャ州へ渡航可能となったことを受け、計3回²⁰、日本人専門家がナイジャ州を視察した。

■SMWA・SMLGへの表敬と進捗状況確認（2014年2月25日～27日）

2014年2月に日本人専門家がナイジャ州を視察した。視察の主な目的はSMWA、SMLGへの表敬と本プロジェクトが対象とする3つのWDCの進捗状況確認であった。

3WDCとも、LGAによりセンターの新築や改修、毎月のWDC運営費、卒業生に対して必要な機材や材料が与えられていた。また夫との会合やWDC製品販売を通じてWDCの存在や意義がコミュニティで認識されるようになった。3WDCとも生徒出席簿、講師同士のミーティングの記録、WDCの活動報告書など、丁寧に行われていた。プロジェクト開始時に比べると、3WDCとも入学希望者が大幅に増えており、その結果、全員を受け入れられない、増加した生徒数に比して機材の数が足りないなどの課題が生じていた。

SMLGは対象3LGAがWDCに予算措置をするよう働きかけ、対象3LGA以外のLGAにもWDC活性化の予算を配賦するよう働きかけている。また、SMWAは2013年に州内の25WDC

²⁰ 終了時評価団が行ったナイジャ州におけるインタビュー調査（2014年11月26日、27日 プロジェクト専門家同行）は除く。

のうち 16 の WDC に対して機材を供与した。さらに、州都にある SMWA 管轄の WDC において、全 WDC から講師を 2 名ずつ招待し、スキルアップ研修を実施した。

■モニタリング調査同行（2014 年 8 月 19 日～22 日）

2014 年 8 月 18 日から 23 日（及び 25 日）に対象州 6 州で実施されたモニタリング調査のうち、日本人の渡航が可能であるナイジャ州に、専門家が同行し、現場にて NCWD プロジェクト・メンバーを含む調査チームへの指導を直接行った²¹。（現場にて日本人専門家が指導した内容は、①インタビューの環境・プライバシーへの配慮、②タイムマネジメント、③言語の問題、通訳の手配、質問票の理解、④チームワーク、コミュニケーション、⑤NCWD メンバーによる州職員への指導、リーダーシップ、⑥準備やロジの 6 点である。

今回のナイジャ州への出張では、パイコロ LGA 長やナイジャ州 SMWA 長官（コミッショナー）を表敬し、プロジェクト活動へのコミットメント、自立発展性への意思を確認するとともに、ニュースレター、リーフレット等の啓発ツールを進呈することができた。また、SMWA に対しては、2014 年度の WDC 予算が半減していることを提起し、後半での努力を求めた。

なお、同活動には、JICA ナイジェリア事務所から本プロジェクト担当者と事務所現地職員が同行・視察した（8 月 21 日～22 日）。

■活動実施計画書策定ワークショップ同行（2014 年 9 月 8 日～12 日）

2014 年 9 月 8 日～12 日（5 日間）に開催した活動実施計画書策定ワークショップ²²に際し、日本人専門家がナイジャ州へ同行した。今回は表敬等を行わず、同ワークショップを行うプロジェクト・メンバーの進め方と質疑内容への補足に注力した。例えば、予算策定に関しては（活動 2-5）、昨年作成した 2014 年度の活動実施計画書をレビューする際に、予定の活動が出来なかった理由を「予算が配賦されない」と捉え、それ以上の理由を考えない傾向がみられた。そのため予定通り行うことができた活動と比べて、アプローチに違いはなかったのか、計画のタイミングはどうだったのか、予算額は適正だったのか等も考えるよう指導した。また WDC 報告書に関して、対象 3WDC/LGA の HOC 及び WDO に対して報告書フォーマットに従った記載について専門家と NCWD メンバーで指導した。

国内向け広報

■プロジェクト・ニュース発行

JICA ホームページにプロジェクト活動を取りまとめたプロジェクト・ニュース（WDC 通信）を原則毎月発行し、掲載した。第 21 号（2013 年 7 月）から特別号（2014 年 2 月）を含む第 38 号（2014 年 12 月）までの計 19 号の WDC 通信が発行された。

■メディア取材対応

プロジェクトでは次のメディアからの取材依頼への対応を行った。

²¹ モニタリング活動については、右の「活動 3-2：定期的にモニタリングを実施し、グッドプラクティス及び教訓を収集する」参照。

²² 活動内容は、右の「活動 2-4：パイロット WDC 活性化のための活動実施計画書（Action Plan）の作成支援」、並びに「活動 2-5 対象州関係者（SMWA、SMLG）への予算策定計画ワークショップ」参照。

表 2-35：メディア取材対応一覧

日程	依頼元	取材内容	掲載
2014年3月	国際開発ジャーナル社	JICA 広報誌「mundi」特集ジェンダー号における本プロジェクト紹介記事「生きる力を育む学び舎 ナイジェリア」	2014年5月号
2014年5月	フジテレビ	ナイジェリア北部で起こった女子生徒誘拐事件に関連し、ナイジェリア北部の女性の状況・女子生徒の就学事情について	5月の取材日の「スーパーニュース」
2014年6月	読売新聞	ヨハネスブルグ支局から記者がナイジェリアに出張。ナイジェリア女性の状況、専門家の国際協力への関わり、プロジェクト活動について	読売新聞欧州版に9月に掲載
2014年7月	国際開発ジャーナル社	JICA 広報誌「mundi」 2014年5月号の英文内容の確認	JICA's World VOL6、NO.2 掲載
2014年7月	The Japan Journal	国際協力 60周年特集の中でジェンダー案件の事例としてプロジェクトの紹介	The Japan Journal 10月号掲載
2014年9月	NHK ラジオジャパン	プロジェクトの紹介 専門家の国際協力への関わり	仏語圏アフリカ向け放送で10月放送

終了時評価

プロジェクトの完了に伴い、2014年11月19日～12月4日に終了時評価が実施された。JCCを終了時評価調査に合わせた12月3日に開催し、他議題とともに終了時評価の結果が共有された。終了時評価調査結果は、本報告書「第4章プロジェクト目標の達成度」にて記載している。

プロジェクトの今後についての検討

本プロジェクトの終了を控え、NCWD プロジェクト・メンバーのうち主要メンバーと①プロジェクトの成果と課題、並びに②残された課題を解決する方策について議論を重ねた。協議の結果は、プロジェクト・コーディネーターが取りまとめ、プロジェクト・マネジャーの承認の後、2014年7月に JICA ナイジェリア事務所に提出した²³。

JICA からの NCWD 訪問監事による NCWD 訪問

■JICA 町井監事の訪問

2014年4月、JICA 町井監事が NCWD を視察し、DG 及びプロジェクト・マネジャーと意見交換を行った。

■JICA 加藤理事の訪問

2014年5月に JICA 加藤理事がナイジェリアで開催された世界経済フォーラム出席にあわせ、NCWD を訪問し、DG 及びプロジェクト・マネジャーと意見交換を行った。

供与・携行機材実績

²³ “Memo on Project Proposal to Continue Activation of Women Development Centres in Nigeria to Improve Women’s Livelihood in Collaboration with Japan International Cooperation Agency (JICA)”

プロジェクト期間中に供与・携行した機材は、プロジェクト完了時に NCWD への引渡しを行った。機材一覧及び引渡確認同意書は、別添 7-⑭のとおりである。

第3章 プロジェクト運営実施上の課題・工夫・教訓

プロジェクト運営実施上の課題とそれに対して講じた工夫・解決策は次のとおりである。

表 3-1：課題と工夫・解決策

	課題	工夫・解決策
1	WDC 活性化における各機関の役割・責任への理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ NCWD プロジェクト・メンバーは、SMWA が WDC 活性化の実施主体であり、NCWD は SMWA を監督・助言・支援する役割であることを十分に理解していなかったため、各活動やミーティングを通して各機関の役割・責任を明確にし、活動実施計画書策定、モニタリングや州ステークホルダー定例会議など各州で実施する活動は SMWA、SMLG 主体とするよう促していくこととした。 ・ 対象6州の関係者をアブジャに集め開催する州コア会合を通じ、プロジェクトの進捗、今後の予定、課題を共有してきた（2013年10月、2014年3月、2014年11月開催）。この積み重ねにより、州関係者のプロジェクトへの理解とコミットメントは着実に高まった。 ・ また、州でのモニタリング調査、活動実施計画書策定ワークショップ、日本人専門家の州及び WDC への訪問と現地指導（ナイジャ州）などの活動により、プロジェクトの目的、成果等がより明確に州関係者に伝えられた。 ・ NCWD のプロジェクト・メンバーの指導により、これらの活動毎に、プロジェクトの目指す州の自助努力と自立発展性についても十分に奨励され、州関係者の責任感が高まっている。 ・ また、NCWD プロジェクト・メンバーは、州コア会合、モニタリング調査、活動実施計画書策定ワークショップなどの現場における指導をすることにより、責任感が増し、コミットメントを高めた。
2	モニタリングの枠組みの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト・メンバー間で、NCWD の役割は州や LGA の WDC への支援活動を後方支援するものである、という考え方が徹底していなかったため、NCWD が直接センターのモニタリングを行うのではなく、あくまで州や LGA のモニタリング活動を指導する立場であることを、ミーティングなどを通じてメンバーに再確認した。 ・ モニタリングに使用するフォーマットを州職員が対応できるレベルに修正した。また、活動 3-1 のプロセスを経て、質問票の改訂を重ねた。
3	フォーカル・パーソンを中心とした州の能力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーカル・パーソンを中心とした対象6州の指導と支援について、組織内でのフォーカル・パーソンの位置づけや役割を明確にするよう、TOR（業務権限）の確認などプロジェクト・マネジャーと協議した。 ・ 州の活動実施計画書のフォローアップや、レポートへのフィードバックが NCWD によって十分に実施されていなかったため、プロジェクト活動にてフォーカル・パーソンを中心とした支援体制を整えた。 ・ 州コア会合、モニタリング調査、活動実施計画書策定、州

		<p>ステークホルダー定例会議など、州関係者が関わる活動に関する連絡は、フォーカル・パーソンを通じて行うことが定着した。フォーカル・パーソンは、州のデスクオフィサーと密な関係を構築しており、自身の役割と責任を十分に自覚し、活動ごとに、様々な指導と意見交換を積極的に行うようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子メールと電話を活用しているが、中央と州間の連絡には携帯電話での通信が主要である。フォーカル・パーソンには、月極で携帯電話通話カードを配布し、州との連絡を十分に行えるよう活動意欲を促進した。
4	委員会の役割と活動	<ul style="list-style-type: none"> 情報委員会や、福祉委員会、文具、会場設定係などの委員会は実働しているが、文書作成、報告書作成、カリキュラム作成、データ分析などの委員会は不活発であったため、活動ごとにそれぞれの委員会のコミットメントを向上させるよう働きかけをすることとした。 プロジェクト活動を準備する際には、各委員会の役割を確認し、委員会の能動的な活動と呼び掛けた。プロジェクト活動が進むにつれ、それぞれの委員会メンバーに各自の役割が少しずつ自覚されてきた。特に委員長が意欲的な委員会は動きが活発であり、日本人専門家とともに委員会メンバーを集めた打合せを開催しながら活動を進めてきた。 <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースレター委員会は、ニュースレターの企画・執筆・編集等を行い、2013年12月(1号)、2014年9月(2号)、同年12月に特別号を編集し、出版した。 マニュアル委員会は、NCWD、SMWA、WDO 向けのマニュアル・ドラフトの修正、編集を行った。 福祉委員会は、主に研修やワークショップ等での、軽食・昼食の調達を行った。
5	プロジェクト・メンバーの編成見直し	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト・メンバーのうち、本来業務が多忙で、プロジェクト活動に関われないメンバーの交替について、プロジェクト・マネジャーとの協議を継続してきたが、組織内の事情により交替という手段はとれず、活動ごとに適正なメンバーを選ぶことで対応した。 このメンバーに対しては、準備から実施、指導、成果物取りまとめまでの一連の流れを責任持って担当させることで、日々の業務を通じた NCWD プロジェクト・メンバーの能力強化に取り組んだ。
6	メンバー間の情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 2013年7月よりプロジェクト・マネジャーの招集により、マンスリー・ミーティングを開催している。 マンスリー・ミーティングが定着し、プロジェクト・コーディネーターの会議進行能力も向上した。メンバーも、前月の活動と次月の予定について十分に理解を深めた。 議事録は、プロジェクト・マネジャー確認後、全メンバーに配布することで情報共有が促進された。 これら一連の流れが定着し、メンバー間によるプロジェクト活動の透明性が確保された。
7	コスト・シェアリング/予算拠出の遅れ	<ul style="list-style-type: none"> NCWD への国家予算は、FMWASD は通らずに、直接、財務省から配賦・送金されるため、NCWD の DG に対し、プロジェクト活動への積極的な予算付けを行うよう継続して求め

		<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 但し、国家としての予算承認は遅れ、2014年は2014年8月に承認及び一部送金となり、NCWDの範疇を越えている状況も留意した。 ・ NCWDが負担する経費に関しては、活動ごとにコスト・シェアリングの努力を粘り強く求め、DGとプロジェクト・マネジャーとの協議を重ねてきた。 ・ 2014年は、8月に国家予算承認・配賦後に、モニタリング（8月）と活動実施計画書策定ワークショップ（9月）は、予定どおりNCWDが負担分を拠出した。 ・ 但し、それ以降は、先方予算が供出されないまま終了を迎えた。これは、財務省から一部しか予算が送金されていないことの影響である。このため、州でのステークホルダー定例会議は、NCWDプロジェクト・メンバーが直接参加することなく、カドゥナ州とナイジャ州の2州で2014年11月に開催された。
8	<p>治安上の理由により、遠隔操作となることへの対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治安の悪化が懸案事項となっており、日本人専門家の対象州6州への渡航については、2014年2月にナイジャ州への渡航が許可されたが、他5州への渡航は継続して制限されてきた。 ・ このような状況を鑑み、対象州への指導は、NCWDメンバーが行う指導をプロジェクトが間接的に支援する形をとった。この間接的支援に加え、プロジェクトは各州関係者が一同に集まる機会として、州コア会合を設け、実質的には日本人専門家が各州関係者と直接話し合うことが可能となった。また、この機会を通じ、各対象州関係者間での情報交換が行われ、知見を学び合うことのできる機会ともなった。 ・ プロジェクトは、NCWDプロジェクト事務所での日々の業務を通じてNCWDメンバーの能力強化を日常的に図った。日本人専門家による直接的な業務指導によって、NCWDメンバーの実務能力とマネジメント能力が向上した。 ・ ナイジャ州へは、2014年2月に進捗状況確認を行い、2015年度の活動実施計画書策定ワークショップ（同年8月）と第2回モニタリング調査実施時（同年9月）に日本人専門家が同行でき、ワークショップや調査時のファシリテーションに関してNCWDメンバーへの直接的な指導を行うことができた。
9	<p>プロジェクトの出口戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ NCWDプロジェクト・メンバーにより、本プロジェクトの成果と課題を分析して、次期案件に必要な活動を整理した。終了時評価の際には、JICA次期案件は行われず、適宜モニタリングをしながら、必要に応じてフォローアップ協力を検討する旨整理された。

第4章 プロジェクト目標の達成度

4-1. 成果1の達成度

指標 A：少なくとも3種類のユーザーフレンドリーな研修教材が終了時まで開発される

【達成】本プロジェクトでは、計20種類の研修教材が開発された。研修教材は、研修ニーズ調査に基づいた人材育成研修計画（Total Training Plan）に基づいて作成されており、州関係者に分かりやすいように、パワーポイントを用いて実務的に作成されている。また、州コア会合などの機会を利用して、州関係者のニーズやモニタリング等から得られた現場の状況にあわせ、改訂を重ねた。

表 4-1：開発された研修教材

#	トピック	目的
能力強化		
1	Budget Preparation (予算策定)	州・LGA 関係者向け研修教材
2	Situation Analysis (状況分析)	
3	Action Plan Development (revision with budgeting included) (活動実施計画書策定)	
4	Team Building (チーム・ビルディング)	
5	Management (マネジメント)	
6	Gender (revision included) (ジェンダー)	
7	Micro-credit (小規模金融)	
8	Micro Enterprises (小規模事業)	
9	Cooperative Society (協働組合)	
10	Business Education (ビジネス教育)	
11	Business Plan (ビジネス・プラン)	
12	Organizational Development (組織マネジメント)	
会計・報告書システム		
13	Book Keeping (会計)	州・LGA 関係者向け研修教材
14	Reporting System (レポート・システム)	
15	Review Report Writing with Example (報告書作成)	第2回州コア会合向け研修教材
データベース		
16	Utilizing "WDC Activation Database (Microsoft Access)" - 1 (データベース活用)	NCWD 向け研修教材
17	Utilizing "WDC Activation Database (Microsoft Access)" - 2 (データベース活用)	
調査・モニタリング		
18	Conducting Interview (インタビュー方法)	NCWD 向け研修教材
19	How to Write Monitoring Report? (モニタリング報告書作成方法)	
20	What is Recommendation and Lesson Learnt? (提言・教訓とは)	

指標 B：開発された啓発資料の数

【達成】計5種類の啓発資料が関係者の意識啓発のために開発された。コミュニティのWDCに対する肯定的認識の向上のために作られたポスターやチラシ、カレンダー、州やLGA関係者へプロジェクトの情報を提供するニュースレターやリーフレットに加え、対象州内に放送され

たラジオ番組の反響が良かったことを確認している。ラジオ放送は、SMWA、SMLG、WDO として HOC のほかにも、コミュニティ・リーダーや生徒、卒業生、夫などを招き、それぞれの州で独自のインタビューを放送した。

表 4-2 : 開発された啓発資料

資料名		作成時期/部数	対象/目的
アドボカシー・啓発資料			
1	ポスター/ チラシ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2012 年作成 : 1,000 部 ・ ハウサ語、ヨルバ語、イボ語、ピジン英語にて作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲット : 連邦中央政府、中央機関、FCT ・ ターゲット : WDC 生徒、WDC のあるコミュニティ
2	カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2013 年作成²⁴ ・ 2014 作成 : 1,000 部 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティにおける WDC の肯定的認識の向上 ・ プロジェクト活動に対する理解促進
3	ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象州 6 州における 10 週間分の放送 (2014 年 1 月から 5 月) ・ 30 分番組 (ハウサ語、ヨルバ語、イボ語、バトゥヌ語、ピジン英語) ・ 女性が聴く事のできる時間帯に放送 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲット : 女性、コミュニティ、州政府、LGA ・ 女性のエンパワーメントにおけるコミュニティの意識向上 ・ WDC が提供するサービスにより受けられる利益についての広報
プロジェクト紹介・啓発資料			
4	プロジェク ト・ニュース レター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2013 年 ・ 2014 年 9 月 ・ 2014 年 12 月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲット : 連邦中央政府、FCT 内関係機関、対象州 (州政府・LGA)
5	リーフレット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2012 年作成 ・ 2013 年 4 月更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト活動の紹介 ・ WDC と女性のエンパワーメントに対する意識向上

指標 C : TOT に参加した NCWD のプロジェクト・メンバーの 60%が、州対象の研修のリソース・パーソンとして研修を行う

【達成】TOT を受講した NCWD のプロジェクト・メンバーの 23 名が、州の関係者に 1 回以上の研修を実施している。次の表の通りプロジェクト期間を通して、合計 12 回の研修が NCWD のプロジェクト・メンバーをリソース・パーソンとして州関係者に対して行われた。

²⁴ プロジェクト前半作成のため作成部数は不明。

表 4-3 : NCWD が州関係対象に実施した研修

研修名	州名			
	カノ	ナイジャ	カドゥナ	アナンブラ クロスリバー クワラ
能力強化： ・ Organizational Management （組織マネジメント） ・ Business management（ビジネス・マネジメント） ・ Action Plan Development（活動実施計画書策定）	2012.12	2012.12	2012.12	2012.12
Action Plan Development including budgeting（予算計画を含む活動実施計画書策定）	2011.5	2011.5	2012.9	2013.2
能力強化： ・ Team Building（チーム・ビルディング） ・ Management（マネジメント） ・ Gender（ジェンダー） ・ Women Empowerment（女性エンパワーメント） ・ Community Development（コミュニティ開発）		2012.5	2012.5	
Office Management（職場マネジメント）		2012.7 2012.9		
IT（コンピュータースキル）	2012.11	2012.11	2012.11	出席せず
活動実施計画策定ワークショップ（2013）	2013.7：カドゥナ、クロスリバー、アナンブラ、クワラ 2013.9：カノ、ナイジャ（7月と同様に計6州にて、各5日間）			
活動実施計画策定ワークショップ（2014）	2014.9：対象6州（5日間）			
第1回モニタリング調査	2013.11：対象6州			
第2回モニタリング調査	2014.8：対象6州			
第1回州コア会合（SMWA、SMLG、HOD、WDO） ・ プレ・モニタリングワークショップ ・ レポーティング・システム（含む、グループワーク）	2013.10：州関係者（SMWA、SMLG、LGA/WDO） （3日間、場所：NCWD）			
第2回州コア会合（SMWA、SMLG、HOD、WDO） ・ 第1回モニタリング調査結果報告 ・ WDC データベース構築 ・ 州ステークホルダー定例会議開催準備	2014.3：州関係者（SMWA、SMLG、LGA/WDO） （3日間、場所：NCWD）			
第3回州コア会合（SMWA、SMLG、HOD、WDO） ・ 第2回モニタリング調査報告 ・ WDC 活性化に係る目的のレビュー ・ データベース構築のための情報収集調査の結果報告 ・ 女性のエンパワーメントとコミュニティ開発 ・ レポーティング・システム ・ 報告書作成 ・ 州ステークホルダー定例会議開催報告（カドゥナ州、ナイジャ州）	2014.11：州関係者（SMWA、SMLG、LGA/WDO） （3日間、場所：NCWD）			

4-2. 成果2の達成度

指標 A: 対象 SMWA が少なくとも年に1回、州でのステークホルダー定例会議を開催する

【部分的に達成】州レベルでのステークホルダーの連携とネットワークを図るように、プロジェクトでは、6州の関係者が一同に集まる州コア会合の機会を用いて対象州の SMWA に指導を行ってきた。州コア会合はプロジェクト期間中に3回開催されており、それぞれの回にステークホルダーの意義と役割、ステークホルダー定例会議の詳細計画などを話し合ってきた。その

結果、2014年には、カドゥナ州とナイジェラ州の2州にて、州ステークホルダー定例会議の実施に至り、多くの関係者にWDC活性化の重要性を知らせることができた。しかし、その他の4州では、未だ州の自助努力によるステークホルダー定例会議は開催されておらず、NCWDによって本会議の意義についてさらに指導する必要性が見受けられる。

指標 B : WDC に登録する女性の数が 30%増加する

【ほぼ達成】 ベースライン調査と第1回及び第2回のモニタリング調査でのデータ収集の結果から、プロジェクト対象18WDCのうち13のWDCにおいて、登録生徒数が増加していることがわかった。登録数の変化は以下の表の通りである。

表 4-4 : WDC への登録数の変化

対象州		WDC 生徒登録者数			増加率%	
州名	WDC	【1】 ベースライン調査 (2011/2012)	【2】 第1回モニタリング調査 (2013.11)	【3】 第2回モニタリング調査 (2014.2)	【1】 → 【2】	【2】 → 【3】
アナンブラ	Idemili North	0	70	140		100%
	Ogbaru	データ無し	135	167		24%
	Orumba South	データ無し	130	120		-8%
クロスリバー	Abi	25	45	52	80%	16%
	Akampka	0	32	27		-14%
	Ogoja	18	40	62	122%	55%
カドゥナ	Igabi	データ無し	30	48		60%
	Jaba	データ無し	75	85		13%
	Zaria	64	50	85	-22%	70%
カノ	Dala	40	40	68	0%	70%
	Dawakin Tofa	80	40	31	-50%	-23%
	Wudil	80	35	160	-56%	357%
クワラ	Baruten	31	50	105	61%	110%
	Iferodun	60	78	78	30%	0%
	Ilorin West	82	141	104	72%	-28%
ナイジェラ	Agaie	17	51	24	200%	-53%
	Paikoro	データ無し	160	162		1%
	Wushishi	40	95	128	137%	35%

第2回モニタリング調査では、登録数増加の理由として、1) WDC のサービスの質が向上し、卒業生支援のスキームが紹介されたこと、2) WDO や HOC のマネジメント能力が向上したこと、3) 収入向上のための技術習得の場として、また社会的エンパワーメントとネットワーキングの場として WDC が認識されたこと、などが挙げられた。

WDC 登録生徒の増加率には 18WDC の間で大きな差が見られた。これは、WDC のコース開講の時期、及び、WDC の生徒受入れ状況の違いに因ると考えられる。登録生徒数については、第1回及び第2回のモニタリング調査にて「現在、WDC に登録している生徒数」を尋ねてい

る。18WDC 間で調査時期を同一にしているが、各 WDC でクラス開講の時期が異なるために、調査時に次期クラスの登録の最中であるために生徒数が少ない例が見られた。また、WDC 希望者の増加に伴い、希望者の多くを受け入れる WDC もあれば、機材や教室の規模を考慮して登録生徒数を制限する WDC もあった。更に、第 1 回モニタリングは 2013 年 11 月に実施しており、フェーズ 2 開始から 2 年 9 ヶ月が経過していたことから、WDC への希望者は既に十分増加していたため、第 1 回モニタリングから第 2 回モニタリング（2014 年 8 月）の間に大きな変化が見られない WDC もあった。

指標 C：対象 LGA の 50%が WDC 活性化のための予算を増やす

【達成】LGA の WDC 活性化予算については、ほとんどの LGA でデータを入手できないが、予算増加を示唆する様々なケースが各州で見受けられた。LGA 予算で WDC を改修・増築した例や、WDC に資機材や卒業生支援を配布する等が挙げられる。

対象 18WDC のうち、新しい WDC を建設したケースが 3 件、改修したケースが 9 件、機材供与のケースが 10 件みられた。また、卒業生支援として資機材や資金を配布したケースが 9 件見られた。これらは第 2 回モニタリング調査の結果であり、ベースライン調査時と比較して、大きな変化といえる。

4-3. 成果 3 の達成度

指標 A：州がそれぞれ少なくとも 2 個のグッドプラクティスや教訓を集める

【達成】第 1 回、第 2 回のモニタリング調査、および州コア会合での聞き取り、グループワークなどから、数多くのグッドプラクティスが、SMWA、SMLG、WDO から収集されている。グッドプラクティスは、州別と WDC 活性化の 4 側面の要素ごとにまとめられ、マニュアルにも取りまとめられた。（本報告書では、WDC 活性化 4 側面別に取りまとめたものを別添 7-⑩に添付）

指標 B：NCWD、SMWA、WDO 用のユーザーフレンドリーなマニュアルを開発する

【プロジェクト完了時までに達成】本マニュアルは、NCWD、SMWA、そして WDO それぞれの実務参考書となるものである。マニュアルの構成は活動 3-4 に記載している表 2-32 のとおりであり、具体的な各ステップが説明されるとともに、プロジェクト活動から得られた知見と教訓を集約している。2014 年活動実施計画書策定ワークショップでは、マニュアル委員会が作成したマニュアル・ドラフトの「活動実施計画書策定」に沿って実施され、ワークショップ参加者からのフィードバックを得たとともに、同年 11 月に開催された第 3 回州コア会合の際には、SMWA と WDO のマニュアル・ドラフトが州の関係者に共有され、参加者のフィードバックを得たのち修正された。また、同年 12 月に開催されたナショナル・ワークショップでは、全国 36 州の SMWA と SMLG の参加者に共有された。マニュアル委員会はこれらの意見を反映し、最終版を完成させ全国女性評議会の承認の後、全国展開を図る見込みである。

4-4. プロジェクト目標の達成度

指標：対象州以外の4州でWDC活性化モデルが採用される

【ほぼ達成】NCWDは、WDC活性化モデルを活用して、既にAdamawa、Ekiti、Gombe、Oyo、Ebonyi、Zamfaraの6州にて機材を供与し、技術訓練、ビジネス・マネジメント研修等を実施した。本研修は5日間に亘り、主にNCWDのプロジェクト・メンバーによって実施されたものである。また2013年には、Zamfara州で450名の女性に研修と機材供与が行われ、Ebonyi州では、5つのWDCに機材を供与した。

今後、作成された実務マニュアルをこれらの州に配布し、実務的な指導を各州の関係者に実施することにより、WDC活性化モデルがさらに根付くことが期待される。

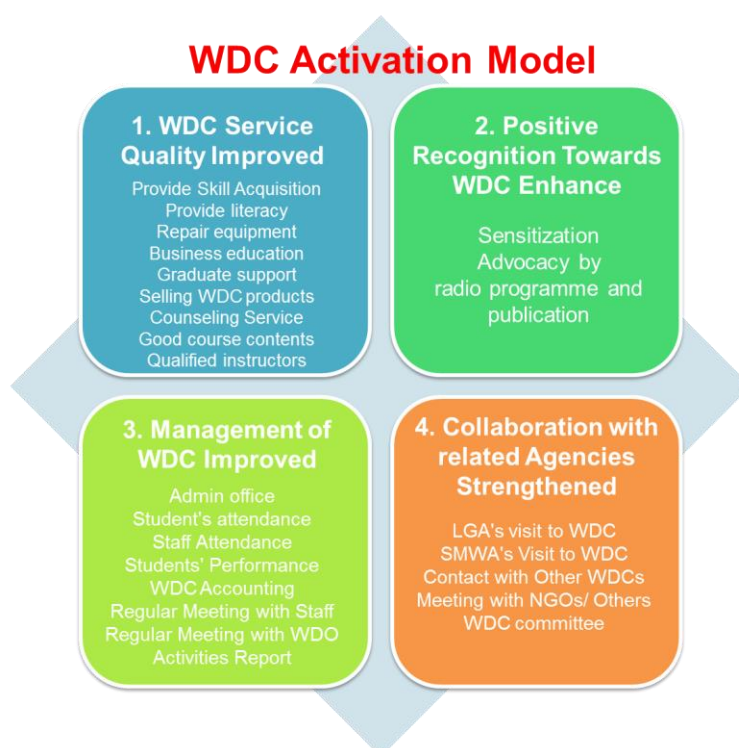


図 4-1：活性化モデル 4 側面

第5章 プロジェクト活動の成果と残された課題

この章では、プロジェクトで実施した活動の成果、活動を通じて確認されたカウンターパートの能力向上を述べるとともに、残された課題について分析し、提言に反映する。

NCWD の州への指導能力

本プロジェクトでは、NCWD が州関係者を指導する能力強化を直接支援し、州が LGA を指導する能力の強化を間接的に支援した。日本人専門家は治安の状況により、プロジェクト期間に渡航できる州はナイジャ州に限られていたが、NCWD のプロジェクト・メンバーは、州での活動毎に対象 6 州を訪れ、SMWA、SMLG、また LGA の WDO に対して直接、指導を行うことができた。2 度にわたって実施されたモニタリング調査では 3 名の NCWD メンバーが 7 名の SMW、SMLG メンバーを指導し共に調査を行い、概ね予定通りに必要なデータの収集・データ入力を終え、報告書を作成した。また、州や WDC が策定した活動実施計画書は、モニタリング結果に基づく課題を解決するよう NCWD が支援をして、より現実的かつ実施可能な内容となっている。さらに、活動実施計画書策定ワークショップ実施後の州関係者へのアンケート結果から、州関係者が NCWD メンバーの教えた内容を理解し、満足していることが確認された。これらの結果から、本プロジェクトで実施した TOT や OJT によって NCWD の州への指導能力は向上したと考えられる。

一方で、NCWD が今後の他州展開を行う際に、本プロジェクトで開発・改訂した研修教材・啓発教材を、ニーズに応じて応用し、更なる改訂を自ら行うこととなるが、これら応用・改訂を行う能力は課題として残されている。

調査・モニタリング能力

NCWD プロジェクト・メンバーは、WDC 活性化モデルに基づいたフォーマットを用いた現場調査能力、調査分析能力、報告書作成能力を本プロジェクトの TOT と OJT を通じて、確実にその能力を向上させた。例えば、これまで多くのメンバーはデータ入力やグラフ作成を行った経験がなかったため、「データ分析は特別なスキルが必要で自分たちには難しい」という意識を抱いていたが、自分たちでデータ入力・グラフ作成、そして分析を得たうえで報告書を作成できることを理解した。また、報告書作成にあたり、グッドプラクティスの分析、課題抽出から提言にいたる分析、報告書作成スキル等を習得した。

調査活動は、SMWA、SMLG とチームを組んで実施されたため、現場調査能力に関しては、SMWA と SMLG の能力強化も図ることができた。加えて、WDC 活性化データベース構築のための情報収集調査では、WDC を訪問する機会がほとんどない SMWA と SMLG のデスクオフィサーが州内 WDC を訪問・調査するように活動を組み立てることで、彼らが州内の WDC の状況と理解を深められることとなった。

一方、本プロジェクトで構築した対象 6 州の WDC 活性化データベースについては、今後、NCWD が他州データを収集し、データベースに追加・更新を継続されるどうかは、NCWD の自発的な努力に懸かっている。

また、WDC 活性化モデルの全国普及戦略を策定するツールとして本データベースや、他の女性センターに関する調査データを活用していくことを確認しているため、実際に NCWD が説得力のあるデータを基に上位機関に対して、WDC 活性化の有効な提言を行うことが残された課題といえよう。

活動実施計画書策定

プロジェクト後半では、2013 年と 2014 年の 2 度にわたって、翌年度予算の活動実施計画書の策定を指導している。これらは州都にて、各州の関係者を集めて、NCWD プロジェクト・メンバーの指導によりワークショップ形式で行ったものであり、SMWA、SMLG、WDO、WDC は、自らの組織での年間の活動実施計画書をフォーマットに基づき作成できるようになった。また、各州のモニタリングで収集したそれぞれの WDC が抱える現実的な課題を解決するために、実施可能な計画書を策定することへの理解が深まった。また、本ワークショップを通じ、WDC 活性化に関わる州関係者は、双方の計画を確認することで抱えている課題を共有できることとなった。NCWD のプロジェクト・メンバーはファシリテーターとして、この活動の準備から報告までのプロセスを通じて計画書策定に至る各セッションの内容を理解し、その指導能力を向上させた。

活動実施計画書の策定後のフォローアップについては、WDC から WDO に、また WDO から SMWA に、そして SMWA から NCWD に定期的に提出されるレポート内にて、「活動実施計画書の進捗」として報告されることになっているが、報告書の提出を受けた各機関のフィードバックと適宜な指導能力が未だ課題である。これについては、後述のレポーティング・システムの徹底を通じて強化する必要がある。

ラジオ放送による啓発活動

プロジェクト後半では、カレンダーやニュースレターを発行し、関係機関への配布をはかるとともに、州でのラジオ放送を通じて WDC 活性化モデルの普及と、女性のエンパワーメントとコミュニティ開発のための WDC の重要な役割について、啓発活動を行った。

ラジオ放送については、ジングルの反響が高く、ラジオ局や SMWA、LGA、WDC への問い合わせが多く寄せられた。また、ラジオの反響については、8 月に実施した第 2 回モニタリング調査時に、番組視聴の有無及びその印象について調査対象者への聞き取り調査を行った。その結果、調査対象者のうち概ね半数がラジオを視聴し内容に好印象を抱いており、「ラジオを聴いて、他の男性に妻を WDC に送るように提案しようと思った」、「ラジオ番組に夫が感心し、WDC に行くことを許可した」などの具体的な反応を得ることができた。一方で、ラジオ視聴者が半数に留まった理由として、①対象州における主要言語を放送言語としたが、モニタリング調査を実施した本プロジェクト対象 LGA には、対象州主要言語と異なる言語が主流であり視聴できなかったことや、②放送曜日・時間等がラジオ局側の都合により不規則となったこと、また、③各州の放送局は単一局ではなく複数局あることから視聴者がラジオ局の選択できる状況にあること等が考えられる。

レポーティング・システム

プロジェクトでは、マネジメント強化の一環として、NCWD、SMWA、SMLG、WDO、WDC

間でのレポート提出とフィードバックの徹底について指導を行ってきた。プロジェクト後半では、WDC から WDO へ、WDO から SMWA へ定期的に提出することとなっている報告書に関し、①プロジェクトの開発したフォーマットを使用しているか、②提出頻度、③記載内容、また、④その報告書に対するフィードバックは適正に行われているかを確認し、不足がある場合は指導を重ねた。これらの指導によって、各ステークホルダーは、それぞれが①どのタイミングで②何を報告し、③誰がフィードバックするかを確認することができたとともに、前半で行ったマネジメント基礎研修のフォローアップとしての効果が見られた。

第3回州コア会合では、州ごとにグループに分かれてレポート・システムの現場での実践について課題と解決策を議論し、州ごとに発表した。各州が挙げた主な課題として、LGA、SMWA、SMLG からのフィードバックが不十分、報告書フォーマットの理解不足、研修を受けたスタッフが異動、などが挙げられた。HOC と WDO、SMWA に対する再々研修を含めて、報告書フォーマットの更なる理解と各レベルでのフィードバックの強化が今後の課題である。

州ステークホルダー定例会議

州都でのステークホルダー定例会議は、WDC 活性化に関わる州の関係者を集めて定期的に行うことを NCWD が指導するとして、当初から州コア会合等で州関係者と NCWD プロジェクト・メンバーが計画策定を行ってきた。治安の悪化や NCWD の予算配賦の遅延などの影響を受け、NCWD のプロジェクト・メンバーが州都を訪問して開催を支援することには至らなかったが、SMWA の自主的な努力により、2014年11月4日にカドゥナ州にて、2014年11月13日にナイジャ州にて、州都でのステークホルダー定例会議が開催された。

アナンプラ州の PS からは開催への意欲が既に表明されているが（2014年12月）、アナンプラ州を含め、カノ州、クロスリバー州、クワラ州での開催に関して NCWD の助言が必要とされる。

WDC 活性化マニュアルの全国普及

本プロジェクトで開発した NCWD 用、SMWA 用、WDO 用の実務参考書となるマニュアルは、NCWD のマニュアル委員会がドラフト版を作成しており、プロジェクト終了後に全国36州からのコメントや意見を反映し、選挙後に行われる予定となっている全国女性評議会開催時には最終版を完成させる予定である。本プロジェクト専門家の着任中には、マニュアル委員会とマニュアルの内容を確認し、各活動中にトライアルを実施しながら、内容の修正指導を行うことができたが、専門家離任後、マニュアルの最終版作成のプロセスにおいては、専門家の直接の指導ができないため、最終化作業に向けてのフォローアップが課題である。

また、マニュアル最終版を印刷し、全国の SMWA、SMLG、WDO 等に配布し、共有するための必要費用について、NCWD の慢性的な WDC 活性化予算不足が影響することが懸念される。

女性のエンパワーメントとコミュニティ開発

プロジェクト後半では、SMEDAN の協力により、女性のエンパワーメントとコミュニティ開発の TOT を実施し、WDC のニーズに応えるために、NCWD プロジェクト・メンバーは女性が

ビジネスを始めるための様々な課題を明確にし、それらを克服するための手法を習得した。これらの知識は、WDCの卒業生の経済的エンパワーメントのために、女性の就業や起業を目的とした新規コースの開発のために活用できるものである。

一方、NCWDの持つ技術と経験のみでは、地方の女性たちの経済的エンパワーメントに資する女性センターの開発と支援は難しい側面がみられる。また、NCWDは、農業に従事する地方の女性を支援する農業省、中小企業と起業家支援を行うSMEDANといった政府機関、他ドナー、NGOなどの他機関と連携した活動が、地方のWDC活性化のために十分に行われていない。他機関との連携は、経済的エンパワーメントのみならず、女性の識字教育、女性の保健・衛生教育向上の目的のためにも必要とされている。本プロジェクトは、女性センターの他機関との連携をWDC活性化モデルのひとつとして関係者間の理解を深めてきたが、NCWDの他機関との連携強化も残された課題である。

第6章 上位目標の達成に向けての提言

マニュアル最終版の活用、共有と全国普及

本プロジェクトで開発した SMWA と WDO 用のマニュアルは、WDC 活性化のために活動する実務家のためのノウハウをステップごとにまとめており、本プロジェクトが開発した WDC 活性化モデルのためのツールを解説している。本プロジェクトでは、NCWD マニュアル委員会がマニュアル・ドラフト版を作成し、全国 36 州からのコメントを取り付け、反映する作業を行っている。プロジェクト終了後の 2015 年全国女性評議会の承認を得て、最終版の完成となる。完成後、NCWD のイニシアティブにより全州への普及を推進することが必要である。この目的のために、NCWD は、州へのアドボカシーの機会を活用し、州知事や SMWA、SMLG に WDC 活性化の重要性と必要性を理解させ、SMWA 用の WDC 活性化マニュアルの使い方を指導していくことが求められる。また NCWD は、SMWA、SMLG を通じて各 LGA にも WDC 活性化の重要性と必要性を説明し、WDO 用の WDC 活性化マニュアルの使い方を SMWA と共に WDO に対して指導し、州、LGA の WDC 活性化モデルの適用を支援することが望ましい。本マニュアルの全国への普及活動に関しては、JICA ナイジェリア事務所によるフォローアップ業務の検討、および継続的なモニタリングと指導が必要とされる。

本プロジェクトを経験した NCWD と SMWA の職員の十分な活用

本プロジェクトでは、4 年間にわたり、様々な TOT や OJT を通して、中央レベルの NCWD プロジェクト・メンバーと州レベルの SMWA および SMLG のデスクオフィサー、LGA レベルの HOD と WDO、そして WDC の校長や講師の能力強化研修を実施してきた。特に、NCWD プロジェクト・メンバーは、日本人の直接的な支援により、プロジェクト運営、調査、データ分析、モニタリングなどに関する能力が向上し、また、WDC 活性化モデルについての知見が身につけている。SMWA の職員は、この NCWD のプロジェクト・メンバーから直接的な指導を受け、活性化モデルの意義について理解し、WDC 支援のための具体的な方策を計画している。NCWD が、本プロジェクトで開発した WDC 活性化モデルを他州に展開していく際には、これらの NCWD プロジェクト・メンバーをリソース・パーソンとして、本プロジェクトで開発した普及ツールとともに、十分に活用していくことが望ましい。また、NCWD は、SMWA に対して、州内の他 LGA への普及を推進するうえで、アドバイスや指導を行うとともに、本プロジェクトで能力が強化されたデスクオフィサー、WDO 等の活用についても助言することが求められる。

州政府への啓発活動とコミュニケーション強化

州政府の WDC 活性化に対するコミットメントを強化し、WDC 活性化予算の拠出を促すためにも、NCWD の DG 以下主要スタッフによる州政府へのアドボカシー訪問は重要な手段であることが本プロジェクトを通じて改めて関係者内で認識され、今後も NCWD による開催が望まれる。

また、本プロジェクト中に 3 回にわたって実施された州コア会合は、州関係者をアブジャに一堂に集め、WDC 活性化モデルの内容を説明し、州関係者の関心と意欲を高めた。州がそれぞ

れのグッドプライティスを披露し、お互いに刺激を受け、WDC 活性化に対する新しいアイデアを共有し合ったことは、WDC 活性化を進めるうえで大きな励みとなった。NCWD はプロジェクト終了後も、WDC 活性化モデルを新たに普及した州に対して、SMWA、SMLG、そして LGA をアブジャに招き、このようなコミュニケーションと意見交換の場を提供することが望ましい。

データベースの利活用と WDC 活性化普及戦略策定への活用

本プロジェクトにより構築されたデータベースは、NCWD が全国で WDC 活性化を推進していく際に、各州の WDC の状況を把握し、今後の展開を計画する際に活用できるツールとして開発された。現在、開発されたデータベースは本プロジェクトの対象 6 州のみであるため、NCWD が今後、他州のデータを収集・追加し、さらには全国規模のデータベースを構築することが可能となった。データベースは NCWD が直接調査を行わなくても関心のある州に調査用紙 (A4・2 頁) を送付し、SMWA が各 WDC に送付・回収、そして NCWD に返送することで、NCWD がデータ入力し州内状況を共有・フィードバックすることが簡易にできるように設計されている。このようなデータベースの構築により、NCWD は WDC 活性化モデルの全国普及戦略を策定することが可能になったため、これらの活性化状況のデータと普及戦略は、上位機関である全国女性評議会および連邦女性社会開発省へ定期的に報告し、地方の女性の地位向上と生活向上に資する WDC 活性化の重要性が国家政策に反映されることが望ましい。

WDC の新規コースの開拓のための他機関との連携

本プロジェクトは、WDO や HOC、WDC 講師に対して各種のスキルトレーニングを実施し、WDC のサービスの質の向上を支援した。更なる経済的なエンパワーメントを実現するためには、多様な新規コースの開発が必要なことが受益者のニーズとして挙げられている。プロジェクト後半では、SMEDAN による、女性のエンパワーメントとコミュニティ開発の TOT を実施し、女性がビジネスを始めるための様々な課題と手法を学習した。また、女性の起業・収入向上のための新規コースの開発は NCWD 研修部でも実施中ではあるが、技術面では、SMEDAN や農業省を始め他機関や他省庁、民間セクターとの連携が必要とされる。

他ドナーへの WDC 活性化プロジェクトの宣伝

WDC 活性化モデルの全国への普及は NCWD がイニシアティブをとって進めるものであるが、他ドナーから財政的支援を得ることができれば全国への普及が早まることが期待される。NCWD は WDC 活性化モデルの普及による女性のエンパワーメント促進というコンセプトを積極的に他ドナーに宣伝し、他ドナーからの関心を得て、資金の獲得を試みることを望ましい。また、他ドナーに対しては、本プロジェクトの概要と成果を報告し、WDC 活性化モデルを周知させることが必要である。また、全国的なジェンダーや女性のエンパワーメントに関する会議にて、本プロジェクトの啓発・アドボカシー資料を配布するなどの取り組み等も効果的であると考えられる。

WDC 活性化予算の確保

各地域にある WDC は LGA の管轄下にあり、WDC 講師の給与を含め予算措置は LGA が担

っている。本プロジェクトでは、LGA が WDC に予算を配賦するよう SMLG・SMWA を通して促した結果、多くの LGA が WDC 修復、機材供与、卒業生支援、毎月の運営費など、WDC に予算を配賦した。しかしながら予算措置は LGA 長の意向に大きく左右されるため、LGA 長が交代すれば状況は変わる可能性が高い。また、多くの WDC では十分な WDC 活性化予算を確保できない状況である。本プロジェクトで指導した活動実施計画書の策定は、SMWA 用、WDO 用マニュアルにも取りまとめられているため、これらのマニュアルを他 LGA にも普及し、WDC の課題を解決するための活動実施計画に沿った予算要請を各 WDC が学ぶことが望ましい。また、この活動実施計画をフォローアップするために NCWD、SMWA、LGA の間でレポートイングとフィードバックのシステムを根付かせることが重要である。SMLG と LGA は、地域コミュニティ開発における WDC 活性化の重要性を認識し、要請に応じて適正な予算を配布するよう更なる努力が求められる。

SMWA と SMLG は、マニュアルに詳述された WDC 活性化の 4 側面に基づいて、サービスの質の向上、コミュニティの認識の向上、マネジメント能力の強化、他機関との連携強化のために十分な予算を確保するとともに、州の関係者が集結するステークホルダー定例会議や定期的なモニタリング活動によって、持続的な WDC 支援を行うことが求められる。

WDC の自立的運営

WDC が学びの場としての機能を持続するためには、プロジェクトで行った SMLG、SMWA を通じた LGA への働きかけを継続しつつ、WDC 自身が自立して運営できる方策を WDC がとる必要がある。既に WDC 製品を販売した収入を WDC 運営費に充てる、またコミュニティ・リーダーが材料や機材を提供する等の取り組みが報告されている。WDC がコミュニティから必要な場として認識され、コミュニティから財政的支援を得ることで、政府機関に依存しない自立的な運営が可能となることが示唆されている。このことから WDO と HOC はコミュニティに支えられる WDC となるよう、コミュニティにおける啓発活動を継続することが望まれる。NCWD のプロジェクト・メンバーがまとめた各州と LGA への提言は、別添 7-⑨の「第 2 回モニタリングの結果」に取りまとめている。

他案件での WDC の活用

全国の LGA に設立された WDC は、コミュニティで女性のエンパワーメントを促す場として機能していることが明らかになった。この特性に注目し、地域開発と貧困削減に取り組む他省庁、他案件や NGO や JICA 案件の実施の際に WDC を有効に活用することが考えられる。施設としてのセンターの利用、女性の集まる場としての活用、またジェンダー案件に限らず、様々な分野における案件での活用が考えられる。

添付資料

別添 1 : PDM

Project Title: Project on Activation of Women Development Centers (WDCs) to improve Women's Livelihood Phase II
 Duration: 4 years (February 2011 - February 2015)
 Target Area: Abuja (NCWD), Anambra, Cross River, Kaduna, Kano, Kwara and Niger State
 Target Group: National Center for Women Development (NCWD), State Ministry of Women's Affairs (SMWA) of target states, State Ministry of Local Governments (SMLG) of target states, selected 3 Women Development Center (WDC) in each target state

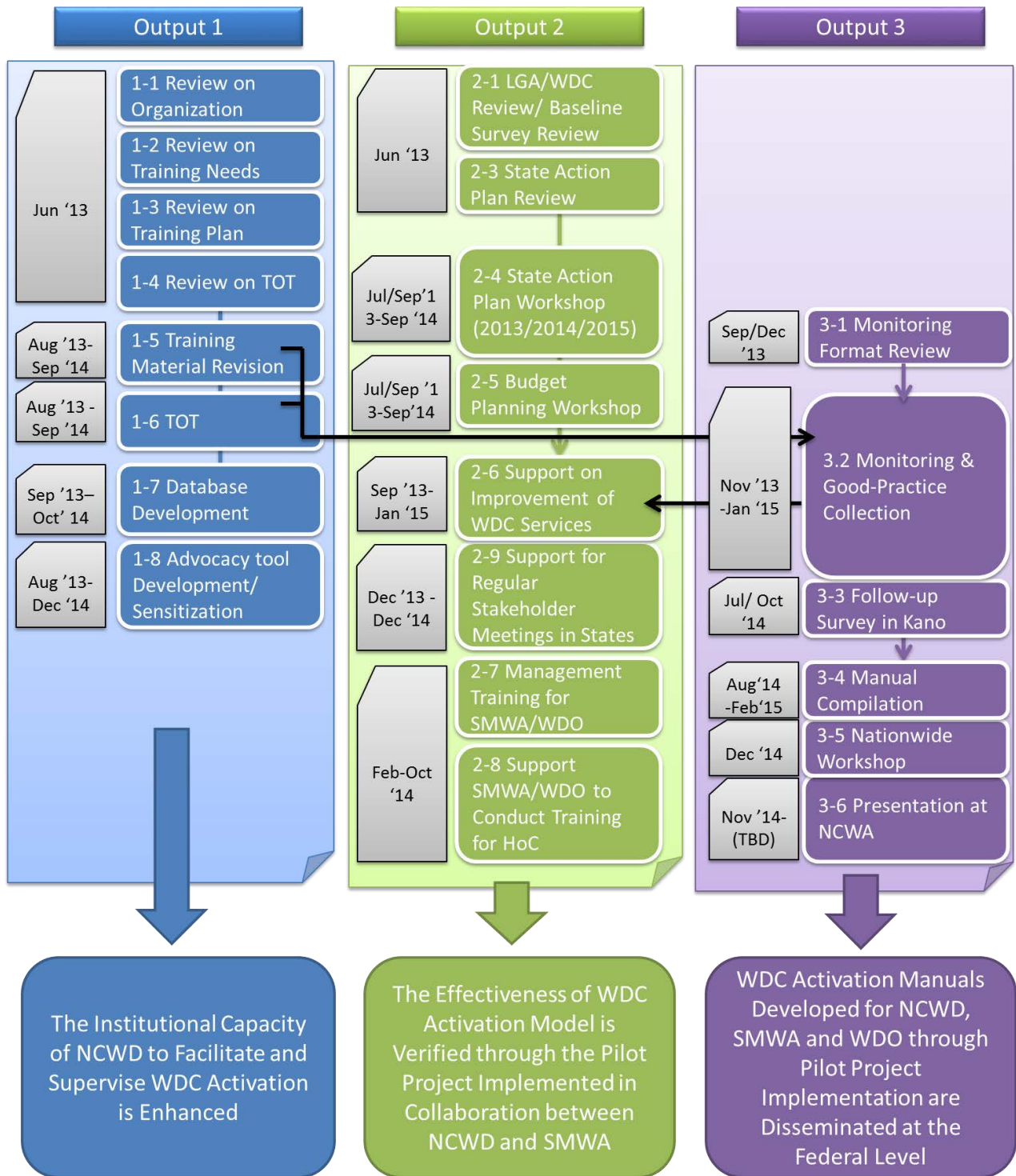
NARRATIVE SUMMARY	INDICATORS	MEANS	IMPORTANT ASSUMPTIONS
【Overall Goal】			
1.WDC activation model is expanded in wider scale at federal and state level. 2. Women's empowerment is enhanced at the community and household level through activation of WDCs	(a) More than 7 states other than target states newly adopt WDC activation model. (b) Women's social and economic participation rate is increased in the target states.	(a) Record of NCWD/SMWA (b-1) Interview to relevant organizations (b-2)Statistical Data of each state (UNDP , WB report)	
【Project Propose】			
WDC activation model is expanded at federal level through WDC activation in target states.	More than 4 states other than target states newly adopt WDC activation Model.	(a-1) Record of NCWD/SMWA (a-2) Interview to relevant organizations	• Policies toward WDC activation at federal level and state levels do not change
【Output】			
1. The institutional capacity of NCWD to facilitate and supervise WDC activation is enhanced.	(a) At least 3 types of user-friendly teaching materials are developed by the Project completion (b) The number of advocacy materials developed (c) At least 60% of the NCWD CP who participated in the TOT conducts training as a resource person by the end of the Project at the state level	(a) Developed teaching materials (b) Developed advocacy materials (c-1) Training report of NCWD/SMWA (c-2) Monitoring and Evaluation sheet for capacity development to be prepared by the Project	• Security in Nigerian communities are not severely deteriorated • Budget to activate WDCs are secured continuously at federal level and in target states
2. The effectiveness of WDC activation model is verified through the Pilot Project Implemented in collaboration between NCWD and SMWA	(a) The target SMWAs organizes a stakeholder meeting for WDC activation at least once a year in the target states. (b) The number of women who register WDC activities in target WDCs is increased by 30%. (c) 50% of target LGAs increase budget allocation for WDC activation.	(a) Record of stakeholder meeting in each target state (b) Record of each target WDCs/WDC report (c) Budget document of target LGA	
3. WDC Activation Manuals developed for NCWD, SMWA and WDO through Pilot Project Implementation are disseminated at the Federal level.	(a) Each target States collect at least two good practices and lesson's leaned. (b) User-Friendly manuals for NCWD, SMWA and WDO are developed.	(a-1) Progress report (a-2) Monitoring records (b-1) List of developed manuals and their quality (b-2) Interview to relevant stakeholders	

【Activities】	【INPUT】		
<p>1-1 The Project conducts an institutional capacity analysis of the concerned stakeholders for WDC activation.</p> <p>1-2 The Project conducts a training needs assessment of the concerned stakeholders for WDC activation.</p> <p>1-3 The Project formulates a capacity development training plan to activate WDCs.</p> <p>1-4 The Project develops teaching materials and conducts TOT for NCWD staff based on the developed training plan above.</p> <p>1-5 The Project develops a database on WDC profile to monitor the level of activation.</p> <p>1-6 The Project develops advocacy and education materials on the role of WDCs for women's empowerment and community development.</p> <p>1-7 The Project conducts an advocacy campaign on the importance of WDC activation by using the advocacy and education materials developed above.</p>	<p><Nigerian Side></p> <p>1. Personnel</p> <p>1) Project Director</p> <p>2) Project Manager</p> <p>3) Project Coordinator</p> <p>4) Counterparts (NCWD, SMWA, LGA(WDO))</p> <p>2. Office Space</p> <p>Office spaces at NCWD</p> <p>3. Local cost</p> <p>Administrative Cost (salary for counterparts, electricity, etc.)</p> <p>Transportation Expense and Per Diem of NCWD CP, etc.</p>	<p><Japanese Side></p> <p>1. Personnel</p> <p>(1) Experts</p> <p>1) Chief Advisor</p> <p>2) Project Coordinator</p> <p>3) Other Experts</p> <p>2. Counterpart Training programme</p> <p>3. Equipment</p> <p>4. Local cost</p>	<p>Security Condition is secured</p>
<p>2-1 The Project selects target States and pilot LGAs and WDCs.</p> <p>2-2 The Project conducts trainings on baseline survey for the target SMWAs and WDOs</p> <p>2-3 The Project supports the target SMWAs and WDOs to conduct baseline survey on women's needs and the current status of pilot LGAs and WDCs</p> <p>2-4 The Project conducts a planning workshop for the target SMWAs and WDOs to formulate an action plan to activate WDCs in the state.(Budget planning to be included)</p> <p>2-5 The Project supports target SMWAs and WDOs to develop an action plan to activate pilot WDCs in the state.</p> <p>2-6 The Project supports target SMWAs and WDOs to conduct technical trainings to improve service quality of WDCs based on the developed action plan above. (Skill-up trainings for WDC instructors, WDC graduates support initiatives)</p> <p>2-7 The Project conducts management trainings for target SMWAs and WDOs.</p> <p>2-8 The Project supports target SMWAs and WDOs to conduct trainings for WDC heads to improve WDC management.</p> <p>2-9 The Project supports target SMWAs and WDOs to conduct regular stakeholder meetings for coordination, advocacy and networking on WDC activation</p> <p>2-10 The Project supports target SMWAs and WDOs to conduct an advocacy and awareness raising on WDCs in the community.</p>			
<p>3-1 The Project develops monitoring and evaluation formats to review and assess the implementation processes and their impact for the Pilot WDCs activation.</p> <p>3-2 The Project reviews and analyzes the monitoring and evaluation format together with SMWAs and identify good practices and challenges.</p> <p>3-3 The Project conducts a follow-up study on the WDCs in Kano states, which were supported in Phase One Project, to clarify the current issues, challenges and lesson's learned.</p> <p>3-4 The Project compiles the knowledge and lesson's learned from the Pilot Project implementation, and formulates manuals for NCWD, SMWA and WDO which will be their practical reference for WDC activation.</p> <p>3-5 The Project conducts a national workshop on utilization of the above formulated manuals for SMWA and WDO.</p> <p>3-6 The Project conducts workshops on the level of WDC activation as well as on the developed manuals at the National Council of Women Affairs/Federal Ministry of Women's Affairs.</p>			<p>【Pre-condition】</p>

(※) Pilot Project means the whole processes of implementing WDC activation Model in 6 target states under the Project in order to verify the effectiveness of WDC activation model which was developed through the implementation of the Phase one Project in Kano state.

別添 2 : 業務フローチャート








業務フローチャート



別添 3 : 詳細活動計画

Detail Plan of Operation

No	Year	Month	2013												2014												2015	
			May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb				
Activities for Output 1: The Institutional Capacity of NCWD to Facilitate and Supervise WDC Activation is Enhanced																												
1-1	Review of the roles and the capacity of the organizations related to WDC activation	BF	→																									
		AF	→																									
1-2	Review of the training needs of the organizations related to WDC activation	BF	→																									
		AF	→																									
1-3	Understand of the Capacity Development Training Plan and TOTs for WDC activation	BF	→																									
		AF	→																									
1-4	Review of the Capacity Development Training Plan and TOTs for WDC activation	BF	→																									
		AF	→																									
1-5	Revise Training Materials	BF	→																									
		AF	→																									
1-6	Conduct TOT for NCWD Project members	BF	→																									
		AF	→																									
1-7	Develop Database on WDC Profile	BF	→																									
		AF	→																									
1-8	Develop advocacy and educational materials and conduct sensitization campaign on the importance of WDC activation	BF	→																									
		AF	→																									
Activities for Output 2: The Effectiveness of WDC Activation Model is Verified through the Pilot Project Implemented in Collaboration between NCWD and SMWA																												
2-1	Understand the Situation of Targeted LGAs and Pilot WDCs/ Review the Result of Baseline Survey	BF	→																									
		AF	→																									
2-2	Conduct Follow-up Training related to Baseline Survey	BF																										
		AF																										
2-3	Review of Action Plan of the States for WDC activation	BF	→																									
		AF	→																									
2-4	Conduct a planning workshop for Target States to formulate Action Plan	BF	→																									
		AF	→																									
2-5	Conduct a Budget Planning Workshop for Target States	BF	→																									
		AF	→																									
2-6	Support Target SMWAs and WDOs to Conduct Technical Trainings to Improve Service Quality of WDCs Based on the Developed Action Plan	BF	→																									
		AF																										
2-7	Conduct Management Trainings for Target SMWAs and WDOs	BF																										
		AF	→																									
2-8	Support Target SMWAs and WDOs to conduct Trainings for WDC Heads to Improve WDC Management	BF																										
		AF	→																									
2-9	Support target SMWAs/WDOs to conduct regular stakeholder meetings for coordination and collaboration for WDC activation	BF	→																									
		AF	→																									
Activities for Output 3: WDC Activation Manuals developed for NCWD, SMWA and WDO through Pilot Project Implementation are Disseminated at the Federal Level																												
3-1	Review and analysis on developed monitoring format	BF	→																									
		AF	→																									
3-2	Conduct regular monitoring and collect good practices and lesson learnt	BF	→																									
		AF	→																									
3-3	Conduct follow-up survey on WDCs which were supported in the Phase One Project in Kano state	BF	→																									
		AF	→																									
3-4	Compile a practical manual for NCWD, SMWAs and WDOs based on the knowledge and experiences of the activities in the pilot project	BF																										
		AF	→																									
3-5	Hold a workshop to share the knowledge and experiences of WDC activation with SMWAs and other related agencies nationwide	BF																										
		AF	→																									
3-6	Make a presentation on the progress of WDC activation to National Council of Women Affairs (NCWA)	BF																										
		AF	To Be Determined																									
Other Activities																												
4-1	Quarterly Meeting with NCWD	BF	▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲	
		AF		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲
4-2	JCC	BF																										
		AF																										
4-3	Evaluation after Project Completion	BF																										
		AF																										
4-4	Thematic Training in Japan & its Selection/Review	BF	→																									
		AF	→																									
4-5	Project Newsletter (English)	New																										
4-6	Project News (Japanese)	New		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		▲		
Reports	Inception Report	△																										
	Work Plan		△																									
	Project Progress Report								△ No. 1																			
	Project Completion Report																											

 Plan as of June 2013
  Actual
  Preparatory work
  Meeting
  Reporting
 Draft  Final 

別添 4： 専門家派遣実績

別添 5： 合同調整委員会議事録等
(2013 年 12 月、2014 年 12 月)

OL
P
W/A
W/A

**REPORT OF 2ND JOINTCOORDINATING COMMITTEE MEETING OF NCWD/JICA WDC
ACTIVATION PROJECT HELD ON 4TH DECEMBER,2013 AT THE BANQUET HALL**

OPENING :

The meeting commenced at 10:30am with the opening prayers offered in Christian & Islamic faiths.

WELCOME REMARKS BY THE DIRECTOR-GENERAL

The Director-General in her speech expressed great pleasure and welcomed members to the 2nd Joint Coordinating Committee (JCC) meeting which comes once in a year. She informed the members that the purpose of the meeting is to appreciate the activities of the NCWD/JICA project on the activation of Women Development Centres in six states; Anambra, Cross Rivers, Kaduna, Kano, Kwara & Niger states.

She added that gender inequality which in turn contributed to uneven development and the feminization of poverty. These disparities, she said have significant impact on the capacity of women to contribute to economic growth of the country especially at the household levels. She also added that it was also against the backdrop and the need to enhance socio-economic and the potentials of women through skills acquisition and improvement of literacy level that the NCWD in line to its mandate carried out a nationwide survey of Women Development Centres (WDC's) in Nigeria to assess their situation and ensure their optimal utilization. She reiterated that the finding of the survey revealed that these WDC's were grossly underutilized, seriously lacked equipment & qualified instructors to function effectively. She added that it was consequent upon this that NCWD through the NPC entered into correspondence with JICA in the area of technical support to build an effective strategy to fully utilize WDC's as resource base for skill acquisition.

The Director-General informed the meeting in her speech that the phase two of the project was designed to expand activation of WDC's to other states in Nigeria which included Anambra, Cross River, Kaduna, Kwara, Niger and Kano for a period of 4 years; 2011-2015.

She added that since the last JCC meeting of 2012 the project had achieved the following in its second year:

- Completed advocacy tours to State Governors, Commissioners, Local Government chairman in December 2012
- Conducted computer literacy training to desk officers in states & NCWD project team members
- Conducted training on the revised organisational management for WDC's
- Produced 2000 copies of organizational management document for WDCs
- Facilitated development of state Action plan for 2013
- Training of trainers of project members on organizational capacity development
- Conducted monitoring survey in the six states.

The Director-General reiterated that the implementation of the various planned project activities had been quite difficult and one of the central issues to note is lack of adequate funds. She added that the challenge of non-release of counterpart fund by the government despite several applications by the Centre to the Budget Office had affected the smooth implementation of the project activities in the

targeted states and the Centre has been funding all the activities from its meagre revenue and other sources.

However, the Director-General is optimistic that since the JCC is a committee of important stakeholder that review performances of the project at designated times and takes decisions towards actualising the goals of the project, the decision will be targeted towards the sustainability of the project beyond 2015.

The Director-General implored the members from the six targeted states to redouble their efforts in facilitating the activities of the project in their states for sustainability, ensure adequate funding, sustainable moral and financial support to graduates of WDCs to enable them set up businesses of their own so as to earn income.

She commended the efforts of the JICA and Stakeholders in the States Ministries of Women Affairs and Ministries of Local Government for their supports towards the success of this project. At this point the Director-General formally welcomed members to the JCC meeting.

OPENING REMARKS BY MR. TETSUO SEKI, CHIEF REPRESENTATIVE OF JICA NIGERIA OFFICE.

In his opening remarks, he expressed his pleasure to be at the 2nd JCC meeting of the WDC Activation project phase II. He recalled the first JCC meeting which was held a year ago and where the meeting discussed the result of the mid-term review and how to move forward, he added that after a year he was keen to learn the progress made in the six states.

He reiterated that the collaboration between JICA and NCWD had been on-going since 2007 and the success of the first phase was the reason why the second phase was formulated in 2011. However, he added that there had been challenges along the way but a reasonable progress had been achieved.

Mr. Tetsuo Seki was also pleased with the NCWD's initiative of expanding the WDC Activation models to other states which he said was the essence of the JICA's intervention as hand-in-hand cooperation. He added that what is most important in the project is that results will be sustained and expanded to other parts of the country.

Mr. Seki emphasised that the immediate concern is lack of counterpart funds from NCWD to conduct activities which is a serious obstacle that would jeopardise the collective efforts to revive the WDCs. He thus appealed to NCWD Management to find a solution that will ensure counterpart funds is available for 2014 and subsequent years.

He noted that the monitoring and evaluation exercise was successfully conducted which was one of the key recommendations from the mid-term review for assessing the progress of the project for necessary changes.

He encouraged the members of the project to double their efforts in the implementation of project so as to achieve the goal of empowering rural women through WDC activities.

He added that the Japanese Government is very committed to women empowerment and will continue to support Nigeria in this regard.

PROGRESS REPORT BY THE PROJECT MANAGER: MR. SADEEQ U. OMAR

The project Manager, Mall Sadeeq U. Omar presented to the meeting the progress report of the project. He stated that one of the functions of the JCC is to look at what the project had achieved within a year, its challenges and so on. Below is the progress report of the project activities from November 2012- November 2013:

- The project organised a five day training workshop at the Administrative Staff College of Nigeria (ASCON) Badagry, Lagos for 20 project members in November 2012
- A 5-day tailor-made training on Monitoring and evaluation at Centre for Management Development (CMD) Lagos State for 20 project members in September 2013
- The first edition of the NCWD/JICA project on WDC activation (phase II) quarterly newsletter is on editing stage and will be published by end of December 2013 and distributed to all stakeholders at both Federal and State levels while the project calendar of the year 2014 has been printed
- Also in November 2013 the Radio program that is targeted towards creating awareness on WDC activities at each of the targeted state is still on planning process.
- In February 2013, the project facilitated a workshop on Action plan development training for year 2013 for some states at the NCWD Abuja for desk officers of SMWA, 3 Women Development Officers, 3 Head of Centres, 3 Head of Departments in the LGA responsible for overseeing the affairs of the WDCs from each State. The training was facilitated by the NCWD project members throughout the sessions of the workshop.
- State Action plan of 5 stakeholders to this project in the state namely SMWA, SMLG, and 3 WDCs for each of the targeted state was formulated for the remaining part of year 2013 and 2014 at each of the 6 targeted states. The action plan was formulated at a 5 day workshop under 6 sessions on stakeholder analysis, situation analysis, gender analysis, problem analysis, budget preparation and action plan development. The NCWD project members facilitated each session and instructed how to make action plan to state and LGAs. The project Team reviewed each action plan and final copies were sent back to the states for consideration.
- In November and December 2012, the project embarked upon an advocacy visit by the Director-General and project team members of NCWD to all 6 targeted states. The purpose was to create awareness and acceptance of the WDCs activities in their communities. The advocacy team visited the state Executive Governors, Commissioners of LGAs, Religious/Community Leaders etc. he also noted that future advocacy visits will include other stakeholders like Speakers and Committees of on Women Affairs of the State houses of Assembly of the targeted states.
- The published organizational management for Women Development Centres Text Book under Phase I of the project was later reviewed as 2nd Edition of Organizational Management for Women Development Centres". A total of 2000 copies were printed in April 2013
- In order to enhance the capacity of the Desk Officers in the states and facilitate the flow of information a 3day computer literacy training was conducted at the NCWD in October 2012 and December 2012. The training contents included MS word (producing documents by MS word, include text/table /graph and page layout) using internet explorer. In addition to this and in

order to establish reporting structure from the target states to NCWD, the project provided computer systems and printer as well as internet data modems to all Desk officers with an MTN recharge cards that will cover 3 months usage.

- In October 2013, the project developed monitoring format and questionnaire targeted on WDC activation and Women empowerment. The questionnaires were revised at the 2 day workshop after the training on monitoring and evaluation at CMD Lagos. A preparatory to the 1st M & E of the project under phase II the revised questionnaire were tested for verification at Zuba WDC, Abuja on 2nd October, 2013.
- Stakeholders Workshop was in October, 2013. Desk officers from SMWA, SMLG and WDOs in 6 states were invited to NCWD Abuja and discussed the roles/responsibilities of the target states with respect to planned activities of the project in their states with a view to fully understand the project framework. The questionnaire for M & E was also examined and reviewed at the workshop
- In November 2013, the project carried out Monitoring exercise with aim of identifying whether the project objectives and goals are on course or not.

REPORT OF ACTIVITIES FROM STATE MINISTRIES OF WOMEN AFFAIRS

ANAMBRA STATE

The state reported that the Centres have been functional and equipped by the NCWD/JICA and the State Ministry of Women Affairs recently. The Permanent Secretary also added that the slow take off of the Centres was as a result of poor funding by the Local Government and other relevant stakeholders. He added that the state achieved the following:

- Conducted Sensitization on the existence of the WDCs in the Local Communities has been carried out.
- There is increase in WDC enrolment
- Conducted visits to all WDCs
- Provision of equipment and instructional materials to the WDCs by the State Ministry of Women Affairs
- Visited Traditional rulers, chairmen of Town Unions during the M & E in order to talk to them to see the need for sustainability of the project
- Mobilization of NGOs, Donor Agencies etc to help in the activation project

CHALLENGES

- Inadequate funding of the WDC
- Non-payment of instructors
- Inadequate supply of training equipment
- Training of instructors

CROSS RIVER STATE

The Director Women Affairs reported that the project began in 2011 in Cross River State in three senatorial district of the state; Abi, Ogoja and Akamkpa (Central, Northern and Southern senatorial

districts respectfully) with the signing of the MOU by the Executive Governor of the state and the three LGAs Chairmen.

Equipment following equipment were delivered to the three Centres:

1. Sewing machines
2. Embroidery machines
3. Knitting machines
4. Gas cookers
5. Office furniture
6. Generators
7. Hairdressing saloon equipment
8. Hat making materials
9. Decoration materials
10. Grinding machines

The following trainings were also conducted by the NCWD/JICA for HOCs, Instructors WDOs:

- Skill-up and maintenance training for instructors from 16th-22nd July, 2012
- Development of Action plan from 11th-15th February, 2013
- Training on good practices on 9th April, 2013
- Stakeholders meeting from 23rd – 24th October, 2013
- Monitoring and evaluation from 18th -22nd November, 2013
- Lectures were delivered to women on public speaking
- Lectures were also delivered to women on maternal and child mortality
- Many women have been trained and now have a source of livelihood
- School drop outs, widows and less privilege have been empowered
- The activities of the WDCs attracted Industrial Training Fund (ITF) to conduct appraisal study of the Centre at Ogoja and found it qualified to enter into partnership with the organization.

STATUS OF THE CENTRE

The Director also briefed the JCC meeting on the current status of the three WDCs at Abi, Ogoja and Akamkpa that are presently functioning and are carrying out training in tailoring, hairdressing, knitting, bead making, hat making, catering and decoration. Twenty women graduated in Abi WDC, 120 women graduated from Akamkpa and ogoja WDC trained 89 women.

CHALLENGES

- The Centres need crèche facilities to take care of their babies while they are being trained
- Lack of vehicles to enable the WDOs reach out to women in the rural areas
- Some sewing and knitting machines are not functioning
- Lack of computers to train women on ICT
- Need for a borehole for adequate water supply
- The Centre is in need of a bigger generator to enable it carry other equipment

Handwritten mark

Handwritten mark

- The centre needs budgetary allocation to enable it to function well
- Beading machines for all the Centres
- Monthly salaries for the instructors

The following were the recommendations made by the Director Women Affairs for Cross River state:

1. There should be a stakeholders meeting to remind members of their roles in the management of the project
2. Monthly allocation should be provided for WDCs
3. Monthly salaries should be paid to instructors
4. Computers should be provided to the Centres for training and to make report writing system smooth.

KADUNA STATE:

The WDC Activation project kicked off in Kaduna state in 2011 in Jaba, Zaria and Igabi LGAs which respectfully represent the Southern, Northern and Central senatorial zones of the state. In the first year, the State Ministry of Women Affairs benefited from the activities such as baseline survey of the three WDCs and the state Women Centre in Kaduna state. Trainings were also conducted for the WDCs Staff and SMWA. The three WDCs were also provided with the following equipment:

- 21 sewing machines
- 6 knitting machines
- 6 cooking stoves
- 6 cabinets
- 6 tables
- 3 chairs
- 3 refrigerators
- 3 gas cookers
- 3 embroidery machines
- 3 generators
- 1 computer desk top with printer for the desk officer at the SMWA

ACTIVITIES OF 2013

- March 13th – 14th 2013, a 3 day workshop to refresh the skills and competence of women in the area of daily activities e.g checklist, book keeping, gender.
- 7th May, 2013, stakeholders meeting was held in Abuja to review questionnaire for M & E and designing of Radio program on awareness of the WDC activities
- Women empowerment program was organised on bead making, yoghurt making, sewing, knitting, hairdressing, baking at the NCWD from 16th – 26th June 2013
- Workshop on good practices was conducted at the NCWD Abuja
- Development of action plan workshop was organised for the three WDCs, SMLG and SMWA from 2nd -6th September, 2013
- The NCWD/JICA team from Abuja and seven members from SMLG and SMWA conducted Monitoring and evaluation survey at Jaba, Igabi and Zaria from 18th – 22nd November, 2013.

- The staff of the ministry who have gone to Japan for training were invited to share their experience in Japan to see how they can help in the development of women Centres in their states.

ACHIEVEMENTS

During the year under review, WDCs in Kaduna State were able to record the following achievements:

- Training of women in various functional skills has greatly improved as a result of the equipment donated to the three WDCs
- Women economic activities have improved as more women now participate in training and have acquired skills that empowered them
- Women now form cooperative societies that support the WDCs and the women in general
- The WDC in Jaba is undergoing total renovation
- Kaduna State government has concluded arrangement to reactivate six more WDCs (2 from each senatorial zones)
- The state owned WDCs would be upgraded for effective services to commence
- The SMWA is embarking on training of over 500 women in various skills to be self-reliant.
- Conducted monitoring from 16th – 18th May, 2013 and in November 18th - 22nd 2013.

CHALLENGES

- Inadequate funding of the three WDCs.
- The issue of transfer of staff is a big challenge. Presently in Jaba LGA as two key officers have been transferred ie Heads of Agric and ESd which has hindered the progress of the project.
- Lack of budgetary provision and transportation to conduct monitoring of the three WDCs
- Non active participation of SMLG in the project

KWARA STATE

Kwara State has WDCs established in the sixteen LGAs modelled after the National Centre for Women Development Abuja. The mandates of the WDCs are training, research and documentation of concerns and situation of Kwara state women at the grassroots level. The WDCs at the Local Government levels perform the following functions to help develop women to be self-employed and improve their livelihood; support women as economic providers and innovators, nurturers, caregivers, community leaders and agents of change.

BENEFIT OF THE PROJECT IN THE STATE

- Through the WDC activation project, the state has benefited in capacity building in terms of training of WDC instructors and other officers in the team
- The project has also donated equipment such as sewing machines, embroidery machines, generators, grinding machines, refrigerator, tables, chairs, cabinets and a set of computer for the project Desk officer in the state.
- The project also provided an opportunity for two instructors to undergo training on food processing and management in Japan

- The impact of the project has given tremendous improvement in the activities of the WDCs which also increased the number of enrolment of students

Report of Ilorin West LG:

The Centre was established in 1996 for the purpose of training women to be self-employed. The centre was renovated after it was chosen as a target LGA for the project so as to meet up with the guidelines and strategic plan of the activation project. The centre was equipped by the NCDW/JICA and the LG council. The centre also introduced new courses such as; health talk/personal hygiene/ HIV/AIDS awareness programs, creation of additional sections for hairdressing, knitting, soap making and computer science, introduction of cooperative society, standard format for record keeping and enlightenment on income generation.

COURSES	PARTICIPANTS
• Catering	35
• Tailoring	18
• Tie & dye	20
• Computer	5
• Soap making	35
• Knitting	10
• Bead making	30

Number of graduates from inception:

Catering	305
Tie & dye	90
Sewing	114

Number of graduated from January 2013 to date

Tailoring	20
Hairdressing	10
Knitting	5
Tie & dye	20
Bead making	35
TOTAL	90

ACHIVEMENTS

The WDC generates income from sales of products such as snacks, liquid soap, tie and dye, beads and sewing. The money generated is used to maintain the WDC though the Local government council gives support occasionally. The LG council also gave financial support of N20,000 to graduates and

three best graduates in each course were given training equipment to encourage them. The community also gave the graduates the opportunity to get a space of their choice to start their business.

CHALLENGES

- Training classes are too small
- No enough tables and chairs
- Inadequate training equipment
- Lack of maintenance of existing equipment
- Lack of computers for training
- Inadequate funding of WDC

Report of WDC Ifelodun LGA

Established in 1996 and from inception the courses available to date are:

- | | |
|-----------------|-----|
| • Sewing | 20 |
| • Soap making | 75 |
| • Hair dressing | 15 |
| • Knitting | 15 |
| • Catering | 15 |
| • Tie & dye | 9 |
| • Bead making | 102 |

ACHIVEMENTS

- Graduates in each course are given financial support by the LG Council as shown below, though in 2013, no financial support has been given to graduates due to the transition period.

YEAR	AMOUNT
• 2009	N15,000
• 2010	N10,000
• 2011	N10,000
• 2012	N10,000

- The Centre also generates income to run and maintain the Centre through sale of sewn clothes, knitted materials, beads and tie & dye
- Trainees are encouraged to involve in daily contribution and cooperative society to support their business
- conducted of monitoring and evaluation by the LG council, officers of SMWA and HOD Education

CHALLENGES

- non availability of vehicle for monitoring
- inadequate funding by the LG council
- inadequate training equipment

3/10

- Lack of attention or support from the LG council
- Non availability of utility such as water supply and electricity

Report of WDC Baruten

The Centre was also established in 1996 and offers the following courses

Catering	6
Knitting	8
Sewing	15
Interior decoration	4
Bead making	4
Shea butter processing	10

ACHIEVEMENTS

- LG Council has given financial support, equipment and renovated the centre
- Training of instructors
- The WDC generates fund through sale of shea butter, soap making etc to run and maintain the Centre
- The WDC has requested for financial support to graduates from the LG council to enable graduates start their business after graduation.

CHALLENGES

- Inadequate funding of the WDC
- Lack of vehicle for the WDC
- Inadequate training equipment
- Inadequate office furniture

REPORT OF NIGER STATE

On 12th March 2013, fourteen WDCs were fairly equipped by the SMWA and support from the SMLG. Also on 27th – 28th February, 2013, a capacity development workshop on report writing, record keeping and cash book keeping were organised for WDOs of the three LGAs (Paikoro, Ageai and Wushishi). Another workshop was organised on 26th March, 2013 on organizational Management for WDCs on how to keep records such as syllabus, time table, registration forms, attendance register for trainees, attendance register for instructors, equipment list, minutes of meeting, store records and account records.

There was also a training on good practice on 7th May, 2013 at the NCWD, Abuja for the six target states. Action plan development workshop was conducted in September 2013 to enable the WDCs and the SMWA develop their 2014 Action Plan. In November 2013, members of the project team from states who have attended training in Japan shared their experiences with other members at the meeting held in NCWD, Abuja.

ACHIEVEMENT

- Completion of a new storey building for the WDC in Paikoro
- Renovation of WDCs
- Training of instructors
- Imprest are released to WDCs
- Paikoro WDC graduated 29 participants and supported with N10,000 to start their business
- Wushishi WDC trained 105 and graduated 10 participants who were given equipment relevant to their training to start a business
- Agaie trained and graduated 45 students.
- There is also increase in enrolment of women in WDCs

CHALLENGES

- Insufficient training equipment

Niger state requested that the NCWD/JICA activation project should consider the involvement of the state in the 3rd phase of the project.

REPORT OF MONITORING AT TARGET STATE

The project coordinator called on Team leaders for the monitoring survey conducted in the 6 states to present their reports. Due to time constraints, only Cross River State was able to complete and present its report at the meeting. The report was presented by Mrs Atim Esuekong.

GENERAL DISCUSSION

The Project coordinator facilitated this session. He advised states to ensure that the computers allocated to states are used by for the purpose of the project. He also advised states to give the project at all times the right target participants as the project contributes to the reduction of unemployment and poverty. He opened the floor for a general discussions to enable them give their views, comments as it affects the project. Below are the comments:

- i. Niger state suggested that the project should find a way to get their directors to accept the project as key officers are yet to fully accept the project

港田

\$

- ii. Anambra also suggested that a sensitization of key stakeholders should be conducted to enable the success of the project and the need to also equip the centres and be adequately funded;
- iii. Kwara state also advised NCWD/JICA to put more efforts on Advocacy visits to the states as that would help and encourage the participation of WDCs in budget preparation. The problem of cash backing was also stated as part of the challenges in kwara state;
- iv. Kano stressed the need for an advocacy visit to the key stakeholders on the importance of sustainability of the project;

COMMENT BY PROJECT MANAGER

The project manager advised that stakeholders should take ownership of the project and address the problem of funding and also encourage collaboration with other agencies in the activities of the WDCs. He added that the issue of funding is a major problem that has been reoccurring in all the meetings. He however states that as part of the requirement, states must make provision and make available funds to WDCs as well as training of staff and travel costs for staff, such commitment is expected also of the SMLG.

The Project Manager also stated that the non-provision of budget to WDCs is a serious challenge and there is need to encourage the LG Councils to provide funding and also provide stipends for graduates to start their businesses after graduation. He also advised that LG should provide some funds as imprest for WDCs to enable them function more effectively.

The project Manager noted that State Ministries of Local Government and Local Government Chairmen ought to be part of this meeting to be able to address the issues raised, however, he informed the meeting that letters would be written to states Ministries for Local Government and Chairmen of Local Government of their importance of their attendance at stakeholders meetings like the JCC.

On the issue of collaboration, the Project Manager stated that it is important for the SMWA and SMLG in the states to understand their respective roles in the activation project and the concerns of women should be their most concern he added that SMLG should ensure the implementation of the agreement signed and stated that a fresh letter would be written by the Centre in that respect.

Also on the issue of advocacy, he stated that it had been planned and would ensure that appointments are made with the relevant offices/persons to meet in the same venue where everything would be discussed.

To this end, the project manager commended members on the remarkable achievements made especially in the new innovations as seen in Kwara and Anambra states and many WDCs have done so much to show.

On the issue of misallocation of equipment to the right target, the project manager stated that states that do not use their equipment as appropriate or to the right person, the project would be taken out of the state.

Handwritten signature/initials

Handwritten mark

ACTIVITIES FOR YEAR 2014

The Project Manager presented the plan of operation for approval at the meeting and activities for 2014 to the meeting as follows:

Dec 2013	stakeholders meeting
Jan 2014	TOT: Data analysis, Database data collection entry, Radio program, and advocacy tour
Feb 2014	state stakeholders meeting at Abuja for feedback
Mar 2014	TOT: women empowerment and community development
Apr 2014	Management training for SMWA and WDO, revised training materials
May 2014	2 nd monitoring
Jun 2014	Kano follow-up study
Jul 2014	Action plan workshop 2015
Aug 2014	2 nd state stakeholders meeting at Abuja for feedback
Sep 2014	2 nd stakeholder meeting
Oct 2014	compiling manuals
Nov 2014	compiling manuals, JCC meeting and Terminal Evaluation

CLOSING REMARKS

On behalf of the Director-General, the Project Manager gave the closing remarks. In his remarks, he stated that the meeting had been successful with reports from all the states except Kano state that were absent. He prayed that the project would achieve more in the coming year. He assured the meeting that the challenges faced by states had been noted and would act accordingly.

He thanked members for responding to the invitation letters and their full participation at the meeting and emphasized that what the project is doing is helping the women of Nigeria and urged them to continue with their efforts. He thanked and wished the participants well and safe trips back to their various states.

CLOSING:

The meeting closed at 1:55pm

Handwritten signature/initials

Handwritten signature/initials

ATTENDANCE:

S/N	STATE/ORG	NAME	DESIGNATION
1.	Anambra	Udebizunam F. Ogbaru	HOD
2.	Anambra	Nwakaeme Jude	D(WA)
3	Anambra	Ezekwu E. N	HOD
4	Anambra	Willy Ume	HOD
5	Anambra	M. N. Ezeanuna	Director SMLG
6	Anambra	Okeke G. N	Perm Sec
7	Cross River	Douglas N. Eyegbe	D(Education) Abi
8	Cross River	Ogban Catherine P.	D education (akamkpa)
9	Cross River	Mose Cordelia	D education (Ogoja)
10	Cross River	Margaret Ifuni Njar	D (WA)
11	Cross River	Jacob E. using	Perm Sec
12	Cross River	James Eno Uket	D (MLG)
13	Kaduna	Aminu jaafar	HOD
14	Kaduna	Grace Sarki	HOD
15	Kaduna	Pauline Maikori	Desk officer
16	Kaduna	Ramatu Tanko	WDO Zaria
17	Kaduna	Asmau A. Mohhammed	DD(MLG)
18	Kaduna	Ladi Friday	Desk Officer
19	Kaduna	Comfort Sawol	P.O
20	Kano	Mohammed G. Salihu	HOD (MLG)
21	Kano	Mohammed Ali Danbatta	HOD(D/Tofa LGA)
22	Kano	Musa Salihu F.	HOD Comm (Dala)
23	Kwara	Kikelomo Amaja	Perm Sec SMWA
24	Kwara	Alyeleso Rasaki	Dir Comm Dev
25	Kwara	Toki Christiana M.	Dir SMWA
26	Kwara	Bilkisu A. Usman	HOD Edu (Baruten)
27	Kwara	Adeboye R. Bolanle	HOD Edu (Ifelodun)
28	Niger	Danlami I. tanko	HOD (Paikoro)
29	Niger	Rahama L. Bawa	Dir. WA
30	Niger	Haj. Safiya Shehu	HOD
31	Niger	Deborah L. Jatha	Desk officer
32	Niger	Agi Ibrahim	HOD
33	Niger	Gana Mohammed	Dir Comm Dev.
34	JICA Nigeria Office	Tetsuo Seki	Chief Rep
35	JICA Nigeria Office	Chie Shimodaira	Rep
36	JICA Nigeria Office	Emiko Mikami	Project formulatiom advisor
37	JICA Nigeria Office	Halima Ahmed	Consultant
38	NCWD	Lady Onycka Onwenu (MFR)	D.G, Project Director
39	NCWD	Sadeeq Omar	DPRS, Project Manager
40	NCWD	Umar Idris Muhammed	Project coordinator
41	NCWD	Aisha Mohammed	Deputy project coordinator
42	NCWD	Azubuike Ogu	Project Secretary
43	NCWD	Ismaila Baba	Project member

44	NCWD	Abdul Bolakale A.	Project member
45	NCWD	Atim Esuekong	Project member
46	NCWD	Habiba Tumsah	Project member
47	NCWD	Ashi Samuel Emeana	Project member
48	NCWD	Larai H. Shira	Project member
49	NCWD	Wale Fakoya	Project member
50	NCWD	Raphael Akolade	Project member
51	NCWD	Nneka Elonu	Project member
52	NCWD	Yinka Oye	Project member
53	NCWD	Jummai Modu	Project member
54	NCWD	Waffiya S. Mustapha	Project member
55	JICA Expert/Team	Etsuko Ikeda	Chief Advisor
56	JICA Expert/ Team	Kiyomi Kaida	Expert
57	JICA Expert/Team	Abieyuwa Igbinoghene	Project Staff

池田

8

Minutes of Meeting

Title	NCWD/JICA WDC Project Phase 2. One Day Joint Coordinating Committee Meeting (JCC)		
Date & time	3 rd December 2014 11:35am- 2:45pm	Venue	Banquet Hall
Participants	-D.G/DPRS- Mal. Sadeeq Omar, DoT- Princess Jummai Idonije, Ismaila , Azubike, Nneka, , Umar, Abdul, Habiba, Atim, Yinka, Blessing, Aisha, Amina, Rapheal, Moh'd, Jafaru, Jummai Modu, -State Delegate rom: Anambra, Kano, Niger and Cross River -JICA Country Rep. Mr. Tetsuo Seki, Ms. Emiko -JICA Evaluation Team -WDC Project Team- Ikeda, Mirei, Hiromi, Kiyomi, Abieyuwa		
Record Date	Same as meeting date	Recorder	Abieyuwa
Contents	<p>1. Opening remarks</p> <ul style="list-style-type: none"> • The JCC Meeting with the National Anthem and then the opening prayer by a volunteer. • The Project Coordinator facilitated the one day JCC meeting. He introduced the guest and delegate from the State and Abuja. • Present at the meeting were the DG NCWD represented by the DPRS, Director Training NCWD, JICA Country Rep. JICA Programme Officer and representatives from the FMWASD and NPC. Also present at the Coordinating Committee meeting were the Terminal Evaluation team from JICA head Office, Japan. <p>2. Welcome remarks</p> <ul style="list-style-type: none"> • The welcome remark by the DG NCWD was presented by the representative DPRS Mal. Sadeeq Omar. In the presentation, she welcomed all to the last JCC meeting for the NCWD/JICA project where the terminal activities will be highlighted and appraisal of the WDC activities that have been implemented in the last four years in the six target states of Anambra, Cross River, Kaduna, Kano, Kwara and Niger. • Through the project tremendous success has been achieved as the literacy level of the grass root women who attended has improved, management structures in the WDCs is established, social perception of women has changed as they are now able to contribute to the economic stability in their various families. • Additional achievement is the production and publication of the Guideline and strategic implementation plan for the activation of WDC in Nigeria was developed and it serves as a veritable tool in activation of WDCs in Nigeria. • During the second phase the WDC activation project has been able to record successes in expansion of WDCs in target states and other states in the country Throughout the project year, there have been capacity building for both State partners and NCWD project members in the areas of field experience and technical expertise • The NCWD has extended the experience gained in the activation of WDC to other states in the country like Ebonyi, Ekiti, Oyo, Adamawa, Gombe and Zamfara. They provided capacity building and skill acquisition training as well as supplied variety of equipment to respective WDC • Noting the major challenge of funding as a barrier to achieving maximum successes in the states, though pleased with the rate of achievement so far but more need to be done • As the 2nd phase wind up noting that only six states 18 WDCs out of 36 state including FCT in Nigeria has been activated • In her recommendation, she advised that further collaboration and technical support should continue with JICA as we seek to improve more grassroots women livelihood in other states not yet activated • She expressed the NCWD sincere gratitude to JICA and Government of Japan for their support in the WDC activation project, the State stakeholders, SMWAs, SMLG and LGAs for their support throughout the project <p>3. Progress Report of Project Activities</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ The progress report of project activities was presented from December 2013- November 		

2014 by the DPRS

- Presenting from the three identified output table 1 to 3 of the project activities outlined are;
 - **Output 1: Training of Trainers- Data analysis:** Training organized for 20 project members in February 2014
 - ✚ **ToT on Women Empowerment and Community Development:** Training organized for project members in collaboration with SMEDAN in September 2014
 - ✚ **Develop Database on WDC Profile:** Field Survey conducted in the 6 target states in April 2014 and a one day utilization meeting held in September
 - ✚ **Development of Advocacy materials:** Radio programme for advocacy and awareness creation was organized in the 6 target states for 10 weeks in January 2014. The project has published two newsletter in December 2013 and September 2014 and the third currently on going to be published in December 2014
 - **Output 2: Action Plan-** Action Plan Development workshop for 2015 organized in the 6 target state in September 2015 for SMWA, SMLG, HODs/CDOs, WDOs facilitated by two NCWD project staff
 - ✚ **Management Training:** The Reporting format training was held for state partners of WDC during the State stakeholders meeting in Abuja in March 2014 and during the 3rd Stakeholders meeting another training was held in November 2014 and the project members share knowledge on women empowerment and Community Development training they had
 - ✚ **Stakeholders Meeting at State:** In November 2014 Kaduna and Niger State organized their own state meeting which provided all stakeholders at the state the opportunity to discuss progress issues and concerns of the centres
 - **Output 3: Monitoring Survey at State:** The 2nd monitoring survey was held in August 2014
 - ✚ **Follow-up Survey** of 6 WDCs in Kano WDC in Phase 1 was carried out in April 2014
 - ✚ **Draft Manual** for NCWD, SMWA and WDO is currently being compiled by the committee which was appointed in March 2014. The practical manual is a guideline for the activation of WDC was introduced and share at the state stakeholders meeting held in Abuja

4. Presentation of State Activity Report

- ❖ **Anambra State:** The activity report was presented by the Permanent Secretary of the State Ministry of Women Affairs. In her report she started by appreciating the NCWD/JICA project for considering the 3 Senatorial District selected for the WDC activation project and since the activation of the WDCs tremendous achievements have been recorded in the State which are;
 - ✚ Baseline survey, Advocacy visits in the states to the Governor and other stakeholders in the 3 target LGAs,
 - ✚ TOT capacity building for SMWA, SMLG, LGA and WDO staff,
 - ✚ Provision of equipment to the 3 target WDCS in the state,
 - ✚ Capacity building on report writing, WDC Service Quality etc.
- Supply of training equipment for bead making, Tailoring, Hair dressing, Catering, Outdoor and indoor decoration.
- The SMWA during the project life was able to pay salaries of all the instructors at the 3 target LGA for one year
- Carried out sensitization workshop and activities in church, using town cries, radio advert
- The SMWA has 63 WDCs constructed and equipped but not activated except for the 3 target LGAs that are fully functional and have graduate 850 students since its activation
- The centres are poorly funded and so hinders the service quality

- The SMWA has benefited immensely in the project as the project desk officer was sent by the NCWD/JICA project to Japan for training
- ❖ **Kano State:** The activity report was presented by the Permanent Secretary of the SMWASD. She started by presenting the report on the activities of the State Governor investing in women initiative to capacity building of women in the state and providing graduate support scheme to help them and also provide free equipment.
 - The WDC activation project in the 2nd phase has brought tremendous success to the state in addition to the activities of the governor. The radio programme helped to sensitize and create awareness of the women empowerment initiative
 - The data survey done in the state helped to build the capacities of the staff of the SMWA, SMLG and LGAs
 - The project has built the capacities of the state staff in different dimension in skill acquisition training for WDC instructors and TOTs
 - The three target LGAs namely, Wudil, Dawakin Tofa and Dala in the state have experienced changes as the LG has renovated the WDCs, introduction of new skills at the centres such as embroidery, poultry etc., provision of adequate working materials by the LG, collaboration with development agencies and financial institutions
 - In her recommendation; she stated that the Ministry of Local Government should expand and renovate WDCs to create conducive environment for learning
 - SMWA and LG should provide more equipment and repair the spoilt ones
 - State Ministry of Education should provide standard curriculum to encourage participants
 - And SMWA/SMLG should organize periodic trainings for WDC instructors and hence employ qualified instructors
- ❖ **Niger State:** The State activity report was presented by the representative of the Permanent Secretary of the SMWA. In the state report, she lighted some of the benefits of the WDC activation project in the state especially at the 3 target WDCs as database survey was conducted for the collection of necessary data.
 - The WDC project organized a 10 weeks radio programme for to sensitize husbands of participants and non-participants on the importance of allowing their wives to attend WDC to learn skill to be able to earn income and contribute to the household.
 - The radio programme sensitization programme resulted to increase in enrolment of students at the WDC
 - The project has also helped built the capacity of SMWA, SMLG and LGA staff in areas of Action Plan workshop both at state and Abuja, skill acquisition workshop, report writing workshop, WDC management training etc.
 - The SMWA has also organized capacity building workshop for WDC instructors to learn new skills
 - The SMWA working with the State Government have activated other WDCs in 18 LGAs and provided working materials for the centres
 - The SMWA in November 2014 organised Stakeholders meeting at State attracting relevant stakeholders and were able to channel their challenges and sought for possible solution
 - The SMWA expressed their profound gratitude to NCWD/JICA for their support and choosing to work with the state and there is a huge impact of the WDCs in the various communities.
- ❖ **Two states namely; Kwara and Kaduna were absents from the JCC meeting**

5. Database Presentation

The report was presented by the Project Coordinator. The presentation was made from the findings from the survey carried out in the 6 target states of Anambra, Cross River, Kaduna, Kano, Kwara and Niger in April 2014

- The purpose of the WDC survey was to ascertain the level of functionality of the

	<p>WDCs in the states.</p> <ul style="list-style-type: none"> • The survey was in four categories such as; Functional, Not Functional, Not existing and Converted • Functional: WDC having some level of activity, having students and graduating students learning skills • Not Functional: Those WDCs where there is no activity going on as observed at the time of the survey • Not Existing: For WDCs who only existed as document but not physically sited • Converted: Those WDCs converted for other uses and functions different from WDC • In total, 146 WDCs were surveyed to view their status in the 6 target states • The survey showed that Niger state has the most functional WDCs, followed by Kwara, Kaduna, Cross River and Kano while Anambra has the list functional WDC • In summary of all the 6 target states, 58% of the WDCs surveyed are functional, 26% Not Functional, 12% Not Existing and only 4% Converted • In the aspect of graduate support, Kano WDC has the highest graduate support scheme in place for WDC graduates as since activation have given graduate support to 408 graduates of WDC, followed by Cross River with graduate support for 193 WDC graduates, Niger with 176 graduates supported and Kwara with 125 graduates given graduate support. It was noted that in Anambra and Kaduna state there is no provision for graduate support and so the graduates are not assisted and it has affected the activities of WDCs • Other areas in consideration during the survey are the four aspect of WDC Activation which are WDC Service Quality, Positive Recognition, WDC Management and Collaboration • From the analysis done relating to the four aspect of WDC activation, it was observed that Niger has improved services and highest sufficient services at the WDC than others while Kaduna and Kwara has the weakest or under progress WDC service • To further buttress the findings, graphical representation was shown to show the different level of WDC activation and Functionality <p>6. Terminal Evaluation</p> <p>The evaluation team of 4 arrived Nigeria in November 2014 from JICA headquarter in Japan. Their major aim was to evaluate the progress of the project, its input, activation level and achievements.</p> <ul style="list-style-type: none"> ❖ Five evaluation criteria was applied: <ul style="list-style-type: none"> • Relevance • Effectiveness • Efficiency • Impact • Sustainability ❖ The above criteria is to identify the promoting factor and impending factor ❖ To suggest better implementation of the remaining project period ❖ Methodology used for Evaluation: <ul style="list-style-type: none"> • Documentation review on the progress report and project documentation • Questionnaire survey to NCWD project members, SMWA, SMLG, WDO, HOC and Japanese expert • Interview to NCWD, SMWA, WDO, HOC and Japanese expert • Visit to project state- SMWA, 3 pilot WDCs in Niger ❖ Achievements form Evaluation: <ul style="list-style-type: none"> • Various trainings has helped to enhance the capacity of NCWD Counterpart • 20 types of teaching materials and advocacy tools developed and produced during the project
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> • 23 NCWD project members received TOT and conducted training at state <p>❖ Effectiveness of WDC Activation Model</p> <ul style="list-style-type: none"> • Mostly fulfilled • Majority of the WDC has increased number of participation • WDCs renovated and new building constructed, equipment and materials provided for learning and provision of graduate support <p>❖ Achievement of Project Purpose</p> <ul style="list-style-type: none"> • Almost achieved purpose • Project Management and communication challenge – effort made and functions well now • Security situation, delay in budget hinders realization of project activities • Relevance of Project of the project is high • Effectiveness is relatively high, project purpose is almost achieved • Efficiency input are adequate but some constraint such as disbursement of funds for project activity implementation • Impact- there are various positive impact observed. Expansion of WDC Activation Model at federal and state levels: consultation with six (6) non-target states. • Some target LGs have been initiating various activities for reactivation of WDCs i.e. Paikoro (Niger) LG allocated 27 million Naira to construct a two story building • Attention to WDC activities by different sectors, NGOs, finance agencies • There is support to WDC graduates in 8 LGAs <p>❖ Sustainability: Relatively high</p> <ul style="list-style-type: none"> • Policy and institutional sustainability : high • Financial Aspect: feasible mechanism to cope up with the problems shall be prepared • Technical Aspect: • Capacity of NCWD C/P: Greatly improved by trainings and OJTs • SMWA/WDO: Improved coordination and networking <p>❖ In conclusion- Capacity of NCWD counterparts has greatly improved.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Targeted 18 WDCs were activated. • Strong commitment and leadership of NCWD to finalize WDC • Activation Manuals are highly expected <p>❖ Recommendation</p> <ul style="list-style-type: none"> • Manuals including good practices and lessons learned in 6 target states should be finalized by the end of the Project • National Workshop planned to share and update • Dissemination of manuals throughout the country • Manuals for SMWA/SMLG, WDOs should be disseminated in a timely manner • Effective utilization of the capacity of C/Ps and state level stakeholders involved in the Project • Capacity of NCWD, SMWA, WDOs improved • There should be opportunities for sharing experiences among state level stakeholders • NCWD should ensure Sustainability of the project at State levels • There should be Strategic planning to expand WDC Activation Model by utilizing the data base introduced by the Project • There should be identification of resource institutions to further improve the service quality at WDCs <p>7. Way Forward - The project manager in his speech on the next step to be taken to ensure the sustainability of the WDC Activation Project, it is expected that the various state government should be able to duplicate the model in other LGAs seeing that the project will terminate in February 2015 and NCWD will go round to check how much the</p>
--	--

	<p>government have done in activating other WDCs in the state.</p> <ul style="list-style-type: none"> • More collaboration is needed between SMWA/SMLG and the State Government • It should be noted that most WDCs did not meet their target due to lack of funding because with budget plans cannot be made to sustain the project • LGAs and State Government need more sensitization so they can make budget for WDC activation • Drawing from the DG’s speech, a 3rd phase is required • A national workshop will be organised for the practical manual to be presented to them for verification and adoption • There is a possibility of a 3rd phase judging from what the terminal evaluators have reported, NCWD hope for a bigger platform will in 2015conduct training and workshop for women in other areas of skill acquisition such as plumbing, electrical, bricklaying, volcanizing etc. <p>8. An MOU was however signed by the JICA terminal evaluator chief and the NCWD</p> <p>9. Closing Remark</p> <ul style="list-style-type: none"> • JICA Terminal Evaluator- The leader of the Evaluators speaking on the behalf of the team said they were pleased to attend the JCC meeting after they had visited one of the project states, attended the stakeholders meeting in Abuja, interviewed and discussed with State participants and CP. They are impressed with their findings. It is a success case for women to be empowered to be able to earn income to support their families. In conclusion, they said there is greater need for cooperation of stakeholders of the project. • JICA Chief Rep. – He said for JICA, the project is very unique and important. The collaboration since 2007 is gradual coming to an end, it is important that the positive achievements be recognize. Listening to the outcome of the evaluators is very impressive as there are significant changes and good practices from the project so far. • The terminal evaluation report provides us with a comprehensive summary of what have been done right and what need is to do better. The activation model guide to be developed will be a great resource to women who attend WDC at the local level. • It is important to start thinking and strategizing on how to transfer the model to other WDCs across Nigeria. • Though JICA’s supports ends in February 2015, it does not mean they are no longer with NCWD in the journey to activating WDCs in Nigeria. JICA Nigeria office is still available to support activities as much as possible. Hoping that NCWd and state counterpart are able to take up the challenge of sustaining the result of the project so far. • He appreciated NCWD for effort put in to ensure the success of the project though not without its challenges. <p>10. Vote of Thanks</p> <p>The Project Manager who represented the DG, in his closing remark expressed the Dg’s profound gratitude to JICA for all their immense support throughout the project. Also, NCWD look forward to future collaboration soon from JICA. Appreciating all the delegates from the state that made effort to be available for the workshop, he wished everyone safe journey back to their various state.</p> <p>*The JCC meeting ended with a closing prayer, after which a group photo was taken by all delegate, NCWD & JICA staff</p>
Materials collected	<p>Report of WDC activities at State from:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Anambra • Kano • Niger

別添 6 : プロジェクト・メンバーリスト

List of the Members of WDC Activation Project

No.	Name	Department/Division	Position
1	Onyeka Onwenu	Director General NCWD	Project Director
2	Sadeeq U. Omar	DPRS	Project Manager
3	Umar Idris Muhammad	PRS	Project Coordinator
4	Aisha Mohamed	PRS	Deputy Coordinator
5	Azubike Ogu	PRS	Project Secretary
6	Ismaila A. Baba	PRS	Project Member
7	Princess Jummai Idonije	Director of Training & Development	Project Member
8	Emmanuel Onilearo	Assistant Director Programme Analyst, PRS	Project Member
9	Wafiyyah S. Mustapha	Chief Planning Officer, PRS	Project Member
10	Abdul Bolakale A	PRS	Project Member
11	Aliyu Muazu Maigini	Estate (*Resignation)	Project Member
12	Habiba M. Tumsah	Procurement	Project Member
13	Ashi Utor	Admin	Project Member
14	Muktar Usman	Assistant Chief Planning Officer, PRS	Project Member
15	Duru Ijeoma	PRS	Project Member
16	Mohammed S. Aliyu	Acting Chairman of Procurement Office	Project Member
17	Larai H. Shira	Legal Unit	Project Member
18	Wale Fakoya	Accounts	Project Member
19	Raphael O. Akolade	Accounts	Project Member
20	Nneka Elonu	PRS	Project Member
21	Oboh U. Blessing	PRS	Project Member
22	Yinka Oye	PRS	Project Member
23	Jummai Modu	PRS	Project Member
24	Atim Esuekong	PRS	Project Member
25	Amina Ibrahim Sadiq	Day care	Project Member
26	Musa Ja'afaru	Admin	Project Member

Members who colored are not active to participate to the Project activities due to their designating management positions (Director of Department, Chief and Assistant Chief etc).

別添 7 その他活動実績

① プロジェクト前半活動のレビュー

Review of the First Part of the Project Phase 2

PO	Activities	State	Date	Detailed Activities	Lecturer / Researcher	Participants/ interviewees	Responsible Person	Reports
2-2 2-3	Baseline Survey	Kano	Nov-11	Basic info of State and target LGAs/ WDCs, 5 aspects of women empowerment from WDC students, interview/FGD with WDC students/ husbands, Market survey(intervnew and observation)	Aisha, Blessing, Emma, Bolakale, Musa, Umar, Wale, Ijeoma, Wafiyya, Yinka, Muktar, Azubike, Atim, Ismaila, Larai, Nneka, Ebi, Ashi, Raphael,Otsuka, SMWA	WDO, HOC, WDC instructors, WDC students/ husbands, LGA, SMWA, cooperatives/entrepreneurs/b rokers	Ms. Otsuka	X (Raw data)
		Kaduna	Feb-12	Basic info of State and target LGAs/WDCs, Roles of SMWA/SMLG/LGA/WDC, Market survey (observation)	George , Princess Jummai, Blessing, Habiba,Ijeoma, Raphael, Musa, Aliyu, Wale, Larai, Miura, SMWA	WDO, HOC, WDC instructors, WDC students/ husbands, LGA, SMWA	Ms. Miura	X (Raw data)
		Niger	Nov-11	Basic info of State and target LGAs/WDCs, Roles of SMWA/SMLG/LGA/WDC, Market survey (observation)	Ebi, Azubike, Princess Jummai, Umar, Habiba, George , Aisha, Blessing, Kurata, SMWA	WDO, HOC, WDC instructors, WDC students/ husbands, LGA, SMWA	Ms.Kurata	●
		Anambra	May-12	Basic info of State and target LGAs/WDCs, Market survey (observation)	Ismaila , Aisha, Azubike, Clement	WDO, HOC, LGA, SMWA ,sellers/buyers in Market	NCWD team	●
		Cross River	Feb-12		Umar , Atim, Ijeoma,Suleiman			●
		Kwara	Feb-12		Ema , Bolakale, Nneka, Raphael			●
2-2 2-3	Baseline follow-up	Kano	X	/	/	/	/	/
		Kaduna	X					
		Niger	X					
		Anambra	Feb-13	interview with WDCstudents/non students, graduates to assess 5 aspects of women empowerment	Yinka, Jummai, Ijeoma	WDCstudents/graduates, non students. Total of 15 women/WDC=45 women.	Ms. Niioka	X (Raw data)
		Cross River	Sep-12		Yinka,Jummai, Nneka, Umar, Niioka		Ms. Niioka	
		Kwara	Jul-12		George, Ijeoma, Bolakale,Umar, Aliyu, Otsuka, Niioka		George(?)	●

Review of the First Part of the Project Phase 2 (Remarks and Way Forward)

PO	Activities	State	Remarks	Way forward
2-2 2-3	Baseline Survey	Kano	Survey report is a compilation of raw data. There is no analysis.	Baseline survey should be utilized for planning the following activities and designing indicators for monitoring. But appropriate data was not collected enough. It is better not to utilize the results of this baseline survey, rather it should be set up indicators for monitoring of 4 aspects of WDC activation and 5 aspects of women's empowerment based on Guideline and other relevant documents.
		Kaduna	Survey was well done and enough data was collected, but not well analyzed and compiled as a report. No data about 4 aspects of WDC activation is presented.	
		Niger	Information about WDC is not enough. No data about 4 aspects of WDC activation.	
		Anambra	Information presented in the report is not enough. For WDC, there are no data about 4 aspects of WDC activation.	
		Cross River		
		Kwara		
2-2 2-3	Baseline follow-up	Kano	Data is not well analyzed and compiled in a report. There is a summary of data only.	The questionnaire for women's empowerment can be modified and used for monitoring. The experiences of conducting interview survey of NCWD members should be fully utilized.
		Kaduna		
		Niger		
		Anambra		
		Cross River		
		Kwara		

Review of the First Part of the Project Phase 2

PO	Activities	State	Date	Detailed Activities	Lecturer / Researcher	Participants/ interviewees	Responsible Person	Reports
3-1	Monitoring (4 aspects of WDC activation)	Kano	X	For WDC Management, a consultative workshop to develop the monitoring format was held at NCWD with SMWA/LGA (HOD, WDO, HOC). Monitoring for the 4 aspects of WDC activation was not done, but the format for WDC management aspect was developed.	For WDC Management, based on Ms. Harada's monitoring format.	For WDC Management, HOC, WDC instructors, WDO/LGA	Ms. Harada	X (only format of management aspect, no report)
		Kaduna	X					
		Niger	X					
		Anambra	X					
		Cross River	X					
		Kwara	X					
3-1	Monitoring (women's empowerment)	Kano	May-13	5 aspects of women's empowerment were evaluated by Questionnaire. The questionnaires were distributed in March 2013, and collected /analyzed in March2013.	based on Ms. Harada's monitoring format.	WDC students (10 students / WDC =total of 180 students)	Ijeoma, Ms.Niioka	X (summary of data only)
		Kaduna						
		Niger						
		Anambra						
		Cross River						
		Kwara						
3-2	Good Practice	Kano	May-13	Each WDC made a presentation on their " Good practice". Their presentation was evaluated by 5 aspects(usefulness, effectiveness, creativeness, good model to other WDC, presentation) by JICA office.	Ms. Niioka	HOC, WDO, HOD, SMWA, SMLG (11 people from each state were invited). Total attendance was 60 people.	Ms. Niioka	X
		Kaduna						
		Niger						
		Anambra						
		Cross River						
		Kwara						
2-9	Bi-Annual Activity Report (to monitor reports from States)	Kano	X	/	/	/	Muktar	X
		Kaduna	X				Habiba	
		Niger	X				Aisha	
		Anambra	X				Azubike	
		Cross River	X				Atim	
		Kwara	X				Bolakale	

Review of the First Part of the Project Phase 2 (Remarks and Way Forward)

PO	Activities	State	Remarks	Way forward
3-1	Monitoring (4 aspects of WDC activation)	Kano	Japanese short-term expert developed a monitoring format which cover one of the 4 aspects of WDC activation.	WDC activation has 4 aspects. To monitor WDC activation should be evaluated by those 4 aspects. Indicators of evaluating the level of WDC activation should be set up based on Guideline. And the monitoring survey will be conducted regularly.
		Kaduna		
		Niger		
		Anambra		
		Cross River		
		Kwara		
3-1	Monitoring (women's empowerment)	Kano	Questions are too superficial to assess women's empowerment. All questions are yes-no question, and the questionnaire is distributed, not face-to-face interview. The most of interviewees answered 'yes' to most of questions.	For monitoring the level of five aspects of women's empowerment, detailed questionnaire was used in the baseline follow-up survey in Anambra, Crossriver and Kwara, but the raw data was not well analyzed. Based on this questionnaire, the indicator of monitoring women's empowerment will be developed, and the monitoring survey will be conducted regularly.
		Kaduna		
		Niger		
		Anambra		
		Cross River		
		Kwara		
3-2	Good Practice	Kano	The definition of "Good practice" is not clear. Also the way to collect good practice should be reconsidered.	The definition of "Good practice" should be reviewed and discussed based on the Guideline. The way of collecting "Good practice" also need to be reviewed and discussed.
		Kaduna		
		Niger		
		Anambra		
		Cross River		
2-9	Bi-Annual Activity Report (to monitor reports from States)	Kano	After the training on organizational management for NCWD focal persons of target state by Ms. Harada in March 2013, focal persons were expected to instruct SMWA/LGA and collect the Bi-Annual Activity report from each State. Six months has not passed since the training, so their by-annual report has not been collected.	According to the reporting system which was taught at the organizational management training to NCWD focal persons and SMWA/LGA (HOD, WDO, HOC) by Ms. Harada, this reporting system is expected to be checked by NCWD. Focal persons should encourage SMWA to check report from WDO and WDC, and focal person should instruct SMWA to write and submit their report regularly. The reporting system should be closely checked by focal persons.
		Kaduna		
		Niger		
		Anambra		
		Cross River		
		Kwara		

Review of the First Part of the Project Phase 2

PO	Activities	State	Date	Detailed Activities	Lecturer / Researcher	Participants/ interviewees	Responsible Person	Reports
2-5	Action Plan	Kano	May-11	Action plan was developed, but not enough.	Ms. Otsuka, NCWD	SMWA/LGA	Ms. Otuka	X
		Kaduna	Jul-12	Action plan for 2013 was not completed. Action plan was made only up to July 2013.	Ema, Habiba, Raphael, Musa	SMWA(6officers), SMLG(4 officers), LGA (3HODs, 3WDOs, 3HOCs)	Ema	●
		Niger	May-12		George, Ema, Muktar, Blessing, Wale, Otsuka	SMWA(17 officers), SMLG(2 persons) /LGA(3HODs, 3WDOs.	Ms. Otsuka	●
		Anambra	Feb-13	Action Plan 2013 was developed.	Ema, Jummai business education (Azubike) also done.	SMWA (desk officer) 3WDOs, 3HOCs, 3HODs) from each State	Ema	(not report, but teaching materials)
		Cross River	Feb-13					
		Kwara	Feb-13					
1-6 1-7 2-9 2-10	Advocacy Tour	Kano	Nov-12	DG and NCWD officers (about 10 officers) visited Govoner, Commisioner to raise their awareness of project and to increase their commitment to the project.	DG, NCWD officers (about 10 members)	State Govoner, Commisioners of SMWA and SMLG	NCWD team	X
		Kaduna	Dec-12					
		Niger	Dec-12					
		Anambra	Oct-12					
		Cross River	X					
		Kwara	Dec-12					
	Advocacy Materials / awareness in community	For All State		Poster (Aug.-12) Calendar for 2013(Dec.-12), Frier in 5 local languages(1000 copies:), News letter (Niger state)		Stakeholders in target state and non-target state.	Ms. Miura, Ms.Nioka	● (advocacy materials, not report)

Review of the First Part of the Project Phase 2 (Remarks and Way Forward)

PO	Activities	State	Remarks	Way forward
2-5	Action Plan	Kano	Action plan for 2013 was not developed at all.	Action plan for 2013 need to be developed as soon as possible, and for 2014 also need to be developed including budeget planning.
		Kaduna	Action plan for 2013 (from August-) was not completed.	Action plan for 2013 (from August-) need to be developed as soon as possible.Action plan for 2014 need to be developed including budget planning.
		Niger		
		Anambra	Action plan for 2013 was developed.	Action plan for 2014 need to be developed including budget planning.
		Cross River		
Kwara				
1-6 1-7 2-9 2-10	Advocacy Tour	Kano	Japanese exparts were not participated. The reports of the advocacy tour was not presented. So the details of advocacy tour is not clear. Need to collect info.	NCWD plans to conduct Advocacy tour once more for the rest of the project period. If security situation is ok, Japanese exparts would be better join the tour.
		Kaduna		
		Niger		
		Anambra		
		Cross River		
	Kwara			
	Advocacy Materials / awareness in community	For All State	Advocacy material are enough. Awareness in community needs to be	Something like community event/ radio program need to be considred to raise awarress on WDC activation in community.

Review of the First Part of the Project Phase 2

PO	Activities	area of training	Date	Detailed Activities	Lecturer / Researcher	Participants/ interviewees	Responsible Person	Reports
1-4	Training (for NCWD)							
1-4-1	Management	N1 team building	Mar-12	importance of working as a team: sharing information, time management, solving and preventing problems, managing logistics.	Ema	NCWD members	Ema	●
		N2 organizational capacity development	Nov-12	strategic management, leadership skills, managing difficult situation/persons, coordination and communication, transparency and accountability, budgeting	ASCON (Lagos)	NCWD members	ASCON	●
1-4-2	Gender analysis	N3 Gender issues	Apr-12	Basic gender training was provided to retain the knowledge of team members.	Blessing	NCWD members	Blessing	● (teaching material only)
		N4 data analysis from gender perspective	May-12	Basic knowledge on gender disaggregated data and gender analysis were taught	Sadeeq Ebi	NCWD members	Ebi	● (teaching material only)
1-4-3	N5 Women's empowerment		Apr-12	Japanese experiences on community development like Livelihood improvement programm was presented by a NCWD member who joined the Japan training.	Wale (?)	NCWD members	Wale	● (teaching material only)
1-4-4	Planning (budget included)		X					
1-4-5	Data analysis		X					
1-4-6	Monitoring &Evaluation		Oct-12	Basic concepts of M&E, Design of M&E, data analysis, sampling.	Resource persons from Bayero University	NCWD members	Resource persons from Bayero University	● (teaching material only)

Review of the First Part of the Project Phase 2 (Remarks and Way Forward)

PO	Activities	Area of Training	Remarks	Way forward
1-4	Training (for NCWD)			
1-4-1	Management	Team building Organizational capacity development	Teaching material of team building training was well developed by NCWD member.	As the teaching materials on these issues were already prepared by NCWD members and those materials were utilized by NCWD, what is left is to modify and compile those teaching materials and make a printed textbook.
1-4-2	Gender analysis	Gender issues Data analysis from gender perspective	There are several teaching materials well prepared by NCWD member.	
1-4-3	Women's empowerment	Japan experiences of community development	NCWD member who went to japan training on community development made a presentation by his teaching material.	
1-4-4	Planning (budget included)	/	Not yet done. But action plan workshop covered	
1-4-5	Data analysis		Not yet done	Training on data analysis should be organized before NCWD members start M&E to States. Resource persons should be selected and the date/venue for training need to be set.
1-4-6	Monitoring & Evaluation	Basic concepts of M&E, Design of M&E, data analysis, sampling.	This training was highly appreciated by NCWD members, and claimed that the training was too short and need more advanced one.	Although a training on basic M&E was done, the training needs on this issue was very high, and the capacity of NCWD on monitoring need to be more developed. Therefore, another training on M&E should be organized for all NCWD members. And based on the training materials, the textbook on M& E should be well developed.

Review of the First Part of the Project Phase 2

PO	Activities	State	Date	Detailed Activities	Lecturer / Researcher	Participants/ interviewees	Responsible Person	Reports	
2-6 2-7	Capacity development	Kano	Dec-11	Organizational management, business	?	SMWA, SMLG, LGA/WDO/HOC	?	X (teaching material only)	
		Kaduna	May-12	Management (book keeping, reporting, accounts	Muktar,Ema, Blessing, Wale, Otsuka		George	●	
		Niger		Business planning, Gender, women's empowerment (Japan experiences of community development)					
	Management Workshop	Kano	/	/	/	/	/	/	/
		Kaduna							
		Niger	Jul-12	Action plan modified, record keeping of WDC	Azubike, Aisha	HOC, LGA,WDO, SMWA(D, DD)	/	/	X
			Sep-12	Finance/account, stakeholder analysis	?	?	?	?	
		Anambra	/	/	/	/	/	/	/
		Cross River							
	Kwara								
	Management Training (book keeping, reprting, accounts) Gender training	Kano	Mar-13	/	/	/	/	/	/
		Kaduna							
		Niger	Apr-13	/	/	/	/	/	/
		Anambra							
Cross River									
Kwara									
Compuer Literacy	Kaduna, Niger, Anambra, Cross river, Kwara	Oct-12	/	/	NCWD	SMWA Decs Officer	MsMiura	●	
	Kano, Kaduna, Niger, Anambra	Dec-12			NCWD	SMWA Decs Officer	MsMiura		

Review of the First Part of the Project Phase 2 (Remarks and Way Forward)

PO	Activities	State	Remarks	Way forward
2-6 2-7	Capacity development	Kano	Those training/workshop were overlapped. Same topics were covered by another training which was very similar but different title. Aspects of management was too much emphasized.	Teaching materials need to be modified and compiled, and make a printed text book.
		Kaduna		
		Niger		
	Management Training (Training for State/WDO) (book keeping, reprting, accounts) Gender training	Kano		
		Kaduna		
		Niger		
		Anambra		
		Cross River		
		Kwara		
	Management Workshop (Training for State/WDO)	Kano		
		Kaduna		
		Niger		
		Anambra		
		Cross River		
		Kwara		

別添 7： その他活動実績

② データベース調査質問票

_____ State

Date of survey _____

Position of interviewee
HOC/Deputy/ others ()

_____ LGA

Answered by HOC

1 Name of WDC

2 Year of establishment

3 Number of classrooms

4 Daycare centre available

YES	NO
-----	----

5 Water is supplied

YES	NO
-----	----

6 Electricity is supplied

YES	NO
-----	----

7 Available WDC courses	Sewing	Catering	Knitting	Soap-making	Hair-dressing	Literacy	Other1 ()	Other2 ()
course duration								
Number of students								
Number of graduates for the past 1 year								
Number of instructors								
Number of functional equipment								

8 Name of HOC

9 Contact number of HOC

10 Available WDC products

11 WDC products are sold

YES	NO
-----	----

12 Amount of the sale of WDC products per month

13 Any collaborating agencies to produce/ market the WDC products

14 There are other WDC in LGA

YES	NO
-----	----

Number of WDCs in LGA

Answered by WDO

Name of WDO

Contact number of WDO

Monthly budget for WDC from LGA

Pictures taken by researcher

WDC facility	
Equipment	
Students in class	
Management documents	
WDC products	

_____ State

Date of survey _____

Position of interviewee
HOC/Deputy/ others ()

_____ LGA

Answered by HOC

1 **Number of registered students is increased for the past 1 year**

YES	NO
-----	----

Number of students for last year _____ / Number of students for this year _____

2 **Number of functional equipment is enough for students**

YES	NO
-----	----

3 **Working material is adequately provided**

YES	NO
-----	----

How much materials do you receive per month? _____

4 **Graduates support is provided**

YES	NO
-----	----

What kind of support do you give? _____

How many graduates received the support last year? _____

5 **Sensitization activity on WDC is held in community**

YES	NO
-----	----

What kind of actiity? _____ / How many times? _____

6 **Support to WDC is given by community**

YES	NO
-----	----

What kind of support? _____ / From whom? _____

7 **Record keeping is done**
(check by researcher, and if yes, click ✓)

YES	NO
-----	----

Attendance record for students	
Attendance record for instructors	
Weekly time table	
Equipment list	

8 **WDC activity report is written and submitted to WDO regularly**

YES	NO
-----	----

How often do you submit the report? _____

9 **Meeting is held with stakeholders in community**

YES	NO
-----	----

How often do you have the meeting? _____

10 **Budget for WDC from LGA is adequately provided**

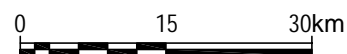
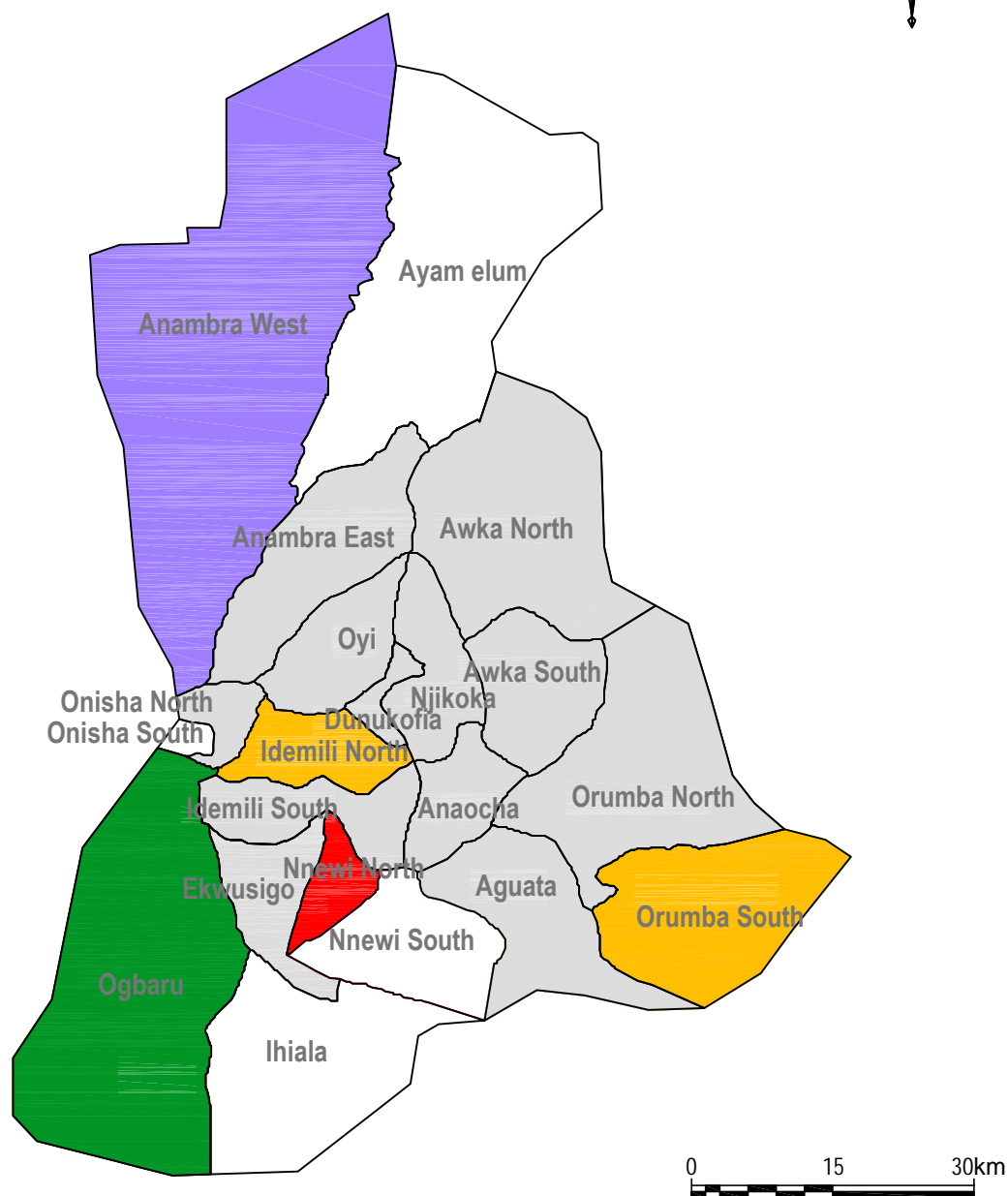
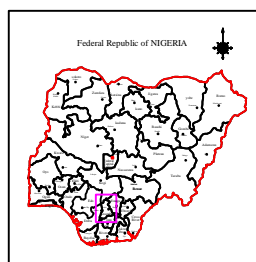
YES	NO
-----	----







How much budget do you receive from LGA per month? _____

別添 7 : その他活動実績

③ WDC Activation Map

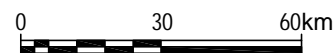
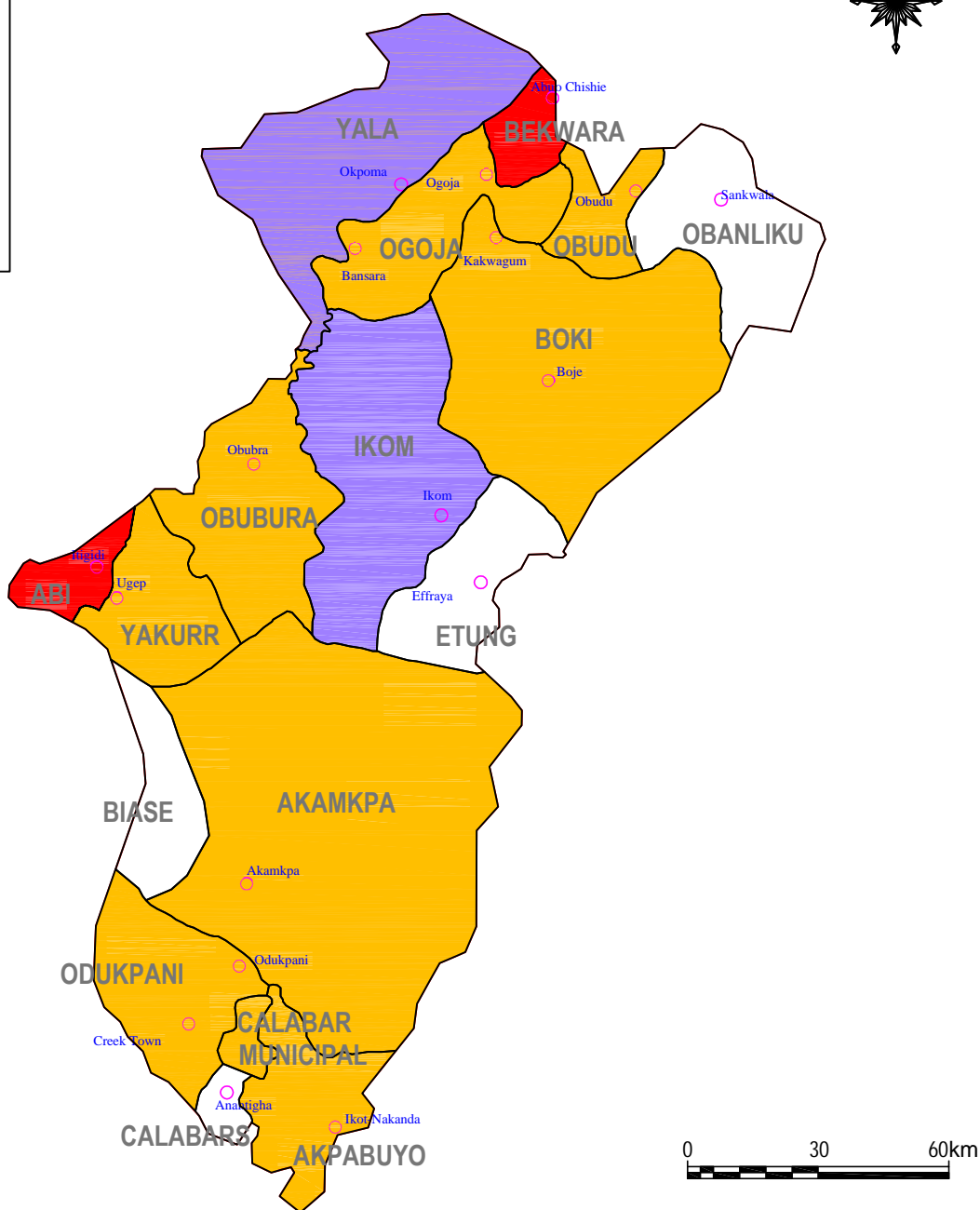
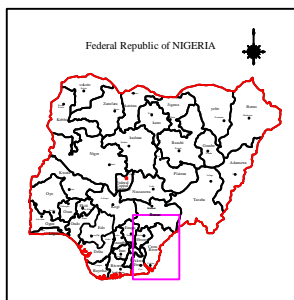
Anambra State









Color	Classification	Criteria
Functional		
Those WDCs that some level of activity was ongoing at the time of the survey. The WDC were engaged in running the training courses with the participants and instructors were available. They have graduate students and/ or under the process of recruiting new students.		
	Green	Level of Activation : Sufficient (70~100%)
	Yellow	Level of Activation : Improving (20~69%)
	Red	Level of Activation : Under Progress (0~19%)
	Not Functional	Those WDCs where no activity was observed at the time of the survey. They were found being locked with no sign of training, students, and no visible mark of instructors that would facilitate the training.
	Not Existing	WDC existed on document, but they were physically not found in terms of facility/ building or sign board.
	Converted	Those WDCs which were converted for other uses. Activities are ongoing some related to women, while some unrelated, but the function was different from WDC.

[Note: The result of the map is based on the WDC Activation Database Survey conducted in April 2014.]

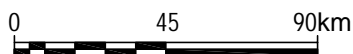
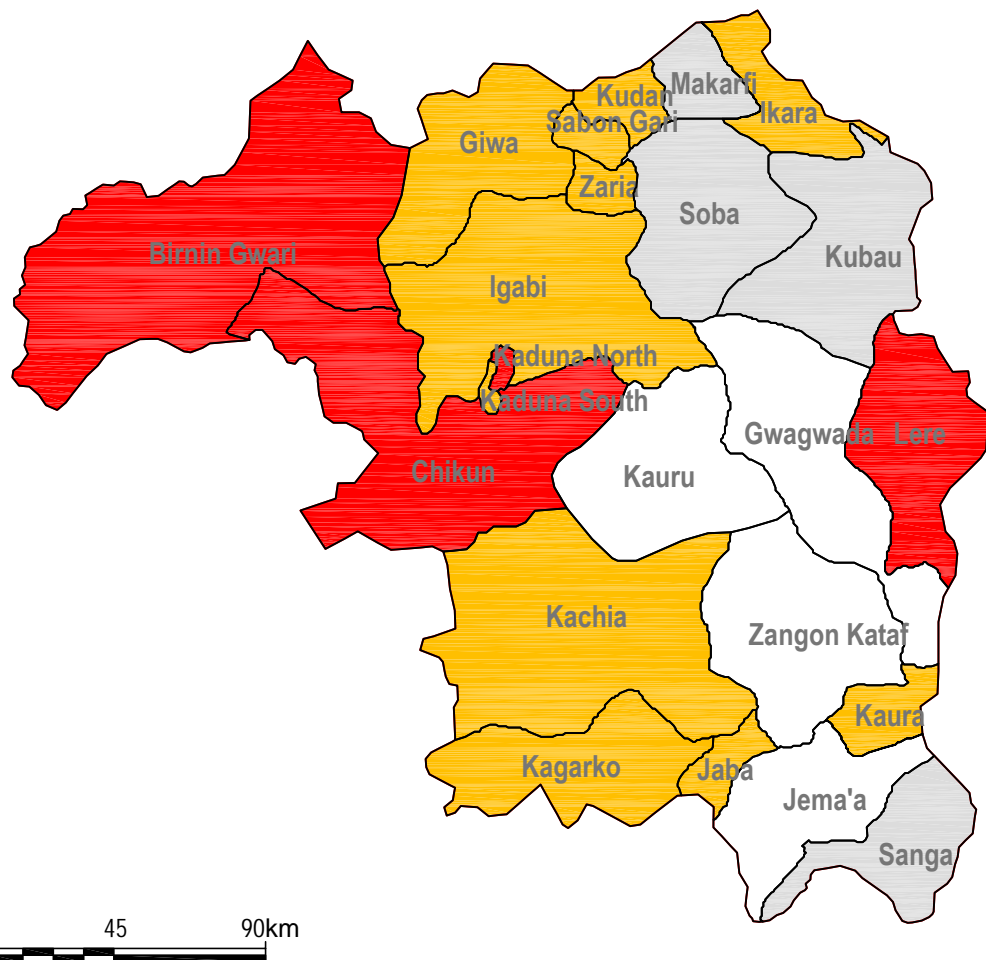
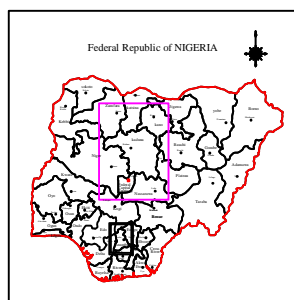
Cross River State



Color	Classification	Criteria
Functional		
Those WDCs that some level of activity was ongoing at the time of the survey. The WDC were engaged in running the training courses with the participants and instructors were available. They have graduate students and/ or under the process of recruiting new students.		
	Green	Level of Activation : Sufficient (70~100%)
	Yellow	Level of Activation : Improving (20~69%)
	Red	Level of Activation : Under Progress (0~19%)
	Not Functional	Those WDCs where no activity was observed at the time of the survey. They were found being locked with no sign of training, students, and no visible mark of instructors that would facilitate the training.
	Not Existing	WDC existed on document, but they were physically not found in terms of facility/ building or sign board.
	Converted	Those WDCs which were converted for other uses. Activities are ongoing some related to women, while some unrelated, but the function was different from WDC.

[Note: The result of the map is based on the WDC Activation Database Survey conducted in April 2014.]

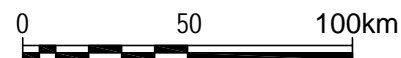
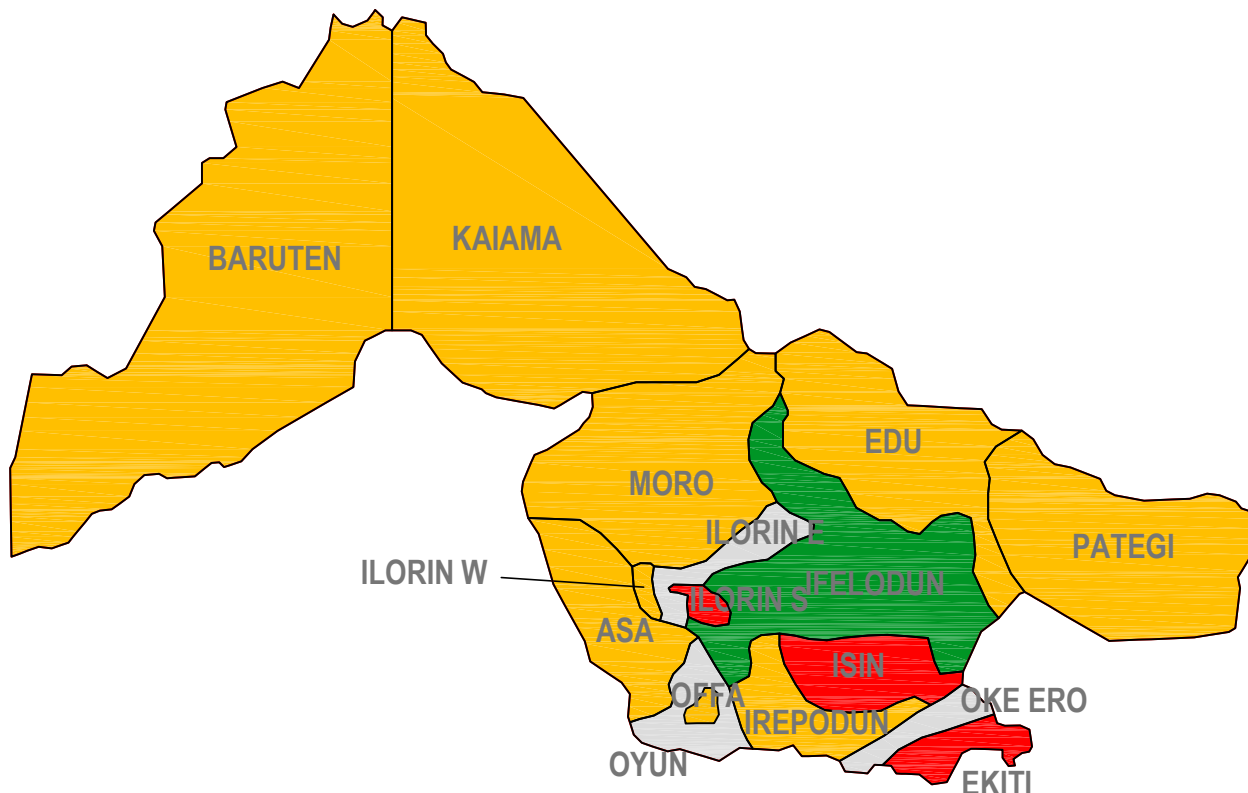
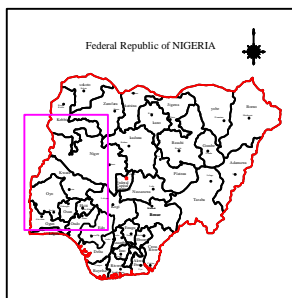
Kaduna State



Color	Classification	Criteria
Functional		
Those WDCs that some level of activity was ongoing at the time of the survey. The WDC were engaged in running the training courses with the participants and instructors were available. They have graduate students and/ or under the process of recruiting new students.		
	Green	Level of Activation : Sufficient (70~100%)
	Yellow	Level of Activation : Improving (20~69%)
	Red	Level of Activation : Under Progress (0~19%)
	Not Functional	Those WDCs where no activity was observed at the time of the survey. They were found being locked with no sign of training, students, and no visible mark of instructors that would facilitate the training.
	Not Existing	WDC existed on document, but they were physically not found in terms of facility/ building or sign board.
	Converted	Those WDCs which were converted for other uses. Activities are ongoing some related to women, while some unrelated, but the function was different from WDC.

[Note: The result of the map is based on the WDC Activation Database Survey conducted in April 2014.]

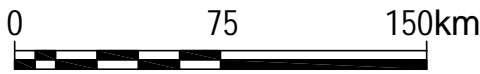
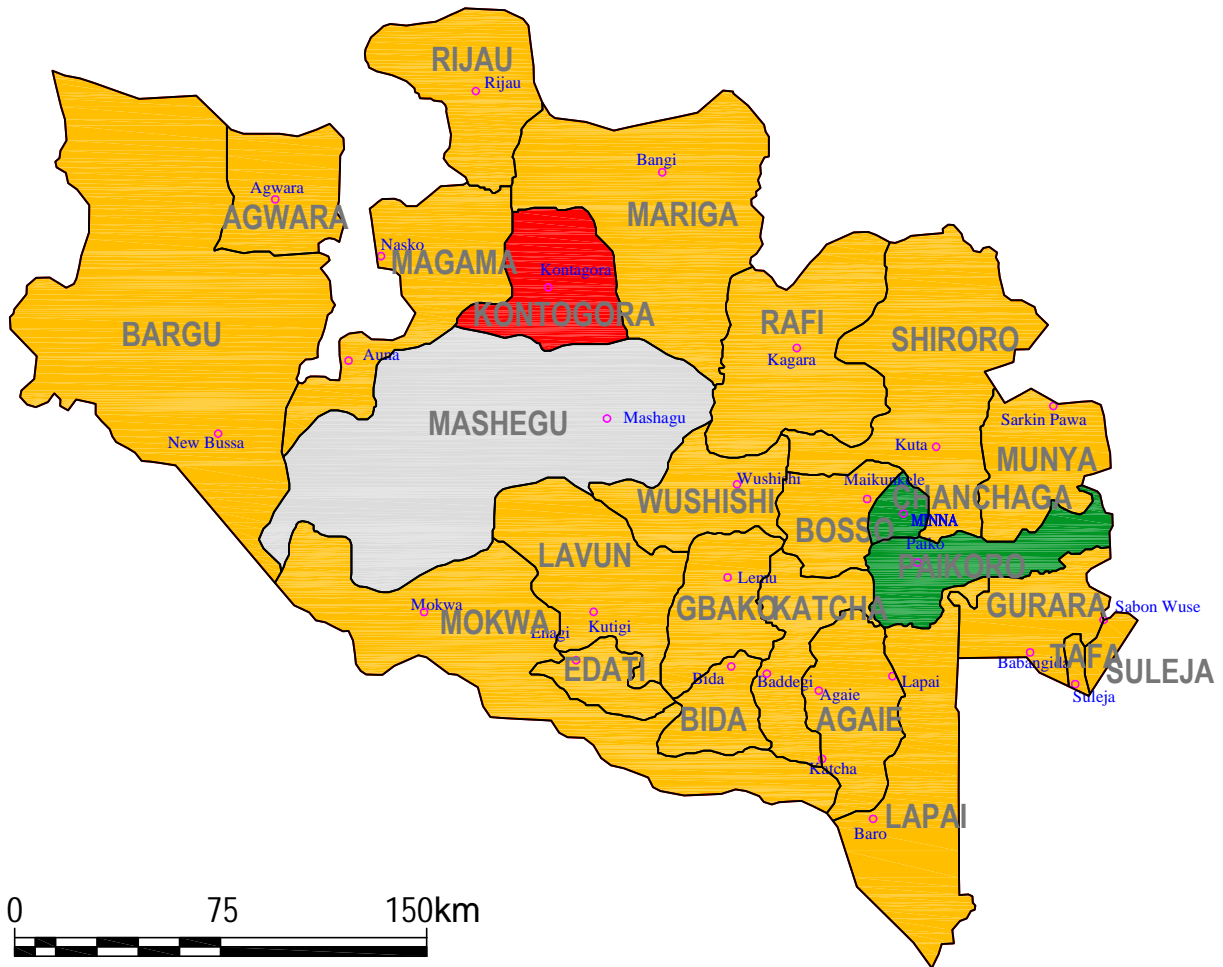
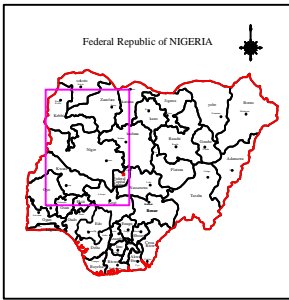
Kwara State



Color	Classification	Criteria
Functional		
Those WDCs that some level of activity was ongoing at the time of the survey. The WDC were engaged in running the training courses with the participants and instructors were available. They have graduate students and/ or under the process of recruiting new students.		
	Green	Level of Activation : Sufficient (70~100%)
	Yellow	Level of Activation : Improving (20~69%)
	Red	Level of Activation : Under Progress (0~19%)
	Not Functional	Those WDCs where no activity was observed at the time of the survey. They were found being locked with no sign of training, students, and no visible mark of instructors that would facilitate the training.
	Not Existing	WDC existed on document, but they were physically not found in terms of facility/ building or sign board.
	Converted	Those WDCs which were converted for other uses. Activities are ongoing some related to women, while some unrelated, but the function was different from WDC.

[Note: The result of the map is based on the WDC Activation Database Survey conducted in April 2014.]

Niger State



Color	Classification	Criteria
Functional		
Those WDCs that some level of activity was ongoing at the time of the survey. The WDC were engaged in running the training courses with the participants and instructors were available. They have graduate students and/ or under the process of recruiting new students.		
	Green	Level of Activation : Sufficient (70~100%)
	Yellow	Level of Activation : Improving (20~69%)
	Red	Level of Activation : Under Progress (0~19%)
	Not Functional	Those WDCs where no activity was observed at the time of the survey. They were found being locked with no sign of training, students, and no visible mark of instructors that would facilitate the training.
	Not Existing	WDC existed on document, but they were physically not found in terms of facility/ building or sign board.
	Converted	Those WDCs which were converted for other uses. Activities are ongoing some related to women, while some unrelated, but the function was different from WDC.

[Note: The result of the map is based on the WDC Activation Database Survey conducted in April 2014.]

別添 7： その他活動実績

④ ラジオ放送による啓発活動報告書

ラジオ放送による啓発活動報告書

1. 活動の目的

プロジェクトでは、女性センター（WDC）活性化に関する関係者の理解促進を目的として、活動 1-8「WDC 活性化に関する啓発教材の作成及び啓発キャンペーン活動の実施」を行っている。フェーズ 1 時におけるカノ州でのラジオ放送を活用したコミュニティ啓発の経験を参考に、本フェーズ後半でもラジオ放送による啓発活動を行った。

2. 活動内容

2-1. 番組構成、放送言語

対象州で主要とされるラジオ局を調査¹した後、必要となる番組枠を購入し、放送を行った。番組内容は、NCWD プロジェクト・メンバー、州女性社会開発省（SMWA）、対象地方行政区（LGA）、女性開発オフィサー（WDO）、WDC センター校長（HOC）が WDC 活性化の意義やプロジェクトの活動について説明したり、対象 WDC の卒業生や夫、コミュニティの伝統的リーダー等が WDC の効果を説明したりしてもらうものとして、関係者と協議の上、次の表のとおりになった。

表 2-1：ラジオ番組の構成

週	トピック	出演者
第 1 週	・ プロジェクト概要 ・ NCWD インタビュー ・ 女性のエンパワメントにおける WDC の役割	NCWD 代表 JICA ナイジェリア事務所長 SMWA
第 2 週	WDC のプログラムと参加する方法	HOC
第 3 週	WDC のプログラムに参加しよう：参加女性と家族にとってのメリット	LGA の WDO
第 4 週	WDC 運営にかかる地方行政区の役割	LGA
第 5 週	コミュニティと家族の理解あつての女性センターのプログラムへの参加	コミュニティのリーダー
第 6 週	・ WDC 卒業生が小規模金融にアクセスするには ・ コミュニティ開発における WDC の役割：WDC で作成する商品と地域の資源を活用した商品	小規模金融団体、等
第 7 週	WDC を通じた女性のエンパワメント（政府の取組み）	SMWA・州地方行政省（SMLG）
第 8 週	WDC 卒業生と家族へのインパクト	卒業生・卒業生の夫
第 9 週	WDC 参加者へのインパクト	参加者・参加者の夫
第 10 週	WDC は技術向上の場	SMWA・SMLG

ラジオ放送は、2014 年 1 月下旬より対象州 6 州にて開始され、次の 5 点（①毎週 1 回、②30 分番組/回、③10 週連続放送、④特に女性が聞きやすい時間帯に放送（例：夕食の支度をする夕方）、そして⑤対象州で一番使用されている言語を用いる）に配慮して放送された。各週のトピックは計画通り収録され、2014 年 5 月までに全 6 州で 10 週分の番組が終了した

¹ SMWA デスクオフィサーが中心となり、各州で独自のラジオ番組が放送できるよう準備を進めた。

2. 実際に放送された言語については、次の表の通り。

表 2-2 各州対象 LGA の主要言語とラジオで使った言語

対象州	対象州の 主要言語	対象 LGA の主要言語	ラジオ放送 言語
アナンブラ	イボ ピジン英語	3LGA 共通 (イボ、ピジン英語)	イボ
クロスリバー	ピジン英語	3LGA 共通 (ピジン英語)	英語
カドゥナ	ハウサ	Igabi / Zaria (ハウサ)、Jaba (ジャバ)	英語
カノ	ハウサ	3LGA 共通 (ハウサ)	ハウサ
クワラ	ヨルバ	Ilorin west (ヨルバ、ヌペ、ハウサ) Ifelodun (ヨルバ、ヌペ) Baruten (バトウヌン、ハウサ)	英語、ヨルバ、バトウヌン
ナイジャ	ハウサ	Agai (ヌペ)、Paikoro/ Wushishi (ハウサ)	ハウサ

また、「ジングル」と呼ばれる 1 分程度の広告枠も作成され、女性センターが何をしているのか、どのように女性を支援しているかを歌や音楽、寸劇などを用いて紹介している。ジングルは、各州において複数言語で作成され、ニュース等のように、良く聞かれている番組の前後に流し、多くの人に聞いてもらえるように放送された。

表 2-3 ジングル一例 (クワラ州)

<p><i>The National Centre for Women Development in Abuja in conjunction with Japan International Cooperation Agency (JICA) wish to invite general public people to Women Development Centre established all the Local Government Areas of the states for the skills and vocational trainees with ease and communities and religious leaders are enjoyed to please encourage women folk and youth to acquire skills and vocational training. It is not too late to learn the skills all to read and write. Let's ask all encourage and support our women and youth to attend Women Development Centres. Spread across the states to empower themselves. "Train women, you train the nation" This message and this supported by JICA and the National Centre for Women Development in Abuja.</i></p> <p><i>*Song: Coat Of Many Colours - Dolly Parton</i></p>

2-2. 実際の放送内容から確認されたグッドプラクティス (優れた取り組み)

プロジェクトでは、英語による放送が行われたクロスリバー州、カドゥナ州、クワラ州の 3 州について、実際の放送内容を確認し取り纏めた。そのうち、番組ゲストによって伝えられた、グッドプラクティスを活性化 4 側面と女性のエンパワーメントの項目にて整理し、次の表の通りに纏めた。

表 2-4 番組ゲストによって放送されたグッドプラクティス

項目	良い取り組みの内容
WDC のサービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> Some Local governments (LG) sent their professional staff who are in the Health section of LGs to WDCs to teach how to produce spices and drinks. WDCs deal with food like spices and drinks, and the health aspects of WDCs are really well-taken care of. (カドゥナ州) Local government tries to provide some assistances or items to graduates of

² 毎週 1 回、全 10 週にわたる番組の編成ではあったが、政見放送等で繰り越されることなどもあり、州によって終了までに要した期間が異なる結果となった。

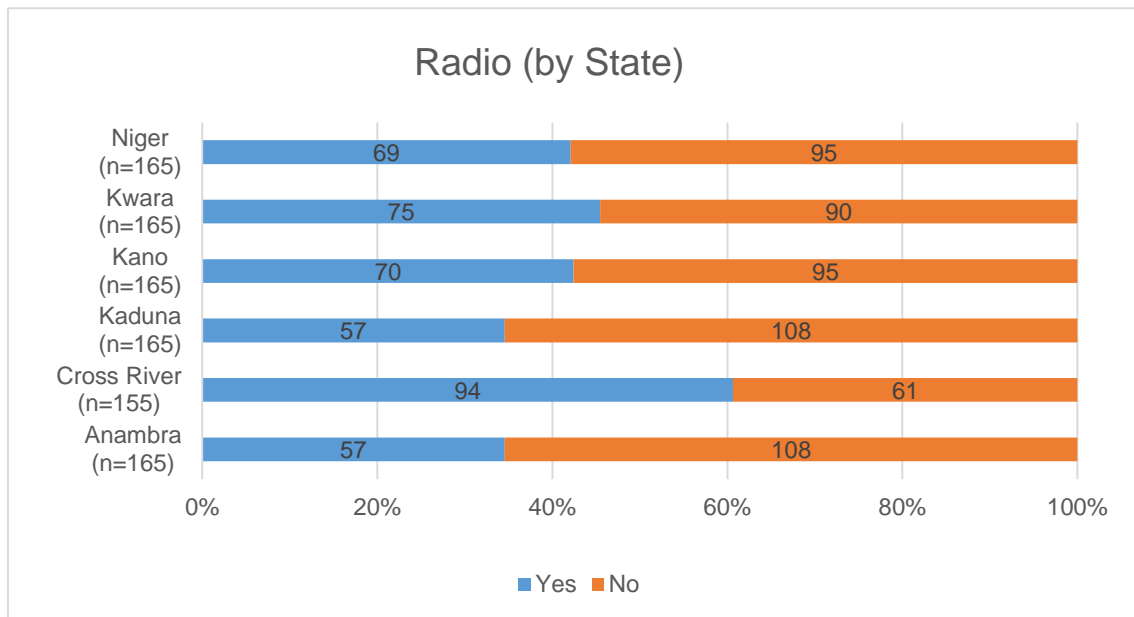
	<p>WDCs to start self-employment. (クロスリバー、カドゥナ、クワラ州)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Many women graduated WDCs given equipment from their LGAs to start their businesses. (クロスリバー州) • SMWA/LGA encourage graduates to join cooperatives so they can access loans to start their businesses. (クロスリバー州)
WDC のマネジメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> • Government utilizes radio, TV, advocacy to religious and community leaders to enhance their understanding. This Gov. efforts encourage and sensitize women to attend WDC. (クワラ州)
コミュニティからの WDC への肯定的認識の向上	<ul style="list-style-type: none"> • LGA supports student's transportation fees. Number of students increase. (クワラ州) • Community Development Officer (CDO) created awareness rising to husband about the benefits of WDC to allow their wives to attend WDCs by visiting neighbouring villages. Moreover, education for various women groups in the community were conducted to sensitise them on benefits of WDCs such as "how WDC can help them". Encouraging stories about success women who graduated WDCs were shared among women. (クロスリバー州)
関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> • Information of loans from micro finance bank were given to graduates. (クロスリバー州)
女性のエンパワーメント (経済的、身体的、社会的、心理的、政治的)	<ul style="list-style-type: none"> • A WDC participant learnt knitting at WDC. She was good at what she learnt from the WDC. After graduated from WDC, she was given contract to knit sweater for a school in large quantity. (クロスリバー州) • Success story of women farmers who made a group with 10 persons and registered as cooperatives was given. Those women farmers now have access to the funds. The WDC participants now are sensitized on the need to form cooperatives and register so that as they graduate they can be empowered. (クロスリバー州) • SMWA/LGA encourage graduates to join cooperatives so they can access loans to start their businesses. (クロスリバー州) • A husband of WDC participant said, "my wife completed computer training in WDC. Local government assisted my wife to expand her opportunity with her acquired skills. For example, government gave her a computer, a CPU, and a printer. We bought generator and papers. Moreover, state government assisted to seek the customers. She is now self-employed person with those skills. Before she joined WDC's activity, she didn't do anything by herself. But now, she has high self-reliance and takes care of our household in better way." (クワラ州) • The women have learnt how to "socialize" at WDCs. (クロスリバー州)

3. 放送による反響・効果

3-1. 放送による反響

ラジオの反響については、8月に実施した第2回モニタリング調査時(2014年8月17日～26日)に、番組視聴の有無及びその印象について調査対象者への聞き取り調査を行った。聞き取りの対象は、対象3WDCのWDC生徒20人、卒業生10人、非生徒10人、生徒の夫10人、コミュニティーリーダー5人として、質問①「WDCについてのラジオ番組を聴いたか」、質問②「番組の印象はどのようなものか」という2点について質問を行った。州ごとの結果は下記の通り。

表 3-1 ラジオ視聴の有無 (Yes : 有/No : 無)



州ごとに視聴の有無を見ると、クロスリバー州では60%が番組を聴いていたが、他の州では40%前後に留まっている。アナンブラ州、カノ州ではLGAによる違いも大きい。ラジオを視聴したと回答した人の内訳を見ると、回答者の総数の違い（各LGAで、WDC生徒20人、卒業生10人、非生徒10人、夫10人、コミュニティーリーダー5人）にも関わらず、男性（WDC生徒の夫・コミュニティーリーダー）が半数を上回る州（アナンブラ州、ナイジェリア州）もあった。

一方、クロスリバー州、クワラ州では視聴した人の3分の2以上が、カノ州では4分の3以上が女性（WDC生徒、卒業生、非生徒）であった（詳細は表1-3）。

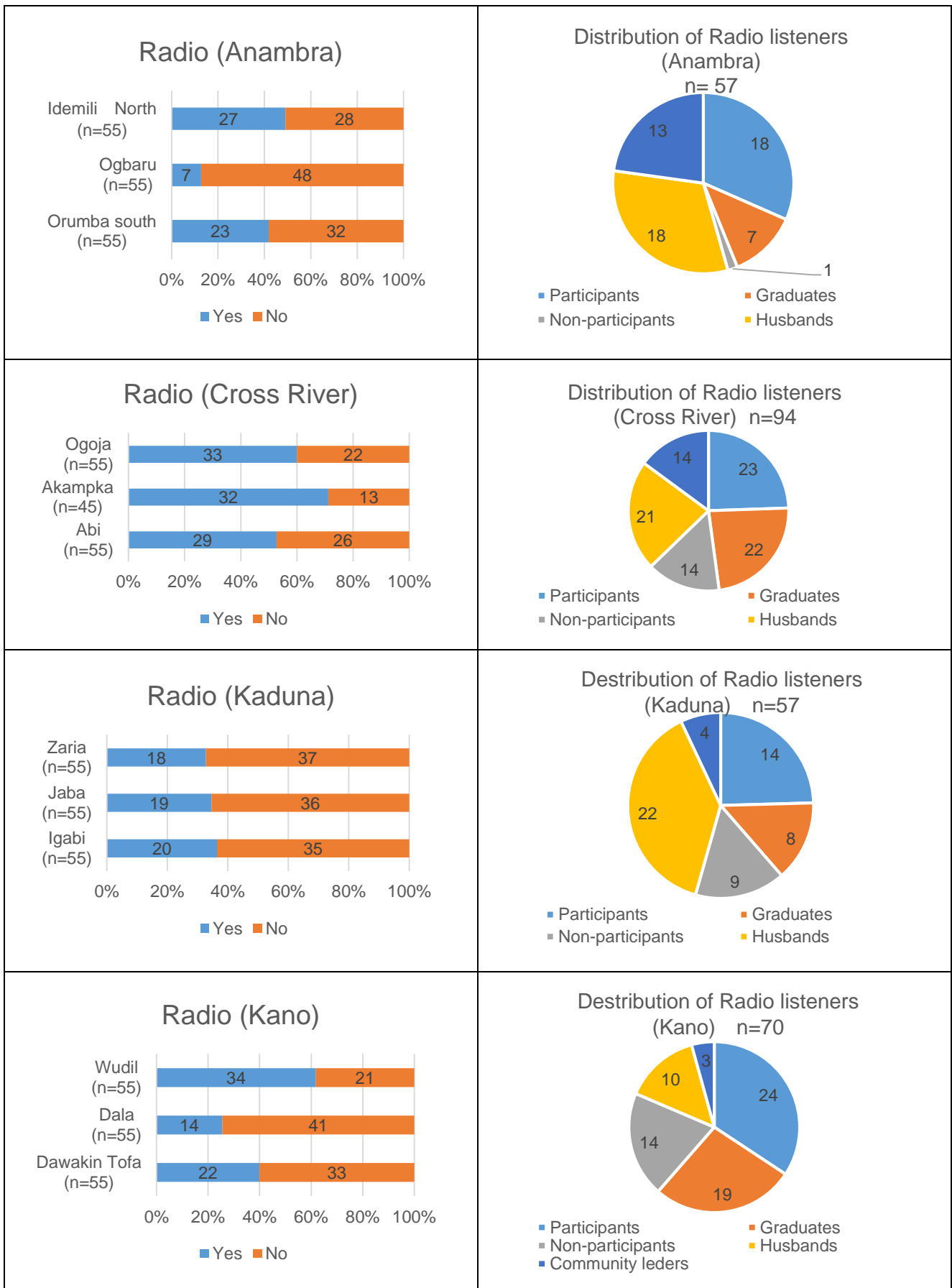
視聴した人々はラジオ番組に対して好印象を持っており、「ラジオ番組によって、WDCが何をしているのか理解できた」「女性が学びスキルを習得することが必要だと分かった」「WDCがよく知られるようになった」「引き続きラジオ番組を実施してほしい」という感想が回答者の属性にかかわらず大半を占めた。また以下のような回答も見られた。

表 3-2 質問② 回答一例

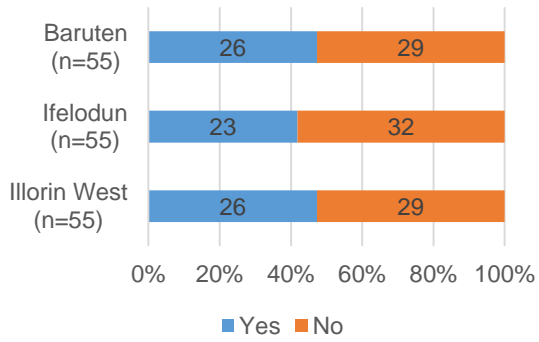
- ・ 「とてもうれしく、他の人たちにも番組を聴くように伝えた（生徒、Ifelodun, Kwara）」
 - ・ 「WDC生徒として、とてもうれしかった（生徒、Jaba, Kaduna）」
 - ・ 「素晴らしいプログラムだったので、自分の提案を政府に伝えた（夫、Jaba, Kaduna）」
 - ・ 「ラジオを聴いて、他の男性に妻をWDCに送るように提案しようと思った（夫、Dawakin tofa, Kano）」
 - ・ 「ラジオを聴いて、自分の子供をWDCに送ることにした（コミュニティーリーダー、Wushishi, Niger）」
 - ・ 「ラジオ番組に夫が感心し、私がWDCに行くことを許可した（非生徒、Agaie, Niger）」
- ネガティブな意見としては、放送言語に課題が挙げられた。
- ・ 「ヌペ語で放送してほしかった（夫、Agaie, Niger）」
 - ・ 「ハウサ語であれば、もっと分かった（卒業生、夫、Igabi, Kaduna）」

モニタリング対象者のうち半数がラジオを視聴していなかったが、理由としては以下が考えられる。①放送言語：対象州の主要言語での放送を考慮したが、各州の言語は複数あり、対象 LGA の主要言語が対象州の主要言語ではない場合があった。全ての言語には対応できないため、母語以外を理解できない場合には言語の問題で視聴できず、特に女性には多かったと思われる（特にカドゥナ州、ナイジャ州）。②放送時間が不規則：毎週同じ時間に放送予定であったが、週によっては時間に変更になる場合もあった。③ラジオ局の選定：州内の主要なラジオ局が複数あり、一方を視聴する人はもう一方を視聴する機会が少ない（NCWD メンバーによる）。この3点については、今後啓発活動の手段としてラジオ放送を選択する場合に留意する必要がある。

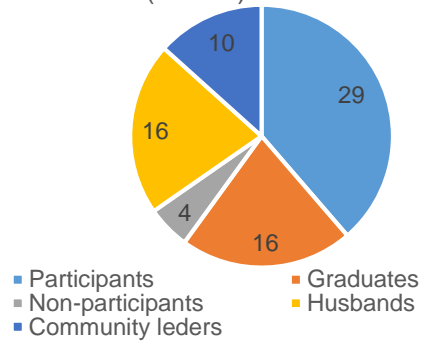
表 3-3 対象 LGA ごとのラジオ視聴の有無と視聴したと回答した人の内訳 (Yes : 有/No : 無)



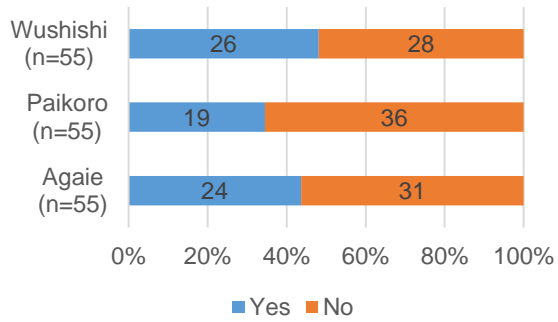
Radio (Kwara)



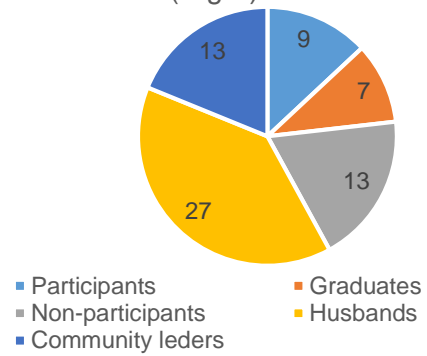
Distribution of Radio listeners (Kwara) n=75



Radio (Niger)



Distribution of Radio listeners (Niger) n=69



3-2. ラジオ放送による効果

番組放送後、WDC についての問い合わせがラジオ局及び州社会女性省（SMWA）に寄せられた。2014 年 12 月 3 日に開催した合同調整委員会（Joint Coordination Committee : JCC）では、出席した 4 州（アナンブラ州、カノ州、クワラ州、ナイジャ州）のうち 2 州が活動報告として、ラジオ放送による効果についても報告した。

表 3-4 ラジオ放送の効果

対象州	ラジオ放送による効果
カノ	<ul style="list-style-type: none">• The radio programme helped to sensitize and create awareness of the women empowerment initiative.
ナイジャ	<ul style="list-style-type: none">• 10 weeks radio programme to sensitized husbands of participants and non-participants on the importance of allowing their wives to attend WDC to learn skill to be able to earn income and contribute to the household.• The radio programme sensitization resulted to increase in enrolment of students at the WDCs.• With radio programme, information about WDC existence has reached the interior or rural areas of Niger state.

4. 提言

ラジオ放送を用いたコミュニティへの啓発活動は、上述の通り具体的な反響を得ることができ、一定の効果が確認できた。しかし、より広く、多くの人々への啓発を目指した手段としては、視聴者が約半数に留まった（第 2 回モニタリング調査時の質問対象者より）という点で課題が残る。プロジェクトでは、今後ラジオ放送によって啓発活動を行う場合に、下記点に留意することができれば、より高い効果が期待できると考える。

■ 複数局の選定、放送

本活動では調査の結果、最もよく知られた放送局を 1 つ選び放送したが、最もよく知られている 2~3 つのラジオ放送局を選択すれば、より多くの視聴者を得ることができたと考えられる。但し、予算は倍額となることから時間枠や放送回数の削減等で調整する必要がある。

■ 放送時間の限定

プロジェクトでは、女性の聴きやすい時間での放送となるよう時間帯を配慮していたが、政見放送等の事情により優先度が変わり、当初予定していた放送日・放送時間に放送することができないこともあった。このようなラジオ局の状況（習慣）を踏まえたうえで、契約時に入念に確認するなどの対処を行うことが必要となる。

■ 放送言語への留意：その州（地域）で話されている主な言語（1 言語以上）を使用

本活動への課題として、視聴者より放送言語数の不足が挙げられた。放送される州・地域にて、特によく使用されている言語を 1 言語以上で放送することで、視聴者にとってより理解がしやすくなり、啓発の効果が期待できる。

■ 放送前の広報活動の実施

放送に際して、より多くの視聴者を確保するためには事前の広報活動（番組宣伝）をすることが有効である。WDC や LGA、SMWA/SMLG での掲示や、コミュニティリーダー等の協力を得て、関係者間による口コミを促すなど、事前の広報活動によって番組の存在を知らせることが重要である。また、ジングルには番組の放送曜日や時間とともに WDC 情報の照会先を含めて、放送を見逃してしまった際にも情報にアクセスできるよう工夫を行うとよい。

■ 視聴者に魅力のある番組内容

ラジオ放送後、WDC の生徒登録数の増加が見られ、モニタリング調査時の質問に回答した人々の回答では、夫やコミュニティリーダーが積極的に女性をセンターに送り出したことなどが確認された。成功した WDC 卒業生や卒業後の進路、WDC 生徒となって家庭や日常生活にもたらした良い変化、などの実体験を番組内容に含めれば、将来 WDC 生徒となるかもしれない女性や、その家族（夫、両親、親戚等）をより惹きつけることができる。

別添 7 : その他活動実績

⑤ List of Opportunity for Capacity Development

Opportunity/training for Capacity Development (After June 2013)

<For NCWD>

#	Title	Date	Contents/Topics	Resource Person	Venue
1	Action Plan Workshop (NCWD Action Plan for the Project)	25-27 Jun-13	Confirm Progress Report of Committees Activities, Focal Persons Review of PDM and PO Discussion on remained activities Development of Action Plan 2013-2015	Japanese Expert Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members	NCWD, Abuja
2	Completion of Action Plan 2013-2015 for NCWD	1-Jul-13	Develop Action Plan (Output 1 & 2)	Japanese Expert	NCWD, Abuja
3	Completion of Action Plan 2013-2015 for NCWD	2-Jul-13	Develop Action Plan (Output 3)	Japanese Expert	NCWD, Abuja
4	Team Leader's Meeting for State's Action Plan Workshop	17-Jul-13	Preparation and instruction for State Action Plan Workshop	Japanese Expert	NCWD, Abuja
5	Meeting for sharing working materials for State's Action Plan Workshop	18-19 Jul-13	Preparation for State Action Plan Workshop	Japanese Expert Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members	NCWD, Abuja
6	Action Plan Check Meeting (Cross River)	13-Aug-13	Confirm the developed Action Plans with Focal persons	Japanese Expert	NCWD, Abuja
7	Action Plan Check Meeting (Kwara)	14-Aug-13	Same as above	Japanese Expert	NCWD, Abuja
8	Action Plan Check Meeting (Anambra)	16-Aug-13	Same as above	Japanese Expert	NCWD, Abuja
9	Action Plan Check Meeting (Kano)	17-Aug-13	Same as above	Japanese Expert	NCWD, Abuja
10	Action Plan Workshop Review (Kano)	27-Aug-13	Review the developed Action Plan	Japanese Expert	NCWD, Abuja
11	Preparation Meeting for 2 States Action Plan Workshop1 (Kaduna, Niger)	28-Aug-13	Preparation and instruction for State Action Plan Workshop	Japanese Expert	NCWD, Abuja
12	Preparation Meeting for 2 States Action Plan Workshop2 (Kaduna, Niger)	30-Aug-13	Same as above	Japanese Expert	NCWD, Abuja
13	TOT: Monitoring and Evaluation	9-13 Sep-13	Enhance the skills on Monitoring and Evaluation	Centre For Management Development (CMD), Lagos	CMD, Lagos
14	Monitoring Meeting1	17-Sep-13	Verification of questionnaires	Japanese Expert	NCWD, Abuja
15	Monitoring Meeting2	19-Sep-13	Verification of questionnaires Review Reporting system	Japanese Expert	NCWD, Abuja
16	Pilot Survey of Questionnaires testing tools	2-Oct-13	Test modified questionnaires	Japanese Expert	Zuba WDC
17	Project Management Meeting	9-Oct-13	Make all project members aware of the set objectives of the project. Confirm reporting system and NCWD's role	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja
18	Planning Meeting for State Stakeholder Meeting	10-Oct-13	Preparation for the Meeting with SMWA/SMLG/LGA	Japanese Expert	NCWD, Abuja
19	State Stakeholder Meeting Preparatory Meeting	21-Oct-13	Preparation for State Stakeholder Meeting in Abuja	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Member Japanese Expert	NCWD, Abuja
20	1st Monitoring Survey 2nd Internal Training on the Monitoring Report Format	7-Nov-13	Introduction of Data Entry format and Report format	Japanese Expert	NCWD, Abuja
21	Monitoring Preparatory Meeting	12-Dec-13	Preparation for Monitoring	Japanese Expert	NCWD, Abuja
22	TOT: Data Analysis	5-7 Feb-14	Data Analysis	University of Bayero, Department of Sociology, Dr. Kabir Bello	Hotel, Abuja
23	Preparation meeting for Stakeholder Meeting	3-Mar-14	Confirming Agenda and Schedule	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja
24	Review of the 1st monitoring Survey and Preparation for the 2nd Monitoring	14-Apr-14	Learn the lesson learnt from 1st Monitoring	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja
25	Review of the 1st monitoring Survey and Preparation for the 2nd Monitoring	22-Apr-14	Lectures on good Field work (interview) Introduction of new Data Entry Tips for Data Analysis, Report Writing, Time management, Team work	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja

#	Title	Date	Contents/Topics	Resource Person	Venue
26	Internal Meeting for 2nd Monitoring Survey	23-Apr-14	Review how to enter the data Review how to correct sufficient answers from interviewees	Japanese Expert	NCWD, Abuja
27	Debriefing by the Reserchers for Database Information Collection Survey and Follow-up survey for 6 WDCs in Kano (Phase 1)	5-Jun-14	Share findings and make discussions	University of Bayero, Department of Sociology, Dr. Kabir Bello Japanese Expert	NCWD, Abuja
28	Data Entry Training for the 2nd Monitoring Survey	5-Jun-14	Introduction of new Data Entry and Analysis format	Japanese Expert	NCWD, Abuja
29	Pre-Action Plan Workshop Meeting with team leaders	1-Jul-14	Confirm the agenda and its facilitations	Japanese Expert	NCWD, Abuja
30	Preparation Workshop for Action Plan Workshop	2-Jul-14	Review each topic for action plan development (purpose, each analysis, budget planning etc..)	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja
31	Preparation meeting for the 2nd Monitoring Survey	14-Aug-14	Review the modified questionnair, and data entry format. Review the schedule of survey Share tips for 2nd monitoring extracted from 1st monitoring	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja
32	2nd Monitoring Report writing WS	4-Sep-14	Observation of 2nd monitoring survey Workshop on monitoring report (Structure of report, Description of data , Analyzing qualitative data, Good practices, Findings, Challenges, Recommendations, Lesson learnt)	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja
33	Action Plan Preparation Meeting	4-Sep-14	Preparation for Action plan workshop, Review of PPT materials, confirm each instruction by Facilitator's guidelines Preparation of manuals (Action Plan part)	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja
34	1 day Monitoring Report Writing Workshop	18-Sep-14	Group work (monitoring report writing)	Japanese Expert	Alexis Hotel, Abuja
35	TOT: Women's Empowerment and Community Development	23-25 Sep-14	Lecture and field work to enhance the capacity for Women's empowerment and community development	Small and Medium Enterprises Development Agency in Nigeria (SMEDAN)	Alexis Hotel, Abuja
36	Training on Utilization of "WDC Activation Database"	29-30 Oct-14	Utilize the developed database for WDC Activation	Japanese Expert	NCWD, Abuja
37	Preparation worskhop for Terminal Evaluation	11-Nov-14	Review of progress of activities, PDM, Project purpose, Indicators, achievements, etc. Review of implementation process Confirm DAC 5 evaluation Criteria Preparation for questionnaire/ interview Schedule of the Terminal evaluation	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja
38	Preparation Workshop for State Stakeholder Meeting in Abuja	11-Nov-14	Confirm the programme, Roles of NCWD members, Preparation for each presentations	Appointed NCWD Members to all NCWD Project Members Japanese Expert	NCWD, Abuja

<For SMWA/ SMLG, HOD, WDO, HOC>

#	Title	Date	Contents	Resource person	Venue
1	Pre-Monitoring Workshop in Abuja	22-24 Oct-13	Share the objectives of monitoring survey Confirm the schedule of survey *(1st) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC	NCWD Project members	NCWD, Abuja
2	Group work on Reporting System		Develop Reporting and feedback system for WDC Activation *(1st) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC		
3	Action Plan Workshop (FY2013/2014)	22-26 Jul-13 2-6 Sep-13	Gender Analysis, Stakeholder Analysis Situation Analysis, Problem Analysis Budget Preparation, Development of a workable Action Plan, Development of Action Plan for SMWA/SMLG & WDCs Development of Action Plan and Presentation	NCWD Project members	6 target states
4	1st Monitoring Survey (Field work (Interview), Asking questions follows by questionnaire, Data entry)	17-23 Nov-13	*Only for SMWA/SMLG Review the objectives of monitoring Skills of interview Introduction Data Entry	NCWD Project members	6 target states
5	Results of 1st Monitoring survey	11-13 Mar-2014	Feedback the result *(2nd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC	NCWD Project members	NCWD, Abuja
6	Database on WDCs		Introduction database development as a WDC activation tool *(2nd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC		
7	Preparation for State Stakeholder meeting		Instruct how to organize the meeting Confirmed its importance *(2nd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC		
8	2nd Monitoring Survey (Field work (Interview), Asking questions follows by questionnaire, Data entry)	17-26 Aug-14	*Only for SMWA/SMLG Explanations for new questionnaire Instruction of good interview with privacy Introduction of new Data Entry Format	NCWD Project members	6 target states
9	Action Plan Workshop (FY2015)	8-12 Sep-14	Lecture/ Group Work: Review of the Last Action Plan, Stakeholder Analysis, Gender Analysis, Problem Analysis, Budget Planning, Development of Workable Action Plan, Action Plan Presentation, Check Progress with Action Plan	NCWD Project members	6 target states
10	Results of 2nd Monitoring Survey	18-20 Nov-14	Feedback the result *(3rd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC	NCWD Project members	NCWD, Abuja
11	Review of the Purpose of WDC Activation		Re-confirm the objectives of WDC Activation *(3rd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC		
12	Presentation of the Results of Database survey		Shared the level of WDCs activation of each LGAs according to the result of database survey *(3rd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC		
13	Women Empowerment and Community Development		Lecture on Women Empowerment and Community Development *(3rd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC		
14	Reporting System		Review reporting system *(3rd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC		
15	Report Writing		Report writing in group work *(3rd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC		
16	Presentation of Stakeholder Meeting in Kaduna	Present at the output of the meeting in Kaduna *(3rd) State Stakeholder Meeting in Abuja *Except HOC			

別添 7： その他活動実績

⑥ 活動実施計画策定書
(例：ナイジャ州)

Action Plan Development Format

NCWD/JICA WDC Activation Project Phase II
Action Plan SMWA, Niger State: Jan 2015 - Dec 2015

Output	Issues	Identified Problem	Proposed Activities	2015												Responsible Organization/ Person	Budget (N)	
				Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec			
WDC Service Quality is Improved	WDC Facility and Equipment	No enough equipment	Facility to be provided and the equipment to the WDC									*					SMWA	300,000
	WDC Curriculum	No curriculum	Development of curriculum		*												SMWA	30,000
	Working Materials	No equipment in some LGA's WDCs	Donating of equipment to some LGA's WDC										*				SMWA	1million
	Health Education	Some women deliver at home	Organise health talk											*			SMWA	70,000
	Access to Information	Most women do not listen to radio	Advise the women on importance of listening to radio												*		SMWA	30,000
Positive Recognition of WDC is Enhanced	Advocacy to Policy makers, Decision Makers	No frequent visit to the stakeholder	Hold a stakeholder meeting												*		SMWA	50,000
	Sensitization of People in the Community	No enough sensitization	Organise sensitization meeting with the stakeholder												*		SMWA	50,000
Management of WDC is Improved	Record Keeping and Filing	No knowledge of record keeping	Organise training for WDO, HOC, instructors											*			SMWA	60,000

Action Plan Development Format

NCWD/JICA WDC Activation Project Phase II
Action Plan SMLG, Niger State: Jan 2015 - Dec 2015

Output	Issues	Identified Problem	Proposed Activities	2015												Responsible Organization/ Person	Budget (N)	
				Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec			
WDC Service Quality is Improved	WDC Facility and Equipment	Lack of equipment for WDC	Provision should be made for WDC				*										SMLG	200,000
	Working Materials	Lack of working materials	Working materials should be provided						*								SMLG	300,000
Positive Recognition of WDC is Enhanced	Sensitization of People in the Community	Lack of sensitization to the community	Provision for sensitization should be made atleast 3 times in a year			*				*			*				SMLG	30,000
Management of WDC is Improved	Budgeting	Lack of budget implementation	Provision of budget should be made for WDC					*									SMLG	1million

Action Plan Development Format

NCWD/JICA WDC Activation Project Phase II
Action Plan Agaie LGA, Niger State: Jan 2015 - Dec 2015

Output	Issues	Identified Problem	Proposed Activities	2015												Responsible Organization/ Person	Budget	
				Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec			
WDC Service Quality is Improved	WDC Facility and Equipment	No water facilities in the WDC	Provision of borehole at WDC			*											LGA	700,000
	WDC Curriculum	No standard curriculum in the WDC	Provision of standard curriculum in WDC	*													LGA	80,000
	WDC Instructors	Need for additional instructors in the WDC	Employment of additional instructors	*													LGA	720,000
	Working Materials	Inadquate working materials in WDC	Provision of adequate of working material				*										LGA, HOD,WDO, HOC	2,529,600
	Graduate Support	No graduate support in the WDC	Provision of graduate support	*			*				*				*		LGA	1.5million
	Income Generating	Low income generating in WDC	Improved income generating skills and market oriented	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	WDO, HOC,HOD	3million
	Health Education	Some participants are not aware of the danger of home delivery	Sensitization on health matters quarterly			*			*			*			*		WDO, HOD, Health workers, Participants	100,000
	Access to Information	Inadequate advocacy	Adequate sensitization & advocacy to WDC participants	*		*		*		*		*			*		HOD,WDO, HOC, Community	100,000
	Counseling Service	Most participants could not contribute in decision making	Improvement on counseling services	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	WDO, HOC, Participants	50,000
Positive Recognition of WDC is Enhanced	Advocacy to Policy makers, Decision Makers	Inadequate information on WDC	Advocacy visit to policy & decision makers	*			*		*				*			HOD, WDO, HOC, Policy Makers	150,000	
	Sensitization of People in the Community	Low turn up of the participants	More sensitization on the impact of WDC to the community	*				*				*		*		HOD, WDO, HOC, Community	150,000	
Management of WDC is Improved	Office Environment	WDC surrounding is untidy	Monthly WDC general sanitation	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	All WDC staff & Participants at a period	60,000	
	Record Keeping and Filing	Records are not properly maintained	Frequent supervision of all the Document & files	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	WDO	20,000	
	Reporting and Feedback	No feedback on the submitted report	Posting of feedback on report to WDC			*			*			*		*		WDO, LG	20,000	
	Personnel Management	Poor management	Re-orientation of management	*				*								LGA	100,000	
	Budgeting	Inadequate funds to run WDC	Adequate budget planning and implementation	*									*			LGA	1million	
Collaboration with Other Organizations are Enhanced	Meeting with Other Organization	There is no synergy between WDO & NGOs	Advocacy meeting with identified NGOs				*			*				*		WDO, HOC, HOD, NGOs	60,000	

Action Plan Development Format

NCWD/JICA WDC Activation Project Phase II
Action Plan Paikoro LGA, Niger State: Jan 2015 - Dec 2015

Output	Issues	Identified Problem	Proposed Activities	2015												Responsible Organization/ Person	Budget (N)	
				Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec			
WDC Service Quality is Improved	WDC Facility and Equipment	Insufficient equipment and materials	To purchase more equipment and material			*											LGA	648,000
	WDC Curriculum	Lack of standard curriculum	To provide a standard curriculum	*													LGA	20,000
	WDC Instructors	Insufficient and unskilled instructors	To recruit five skilled instructors				*										LGA	600,000
	Working Materials	No enough working materials	To provide more working materials for all section						*								LGA	300,000
	Graduate Support	No frequent graduates support	To provide frequent graduate support at least to fifty (50) participants							*							LGA	500,000
	Income Generating	Low income generation	To create income generating activities at WDC i.e. soap making, snacks, tye&dye etc.	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	HOC, WDO, DSD, LGA	50,000
	Health Education	Low information on health education	To give more information on health education	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	WDO, HOC	Volunteer service
	Access to Information	Low access to information	To create more access to information e.g. Radio	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	HOC, WDO, DSD, LGA	120,000
Positive Recognition of WDC is Enhanced	Advocacy to Policy makers, Decision Makers	Inadequate advocacy visit	To pay advocacy visit regulary to collaborate with Niger State Radio Cooperation and town criers			*			*			*			*	WDO, HOC	80,000	
Management of WDC is Improved	Office Environemnt	No desk for WDO, HOC and instructors	To provide tables, chairs to WDC			*											LGA	2.1million
	Record Keeping and Filing	Some records are not properly kept	To purchase 2 computer set for record keeping		*						*						LGA	200,000
	Personnel Management	Equipment and materials are not enough	To provide enough equipment and materials					*									LGA	500,000
	Budgeting	No record on income/ expenditure	To give more trainings to WDO and HOC	*		*	*										LGA	120,000
Collaboration with Other Organizations are Enhanced	Meeting with Other Organization	No frequent contact between WDCs and other agencies	To create more synergy with related agencies	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	HOC, WDO, DSD, LGA	Volunteer service	

Action Plan Development Format

NCWD/JICA WDC Activation Project Phase II
Action Plan Wushishi LGA, Niger State: Jan 2015 - Dec 2015

Output	Issues	Identified Problem	Proposed Activities	2015												Responsible Organization/ Person	Budget (N)	
				Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec			
WDC Service Quality is Improved	WDC Facility and Equipment	Most participants share equipments and most facilities not functional	Purchase new equipments e.g. sewing machine, knitting machine, and repairs of facilities			*						*					HOC, LGC	200,000
	WDC Curriculum	Lack of standard curriculum for the WDC	Development of standard curriculum for WDC		*			*									LGC	100,000
	WDC Instructors	Insufficient number of instructors in the WDC	Recruitment of qualified instructors in the WDC				*			*			*				LGC	150,000
	Working Materials	Insufficient working materials	Purchase of some working materials					*						*			LGC	300,000
	Graduate Support	WDC graduate do not have resources to start their business	Provision of take off grant as a soft loan (Micro Finance Bank)		*							*					LGC	50,000
	Income Generating	Lack of access to market facilities	Provide room to market facilities	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	LGC	60,000
	Health Education	Lack of adequate information on health education	Establish information on health education to WDC participants	*			*			*			*				LGC	10,000
	Access to Information	No link between WDC and media	Provision of daily news paper to WDC	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	LGC	30,000
	Counseling Service	Lack of counseling unit	Create a counseling unit at the WDC				*				*						LGC	20,000
Positive Recognition of WDC is Enhanced	Advocacy to Policy makers, Decision Makers	Policy makers do not have interest in WDC	Constant awareness to policy makers		*			*			*			*		LGC	5,000	
	Sensitization of People in the Community	WDC is not well recognises in the community	Community leaders holds sensitization campaign		*				*			*		*		LGC	40,000	
Management of WDC is Improved	Office Environment	Instructors office are not furnished	Provision of funds to furnish its offices			*					*					LGC	150,000	
	Record Keeping and Filing	WDC staff do not know how to keep and file records	Record keeping enhanced and introduced		*			*			*		*	*		LGC	5,000	
	Reporting and Feedback	HOC monthly reports has no feedback	Always send reminder	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	HOC, LGC	20,000	
	Personnel Management	Instructors have challenge of managing WDC participants	Instructors training on personnel management of WDC		*				*					*		LGC	15,000	
	Budgeting	WDC has no separate budget in LGC	Provision of budget for WDC in LGC expenditure											*	*	LGC	300,000	
Collaboration with Other Organizations are Enhanced	Meeting with Other Organization	There is no proper link between WDCs and other agencies	Improved proper links between them			*			*			*			LGC	60,000		

別添7： その他活動実績

⑦ モニタリング質問票

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC..... No.....

Form 001 WDC PARTICIPANTS

WDC SERVICE QUALITY

1. Age (see table below)

15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55 and above

2. Marital Status

Single Married Separated Divorced Widow

3. If Married, Occupation of husband.....

4. Educational Status

No education	Some Primary	Completed Primary	Some Secondary	Completed Secondary	Some Tertiary	Completed Tertiary	Others

5a. What do you think about the WDC services?

Excellent Very Good Good Average Poor

5b. Give Reasons _____

6a. Which of the under-listed course are you attending? **(Choose ONE ONELY)**

Sewing Knitting Catering Literacy Others

6b. What do you think of the contents of the training?

Excellent Very Good Good Average Poor

7. What do you think of the duration of the training programme?

Excellent Very Good Good Average Poor

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC..... No.....

8. What do you think of the competence of the WDC instructors?

Excellent Very Good Good Average Poor

9. What do you think of the WDC training equipment? (Sewing machine, Knitting, gas cookers etc.)

Excellent Very Good Good Average Poor

10. What do you think of the WDC Working Materials that are provided?

Excellent Very Good Good Average Poor

11. What do you think of the condition of the facilities at the WDC? (Class room, toilet, electricity, etc)

Excellent Very Good Good Average Poor

12a. What do you think of Graduates Support from WDC to the participants?

Excellent Very Good Good Average Poor

12b. If there are graduates support at WDC, what kind of support are they?

13a. Have you received information on how to start your own business? Yes No

13b. If Yes, what kind of information do you receive?

14a. Are you engaged in any income-generating activities? Yes No

14b. If yes, what kind of activity? _____

15. How do you utilize the skills and knowledge you acquired at WDC?

16a. Have you learnt anything on health/nutrition/ hygiene since you attended WDC? Yes No

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC..... No.....

16b. If yes, how have you impacted this knowledge on your family members?

16c. What kind of changes do you find in your family members on health/nutrition/ hygiene?

17a. Did you make friends while attending the WDC? Yes No

17b. Have you known any new group/agency since you attend WDC? Yes No

18. What would you like to do after you graduate from the WDC?

19a. Do you participate in decision making at your household? Yes No

19b. If yes, what are they?

20a. Have you experienced any improvement in the livelihood your family since you started attending WDC?

Yes No

20b. If yes, what are they?

21a. Did you listen to the Radio programme activities on WDC? Yes No

21b. If yes, what is your impression of the radio programme?

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC.....No.....

**Form 002 HUSBAND
WDC POSITIVE RECOGNITION**

1. How did you know of the existence of the WDC? **(Choose ONE ONLY)**

Media Friends/Families Posters /Hand bills Participants Others

2a. Are you satisfied with WDC? Yes No Indifferent

2b. Give Reasons

3a. What impact has the WDC made on your wife?

3b. List some of the impact your wife has made in the household since attending WDC?

4a. Will you encourage other husbands to allow their wives attend WDC to learn a skill?

Yes No Indifferent

4b. Give Reasons

5a. Is your wife engaged in any income-generating activities? Yes No

5b. If yes, what kind of activity? _____

6. What would you like your wife to do after her graduation from WDC?

7a. Did you listen to the Radio programme on WDC activities? Yes No

7b. If yes, what is your impression of the Radio programme?

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC..... No.....

Form 003 COMMUNITY STAKEHOLDERS

WDC POSITIVE RECOGNITION (Tick as appropriate)

1. How did you know of the existence of the WDC? **(Choose ONE ONLY)**

Media Friends/Families Posters /Hand bills Participants Others

2a. Are you satisfied with the activities of the WDC? Yes No Indifferent

2b. Give Reasons

3. What impact has the WDC made on your community?

4a. Will your Community encourage other women to attend the WDC?

Yes No Indifferent

4b. Give Reasons

4c. What do you think of the Community's contribution to WDC?

Excellent Very Good Good Average Poor

4d. What kind of contribution has the community provided?

5a. Did you listen to the Radio programme on WDC activities? Yes No

5b. If yes, what is your impression of the radio programme?

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC.....NO.....

Form 004 NON-PARTICIPANTS (WOMEN)

WDC POSITIVE RECOGNITION

1. Age (see table below)

15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55 and above

2. Marital Status

Single Married Separated Divorced Widow

3. If Married, Occupation of husband.....

4. Educational Status

No education	Some Primary	Completed Primary	Some Secondary	Completed Secondary	Some Tertiary	Completed Tertiary	Others

5a. Are you engaged in any income-generating activities? Yes No

5b. If yes, what kind of activity? _____

6a. Are you aware of the existence of the WDC? Yes No Indifferent

6b. If Yes, How did you know? **(Choose ONE ONLY)**

Media Friends/Families Posters /Hand bills Participants Others

7a. Do you think WDC is important to the community?

Yes No Indifferent

7b. Give Reasons

8a. Will you like to attend WDC? Yes No Indifferent

8b. Give Reasons

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC.....NO.....

9. Which skill will you like to study at WDC? **(Choose ONE ONLY)**

- a) Sewing b) Knitting c) Catering d) Literacy d) Others

10. Why are you not attending the WDC training as at now?

11a. Did you listen to the Radio programme on WDC? Yes No

11b. If yes, what is your impression of the radio programme?

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC.....NO.....

**Form 005 WDC GRADUATES
Women Empowerment-**

- 1. Date of your enrolment into WDC _____
- 2. Date of your graduation from WDC _____
- 3. What skill did you acquire _____

4. Age (see table below)

15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55 and above

5. Marital Status Single Married Separated Divorced Widow

6. If Married, Occupation of husband.....

7. Educational Status

No education	Some Primary	Completed Primary	Some Secondary	Completed Secondary	Some Tertiary	Completed Tertiary	Others

8a. Are you engaged in any income-generating activities? Yes No

8b. If yes, what kind of activity? _____

9a. Did you receive any graduates support from LGA? Yes No

9b. If yes, what are they?

10a. Do you utilize the skills and knowledge you acquired at WDC? Yes No

10b. If yes, how do you utilize the skills and Knowledge you acquired from the WDC?

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....**LGA.**.....**WDC.**.....**NO.**.....

11a. Is there any impact on health/ nutrition/ hygiene on you / your family members since you attend WDC?
Yes No

11b. If yes, what are the impacts?

12a. Have you known new people / groups/ agencies you can rely on since you attend WDC?
Yes No

12b. If yes, who are they? In which area do you rely on them?

13. What would you like to do in future?

14a. Do you participate in household decision making? Yes No

14b. If yes, in which area?

15a. Have you and your family experienced any changes since you attended WDC?
Yes No

15b. If yes, in which area?

16a. Did you listen to the Radio programme on WDC activities? Yes No

16b. If yes, what is your impression of the radio programme?

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC.....NO.....

Form 006 WDC MANAGEMENT

HOC & WDO: OBSERVATION & QUESTIONS

1. Who runs your WDC on a daily basis?

2. Do you have Offices for the following WDC Staff?

(Tick appropriately; also check to confirm response)

WDC Staff:	Yes	No
1) Head of WDC		
2) Instructors		
3) WDO		

3. Do you have rules and regulations for WDC Staff? Yes No

4. Do you have rules and regulations for students? Yes No

5a. Do you have regular staff meeting including instructors? Yes No

5b. If yes, how often do you have the meeting?

Weekly Monthly Quarterly Bi-annually Annually

6a. Do you have schedule of duties (Roles & Responsibilities) for every WDC staff? Yes No

6b. If No, give reasons

7. Do you have the following documents at the WDC? (Interview and check documents by researcher)

Documents	YES	NO	Reason for NO
7-1 Training course list			
7-2 Weekly Time table			
7-3 Registration forms			
7-4 Attendance book for instructors			
7-5 Attendance book for students			
7-6 Equipment list			
7-7 Minutes of Meeting			
7-8 Store records			

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC.....NO.....

8a. How often do you write WDC report?

Weekly Monthly Quarterly Bi-annually Annually Not at all

8b. Have you written the WDC report for the past six months? Yes No

8c. If Yes, how many times did you submit the report to WDO in the past six months? _____times.

8d. If No, give reasons

8e. If you submitted the report to WDO, did you receive feedback? Yes No

9. What are the challenges faced in the day to day operations of the WDC? (See table below)

Do you face any challenges?	Yes	No	If Yes, how do you cope with them?
9-1. Keeping records			
9-2. Managing instructors			
9-3. Supervising students			
9-4. Leadership			
9-5. Managing materials			
9-6. Managing equipment			
9-7. Others (please specify):			

10. Do you have any sensitization activity(ies) on WDC in your community? Yes No

11a. Has your WDC been given any support by the Community? Yes No

11b. If Yes, What type of support?

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....**LGA**.....**WDC**.....**NO**.....

12a. Have you had a meeting with related agencies on things that concern women at WDC?
(CBOs, NGOs, Youth Organisation, Cooperative Operators, Health Organisation, Micro Finance Bank etc)

Yes No

12b. Name those whom you had meeting with.

12c. What impact has your meeting with them has over the participants of WDC and WDC in general?

13a. Has the State Government made any effort in the past six months to activate WDC?

Yes No

13b. If Yes, what kind of effort?

13c. What were the results? (Did it work or not)

14a. Has the LGA made any effort in the past six months to activate WDCs?

Yes No

14b. If Yes, what kind of effort?

14c. What were the results? (Did it work or not)

QUESTIONNAIRE FOR MONITORING ON NCWD/JICA WDC ACTIVATION PROJECT

STATE:.....LGA.....WDC.....NO.....

Form 007 WDC General Information

WDO & HOC

1. How many students are currently registered in your WDC? _____

2. Please provide the following information;

Course provided	Number of Students currently registered	Number of graduates in last session	Course duration
Sewing			
Knitting			
Catering			
Literacy			
Hair-dressing			
Soap making			
()			
()			

3. Please provide the following information ;

Name of equipment	Number of functional equipment
Sewing machine	
Knitting machine	
Gas cooker	
Kerosene stove	
Others ()	

4. How many instructors do you have in your WDC? _____

5a. Do you sell WDC products? Yes No

5b. if yes, what kind of products?

6a. Do you receive income for the running of WDC Yes No

6b. If yes how much do you receive monthly and from which source(s)?

6c. How do you spend the income?

7a. Do you have any graduates support scheme? Yes No

7b. If yes, what type of scheme?

別添7： その他活動実績

⑧ 第1回モニタリング結果

第 1 回モニタリングの結果

1. モニタリング概要

日時：2013 年 11 月 17 日（日）～ 23 日（土）

調査者：各対象州で、NCWD3 名+州女性省・州地方行政省 7 名の合計 10 名

モニタリングの調査項目

	調査項目	調査対象者
WDC 活性化	WDC のサービスの質の向上	WDC 生徒 20 人
	WDC への肯定的認識の向上	夫 10 人、非生徒女性 10 人、 コミュニティリーダー5 人
	WDC のマネジメントの向上	WDC 校長・WDO
	関係機関の連携の強化	WDC 校長・WDO
女性のエンパ ワーメント	経済面：経済活動への従事など	WDC 卒業生 10 人 非生徒の女性 10 人
	身体面：保健・栄養の知識の習得・実践など	
	社会面：社会ネットワークの拡大など	
	心理面：自信の獲得・具体的目標	
	政治面：意思決定への参加	

2. モニタリング結果

2-1 WDC 活性化に関する 3 つの PDM 指標（成果 2 に対する指標）の達成度

	PDM 指標	現状												
a	SMWA が対象州において少なくとも 1 年に 1 度、ステークホルダー会合を開催する	未開催。準備中												
b	対象 WDC において登録している女性の数が 30%増加する ほぼ達成	ベースライン時のデータが不十分・不確かだが、データベース時のデータがある 8WDC 中 7WDC で、モニタリング時の生徒数は 30%増～200%増												
c	対象 LGA の 50%が WDC 活性化への予算を増やす 達成	<p>予算額は不明だが、プロジェクト開始後に LGA が WDC に下記の予算措置。全くない WDC は 3 件のみ。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予算措置状況（対象 18WDC 中の件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WDC 増築・改築</td> <td style="text-align: right;">12¹</td> </tr> <tr> <td>機材供与</td> <td style="text-align: right;">10²</td> </tr> <tr> <td>毎月の運営費・材料支給</td> <td style="text-align: right;">11³</td> </tr> <tr> <td>講師給与支給</td> <td style="text-align: right;">6⁴</td> </tr> <tr> <td>卒業生支援実施</td> <td style="text-align: right;">6⁵</td> </tr> </tbody> </table>	予算措置状況（対象 18WDC 中の件数）		WDC 増築・改築	12 ¹	機材供与	10 ²	毎月の運営費・材料支給	11 ³	講師給与支給	6 ⁴	卒業生支援実施	6 ⁵
予算措置状況（対象 18WDC 中の件数）														
WDC 増築・改築	12 ¹													
機材供与	10 ²													
毎月の運営費・材料支給	11 ³													
講師給与支給	6 ⁴													
卒業生支援実施	6 ⁵													

¹ナイジャの 3WDC 全て、Idemili north, Ogbaru (AN), Akampka,Ogoja(CR),Igabi, Jaba (KD), Wudil (KA),Barutin, Ilorin west (KW)

² アナンブラ、カノの 3WDC 全て、idemili north(AN)、Igabi (KD)、,Agaie, Paikoro(NI)

³ アナンブラ、カノ、ナイジャーの 3WDC 全て、Igabi(KD), Ifelodon (KW)

⁴ Idemili north , Orumba south(AN),Dala, Dawakin tofa (KA),Agaie, Paikoro (NI)

⁵ ナイジャーの 3WDC 全て、Ogbaru (AN),Barutin, Ilorin west (KW),

2-2 WDC 活性化

1) WDC のサービスの質の向上

WDC サービスへの生徒からの満足度

調査した生徒 20 人の満足度	WDC 数	該当する WDC
90%以上が満足	6WDC	Akampka(CR),Barutin(KW),Ilorin west (KW), Agaie(NI), Paikoro(NI), Wushishi (NI)
70%以上 90%未満が満足	5WDC	Ogbaru (AN), Orumba south (AN), Igabi(KD) Dala (KA),Dawakin Tofa(KA)
50%以上 70%未満が満足	3WDC	Ideili north (AN),Zaria (KD),Ifelodun (KW)
50%未満が満足	4WDC	Abi (CR), Ogoja(CR), Jaba(KD), Wudil (KA)

AN:アナンブラ州、CR：クロスリバー州、KD :カドゥナ州、KA:カノ州、KW:クワラ州、NI:ナイジェラ州

WDC サービス項目ごとの現状と生徒からの満足度

サービスの項目	現状	生徒の満足度
施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ WDC の改修・増築、水タンク設置、フェンス設置 ◆ 門、トイレがない不満あり 	60%以上が満足 11WDC 20%以上が不満 5WDC
コース内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 洋裁、編物、ケータリング、識字、ビーズ、石鹸、髪結い等 ◆ 13WDC で洋裁が最も生徒数多い ◆ 南部州 (CR,AN,KW) ではケータリングも生徒数が多い 	60%以上が満足 18WDC (うち、80%以上が満足 16WDC)
コース期間	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 3ヶ月～2年まで幅あり ◆ 11WDC は6ヶ月コース 	60%以上が満足 18WDC
講師の質	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師のスキル向上 (プロジェクトの研究修への参加) 	60%以上が満足 18WDC (うち、80%以上が満足 13WDC)
機材の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ プロジェクトから機材が供与 ◆ LGA・州から機材が供与 ◆ 生徒数の増加で機材が不足 	60%以上が満足 13WDC 20%以上が不満 3WDC
材料の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ LGA からの運営費で材料購入 ◆ WDC 製品からの収入で材料購入 	60%以上が満足 11WDC 20%以上が不満 3WDC
卒業生支援の有無	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 機材、材料、お金の供与 (LGA) ◆ 起業情報の提供 	60%以上が満足 10WDC 20%以上が不満 4WDC

- コース内容、期間、講師の質に関しては、どの WDC でも満足度が高い。
- 施設、機材、材料、卒業生支援に関しては、WDC により満足度が大きく異なる。

2) WDC への肯定的認識の向上

WDC 生徒の夫・コミュニティ・非生徒女性からの認識

調査対象者	WDC に対する認識
WDC 生徒の夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全員が WDC に満足し、他の男性に妻・娘を通わせるよう推薦 <ul style="list-style-type: none"> ◎「妻がビジネスを始め、経済的に家庭に貢献している」 ○「読み書きが出来るようになり、子供に勉強を教えている」 「他の女性と交流し社交的になった」 「妻の料理の種類が増えた」

	「妻が家族の健康に気を使うようになった」
コミュニティ・リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全員が WDC を評価。妻が WDC に通う夫から情報を得ている。 ◎ 「女性が経済的に家庭に貢献するようになる」 「女性の夫への依存を減らす」 ◆ コミュニティによる WDC への支援 ◎ 「コミュニティの男性に妻・娘を通わせるよう奨励」 「WDC に土地を提供 (KWARA/Ilorin west)」 「WDC の清掃」
非生徒の女性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全員が WDC に関心を持ち、通いたいと回答。これまで通っていない理由は： ◎ 「WDC の存在・内容を知らなかった」 ◎ 「WDC が家から遠すぎて、交通費がなく通えない」 ○ 「夫が許可しない」 「家事・育児に忙しい」「学校がある」

◎最も多い回答、○2 番目に多い回答

3) WDC のマネジメントの向上

マネジメント項目	マネジメントの状況
オフィス環境	◆ HOC のオフィス・机が整っている：12 件
記録付	◆ 生徒・講師出席簿、機材リスト、時間割、登録フォーム、議事録、コースリストなど、記録付は全 WDC で実施されている。
人事管理	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師の規則・業務範囲の明確化 ◆ HOC・講師の定例会合で情報共有
報告書	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 定期的に WDC 活動報告書を作成し WDO に提出 毎月 WDC 報告書を作成：8 件 3 カ月ごとに報告書を作成：7 件
会計	◆ 支出入記録がない：ほぼ全 WDC (LGA・州からの運営費・WDC 製品の売り上げ代など)

4) 関連機関との連携の強化

WDC と関連機関との会合

関連機関の種類	関連機関と会合をもった WDC の数
協同組合	2WDC
マイクロファイナンス機関	4WDC
その他 (NGO, National council on women society, MDGs, UNICEF)	4WDC

- マイクロファイナンス、協同組合と WDC の会合は見られるが、定期的な活動にはなっていない。
- マイクロファイナンス機関との会合後に卒業生にローンを支給出来た (Dala/KA)、生徒が協同組合を結成中 (Wushishi/NI) という効果も見られる。

5) グッドプラクティス

対象機関	取り組み	結果	WDC
WDC	講師・生徒の出席簿、時間割の導入	講師・生徒が時間を守るようになる	Idemili N(AN) Ogbaru (AN) Orumba (AN)
	WDC の看板を出す	WDC の存在が知られる	Idemili N(AN)

			Ogbaru (AN) Orumba(AN)
	教会で WDC について知らせる	WDC の存在が知られる	Ogbaru (AN) Orumba (AN)
	WDC 管理レベル会合を開き、コミュニティ・リーダーを巻き込む	コミュニティ・リーダーが人々の啓発・アドバイスをするようになった	Igabi(KD)
	WDC 活動啓発キャンペーン開催	女性が一生懸命活動し始めた	Zaria (KD)
	WDC 建物と周辺の清掃	よりよい学ぶ環境が出来た	Barutin (KW) Irolin W(KW)
	LG 長を WDC に招待	LG 長が WDC 修復を決定	Paikoro(NI) Wushishi (NI)
LGA	WDC 施設の修復・改築	よりよい学ぶ環境ができた。 生徒数が大幅に増加した。	IdemiliN(AN) Barunti (KW) Igabi (KD)他
	LGA 内に新たにもう一つ WDC 建設	より多くの女性が WDC に参加	Akampka(CR)
	LGA が WDC 機材を供与	快適な学ぶ環境・生徒数の増加	Ogbaru (AN) Dawakin (KA) Igabi (KD)他
	啓発キャンペーンの実施	人々の WDC への理解と関心増加	Ilorin W(KW) Barunti(KW)

2-3 女性のエンパワーメント

各 WDC で卒業生 10 人、非生徒の女性 10 人の回答を比較。プロフィールに関しては生徒 20 人も含める。

1) 女性のプロフィール

項目	状況
年齢	<ul style="list-style-type: none"> 10 代から 40 代まで幅広く分布 10 代後半・20 代前半が大半を占める WDC も 7 つある (Orumba/AN, Igabi/KD, Zaria/KD, Ifelodun/KW, Ilorin/KW, Agaie/NI, Paikoro/NI)
婚姻状況	<ul style="list-style-type: none"> 未婚が多い WDC、既婚が多い WDC に分かれる。
教育レベル	<ul style="list-style-type: none"> 州により教育レベルが異なる 生徒・卒業生が、教育歴なし/プライマリーのみとセカンダリー修了以上に 2 分される WDC (カノ 3WDC、ナイジャー 3WDC、Zaria/KD, Barutin/KW, Ifelodun/KW) 生徒・卒業生はセカンダリー修了以上が多い WDC (アナンブラ 3WDC、クロスリバー 3WDC、Igabi/KD, Jaba/KD、Ilorin/KW) 非生徒の女性は、多くの WDC で生徒・卒業生より教育レベルが低い傾向 (Orumba/AN, Jaba/KD は非生徒も教育歴が高い)

2) 経済的エンパワーメント

項目	状況
経済活動参加	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生の方が非生徒よりも経済活動に従事 (10WDC) 非生徒の方が卒業生よりも従事・または同数程度 (4WDC) 卒業生と非生徒では従事する経済活動の種類が異なる。卒業生は洋裁、ケータリング、編物など WDC で得たスキルを活用した活動、非生徒は Petty trading が圧倒的に多い。また地域の伝統的な経済活動 (カノの刺繍、クワラの染色) に従事。
スキル・識字獲得への認識	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生・非生徒ともスキル習得・識字能力習得の必要性を肯定的に

	捉えている。
世帯への経済的貢献認識・実際の貢献	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 卒業生・非生徒とも女性の世帯への経済的貢献を肯定的に捉える ◆ 実際の世帯への貢献は、卒業生では「経済的貢献」が、非生徒では「家事による貢献」「農作業の手伝い」が多い。
クレジット機関の認識・利用	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 卒業生・非生徒とも多くがクレジット機関の存在を知っているが、実際にアクセスできた人は両者とも少ない。 ◆ データのある 14WDC140 人ずつの被調査者のうち、卒業生 28 人、非生徒 12 人のみがクレジットにアクセスした経験がある。 ◆ 卒業生の方が非生徒よりもクレジット機関を知っている (8WDC) ◆ 非生徒の方が卒業生よりもクレジット機関を知っている (4WDC)

3) 身体的エンパワーメント

項目	状況
保健の知識レベル	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 卒業生・非生徒とも保健・衛生・栄養の知識は十分あると認識 ◆ 卒業生の主要な保健の情報源は WDC (9WDC)、学校 (2WDC)、メディア (2WDC)、友人・家族 (2WDC) ◆ 非生徒の主要な保健の情報源は学校 (5WDC)、メディア (3WDC)、友人・家族 (4WDC)
保健の知識の実践	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ほぼ全ての WDC で、卒業生・非生徒とも病院へのアクセスは十分にある。 ◆ 卒業生・非生徒とも病院出産が多い (10WDC) ◆ 卒業生・非生徒とも自宅出産が多い (カノ 3WDC、Igabi/KD)

4) 社会的エンパワーメント

項目	状況
情報へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 卒業生の主な情報源はラジオ (14WDC)、夫 (1WDC)、非生徒の主な情報源はラジオ (10WDC)、夫 (2WDC)、家族 (3WDC)
社会ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 卒業生の 5 人以上が協同組合に参加 (6WDC) ◆ 非生徒の 5 人以上が協同組合に参加 (3WDC) ◆ 卒業生・非生徒とも、多くが協同組合に所属したいと回答 ◆ 卒業生が経済活動のお金を借りる主な相手は、夫 (8WDC)、両親・親戚 (6WDC)、非生徒がお金を借りる主な相手は両親・親戚 (9WDC)、夫 (5WDC)。 ◆ 「頼る人がいない」、「相互扶助グループ」という回答もあり。
移動性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 卒業生も生徒も、「頻繁に」「時々」外出しているが、「週に 1~2 回」「減多に外出しない」という回答もあり。

5) 心理的エンパワーメント

項目	状況
自立意識	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 11WDC で、卒業生の方が「自分は自立している」と認識 ◆ 3WDC で、非生徒の方が「自分は自立している」と認識 ◆ 女性の自立を卒業生の方が肯定的に捉えている WDC が多い ◆ 対象州の間に顕著な差は見られない
将来計画への困難の経験	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 卒業生の非生徒も多くが将来の計画に関して困難を経験している

6) 政治的エンパワーメント

項目	状況
毎日の買い物に関する世帯内意思決定	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生の5人以上が「頻繁に」参加している (8WDC) 非生徒の5人以上が「頻繁に」参加している (8WDC) 卒業生の5人以上が「ときどき」参加している (9WDC) 非生徒の5人以上が「ときどき」参加している (5WDC) 対象州の間、卒業生・非生徒の間には顕著な差は見られない
親戚・友人訪問に関する世帯内意思決定	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生の5人以上が「頻繁に」参加している (13WDC) 非生徒の5人以上が「頻繁に」参加している (8WDC) 対象州の間、卒業生・非生徒の間には顕著な差は見られない

3. NCWD による州・LGA への提言

提言		AN	CR	KD	KA	KW	NI
WDC サービスの質向上	SMWA/SMLG/LGA は、WDC 運営費（機材修繕、付属品・材料購入、光熱費など）を賄う適切な予算を配賦すべき	✓		✓	✓	✓	✓
	SMLG/LGA は WDC を改修すべき (ZARIA)				✓		
	SMWA/SMLG/LGA は、WDC に機材を供与すべき			✓	✓	✓	
	SMWA は WDC カリキュラムを作成し、WDC の水準を保つべき			✓	✓	✓	✓
	LGA/WDC は、WDC が提供するコースの種類を増やすべき	✓			✓	✓	
	LGA は、資格のある WDC 講師を雇うべき				✓		
	SMWA は、定期的な研修を WDO、HOC、WDC 講師に与えるべき				✓		
	SMWA/SMLG/LGA は、WDC と協同組合・マイクロファイナンス機関との会合を持つべき	✓	✓	✓	✓	✓	✓
WDC への肯定的認識の向上	SMWA/SMLG/LGA は、WDC が WDC 製品を展示するトレードフェアを開催すべき	✓					
	SMWA/SMLG/LGA は、コミュニティの伝統的リーダーを WDC 運営に積極的に巻き込むべき	✓					✓
	LGA/WDC は、WDC により多くの女性が通えるよう WDC 活動への夫の関わりを奨励すべき			✓			
	LGA・WDO は、まだ WDC に通っていない女性達に WDC の活動を啓発すべき			✓			
	SMWA/SMLG/LGA は、メディア、ラジオ等を活用して WDC 啓発活動を実施すべき	✓	✓	✓	✓	✓	
WDC マネージメント	SMLG/LGA は、WDC の記録付をするスタッフを WDC に雇うべき			✓			
	SMWA/LGA/WDC は、レポート・システムを活用し、活動を把握しフィードバックをすべき		✓	✓			
	WDC は、自分たちの収入源を作るべき	✓					
関係機関との連携	SMWA/SMLG は州でのステークホルダー会合を定期的で開催し、WDC 活性化を持続すべき	✓					✓

WDC 活性化持続に向けた取り組み	♦ SMWA/SMLG/LGA は、定期的に WDC を訪問し、課題を確認すべき	✓					✓
	♦ LGA は、より多くの女性がスキルを習得できるよう、LGA 内に複数の WDC を建設すべき				✓		
	♦ SMWA/SMLG は、WDC 活性化を、3LGA 以外の、他 LGA に拡大すべき					✓	

別添7： その他活動実績

⑨ 第2回モニタリング結果

第2回モニタリング調査の結果

1. モニタリング概要

日時：2014年8月17日（日）～ 23日（土）、27日（水）

調査者：各対象州で、NCWD3名+州女性省・州地方行政省7名の合計10名

モニタリングの調査項目

	調査項目	調査対象者
WDC 活性化	WDC のサービスの質の向上	WDC 生徒 20 人
	WDC への肯定的認識の向上	夫 10 人、非生徒女性 10 人、 コミュニティリーダー5 人
	WDC のマネージメントの向上	WDC 校長・WDO
	関係機関の連携の強化	WDC 校長・WDO
女性のエンパ ワーメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の経済活動従事者の状況 ・ 協同組合・マイクロファイナンス利用 ・ 保健衛生の知識と活用 ・ 社会ネットワーク ・ 将来の目標 ・ 世帯内での意思決定参加 ・ WDC 参加後の変化 	WDC 生徒 20 人 WDC 卒業生 10 人 非生徒の女性 10 人 夫 10 人
啓発活動	ラジオ番組の視聴の有無・感想	上記の全対象者

2. モニタリング結果

2-1. WDC 活性化

2-1-1. WDC のサービスの質の向上

WDC への満足度

WDC 生徒 20 人に WDC への満足度を 5 段階で質問。満足（Excellent と very good を選択した人）の割合が 90%以上であった WDC は 9 か所で、1 回目モニタリングの 6 か所より増加。逆に満足が 50%未満であった WDC は 1 か所で、1 回目モニタリングの 4 か所より減少（下記の表の中で黄色部分は 1 回目よりも満足度が上昇、水色部分は満足度が減少した WDC）

WDC サービスへの生徒からの満足度

調査した生徒 20 人の満足度*	WDC 数	該当する WDC
90%以上が満足	9	Orumba south (AN), Ogbaru (AN), Idemili north (AN), Abi (CR), Jaba(KD), Zaria(KD), Dawakin tofa (KA), Paikoro(NI), Wushishi(NI)
70%以上 90%未満が満足	5	Ogoja (CR), Akampka(CR), Dala (KA), Ilorin west (KW), Agaie(NI)
50%以上 70%未満が満足	3	Igabi(KD), Wudil (KA), Ifelodun(KW)
50%未満が満足	1	Baruten (KW)

AN:アナンブラ州、CR:クロスリバー州、KD:カドゥナ州、KA:カノ州、KW:クワラ州、NI:ナイジャ州

*WDC への満足度を 5 段階（excellent, very good, good, average, poor）で質問し、excellent と very good の回答を「満足」と仮定している。

WDC への不満

生徒からの不満が多い WDC のサービス項目を見ると、卒業生支援に対する不満に集中していることが分かる。また施設の充実に対する不満が多かった下記 4 つの WDC は WDC の改修が行われていない。

生徒からの不満が多い WDC サービス項目

サービスの項目	20% 以上～40%未満の生徒が不満*	40%以上の生徒が不満
施設の充実	該当なし	Zaria (KD), Dawakin tofa (KA), Ifelodun (KW), Baruten(KW)
コース期間	Wushishi (NI)	該当なし
機材の充実	Abi(CR),	該当なし
材料の充実	Zaria (KD), Wudil(KA), Paikoro (NI)	該当なし
卒業生支援	Igabi(KD), Agaie(NI), Wushishi (NI)	Orumba south (AN), Ogbaru (AN), Idemili north (AN), Jaba(KD), Zaria(KD), Dawakin tofa (KA), Dala (KA), Wudil (KA), Baruten(KW)

*5 段階で満足度を聞き、poor を選択した生徒の割合。

WDC のコース

WDC で教えられる内容は、洋裁、編み物、ケータリング、識字、石鹸づくり、ビーズ、髪結い等がある。8 つの WDC で、洋裁が最も生徒が多い。アナンプラ州ではケータリングが人気。

対象州	対象 WDC	生徒の学ぶ主要スキル	非生徒の主要関心スキル
Anambra	Idemili north	ケータリング	ケータリング
	Ogbaru	ケータリング	ケータリング
	Orumba south	ケータリング	洋裁
Cross River	Abi	洋裁・その他	その他
	Akampka	その他	ケータリング
	Ogoja	洋裁	洋裁・その他
Kaduna	Igabi	洋裁	洋裁
	Jaba	洋裁	ケータリング
	Zaria	洋裁	洋裁
Kano	Dawakin tofa	洋裁	識字
	Dala	その他・洋裁	洋裁
	Wudil	洋裁	洋裁・編み物
Kwara	Ilorin west	ケータリング	洋裁・ケータリング
	Ifelodun	その他	編み物
	Baruten	洋裁	洋裁
Niger	Agaie	洋裁	編み物
	Paikoro	洋裁・編み物・ケータリング	洋裁
	Wushishi	洋裁	洋裁

卒業生支援

卒業生支援に対する不満が高い WDC が半数以上ある。卒業生支援に関しては第 1 回モニタリング調査でも不満が高かった。今回の調査では生徒だけでなく卒業生が実際に卒業生支援を受け取ったか、また、WDO/HOC にも卒業生支援の有無と内容を質問している。結果は下記のとおり。ほとんどの WDC 生徒は

協同組合やマイクロファイナンスなど起業情報を WDC で受け取っている。しかし「卒業生支援」は機材や資金、材料をもらうことと理解されており、卒業生支援への不満は高い。また「精神的サポート」「アドバイス」も卒業生支援と捉える生徒もいた。

生徒の満足度、生徒が知る卒業生支援の内容、卒業生が支援を受け取ったか否か、HOC/WDO は卒業生支援をしていると認識しているか、について回答を得たが内容は一致していない。生徒の満足度と具体的な支援の内容から、次の 8 WDC ではある程度の卒業生支援が実施されている可能性がある（クロスリバー、ナイジャ州の 3WDC 全て、クワラ州の ilorin west および ifelodun）。また ilorin west では「優秀な卒業生に機材、他の卒業生に資金」、Paikoro では「各コースの上位 3 名に機材、他の卒業生に N10,000」と卒業生支援の受益者の基準があることが回答から明らかになった。

WDC 卒業生支援の現状

対象州	WDC	起業情報受領 (生徒)	生徒の回答*	卒業生の回答	卒業生支援の内容 (生徒の回答)	HOC/WDO の回答
Anambra	Idemili north	60%	100%不満	支援なし	なし	支援なし
	Ogbaru	80%	100%不満	支援なし	なし	支援なし
	Orumba south	60%	60%不満 40%満足	支援なし	資金、機材	支援なし
Cross River	Abi	70%	70%満足	支援なし	ミシン、資金、材料、アドバイス、精神的サポート、カウンセリング	支援なし
	Akampa	70%	50%満足	支援なし	資金、材料、精神的サポート、	支援なし
	Ogoja	15%	50%満足	1人あり	ミシン、発電機、資金、材料、トレーニング	支援なし
Kaduna	Igabi	70%	40%不満	1人あり	ミシン、編み機 (全員ではない)	支援なし
	Jaba	70%	40%不満	支援なし	材料、アドバイス	支援なし
	Zaria	70%	50%不満	支援なし	なし	支援なし
Kano	Dawakin tofa	60%	60%不満	1人あり	機材、材料、資金 (全員ではない)	支援なし
	Dala	50%	80%不満	支援なし	ミシン、編み機、材料 (全員ではない)	支援なし
	Wudil	90%	60%不満	2人あり	資金 (5人)	資金
Kwara	Ilorin west	70%	50%満足	5人あり	機材 (優秀な卒業生)、 資金 (他の卒業生)	支援なし
	Ifelodun	70%	15%満足	支援なし	機材、資金、精神的サポート	機材と資金
	Baruten	70%	95%不満	1人あり	支援なし	支援なし
Niger	Agai	50%	40%満足	支援なし	ミシン、編み機、資金、	支援なし
	Paikoro	90%	30%満足	7人あり	各コースの上位 3 名 (1 名という意見も) に機材・資金 (N10,000)。	機材と資金
	Wushishi	50%	20%不満	5人あり	ミシン、編み機、機材	機材と材料

*生徒の回答は5段階（excellent, very good, good, average, poor）で聞いており、excellent と very good の回答を合わせたものを「満足」に、poor の回答を「不満」とした。卒業生に対しては卒業生支援を受け取ったか否かを聞いている。

2-1-2. WDC への肯定的認識の向上

WDC 生徒の夫・コミュニティ・非生徒女性からの認識

調査対象者	WDC に対する認識
WDC 生徒の夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆ WDC のことは WDC 生徒、メディア、友人・家族が主な情報源 ◆ 大半が WDC に満足し、他の男性に妻・娘を通わせるよう推薦 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「妻は WDC でスキルを学び、スキルを活かしている（子どもや他の人の服を縫う、料理が上手になった、他の人の髪を結う、衛生に気を付ける）」 ◎ 「妻が収入を得ることで経済的にも世帯に貢献し、夫の負担が減った」 ◎ 「妻が WDC に通って様々な良い変化があったので、他の男性に妻・娘を通わせるように勧めている」 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ミートパイやエッグロールを作れるようになった（Ogbaru, Anambra）」 「WDC 卒業生がよいビジネスをしている（Abi, Cross River）」 「妻は読み書きを学び、ビジネスウーマンになった（Wudil, Kano）」 「妻は子供の学費を私の代わりに払うようになった（Agaie, Niger）」 「妻は子供や近所の人々の服を縫い、収入が増えた（Idemili north, CR）」
コミュニティ・リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ほぼ全員が WDC を評価。妻が WDC に通う夫から情報を得ている。 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「WDC は女性がスキルを習得する場」 ◎ 「WDC でスキルを学びビジネスを始めた女性は収入を得て、夫の負担を減らし、貧困の軽減に役立っている」 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「WDC はケータリングサービスや会場の装飾サービスを行い、コミュニティに小さな経済活動を生み出している（Orumba south, Anambra）」 「コミュニティの長老たちはいつも WDC の進歩を見ており WDC を勧めたい（Baruten, Kwara）」 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 少数だがネガティブな意見もある。 <ul style="list-style-type: none"> 「WDC は学ぶ環境が整っていない、政府からの支援もない。状況が良くなれば良い場になると思う（Igabi, Kaduna）」 ◆ コミュニティから WDC への貢献として以下 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「WDC に通わせるよう男性を説得・通うように女性を奨励する」 ○ 「WDC を訪問して活動を視察し、会合を持つ」 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「WDC に土地を提供; Idemili north(Anambra), Abi(Cross River), Akampka (Cross River), Ogoja(Cross River), Ilorin west(Kwara), 」 「WDC に材料・水を提供; Akampka (Cross River), Agaie (Niger), Paikoro(Niger), Wushishi (Niger) 「WDC の周囲の清掃; Abi (Cross River), Ifelodun (Kwara), Baruten(Kwara), Agaie (Niger) 「WDC 修復の際に労働力を提供(Ilorin west (Kwara)) 「自警団が WDC 周辺のセキュリティーを監視; Ifelodun (Kwara) 「時々 WDC を訪問し、修繕の必要があればする; Ifelodun(Kwara) 「WDC に講師を提供; Agaie (Niger)
非生徒の女性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ WDC のことは WDC 参加者、友人・家族が主な情報源 ◆ 全員が WDC に関心を持ち、通いたいと回答。通っていない理由は； <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「WDC が家から遠すぎる。交通費がなく通えない」

	○「夫が許可しない」、○「家事・育児に忙しい」 「WDCからの入学許可を待っている・生徒が多くて入れない; Ilorin west, Ifelodun (Kwara)」 【具体例】 「家事を手伝ったり子どもたちの面倒を見る人がいない (Zaria, Kaduna)」 「WDCは生徒が一杯で次回まで待つよう言われた (Ilorin west, Kwara)」
--	--

◎最も多い回答、○2番目に多い回答

2-1-3. WDC のマネージメントの向上

ほとんどの WDC でオフィス環境、記録付け、人事管理、報告書に関して問題なく実施されている。報告書に関しては、全ての WDC が報告書を提出しているが、LGA からフィードバックがない例が 4 件ある。会計に関しては WDC 運営費を LGA からもらっていない例が半数あるが、自分たちで WDC 製品を販売して WDC 運営費に加えている例が大多数を占める。

	対象州・LGA	Anambra			Cross River			Kaduna			Kano			Kwara			Niger		
	項目	Or	Og	Id	Ab	Ak	Oj	Ig	Ja	Za	Dt	Da	Wu	Il	If	Ba	Ag	Pa	Ws
オフィス環境	WDOの机/部屋	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HOCの机/部屋	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓
	講師の机/部屋	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓			✓	✓	✓	✓	
記録付け	コースリスト	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムテーブル	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	登録フォーム	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	講師出席簿	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	生徒出席簿	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	機材リスト	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	議事録	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	在庫記録	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
人事管理	講師規則	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	生徒規則	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	講師定例会合	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	講師業務TOR	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
報告書	報告書提出	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	フィードバック受領	✓	✓	✓		✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
会計	WDC製品の販売	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WDC運営費受領		✓	✓	✓		✓				✓	✓			✓			✓	✓

2-1-4. 関連機関との連携の強化

対象州・LGA	Anambra			Cross River			Kaduna			Kano			Kwara			Niger		
会合を持った機関	Or	Og	Id	Ab	Ak	Oj	Ig	Ja	Za	Dt	Da	Wu	Il	If	Ba	Ag	Pa	Ws
協同組合		✓		✓			✓											
マイクロファイナンス機関							✓				✓		✓		✓			
保健関係機関		✓	✓				✓		✓					✓	✓			✓
その他							✓		✓	✓						✓	✓	✓

- マイクロファイナンス、協同組合と WDC の会合は見られるが、定期的な活動にはなっていない。
- 保健ワーカーと会合を持った WDC が第 1 回モニタリング調査時より目立った。
- その他の機関として、NCWS(National Council on Women Society; NGO)、UNICEF, MDG office, NGO, 伝統的リーダーという回答が見られた。

2-2 グッドプラクティス

対象機関	取り組み	結果	WDC
LGA	WDC をよりよい場所に移転	快適な学ぶ環境・生徒数の増加	Orumba S(AN)
	WDC 講師の給与を支給	講師のコミットメントが向上	Orumba S(AN) Ogbaru (AN)
	新たに 10 人の講師を雇用	生徒が増えた	Abi (CR)
	材料費を提供	WDC で製品を販売できた	Akampka (CR)
	材料費を提供	授業を問題なく運営できた 生徒数の増加	Ogoja (CR) Wudil (KA)、 Dala (KA)
州	WDC 機材の供与	快適な学ぶ環境・生徒数の増加	3 WDCs (AN)
	WDC 機材の供与 (新たに 7 台の ミシン) 州女性省	より多くの生徒がミシンを使う機 会を増やした。	Baruten (KW)

2-3 女性のエンパワーメント

1) 女性のプロフィール

項目	状況
年齢 (WDC 生徒)	<ul style="list-style-type: none"> 10 代から 50 代まで幅広く分布 10 代後半・20 代前半が大半を占める WDC も 5 つある (Ogbaru/AN, Abi/CR, Igabi/KD, Jaba/KD, Ilorin west/KW)
婚姻状況 (WDC 生徒)	<ul style="list-style-type: none"> 未婚が 80%以上を占める WDC (Ogbaru/AN, Abi/CR, Akampka/CR, Jaba/KD, Ilorin west/KW) 既婚が 80%以上を占める WDC (Zaria/KD, Wudil/KA, Ifelodun/KW, Wushishi/NI) 年齢分布と関係すると思われるが、10 代後半・20 代前半で未婚の 女性の場となっている WDC、既婚女性の学ぶ場となっている WDC がある。
教育レベル (WDC 生徒・卒業生)	<ul style="list-style-type: none"> 州により教育レベルが異なる (AN と CR は教育レベル高い) 生徒・卒業生の 60%以上がセカンダリー修了以上 (3WDCs/AN, Akampka/CR, Ogoja/CR, Jaba/KD) 生徒・卒業生の 60%以上がプライマリー修了以下 (Zaria/KD, Wudil/KA) 生徒・卒業生とも 20%以上が教育歴なし (Zaria/KD, Dawakin tofa/KA, Wudil/KA, Paikoro/NI)
夫の職業	<ul style="list-style-type: none"> 夫の職業は様々で、州や属性による大きな差は見られない 公務員、教師、農民、トレーダー、警官、運転手、仕立て屋、メ カニック、警備、レンガ作り、退職者

2) 経済的エンパワーメント

項目	状況
経済活動参加	<ul style="list-style-type: none"> WDC 卒業生の 80%以上が経済活動に従事：14 WDC (3WDCs/AN, CR, KD, DawakinT/KA, IlorinW/KW, Ifelodun/KW, Paikoro/NI, Wushishi/NI) 経済活動従事が非生徒 30%以下で、卒業生が 80%以上：4WDC

	<p>(Orumba S/AN, Ogbaru/AN, Abi/CR, IlorinW/KW)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 非生徒の経済活動従事も卒業生同様に 80%以上 : 6WDC (Idemili N/AN, Jaba/KD, Zaria/KD, Dawakin T/ KA, Ifelodun/KW, Paikoro/NI) ◆ 1 か所を除き (Baruten/KW)、全ての WDC で生徒よりも卒業生が経済活動に従事
WDC で獲得したスキル活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全ての WDC で卒業生の大半は WDC で獲得したスキルを活用 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 学んだスキルで経済活動を開始 (仕立て屋、ケータリング、編み物、髪結い、ビーズ製品、会場デコレーション、石鹸) ○ 子どもに学んだスキルを教える (洋裁) ○ 子どもや親せきに服を縫ってあげる <p>【具体例】 「結婚式や誕生日会等でケータリング提供のビジネスをする (Idemili North/ AN)」 「砂嵐の季節には毛糸の編み物製品を売る。周囲の妊婦が出産前に赤ちゃん用の編み物製品を注文してくれる。編み物ビジネスで収入を得ている (Wudil/KA)」</p>

3) 身体的エンパワーメント

項目	状況
WDC で得た保健の知識とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大半の WDC で生徒は保健衛生について学んでいた。 (Akampka/CR, Ogoja/CR, Ilorin west/KW のみ 50%以下) ◆ 全ての WDC でほぼ全ての卒業生が WDC 参加後に、家族の保健衛生にインパクトがあったと回答 <ul style="list-style-type: none"> ◎ バランスの良い食事を作るようになった ◎ 調理・食事の前に手を洗う、家を清潔にする、お皿をすぐ洗う <p>【具体例】 「子ども達を定期的に入浴させ、コンパウンドを清潔に保つ。食事の後のお皿を放置してハエがいつもいたが、食事後にすぐお皿を洗うようになった (Dawakin tofa/KA)」 「以前は出産前検診の大切さを知らなかったが、今では親戚にも出産前検診に行くようにアドバイスしている (Wudil/KA)」</p>

4) 社会的エンパワーメント

項目	状況
WDC で得た社会ネットワーク (友人・組合・機関)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全ての WDC でほとんどの生徒は WDC に通うことで新たな友人を得ていた。 ◆ WDC に通うことで、協同組合やマイクロファイナンス等の機関と繋がりを持てたという生徒が半数近い WDC は 3 か所 (Igabi/KD, Zaria/KD, Ilorin west/KW) あるが、他は少ない。 ◆ 卒業生で協同組合やマイクロファイナンス機関と繋がりを持てたという回答はカドゥナ州では 3WDC とほぼ全員、Orumba south/AN では 80%近い。ナイジャ州では 3WDC とほぼ半数程度だが、クロスリバー州、カノ州ではほとんどない。 ◆ 同じクラスだった卒業生同士で頼母子講を結成している (カドゥナ 3WDC 卒業生に多い) <p>【具体例】 「教会や女性グループのメンバーがビーズ製品の注文を紹介してくれる (Orumba south/AN)」</p>

	<p>「同じ WDC の卒業生と一緒に、装飾の注文を受けて仕事をする (Ogbaru/AN)」</p> <p>「WDC の卒業生と一緒に、ビジネスのために毎月お金を集めて貯めている (Zarika/KD)」</p>
--	---

5) 心理的エンパワーメント

項目	状況
将来の具体的目標	<p>WDC 卒業生・生徒とも下記の同様な回答が多い</p> <p>◎ 自分のビジネスを設立したい (仕立て屋、ケータリング、美容室、編み物、ビーズ、石鹸)</p> <p>○ 自分が得たスキルを他の人に教えたい・WDC 講師になりたい</p> <p>【具体例】 「石鹸とポマードを製造・販売して、店もほしい」 (Ifelodun/KW) 「マーケットのある曜日に売り歩く代わりに、自分の製品を売るお店が欲しい (Jaba/KD)」 「女性局で働き、WDC の監督をしたい (Dala/KA)」 「カノ州で一番の編み物をする人になりたい (Dala/KA)」 「ビジネスを続けて、自分で高等教育 (保健) に進みたい (Wushishi/NI)」</p>

6) 政治的エンパワーメント

項目	状況
世帯内意思決定への参加	<ul style="list-style-type: none"> ◆ WDC 生徒・卒業生の既婚者¹の世帯内意思決定：90%以上が参加と回答 (アナンブラ、クロスリバー、カドゥナ、クワラ)、20%から 40%が不参加 (カノ、ナイジャー) ◆ 特に子どもに関することは意見を求められるとの回答多し。 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「夫は決定する前に妻の意見を聞いてくる」 ◎ 「子どもの学校や福祉に関すること、どんな食料や衣服を購入するか等、世帯の日々の活動に関しては、夫は妻に意見を聞く」 <p>【具体例】 「自分が経済的に世帯に貢献し意思決定に参加する (Ogoja/CR)」 「夫と子どもの学費について話し合い、私も学費に貢献 (Jaba/KD)」 「特に子どもの養育や躾に関し、夫と一緒に話し合う (Wudil/KA)」</p>

7) WDC 参加後の自分と家族の変化 (生徒・卒業生)

項目	状況
WDC 参加後の自分の変化	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「経済的に自立している。夫にお金を頼まなくなった。」 ◎ 「経済的に夫・家族に貢献している」 ○ 「子ども・親戚、近所の人に習ったスキルを教えている」 <p>【具体例】 「パンや洗剤を買わなくなった。自分で作れるので (Ogbaru/AN)」 「夫が食料や学校の制服や本代を払えない時に、自分のお金を出せるようになった (Igabi/KD)」 「友人ができ、考えや体験を交換したり助けあったりするようになった (Dawakin tofa/KA)」</p>

¹ 生徒のうち既婚者の割合はアナンブラ、クロスリバーでは 20%～40%弱程度。両州の WDC 生徒は 10 代の未婚者が多い。

	「夫や親せきがお金をくれるのを待たなくても、自分のお金で問題を解決できるようになった (Wushishi/NI)」
WDC 参加後の家族の変化	<p>◎「バランスのある食事、家を清潔にするようになり、家族が病気になるなくなった・家族が健康になった」</p> <p>◎「経済的、物質的によりよい暮らしを送っている」</p> <p>【具体例】</p> <p>「他人にお金を懇願・借金しなくなった (Idemili north/AN)」</p> <p>「服を仕立て屋に頼まなくなった。家族の服を縫い、修繕が必要な時も自分でする (Ilorin west/KW)」</p> <p>「経済的に貢献し夫をサポートするようになり、家の中でケンカが減った (Ifelodun/KW)」</p>

2-4 WDC 活性化の課題

活性化の課題		AN	CR	KD	KA	KW	NI
WDC サービスの質向上	◆ WDC の教室が狭すぎる				✓	✓	
	◆ WDC の機材の数が不十分	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	◆ WDC に識字クラスがない	✓					
	◆ 卒業生支援がほとんどない	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	◆ 卒業生がビジネス開始資金にアクセスできない	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	◆ WDC に保育室がない	✓					
	◆ WDC の場所が遠い	✓					
WDC への肯定的認識向上	◆ コミュニティーリーダーは WDC を経済的に支援していない	✓					
WDC マネージメント	◆ WDC 運営費が適切に配賦されていない	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	◆ WDC 講師の給料が定期的に支払われない	✓					
	◆ 講師に机・オフィスがなく事務作業に支障		✓				
関係機関との連携	◆ SMWA、SMLG、LGA の WDC 活動への監督・支援が不十分	✓	✓	✓	✓	✓	✓

2-5 NCWD による州・LGA への提言

提言		AN	CR	KD	KA	KW	NI
WDC サービスの質向上	♦ LGA は WDC の拡大・教室を増設すべき				✓		
	♦ 州・LGA は WDC に十分な機材を供与すべき	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	♦ LGA は WDC に十分な材料を供与すべき	✓					✓
	♦ WDC に水、電気、警備が確保されるべき			✓			
	♦ WDC 講師のトレーニングを定期的にするべき	✓			✓		
	♦ LGA は資格のある講師を雇うべき				✓		
	♦ WDC のカリキュラムを作るべき				✓		✓
	♦ WDC は識字クラスを含めるべき	✓			✓		✓
	♦ WDC で健康に関する講義をすべき			✓			
	♦ WDO/HOC/講師は生徒が他のコースにも興味を持つようアドバイス・奨励すべき				✓		✓
	♦ 州・LGA は WDC 卒業生支援を提供すべき	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	♦ WDC 製品を販売するトレードフェアをコミュニティで開催すべき			✓			
WDC への肯定的認識の向上	♦ 州・LGA はメディア、ポスター、ラジオ、看板などを使って啓発活動続けるべき	✓	✓	✓	✓		✓
	♦ 州はステークホルダー会合を定期的に行うべき	✓					✓
	♦ SMWA・SMLG は LGA や伝統的リーダーなどが WDC 運営に積極的に関わるよう促すべき			✓			✓
	♦ WDO はコミュニティーリーダーを WDC 活動に巻き込むよう働きかけを続けるべき			✓			
WDC マネージメント	♦ SMWA と SMLG は WDC を定期的に訪問し、問題を把握すべき						✓
	♦ SMWA と SMLG は WDC の活動の監督とモニタリング体制を強化すべき	✓				✓	
	♦ 生徒の登録フォームや出席簿をきちんと記録にとるべき			✓			
	♦ 州・LGA は WDC 運営のための適切な予算が配賦されるべき	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	♦ LGA は WDC 講師の給料を定期的に支払うべき	✓					✓
関係機関との連携	♦ WDO と HOC は WDC 卒業生が社会ネットワークを作れるよう奨励すべき			✓			
	♦ SMWA と SMLG はマイクロファイナンス機関と連携し、WDC 卒業生にローンを提供すべき				✓		✓
	♦ LGA は協同組合のプロセスを簡素化するよう啓発すべき				✓		
	♦ WDO と HOC はより多くの機関と協同が行われるようネットワークづくりに努め、ミーティングやセミナーを行うべき					✓	

別添 7： その他活動実績

⑩ グッドプラクティス

NCWD/JICA WDCs Activation Project Phase 2 Good Practices

1. WDC Service Quality

State	LGA	Actor	Areas	Good Practice	Source of Info ¹
Anambra Cross river Kaduna Kano Kwara Niger	Idemili north/ Ogbaru Akampka / Ogoja Igabi/ Jaba Wudil Ilorin West Agaie, Wushishi	LGA	Facility	Renovation of WDC done by LGA. WDC got convenient learning environment and the number of students greatly increased.	1 st monitoring
Anambra	Orumba south	LGA	Facility	LGA renovated WDC. Good learning environment were created and number of students greatly increased.	3 rd State meeting
Cross river	Akampka	LGA	Facility	LGA construct another WDC in LGA, results in more women are able to attend WDC.	1 st monitoring
Cross river	Ogoja, Akampka	LGA	Facility	LGA carries out expansion of existing facilities. It has created room for additional classrooms and student enrolment increased.	3 rd State meeting
Kaduna	Jaba	LGA	Facility	Provision of electricity by LGA. Conducive learning environment was created.	3 rd State meeting
Kwara	Baruten, Irolin west	WDO/HOC	Facility	Cleaning environment around WDC. WDC got conducive learning condition.	1 st monitoring
Kwara	Baruten, Ilorin west	WDO/HOC	Facility	WDC requested for renovation of the centre. The LG renovated the centres.	3 rd State meeting
Kwara Niger	Baruten Paikoro	LGA	Facility	Construction of new WDC which is bigger than the previous one by LGA. WDC got convenient learning environment and the number of students greatly increased.	1 st monitoring
Niger	All 3 WDCs	LGA	Facility	Construction and Renovation of WDCs. Women now have conducive learning environment which will attract more women	3 rd State meeting
Anambra Kano Kaduna Niger	All 3 WDCs All 3 WDCs Igabi Agaie, Paikoro	WDO/HOC	Equipment	LGA provides equipment to WDC. WDC got more convenient learning environment, and the number of students greatly increased.	1 st monitoring 2 nd State meeting

¹ 1st monitoring (Nov.2013), 2nd State meeting (March 2014), Niger visit (Feb.2014), 2nd monitoring(Aug.2014), 3rd State meeting(Nov.2014), Radio programme (Jan.2014-Apr.2014)

State	LGA	Actor	Areas	Good Practice	Source of Info
Anambra	Orumba south	LGA	Equipment	LGA provides equipment to WDC. WDC got more convenient learning environment, and the number of students greatly increased.	2 nd monitoring
Anambra	Ogbaru	State	Equipment	State provide computers. WDC got more convenient learning environment, and the number of students greatly increased.	2 nd monitoring
Anambra	All 3 WDCs	SMWA	Equipment	Provision of more equipment to WDC was done by SMWA. Enough equipment to students.	3 rd State meeting
Anambra	Ogbaru	LGA	Equipment /materials	LGA provide equipment and working materials. WDC got more convenient learning environment, and the number of students greatly increased.	2 nd monitoring
Kaduna	Zaria	WDO/HOC	Equipment	On weekly bases, WDC clean sewing machines and for knitting daily. the machines are more effective and knitting machines become sharper	2 nd State meeting
Kaduna	All 3 WDCs	LGA	Equipment	Procurement of more sewing machines to WDCs. Improved learning and participation	3 rd State meeting
Kano	Wudil	State	Equipment	State provide enough equipment for participants ,and it brings success and efficiency	2 nd monitoring
Kano	Wudil	LGA	Equipment/ materials	LGA provide equipment and materials. It brings increase of WDC participants.	2 nd monitoring
Kwara	Ifelodun	WDO/HOC	Equipment	WDC instructors give daily maintenance for machines. Equipment are functioning well.	2 nd State meeting
Kwara	Baruten	SMWA	Equipment	Ministry of Women Affairs gave seven (7) sewing machine. More participants have access to machine for their work	2 nd monitoring.
Niger	Wushishi	LGA	Equipment	LGA provides equipment to WDC. WDC got more convenient learning environment, and the students come to WDC to use the machines.	2 nd State meeting
Anambra	All 3 WDCs	WDO/HOC	Course contents	Organise health seminar at the WDC (Health workers invited). Students were taught importance of family planning, good nutrition and personal hygiene.	3 rd State meeting
Cross River	Ogoja	WDO/HOC	Course contents	Make-up course is introduced after a discovery of that make-up business was doing well in the fashion market.	Report nov.2013
Cross River	Ogoja	WDO/HOC	Course contents	Public speak training was introduced.	Report nov.2013
Cross River	Abi, Akampka Ogoja	WDO/HOC	Course contents	NYSC members are engaged to teach new skills such as soap making, embroidery etc. Students learn new skills	3 rd State meeting
Kaduna	Igabi	WDO/HOC	Course contents	New skills are introduced and students got more options.	2 nd State meeting

State	LGA	Actor	Areas	Good Practice	Source of Info
Kaduna	Zaria	WDO/HOC	Course contents	Health personnel from Health Department of LG visited WDC to give lecture on personal hygiene, importance of Anti Natal Care to pregnant women and the urgent need for all mothers to get the children immunized against the killer diseases.	WDO report Oct. 2013
Kaduna		LGAs	Course contents	Some LGs sent their professional staff who are in the Health section of LGs to WDCs to teach how to produce spices and drinks. WDCs deal with food like spices and drinks, and the health aspects of WDCs are really well-taken care of.	Radio programme
Kano	Wudil, Dawakin tofa	WDO/HOC	Course contents	Paralegal Services are provided at WDC. Conflict were resolved.	3 rd State meeting
Kano	All 3 WDCs	WDO/HOC SMWA	Course contents	Marriage counselling & Empowerment are provided at WDC. Peaceful coexistence among families and self-reliance.	3 rd State meeting
Kano	All 3 WDCs	WDO/HOC	Course contents	Introduction of new innovation beans products for cake, couscous, Spaghetti, Tamarine and Zobo instant drink. WDCs income generation increased.	3 rd State meeting
Kwara	Ifelodun	WDO/HOC	Course contents	Health related matters are introduced. And students are aware of health issues.	2 nd State meeting
Niger	Agaie	WDO/HOC	Course contents	NYSC is hired to teach new skills (air freshener). Students got new skills and WDC sells the products.	Niger visit observation
Niger	All 3 WDCs	WDO/HOC	Course contents	Education on health talk is organized. It help improve the health condition of households and their environment	3 rd State meeting
Niger	Agaie	WDO/HOC	Course contents	Counseling service unit was established by LGA. It is part of HOC/WDO schedule to provide counseling services to the WDC attendants	Action plan 2015
Anambra	Orumba south	LGA	Instructors	4 instructors to handle new course; beads-making, computer, guidance/counseling, were recruited by LGA. Identified problem of insufficient instructors was solved.	Action plan 2015
Anambra	All 3 WDCs	SMWA	Instructors	SMWA organises workshop for instructors. Instructors improved in their skills.	3 rd State meeting
Cross river	Abi	LGA	Instructors	Employment of skilled instructors (10) and increase the number of students.	2 nd monitoring 3 rd State meeting
Niger	All 3 WDCs	SMWA/ SMLG	Instructors	Refresher course for instructors. The instructors are more effective and efficient.	3 rd State meeting
Anambra	All 3 WDCs	LGA	Materials	LGA provide enough working materials. WDC students come to centres without working materials.	3 rd State meeting

State	LGA	Actor	Areas	Good Practice	Source of Info
Cross river	Akamkpa	LGA	Materials	LGA provide money for working materials. WDC establish business	2 nd monitoring
Cross river	Ogoja	LGA	Materials	LGA provide money for WDC running, WDC buy materials for WDC class to conduct activities.	2 nd monitoring
Kano	Dala	LGA	Materials	LGA provide enough working materials. WDC participants come to WDC without materials.	2 nd monitoring
Niger	Agaie	WDO/HOC	Materials	Sometimes we do contribute our personal money to purchase materials	2 nd monitoring
Cross river	Akamkpa	LGA	Graduates support	LGA provides equipment and cash to graduates. Many women are coming to WDC, and graduates establish their own business.	2 nd State meeting
Kano	Wudil	LGA	Graduates support	N5,000-N10,000 is given to graduates	2 nd monitoring
Kwara	Ifelodun	LGA	Graduates support	LGA provides equipment and cash to graduates. Their life style has changed and they are able to support their husbands in their various homes	2 nd State meeting.
Kwara	Baruten, Ifelodun	WDO/HOC	Graduates support	WDC requested for graduate support. LGA supports the graduates by providing sewing machines and fund to them.	3 rd State meeting
Niger	Wushishi	LGA	Graduates support	LGA provides equipment(sewing machine, knitting machine, literacy books, beads, catering materials) .Graduates are self- reliant, they open shop and train others	2 nd State meeting
Niger	Agaie	LGA	Graduates support	Graduate support (N500,000 per group)was made to 3 groups of graduates by LGA. Graduate were organised into cooperative society and were linked to the community micro finance bank	Action plan 2015
Niger	All 3 WDCs	SMWA/ SMLG LGA	Graduates support	Graduate Support was provided. It enabled the graduates to take-off their businesses immediately after graduation	3 rd State meeting

2. WDC Positive Recognition

State	LGA	Actor	Good Practice	Source of Info
Anambra	All 3 WDCs	WDO/HOC	Mounting of WDC sign board at WDC. Awareness on the existence of WDC is increased.	1 st monitoring
Anambra	Ogbaru, Orumba south	WDO/HOC	Awareness on the WDC is created at Church every week.	1 st monitoring
Anambra	Ogbaru	WDO	WDO organized workshop with traditional and church leaders about WDC, to help WDC and women to be able to come to WDC	2 nd State meeting
Anambra	All 3 WDCs	WDO/HOC	WDC organised meeting with women leaders. Sensitization via Churches/ Communities. As a result, number of enrolment increased as people are more aware of WDC.	3 rd State meeting
Anambra	SMLG	SMLG	Advocacy to Local Govt. management was conducted to solve the problem of discriminate posting at WDC.	Action plan 2015
Cross river	SMWA	SMWA	Association meeting to enroll in WDC and form cooperatives, age grade meeting to discuss issues on WDC accessibility was done. People (young girls) come to ask about how to enroll at the WDC to be trained, more enrolment with WDC, more promises to register at WDC.	2 nd State meeting
Cross river	All 3 WDCs	WDO/HOC	WDC carry out sensitization campaign. There is more awareness on WDCs activities	3 rd State meeting
Kaduna	Igabi	WDO/HOC	Involvement of community leaders, holding of management meetings. They advise and create awareness to the people	1 st monitoring
Kaduna	Jaba	WDO/HOC	WDC did sensitization campaign. There is more interest in the community	2 nd State meeting
Kaduna	Igabi	WDO/HOC	WDC had a meeting with husbands and community leaders. The community leaders and the husbands encourage more participants	2 nd State meeting
Kaduna	Jaba	Community leaders	Community created a small training centre in the community because of the distance to WDC. More women are able to attend WDC.	1 st monitoring
Kaduna	All 3 WDCs	WDO/HOC/HOD	Advocacy visits and sensitization campaign to communities within the LG. High patronage to participate in WDC activities.	3 rd State meeting
Kwara	Ilorin west/ Baruten	WDO/HOC	Sensitization campaign on WDC is done. People are more aware of WDC.	1 st monitoring.
Kwara	Ifelodun	WDO/HOC	WDC had a sensitization campaign, meeting with husbands and community leaders. The husbands allow their wife to come to the center, support their wife financially. Community leaders support WDC and LG chairman support WDC material.	2 nd State meeting
Kwara	SMWA/SMLG	NCWD/JICA SMWA/SMLG	NCWD/JICA, SMWA & SMLG visited the 3 beneficiaries in the Local Government. Their visitation increased the effort of the instructors. It created more awareness of the centre	3 rd State meeting

State	LGA	Actor	Good Practice	Source of Info
Kwara	State Gov.		Government utilizes radio, TV, advocacy to religious and community leaders to enhance their understanding. This Gov. efforts encourage and sensitize women to attend WDC.	Radio programme
Niger	Paikoro, Wushishi	WDO/HOC	WDO/HOC invited LG Chairman to WDC to supervise activities. LG Chairman decided to renovate WDC.	1 st monitoring
Niger	All 3 WDCs	WDO/HOC	WDC had a sensitization campaign. The existence of WDC is recognized, they allow women to attend, and Local government chairman is encouraged to renovate WDC.	Niger visit interview with WDO
Niger	Paikoro	HOD/WDO/HOC	Frequent Advocacy visit to the community Leaders on quarterly basis was done. There was a good approach to LGA by DSD, WDO, and HOC and the request was made on good timing. Awareness of community leaders on WDC was created.	Action plan 2015
Niger	All 3 WDCs	WDO/HOC	Sensitization and Advocacy was conducted. It educated the community leaders, husbands, non-participants and community at large on the existence of WDCs.	3 rd State meeting

3. WDC Management

State	LGA	Actor	Aspects	Good Practice	Source of Info
Anambra	All 3 WDCs	WDO/HOC	Office environment	Introduction of clear chain of command and communication. Discipline and efficiency of WDC management.	1 st monitoring
Anambra	All 3 WDCs	WDO/HOC	Record keeping	Introduction of attendance for instructors/students, lecture time table. Instructors/ students become punctual.	1 st monitoring.
Anambra	Idemili north	WDO/HOC	Report	Forwarding of reports on the WDC activities to LGA. LGA involvement in the WDC activities and the seriousness of instructors/ students are increased.	1 st monitoring
Cross river	Abi	WDO	Report	WDO always forward report to the Chairman, Director of Education, HOD LGA.	3 rd State meeting
Kaduna		SMWA	Report	SMWA always encourage WDOs to write report by calling on phone and we always discuss feedback. WDOs show more commitment to their work.	2 nd State meeting
Anambra	Idemili north	WDO/HOC	Budget	Introduction of bottom up approach for WDC budget preparation. Equipment, accessories and staff salary are provided, and WDC activities are improved.	1 st monitoring
Anambra	Orumba south	WDO/HOC	Budget	LGA pay salaries of instructors increase commitment of instructors	2 nd monitoring
Anambra	All 3 WDCs	LGA	Budget	Instructors' stipends are regularly paid. Instructors are committed to work.	3 rd State meeting
Kwara	Ifelodun	LGA	Budget	LGA provide money to run the WDC. WDC is able to accommodate more student in the WDC.	2 nd monitoring
Kwara		LGA	Budget	LGA supports student's transportation fees. Number of students increase.	Radio programme
Niger	Wushishi	State Gov	Budget	State Govt. pays allowances of part time instructors. Provision of learning materials, pipe borne water, general renovations	2 nd monitoring.
Kaduna	Jaba	WDO	Management in general	Record keeping, report writing and staff meeting are regularly conducted. There is understanding and cordial relationship	2 nd State meeting
Kwara	Ifelodun	WDO	Management in general	Record keeping, report writing and staff meeting are regularly conducted. Things work smoothly.	2 nd State meeting
Anambra	Idemili North	WDO	Management in general	There was no proper management before. Now, records are kept, meeting hold, report written, we are sharing information	2 nd State meeting.
Anambra	Ogbaru	WDO	WDC own revenue	Money generated from selling products used for maintenance of equipment, fuel the generator and materials	2 nd State meeting
Anambra	All 3 WDCs	LGA	WDC own revenue	Stationary for book keeping was purchased through the sale of students forms.	Action plan 2015

State	LGA	Actor	Areas	Good Practice	Source of Info
Anambra	Ogbaru Orumba south	WDO/HOC	WDC own revenue	WDC sell products. Money generated are used in running and maintaining the WDC (buying water, gas, maintenance of equipment etc.).	3 rd State meeting
Cross river	Abi	WDO/HOC	WDC own revenue	Using small revenue from baking for WDC running	1 st monitoring
Cross river	Abi Akampka	WDO/HOC	WDC own revenue	WDC sells students products. Income generated from the sales of the product is used for maintenance of equipment.	3 rd State meeting
Kaduna	Ifelodun Ilorin west	WDO/HOC	WDC own revenue	WDC sells products from the centre. The money realised is used for the maintenance of the WDC	3 rd State meeting

4. Collaboration with Other Agencies

State	LGA	Actor	Good Practice	Source of Info
Anambra	Ogbaru	LGA	Organize meetings with relevant departments of the local government council and educate them on the need for them to synergize with the WDC. Institutional arrangement was improved.	Action plan 2015
Cross river	Akampka	WDO	WDC organized meetings with cooperative and micro finance agencies. And students are able to access loan to start business	2 nd State meeting
Cross river	Abi	WDO/HOC	WDC organize mmeeting with other NGOs such as PHC and Cooperative Societies	3 rd State meeting
Kano	SMWA	SMWA	Collaboration with agency for Mass Literacy and microfinance bank, KNARDA(Kano agricultural rural development agency) for literacy programme and trainings for poultry, husbandry, gardening were conducted. New skills e.g poultry, animal husbandry and gardening have increase the income generation of the WDCs	2 nd State meeting
Kano	All 3 WDCs	WDO/HOC	Collaboration with other agencies:-Isa Wali Empowerment Initiative, Mobilization for Development (M4D), CBOs, Communities, Micro Credit Banks. Improved status of WDCs socially and financially	3 rd State meeting
Kwara	Ifelodun	WDO	WDC organized meetings with cooperative and micro finance agencies. Students get assistance from them.	2 nd State meeting
Niger	Paikoro	WDO	WDC organized meetings with cooperative and micro finance agencies. Students are enlightened, they know where to ask for soft loans as N50,000, N100,000	Niger visit interview

5. Efforts to have adequate budget allocation for WDC Activity

State	LGA	Actor	Good Practice	Source of Info
Anambra		SMLG	By encouraging the LGAs to come up with WDC budget proposals on yearly basis.	2 nd State meeting
Cross river		SMLG	We wrote letter to LGA appealing to include WDC on budget allocation	2 nd State meeting
Cross river	Abi	LGA	Write for monthly subvention of N20,000 - N30,000 and kept reminding LGA chairman about it.	2 nd monitoring.
Kaduna	Jaba	WDO	WDO submitted the action plan to the vice chairman of LG and lobby for the inclusion of the action plan in the 2014 budget proposals of the LG. The vice Chairman ensured the proposed action plan included in the budget.	WDO report on Nov.2013 3 rd State meeting
Kwara		SMLG	They are grossly advised to allocate funds for their WDCs for it to be approved by the ministry	2 nd State meeting

6. Replication of Activities to Other LGAs/WDCs

State	LGA	Actor	Good Practice	Source of Info
Anambra		SMLG	Other LGAs show their interests in WDC activation. (Nnewi South, Ihiala, Oyi, Njikoka)	2 nd State meeting
Cross river		SMWA	Other LGAs show their interests in WDC activation. (Odukpani WDC, Akpabuyo WDC, Yakurr WDC, Baise WDC, Calabar Municipal WDC, Calabar South WDC)	2 nd State meeting
Cross river		SMWA	Besides the target WDCs, Yakurr, Margret Ekpo WDC Calabar are visited.	2 nd State meeting
Kaduna		SMWA	Many LG in the state show their interest in WDC activation.	2 nd State meeting
Niger		SMWA	SMWA provided equipment to 16 WDCs out of 25 WDCs in the state in 2013 and 2 WDC staff from each WDC are provided skill up training at Minna State owned WDC.	Niger visit interview
Niger		SMLG	Minna, Gontagora, Bida, Regio, equipments and table were provided.	Niger visit interview

7. Community's supports for WDC activities

State	LGA	Areas of support	Good Practice	Source of Info
Anambra	Idemili north	Provision of land	A Community leader said that the Community provide land for the building of the WDC and encourage people to attend the WDC	2 nd monitoring
Cross river	Abi	Provision of land	A Community leader said that the Community provide land to build a class where the participants are being trained.	2 nd monitoring
Cross river	Ogoja	Provision of land	A Community leader said that the Community provide free land without collecting any land rent from them.	2 nd monitoring
Cross river	Akampka	Provision of land	A Community leader said that the Community provide land to build WDC. Carry out campaign of the center for the community dwellers.	2 nd monitoring
Kwara	Ilorin west	Provision of land	A Community leader said that the Community give land to build WDC.	2 nd monitoring
Cross river	Akampka	Provision of materials	A Community leader said that the Community give financial support to buy some materials they use for training of the women and youth.	2 nd monitoring
Niger	Agaie	Provision of materials	A Community leader said that the Community assist in giving the WDC money to buy water.	2 nd monitoring
Niger	Paikoro, Wushishi	Provision of materials	A Community leader said that the Community provide financial contribution in terms of transportation, working materials and advice	2 nd monitoring
Cross river	Abi	Cleaning environment	A Community leader said that the Community keep the environment of the WDC clean.	2 nd monitoring
Kwara	Baruten, Ifelodun	Cleaning environment	A Community leader said that the Community clear the surrounding clean.	2 nd monitoring
Niger	Agaie	Cleaning environment	A Community leader said that community provides personnel for environmental sanitation assist in providing instructors for certain skills.	2 nd monitoring
Kwara	Ifelodun	Inspection of WDC	A Community leader said that the Community come and inspect and do some renovation	2 nd monitoring
All State	All three WDCs	Educate men about WDC	A Community leader said that community encourage men and other members of the community to send their wives to WDC	2 nd monitoring
All State	All three WDCs	Educate women about WDC	Elders meet and mobilize men and encourage them to allow their women to participate encourage and enlighten women and youth girls to attend WDC for betterment of their lives	2 nd monitoring

8. Women's empowerment (Impact of WDCs on women from the perception of participants/graduates/husbands)

State	LGA	Good Practice	Source of Info
Anambra	Orumba south	A WDC participant learnt skills and knowledge at WDC. She said that her family do not suffer much from malaria again because their environment is clean and feeding is good.	2 nd monitoring
Anambra	Orumba south	A WDC participant learnt skills and knowledge at WDC. She said that her younger sisters are benefitting from her because she teach them what she has learnt.	2 nd monitoring
Anambra	Idemili north	A WDC participant learnt skills and knowledge at WDC. She said "the money I make from selling snacks helps a lot so I am not borrowing again"	2 nd monitoring
Anambra	Idemili north	A WDC participant learnt skills and knowledge at WDC. She said the impact of attending WDC is that she is financially independent and her family is no more begging and borrowing.	2 nd monitoring
Anambra	Idemili north	A WDC participant learnt skills and knowledge at WDC. She said the impact of attending WDC is that her family is happy because what she learnt impact on them and she also support her husband financially	2 nd monitoring
Anambra	Ogbaru	A WDC graduate said the impact of WDC is that her husband respects her now because she contribute to the family up keep.	2 nd monitoring
Anambra	Idemili north	A WDC graduate said that her husband know that she makes money, her husband seeks her opinion before taking any decision	2 nd monitoring
Anambra	Orumba south	A husband of WDC participant said "my wife supports me financially through the payment of the children's school fees, purchase of food items and clothes for the children.	2 nd monitoring
Anambra	Ogbaru	A husband of WDC participant said "my wife now assist at home financially through selling her products like cake and meat pie"	2 nd monitoring
Cross River	Akampka	A WDC participant learnt knitting at WDC. She was good at what she learnt from the WDC. After graduated from WDC, she was given contract to knit sweater for a school in large quantity.	Radio programme
Cross River		Success story of women farmers who made a group with 10 persons and registered as cooperatives was given. Those women farmers now have access to the funds. The WDC participants now are sensitized on the need to form cooperatives and register so that as they graduate they can be empowered.	Radio programme
Cross River	Ogoja	A WDC participant learnt skills and knowledge at WDC. She said "now I can sew for others and make money from it."	2 nd monitoring
Cross River	Akampka	A WDC graduate said about the impact of attending WDC as "I don't leave all the load on my husband, I support him financially"	2 nd monitoring
Cross River	Ogoja	A WDC graduate said about the change of life after graduating WDC as "I don't depend solely on my parent for food"	2 nd monitoring
Cross River	Abi	A WDC graduate said "My experience after this course is that I can now generate income for myself"	2 nd monitoring

State	LGA	Good Practice	Source of Info
Cross River	Abi	A husband of WDC participant said “It has really made some changes on the abilities of my wife. She has begun to sew her children's clothes and even her own and other people around us, which is giving her some money”	2 nd monitoring
Cross River	Akampka	A husband of WDC participant said “It has made my wife to know how to do soap, detergent and snacks which she doesn't know before. We no longer buy soap and detergent at home and she sell some and use the money to assist at home.”	2 nd monitoring
Cross River	Ogoja	A husband of WDC participant said “It has made my wife to be creative and has started sewing children clothes. It has made my wife to start helping at home because I no longer take children clothes to sew outside anymore”	2 nd monitoring
Kaduna	Igabi	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “ I help to buy food for the family if my husband cannot provide shool uniform, books etc”	2 nd monitoring
Kaduna	Jaba	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “ I sew clothes of the family members free unlike before we have to pay for it”	2 nd monitoring
Kaduna	Zaria	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “The changes are I can read the documents and also write the letters”	2 nd monitoring
Kaduna	Jaba	A WDC graduate said “I am able to contribute through my business to building of our house”	2 nd moitoring
Kaduna	Zaria	A WDC graduate said “I have taught my children how to sew, they can amend their clothing by themselves”	2 nd monitoring
Kaduna	Jaba	A husband of WDC participant said “WDC made my wife very interested and understand something to be empowered. she trained my children and they now know how to sew, knit and make soap”	2 nd monitoring
Kano	Dawakin tofa	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “my life has improved both socially and economically because I have made friends and have income”	2 nd monitoring
Kano	Dala	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “I made friends and know people from different places, co-participant at the WDC”	2 nd monitoring
Kano	Wudil	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “The relationship between my husband and I have improve especially in decision making and in household management”	2 nd monitoring
Kano	Dawakin tofa	A WDC graduate said “I am now more knowledgeable and teach my children the little I know, and I assist my family from the money I generate from knitting and sewing”	2 nd monitoring
Kano	Dala	A WDC graduate said “I am now literate, I can read /write and assist my children in doing their homework”	2 nd monitoring
Kano	Dala	A husband of WDC participant said “my wife bought a sewing machine and use it to generate income and assist the family”	2 nd monitoring

State	LGA	Good Practice	Source of Info
Kwara		A husband of WDC participant said, “my wife completed computer training in WDC. Local government assisted my wife to expand her opportunity with her acquired skills. For example, government gave her a computer, a CPU, and a printer. We bought generator and papers. Moreover, state government assisted to seek the customers. She is now self-employed person with those skills. Before she joined WDC’s activity, she didn’t do anything by herself. But now, she has high self-reliance and takes care of our household in better way.”	Radio programme
Kwara	Ifelodun	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “No quarrel again as I contribute financially to assist my husband.”	2 nd monitoring
Kwara	Baruten	A WDC graduates said “I used to make clothes for my family members”	2 nd monitoring
Kwara	Ilorin west	A WDC graduates said “I help my family members to make their hair and sometimes money to assist them”	2 nd monitoring
Kwara	Ifelodun	A husband of WDC participant said “my wife enable her to know the importance of trading & learning of skills. She now assist by mending some clothes of the family & making dresses for family.”	2 nd monitoring
Kwara	Baruten	A husband of WDC participant said “She is now self- employed and learn different skill & empowering them. She now a bit literate and can speak small English	2 nd monitoring
Niger	Agaie	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “Before her husband do not meet the need of the family as required but now she support him in her way through what they have learnt”	2 nd monitoring
Niger	Paikoro	A WDC participant leant skills and knowledge at WDC. She said “I don’t wait for my husband to buy something for me and I can pay for my children’s school fees. My husband is happy”	2 nd monitoring
Niger	Paikoro	A WDC graduates said “My family benefits from income realized from sale of sewn clothes I make”	2 nd monitoring
Niger	Wushishi	A WDC graduates said “The family enjoying the benefits because it has improved their life”	2 nd monitoring
Niger	Agaie	A husband of WDC participant said “She is self-independent, she even advises some of her friends to attend the WDC. She sew my children clothes, she help to buy some items in the house”	2 nd monitoring
Niger	Paikoro	A husband of WDC participant said “My wife has been exposed to training skills in knitting and tailoring. My wife supports me financially and does not depend on me entirely. She is able to take care of my children needs.	2 nd monitoring
Niger	Wushishi	A husband of WDC participant said “She has her own shop where she sew clothes. My wives contribute a lot in the household, they assist in providing items like food, helping me to pay my children school fees”	2 nd monitoring

別添 7： その他活動実績

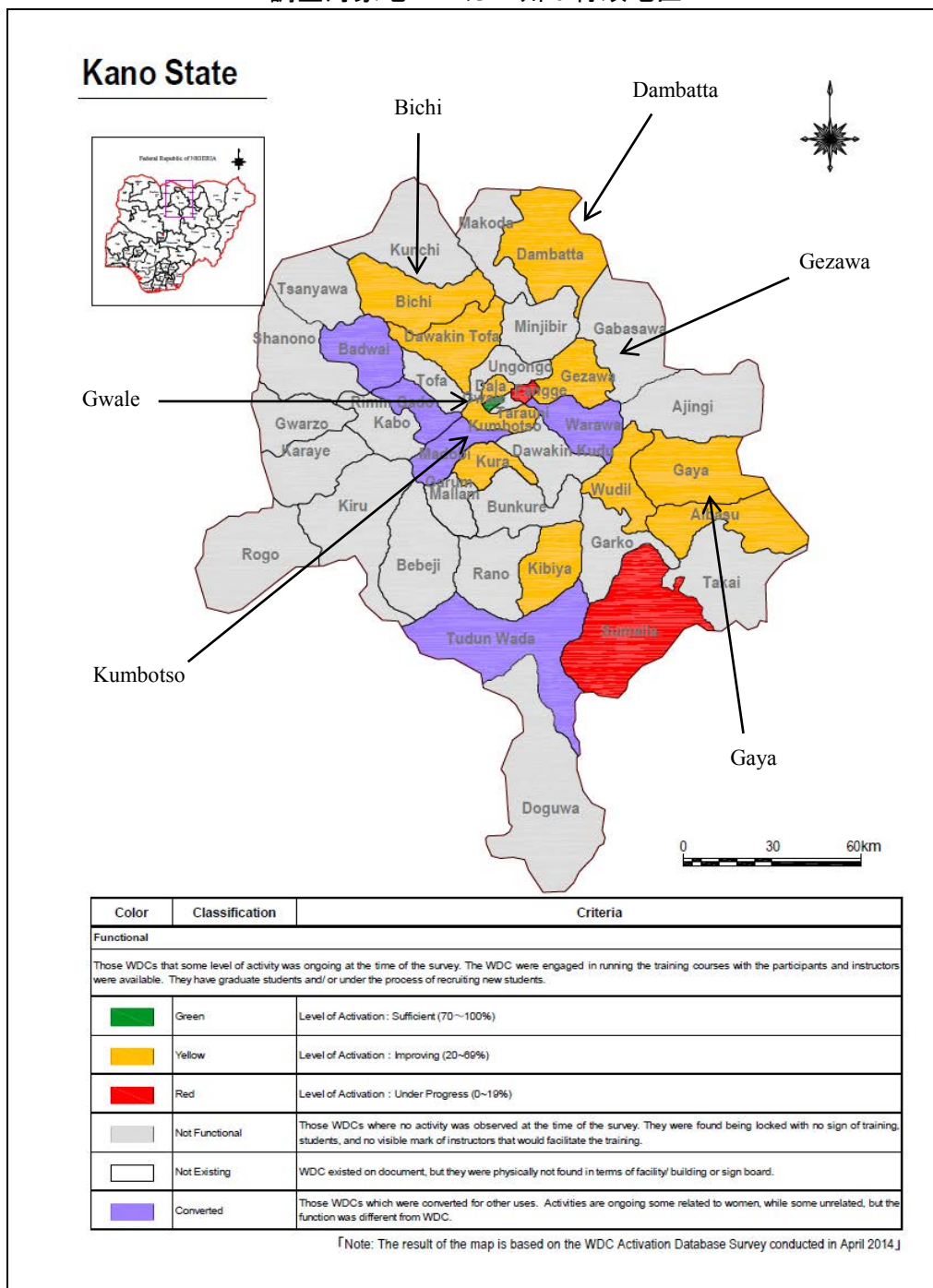
- ⑪ フェーズ 1 対象カノ州 6WDC への
フォローアップ調査報告書

ナイジェリア国
女性の生活向上のための女性センター活性化支援
プロジェクト（フェーズ2）

カノ州フォローアップ調査報告書

2015年1月

調査対象地： カノ州 6 行政地区



出典：2014年4月にプロジェクトで実施されたデータベース調査に基づく活性化地図

目次

地図：調査対象地：カノ州 6 行政地区（LGA）

1.	調査の目的	1
2.	調査の方法と対象	1
3.	調査結果	1
3-1.	各 WDC の概況	1
3-1-1.	各 WDC の施設状況	1
3-1-2.	6WDC の訓練状況	2
3-1-2-1.	訓練科目	2
3-1-2-2.	受益者数（在籍者＋卒業者）	2
3-1-2-3.	講師数および機材数	3
3-2.	活性化に向けた WDC の運営状況	3
3-2-1.	「WDC のサービスの質の向上」の側面	3
3-2-1-1.	講師	3
3-2-1-2.	コース内容	4
3-2-1-3.	機材	4
3-2-1-4.	実習用材料	4
3-2-1-5.	卒業者支援	4
3-2-1-6.	施設	4
3-2-2.	「WDC へのコミュニティからの肯定的認識」の側面	5
3-2-2-1.	コミュニティでの啓発活動、コミュニティ関係者との会議、コミュニティからの支援	5
3-2-2-2.	夫からの認識	5
3-2-2-3.	コミュニティリーダーからの認識	5
3-2-2-4.	女性たちからの認識	5
3-2-3.	「WDC マネジメント」の側面	5
3-2-3-1.	記録付け	5
3-2-3-2.	予算	6
3-2-3-3.	自主財源の創出	6
3-2-3-4.	報告書	6
3-2-4.	「他機関との連携」の側面	7
3-3.	活性化度について	7
4.	課題と教訓	8
4-1.	課題	8
4-1-1.	行政の予算措置の欠如・不足	8
4-1-2.	行政の関心の不足	8
4-1-3.	卒業者支援の停滞の影響	8
4-1-4.	類似プログラムとの競合	8
4-1-5.	地域により異なる連携事情	8

4-2.	教訓	8
4-2-1.	行政からの予算措置の確保.....	8
4-2-2.	行政の積極的な関心の喚起.....	8
4-2-3.	より公的な制度化の導入.....	9
4-2-4.	卒業者支援の返済強化の必要性.....	9

1. 調査の目的

本調査は、ナイジェリア国「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト（フェーズ 2）」（以下、本プロジェクト）の第 1 フェーズで先行的に女性センター（Women Development Centre: WDC、以下 WDC）活性化に向けた支援が行われてきたカノ州における WDC 活性化の取り組み事例について、第 2 フェーズ最終年にどのような状況にあるかを確認し、現在の課題や WDC 活性化を進めていく上での教訓をまとめるために実施された。

2. 調査の方法と対象

本調査報告書は、以下の 3 つの方法で得られたデータを基に作成した。

- (1) 各 6WDC への面接調査： 回答については添付 1 を参照。
- (2) カノ州女性省（State Ministry of Women Affairs: SMWA）の WDC 活性化を担当するデスクオフィサーへの面接調査：回答については添付 2 を参照。
- (3) WDC 活性化データベース（WDC Activation Database：以下「データベース」）構築のための質問票調査¹：関連データは別紙 2 を参照。

なお、調査対象は、本プロジェクト第 1 フェーズ対象であるカノ州の 6 つの地方行政区（Local Government Area: LGA）にある 6WDC である。6 つの LGA 名は、Gwale、Bichi、Dambatta、Gezawa、Kumbotso、Gaya である。

3. 調査結果

3-1. 各 WDC の概況

まず、データベースのデータより、先行支援 6WDC の状況について概観する。なお、文中に用いているカノ州や第 2 フェーズの対象 6 州のデータに関しては、全て機能している（Functional）WDC に関するものである。

3-1-1. 各 WDC の施設状況

各 WDC の施設概要は以下の表のとおりである。

表 1. 6WDC の施設概要

LGA	Name of WDC	Year of Establishment	Number of Classroom	Availability of Daycare Centre	Water Supply	Electricity Supply
Gwale	Gwale Women Centre	1997	5	○	○	×
Bichi	Aisha Bala Memorial Centre	1980	2	×	×	×
Dambatta	Multipurpose Women Centre	1992	12	×	○	×
Gezawa	Gezawa WDC	2003	5	×	○	×
Kumbotso	Panshekara WDC	2004	5	×	×	×
Gaya	Multipurpose WDC	1990	10	○	×	×

注：Gezawa の創立年、Gaya の室数に関しては、プロジェクトで得た情報により第 1 次データを訂正している。

¹ 2013 年の 4 月に、本プロジェクトの対象である 6 州の全 LGA の WDC（WDC が複数ある場合はそのうち 1 つ）に対し実施した、センター概要と運営状況に関する調査。

創立年、および教室数からみた規模には幅がある。施設環境については、全 6WDC で電気がなく、半数で給水設備がない。保育については、Gwale と Gaya の 2WDC にしかない（カノ州での平均設置率は 19%、第 2 フェーズに対象となった 6 州全体では、同 12%）。

3-1-2. 6WDC の訓練状況

3-1-2-1. 訓練科目

6WDC の女性に対するトレーニングコースは、別紙 1 のとおりである。各 WDC では、標準的なコースのほかに、Gezawa、Kumbotso、Gaya で皮革製品製作、ビーズ、養鶏のコースが開設されている。在籍者および、卒業者数（調査時点からさかのぼり 1 年以内）は、以下のとおりである。

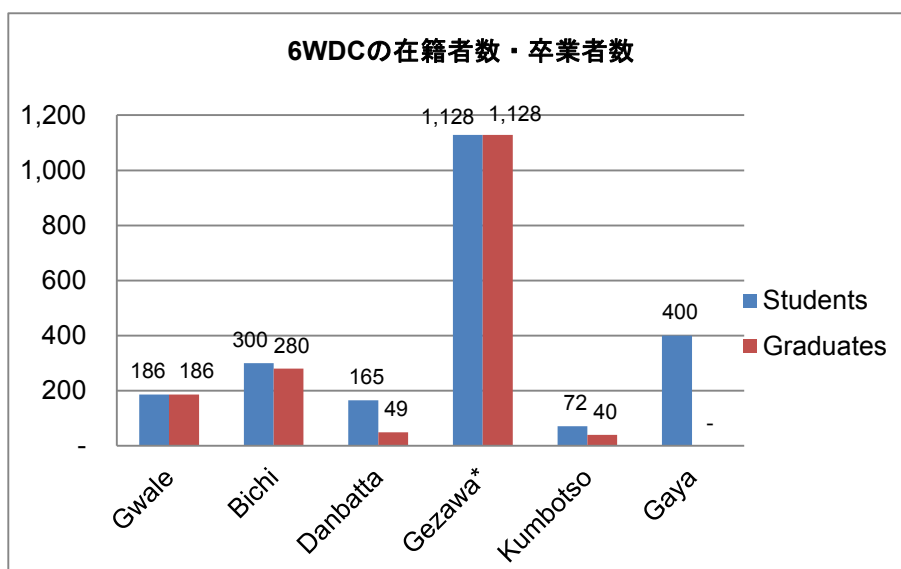


図 1： 6WDC の在籍者・卒業者数

注：*Gezawa の WDC の在籍者数・卒業者数は、突出している（上記グラフ参照）ことからわかるように、エラーであることが判明している。

3-1-2-2. 受益者数（在籍者＋卒業者）

調査時の全 6WDC の受益者数総数（在籍者数と卒業者数の計）は、Gezawa の WDC の在籍者数・卒業者数がエラーであるので、その多寡を判断できない。Gezawa を除いたうえで、WDC によって規模が異なるため、1 教室あたりの平均受益者数で比較すると、以下の表のとおりとなる。よって、先行支援を受けた WDC では、カノ州の全 WDC の平均（Gezawa を除く）、カノ州以外の 5 州の平均よりやや多くの女性たちに、支援を提供していたといえる。

表 2. 1 教室あたり平均の受益者数（在籍者数と卒業者数の計）の比較

	受益者数
Gezawa を除く先行支援 5WDC の 1 教室あたり平均	50.8
Gezawa を除くカノ州 15WDC の 1 教室あたり平均	48.4
カノ州を除く 5 州の 69WDC の 1 教室あたり平均	48.0

3-1-2-3. 講師数および機材数

6WDC の講師数およびトレーニングコースにかかる機材（識字コース除く）数は、次のとおりである。

表 3. 6WDC の講師数、機材数

	教室数	講師数	機材数※
Gwale	5	27	36
Bichi	2	9	42
Dambatta	12	11	21
Gezawa*	5	10	23
Kumbotso	5	13	12
Gaya	10	11	17
合 計	39	81	151
6WDC の 1 教室あたり平均		2.1	3.9
カノ州合計 16 WDC	87	175	267
カノ州の 1 教室あたり平均		2.3	3.1
6 州合計 85 WDC	337	901	962
6 州の 1 教室あたり平均		2.8	2.9

※識字コースの機材を除く

WDC の 1 教室あたりで比較すると、講師数はカノ州平均および 6 州平均より少ない。理由としては、Gwale で多くの講師陣を擁するものの、Bichi を除く先行 4WDC では教室数が 5 以上の中～大規模センターであり、結果的に規模に比しての講師配置水準が低くなることあげられる。また、6 州全体では、それに加えてナイジャ州で講師数が多い影響が考えられる。

一方、機材数では、カノ州平均のみならず、6 州全体の水準と比べても多い。機材については、第 1 フェーズの支援が寄与しているものと考えられる。

3-2. 活性化に向けた WDC の運営状況

先行支援 WDC が、具体的に活性化にむけてどのような運営状況にあり、どのような達成点や課題があるかについて、WDC 活性化のための 4 側面 (1)WDC のサービスの質の向上、(2)コミュニティからの WDC への肯定的認識の向上、(3)WDC のマネジメントの向上、(4)他関係機関との連携強化、に分けて報告する。

3-2-1. 「WDC のサービスの質の向上」の側面

3-2-1-1. 講師

講師については、Bichi を除き、非常勤/一時雇いの講師が多数派である。人数に関しては、Gwale のみ、5 教室という規模にもかかわらず、他の WDC の 2~3 倍の講師数を擁しており、資格・経験ともに豊かである。講師のスキルアップ研修は、プロジェクトで実施し

たものの以外に、Gwale, Bichi, Kumbotso, Gaya などで実施した（Bichi では Youth Corp を講師に迎える工夫）。一方、Dambatta, Gezawa では財源不足によりスキルアップ研修が実施できない。新分野のスキルを持った人材の育成が、新規コースの開発につながっている。

人事については、Dambatta で政治家の介入により、適性のない講師が配置された事例がある。

3-2-1-2. コース内容

新規コースを導入したと回答したのは、Gezawa 以外の全てである²。ビーズ・皮革製品製作、ポマード製作などである。Gezawa では、洋裁・編み物など標準的なコース以外に、養鶏コースがある。Gwale では、多くの女性のニーズに合うよう、新しいコース開発を企画していると回答しており、他の WDC でもより時代に即した技術を教えたいという意欲を有している。Bichi では新規コース開発のために他の WDC との連携がある。

ただし、新規コース開発の予算不足、設備の不足や劣化、給水施設の欠如、専門性を持った人材の不足が課題である。

3-2-1-3. 機材

1 教室あたりの機材数については、前出のとおりであるが、「十分である」か「不足している」のかは、HOC/WDO の回答が入り乱れている。ただし、いずれの WDC も全てのデータが「十分である」と一致するものはない。唯一大きな問題が見られない Gwale では、定期的検査が実施されている。他の 5WDC では、機材自体が旧式であることや、WDC での修理不能な壊れ方（Gaya の編み機や、Dambatta, Gezawa の搾油機）のため多くが機能していない。これら 5WDC は部品や修理の予算を LGA に要請しているが、回答がない。Gaya では修理できたものは、機材を共用する人数を制限したり、初心者用と上級者用に分けたりという工夫を行っている。

3-2-1-4. 実習用材料

第 1 フェーズ支援の後、全 WDC で実習用材料の不足が深刻であり、各 WDC は受講生負担や、職員の私費負担、受講者登録フォームの販売収益などにより確保を試みている。LGA に要請しているが、多くが支給はされていない³。実習用材料の確保は、先行支援 WDC のみならず、6 州でも同様に困難（6 州全体で実習用材料が確保されている WDC は 14%）である。

3-2-1-5. 卒業者支援

卒業者支援は、昨年の実施実績をみると、第 2 フェーズの 6 州全体では 28%、カノ州全体では 31%の WDC において実施されている。先行支援の 6WDC で実施したのは、3WDC（50%）なので、実施率自体は他より高く維持されている。Gwale では 108 名が資材を、Bichi では 50 名がミシン・編み機の支援を受けた。Dambatta, Gaya は JICA 支援中に一度、Gezawa は 2010 年に一度開始実施している。最大の問題は、返済が滞ることである。Gwale では、成績や出欠によって支援の授与者を選別し、Bichi では未返済分回収に LGA からの支援があり、現在 N250,000 を卒業者支援用口座に確保している。

一方、卒業者支援の停滞は、後述するようにコミュニティでの WDC への肯定的認識に影響している。

3-2-1-6. 施設

² ただし、Bichi については新規コース内容についての具体的情報なし。

³ Gwale は、LGA から支給されずと回答しているが、Database の回答には N15,000 の支援があると答えている。

電気設備の欠如は 6WDC 共通の悩みである。その他、半数である 3WDC (Bichi, Kumbotso, Gaya) には給水設備がない。Gwale 以外は建物の老朽化、備品類の不足や不備に直面していて、LGA に訴えているものの、回答はない。Dambatta では、施設の一部がクリニックに転用されたり、州の技術研修用に使用されたりしているため、担当の WDO は、WDC の存続を懸念している。

3-2-2. 「WDC へのコミュニティからの肯定的認識」の側面

3-2-2-1. コミュニティでの啓発活動、コミュニティ関係者との会議、コミュニティからの支援

データベース上では、コミュニティでの啓発活動 (Sensitization) については、6WDC の実施率は 100% である (6 州全体およびカノ州全体の実施率 75%)。回数は、1 回～2 回⁴ であり、6 州全体の平均実施回数 2.5 回より低い。活性化の指標としてみると、「活性化不十分」とも見えるが、先行支援 WDC については、逆に WDC がコミュニティに定着し、啓発活動を頻繁に行う必要性が減ったためであることが、インタビューでも確認された。

一方、コミュニティ関係者との会議については、州全体の水準 (実施率 46% で、平均 2.5 回) から比べると活発さは不足している⁵。

また、コミュニティからの支援については、6WDC のうち 5WDC で「ない」と回答している⁶。一方、6 州全体で「コミュニティからの支援がある」と回答した WDC は全体の 32% で、先行支援 6WDC での回答率 17% と比べると、先行支援 WDC はより苦戦しているようである。

3-2-2-2. 夫からの認識

6WDC とも、夫からの肯定的認識は大いにあり、女性たちの通学を奨励していると捉えている。それに貢献した要因として、第 1 フェーズに積極的に働きかけを行ったこと、女性たちの家事責任と両立できる短時間の時間割・密度の濃いトレーニングの提供 (Gwale) などがある。ただし、第 1 フェーズ終了後の活動停滞により認識が低下してきた (Dambatta)、夫たちからの抵抗はなく、むしろ政府からの支援の低さのほうが問題である (Gaya)、という回答もある。

3-2-2-3. コミュニティリーダーからの認識

6WDC とも、訪問や WDC の見学への招待などの積極的な働きかけの成果として、良好な関係を築いている。Gwale では良好な関係が LGA の周辺にも拡大している。3 つの WDC (Bichi, Dambatta, Gezawa) では、卒業者支援の停滞への女性たちの不満が、コミュニティリーダーや夫に対し悪影響を及ぼすと述べている。

3-2-2-4. 女性たちからの認識

共通して女性たちからの肯定的認識は高いと回答する一方、卒業者支援の停滞や不十分さは全 6WDC にとって共通の問題となっている⁷。一方、Dambatta, Gaya では、州政府による女性向け無料の短期スキル研修との競合が問題視されている。一方、Dambatta では中等学校の生徒たちを卒業後 WDC に勧誘するといった努力もされている。

3-2-3. 「WDC マネジメント」の側面

3-2-3-1. 記録付け

⁴ 無回答の 2WDC を除く。

⁵ Gwale (回数不明) と Gaya (月 1 回) のみを実施と回答した (実施率 33%)。先行支援 WDC は、カノ州の中では平均的。

⁶ Gwale のみ、「講師たち」から「あらゆる手段で」受けているとの回答。

⁷ Gaya では「現在受講者はいない」と回答している。

データベースでは、6WDC とも「実施している」との回答であったが、フォローアップ調査のインタビューでは、Gwale, Bichi 以外は「実施していない」と答えている。理由は予算不足 (Dambatta, Gezawa, Kumbotso)、受講者がおらず活動がない (Gaya) ため。一方、Gwale, Bichi では学んだスキルを活用して、適切に行われている。なお、6州全体では 51%、カノ州全体では 69%で、ナイジャ州 83%の次に定着度が高い。

3-2-3-2. 予算

Gwale, Bichi 以外の WDC は、LGA からの予算が全くなく、非常に厳しい財政状況に直面している。Gwale では、LGA が予算増額を約束したが実行されておらず、支給自体も遅れている。ただし、不十分ではあるが (15,000 ナイラ (以下、N)、トレーニングや施設運営に当てられている。Bichi では直接的な予算はないが、実習用材料費の支援がある。

WDC の運営の財政基盤である LGA からの予算は、そもそも 6 州全体でも 38%の WDC にしか行き渡っておらず、特にカノ州では、16 ある機能中の WDC のうち二つ (12.5%) と最も低い。6 州全体の平均は N40,313 である。先行支援 WDC は、本プロジェクトに一番長く関わっているものの、LGA からの予算措置は最も厳しい状態にある⁸。

3-2-3-3. 自主財源の創出

先行支援 6WDC とも全て、WDC 製作品を販売している⁹。縫製品、セーター、皮製品、石鹸、卵などである。ひと月あたり販売額は、以下のとおり幅があるが、Dambatta と Gwale で盛んである。

表 4. 6WDC の WDC 製作品販売品目とひと月あたり販売額

LGA	WDC 商品の有無とその内容	WDC 商品の月額売上 (ナイラ)
Gwale	有(回答のとおり、品目不明)	25,000
Bichi	有(回答のとおり、品目不明)	5,000
Dambatta	有(回答のとおり、品目不明)	30,000
Gezawa	Sewn Clothes, Soap, Sweaters, Leather Products and eggs	6,000
Kumbotso	Sewn Clothes, Soap, Sweaters, Leather Products	無回答
Gaya	Sewn Clothes, Soap, Sweaters, Leather Products. その他 JICA から供与された製粉機による収入あり。	500

カノ州全体では、75%の WDC が製作品を販売しており、1WDC あたりの平均販売月額 は N12,775 である。6 州全体では、66%の WDC で月平均 N13,221 の売上げがある。LGA からの予算措置が厳しい中で、WDC が独自の収入源創出の努力を行っていると思われる。先行 6WDC では、財政状況の改善を本案件のカウンターパート機関である、国立女性開発センター (National Women Development Centre: NCWD) に訴え続けている。

3-2-3-4. 報告書

毎月および四半期毎の報告書は 6WDC の全てで作成し、Bichi, Gezawa, Gaya では日誌も作成しているが、LGA からのフィードバックがないため、報告書の効果を感じられない (Gaya) と言う。一方、Kumbotso, Gaya では活動が低調で書くことがない時もあるとしている。

⁸ カノ州でもう一つ LGA からの予算額を回答しているのは、Dala で、100,000 ナイラ (Gwale の 6.7 倍) と回答している。

⁹ ただし、Kumbotso は額の回答なし。

カノ州全体の水準は 56%の WDC が、平均年間 11 回提出、6 州全体は 75%の WDC が平均年間 5.9 回提出している。

3-2-4. 「他機関との連携」の側面

Gwale 以外は不活発である。Bichi で Isa Wali Empowerment Initiative (NGO)、Gaya で Agency of Mass Education と連携がある程度。理由として、農村部には NGO などの機関が少ないこと、WDC が自主的に模索するというより、LGA や州政府などより上位のレベルで調整することを期待しているためである。一方、Gwale では非常に活発で、Action Aid, NOA, Isa Wali Foundation, Agency of Mass Education と連携がある。連携内容は、識字コースへの他機関の訓練マニュアルの活用 (Bichi) や、女性向けソフトローンの模索 (Gwale) などについてである。

3-3. 活性化度について

本プロジェクトでは、WDC の活性化の度合いを、「WDC 活性化のための 4 側面 (1)WDC のサービスの質の向上、(2)コミュニティからの WDC への肯定的認識の向上、(3)WDC のマネジメントの向上、(4)他関係機関との連携強化先行支援」から見て点数化している。6WDC の WDC 活性化度点数 (WDC Activation Ratio) は、100 点満点で以下のとおりである。

表 5. 先行支援 6WDC の WDC 活性化度点数と州内順位

LGA 名	WDC 活性化度合	カノ州内ランキング(16WDC)
Gwale	75.00	1
Dambatta	45.83	4
Bichi	35.42	8
Gezawa	35.42	8
Kumbotso	35.42	8
Gaya	35.42	8

6WDC のうち、活性化の進展が見られるのは、Gwale である (70 ポイント以上で、「青信号」の区分に属する)。他の WDC は、全て「改善中」(20~69 ポイントが「黄信号」区分)の区分に属する。カノ州全体の平均は、38.8 ポイント、6 州の平均は 36.2 ポイントであることから、Gwale、Dambatta 以外は、カノ州平均よりもわずかに低く、6 州平均と近いといえる。

活性化度を数値化してみると、Gwale 以外では活性化の先行事例として他をリードしていく位置にあるのは、Gwale のみという状態である。

Gwale は、市中心部の LGA 敷地内に建っている WDC で、多くの受講者を集められるアクセスの良好な立地条件である。また、識字コースの修了証はカノ州で中等学校卒業と同等と認可¹⁰されており、学校をドロップアウトした女性たちや、離婚したり死別したりした女性たちの再教育機関ともなっている。中には短大や大学に進学する者もいるという (NCWD カノ州担当オフィサー談)。半ば学校のような位置づけにあり、LGA から重要視され支援を受けているという、特筆すべき WDC である。

¹⁰ 他 WDC と異なり、ハウサ語のみならず、英語や理数科まであるカリキュラムのため。

4. 課題と教訓

以上の分析より、課題と教訓をまとめる。

4-1. 課題

4-1-1. 行政の予算措置の欠如・不足

LGA の WDC の予算措置の欠如や、適切に執行されないことが、活性化の障害になっていると考えられる。このために WDC 講師の確保や育成、機材の維持管理、実習用材料の確保に悪影響を及ぼしている。また、老朽化した施設や機材の改善、水・電気といった基本的インフラの導入にはなかなか及ばない。それが原因となって、新しく魅力あるコース開発も難しくなってくる。また、卒業者支援の原資不足にもなり、WDC の人気を低下させ、受講者の減少につながるという悪循環を引き起こしつつある。

活性化度の高い Gwale は財政面でも LGA からの予算措置があり、次いで高い Bichi は、予算措置自体はないが実習用材料や、卒業者支援の未回収金回収など、WDC 財政面への支援がある。他の WDC では自主財源捻出の努力はあるが限界がある。

4-1-2. 行政の関心の不足

予算措置の欠如に加え、報告書へのフィードバックのなさ、度重なる協力要請への無回答など、LGA の WDC に対する関心の不足自体が指摘されている。NCWD カノ州担当オフィサーへのインタビューによれば、WDC の予算は、たとえ議会で承認されても、執行自体は LGA 長の一存でしかない。まだまだ多くの長が女性のエンパワメントに無関心であると見られる。また一旦支援を受けたとしても、長の交代という政治的变化により、継続性を失ってしまう。

4-1-3. 卒業者支援の停滞の影響

卒業者支援の未返済率の高さが、支援制度自体を停滞させ、ひいては卒業者支援を期待していた女性たちの WDC 受講を減少させている。さらに、その失望が夫やコミュニティリーダーにまで広がるのが憂慮されている。

4-1-4. 類似プログラムとの競合

Dambatta, Gaya で報告された、州政府による類似プログラム（無料、実習用材料あり/支給金あり）との競合により、WDC の受講者が減ること、活動が低下することが懸念されている。

4-1-5. 地域により異なる連携事情

農村地域では、NGO などの機関自体が少ないため、都市部より他機関との連携は難しい。

4-2. 教訓

4-2-1. 行政からの予算措置の確保

活性化には行政からの予算措置を中心とする公的な支援が制度化される必要がある。そのためには、連邦レベルのみでなく、州・LGA の各レベルで一貫した、政治的意思が必要と思われる。

4-2-2. 行政の積極的な関心の喚起

WDC の報告書に対し、フィードバックが与えられるよう、LGA や州政府側など報告を受ける側へフィードバックの必要性や方法などについて啓発し協力を求めていく必要がある。

4-2-3. より公的な制度化の導入

活性化の持続性を高めるには、WDC が政治的な変化にできるだけ影響を受けない位置づけを得ることが有効である。Gwale の例は、WDC が半ば「学校化」することによって、LGA の政権交代の際も無視できない、より普遍的な存在となって、活性化が持続発展している。そのため、WDC を LGA の「ノンフォーマル教育機関」として位置づけることが望まれる。

4-2-4. 卒業者支援の返済強化の必要性

卒業者。運営資金にも事欠く WDC では、卒業者支援の原資を追加用意するのは容易ではないため、まずは未返済の防止や、返済促進の対策が必要と考えられる。

Interview with Phase 1 Supported Centres

添付1/Appendix-1

1. Bichi WDC

			Bichi	
			HOC	WDO
WDC Service				
Instructors	1-1	Level of Instructor	7 instructors, 2 temporary instructors Qualification varies from advanced diploma and certificate of skill acquisition are trained on various skills	There are qualified instructors There are ten instructors JICA training
	1-2	Effort to Improve	Collaborated with Youth Corp Members on brokad making, spices, detergent making, hair pomade, shampoo and conditioner are some of the new skills introduced for the instructors	Training of instructors on new skills from Development Centres
	1-3	Challenges	Lack of refresher course Poor funding	Sponsorship for further training
Course	1-4	Assess Courses	The WDC offer many new course in demand at the market	We have many courses offered at the Centre
	1-5	Effort to Improve	Usually invite experts to teach new courses in demand by the participants	By cooperating with other WDCs in other places
	1-6	Challenges	Introducing new course usually require adequate funding which is not forth coming as the LGA refused to fund the centre	Introduction of new skills demand new materials and training
Equipment	1-7	Assess Equipment	Inadequate knitting machines But repair sewing machines by themselves	Some equipments are not working
	1-8	Effort to Improve	We have informed the LGA management	We wrote to the LGA
	1-9	Challenges	The equipments are generally inadequate, most especially the knitting machines	They are inadequate No enough classrooms Leakage of roof Building crack No enough chairs The Centre is too small Knitting machines inadequate No instructors
Working Materials	1-10	Assess	The LGA takes responsibility for supply of some working materials	Local Government do assist with working materials but not adequate enough
	1-11	Effort to Improve	Request to the LGA and the participants to buy their materials which they take to the Centre to work with	We remind by working to the Local Govt. Council
	1-12	Challenges	The raw materials are not forth coming	There are many students, so we need additional materials to cater for all
Graduate Support	1-13	Assess	Experience some degree of default from the graduates gave out only 3 batches of support in knitting & sewing machines There is some limitation as many refused to pay back	Graduate support is effective There are a number of beneficiaries
	1-14	Effort to Improve	Invited the LGA in recouping back the loan given Presently have over N250,000 in the graduate support account which is revolving	We take The loan collected for others to benefit
	1-15	Challenges	Inadequate funding- no enough finances to cover the entire graduate Poor repayment rate	Small default, few women but the Local Govt has intervened on the defaulters for recovery
Facility	1-16	Assess	The structure is in bad condition, too small, cracked walls, broken windows & doors No electricity at the WDC Inadequate furniture - chairs and tables	Tables and Chairs are inadequate and no electricity
	1-17	Effort to Improve	Wrote formal complain to the LGA No response yet from the LGA	Ours is to inform and manage the facilities
	1-18	Challenges	Structure in poor condition No water & electricity supply at the WDC Inadequate furniture	They are dilapidated
Lesson Learnt	1-19		We learn to continue to follow up with the compliant	We keep reminding the LGA and SMWA
Community Positive Recognition				
Husband	2-1	Assess	High rate of acceptance and recognition by sending their wives to attend training in the WDC	The number of women who patronise the Centre indicates a positive recognition
	2-2	Effort	No effort done as the recognition is very high	We have acceptability no need to go further
	2-3	Challenges	Lack of graduate support & transportation for the women	Women from far away are discouraged to attend

Community Leader	2-4	Assess	Is very high	The Community Leaders support us
	2-5	Effort	Paying continuous visits to the community leaders	We do advocacy visits
	2-6	Challenges	Graduates complain of not been supported on graduation from the Centre	Inadequate to go round additional graduate
Women	2-7	Assess	High recognition as women attend the training	We have no problem
	2-8	Effort	Intimated the LGA management to as a matter of priority interven to support the graduates	We informed the LGA
	2-9	Challenges	Not being given any support after graduation	Women are discouraged due to lack of support
Lesson Learnt	2-10		There must be proper arrangement to provide good support for the women who graduated from the Centre	All stakeholders should come together to solve this problem
WDC Management				
Book Keeping	3-1	Assess	Possess up to date book keeping record of sales & returns at the WDC	We use internal money to organise book keeping
	3-2	Effort	We use the skills we learnt	We have training on book keeping so we utilise it
	3-3	Challenges	No challenges identified	Not much
Budget	3-4	Assess	No direct funding from the LGA, only working materials are supplied to the WDC	The LGA does not give out money but it assist with materials
	3-5	Increased?	No budget given to the WDC	We do not know of any budget
	3-6	Income generation?	Yes, as new skills were introduced at the WDC They include; Izal, dettol, handmade bag, curry, thyme and other cooking items	Introduction of new skills
	3-7	Effort	Introduces new skills and sell products made at the market	We get additional sales from them
	3-8	Challenges	Budgetary allocation to the centre not usually accessible from the LGA	Budget should be released to the WDC
Reporting	3-9	Regular Report	Write monthly report to the LGA	Monthly
	3-10	Effort	Daily documentation of what transpires at the WDC	Monthly to the Local Government
	3-11	Challenges	Have been writing without feedback from the authorities	Often we get no reply
Lesson Learnt	3-12		LGA management must be proactive	Lack of response affect the functioning at the Centre
Collaboration with Others				
Collaboration	4-1	Assess	Collaborate with Isa Wali Empowerment Initiative and use their training manual on literacy skills	Yes, we collaborate with just one NGO, i.e Isa Wali Women Empowerment Initiative
	4-2	Effort	None	They are hardly seen in the rural areas
	4-3	Challenges	It is beyond us	It is the role of the State and the LGA
Lesson Learnt	4-4		Kumbotso	They gave us syllabus on Literacy for women The Centre is inadequate More classes, chairs, offices and electricity
Others				
Specific Challenge	5-1		Inadequate classes, offices for instructors and furnitures	Additional facilities are needed
Effort	5-2		Write to the LGA requesting for solution to the problem	We always contact the LGA
Lesson Learnt	5-3		Learnt many new skills techniques from collaboration with JICA Women have become equipped with modern methods of pomade making and became more proactive	Women Empowerment, generally through training by JICA, we have learnt the skills and gotten equipments etc.

Interview with Phase 1 Supported Centres

2. Dambatta WDC

			Dambatta	
			HOC	WDO
WDC Service				
Instructors	1-1	Level of Instructor	They are all secondary school instructors There is need for a higher qualification at least diploma level	Some areas of skills have qualified teachers, sewing, knitting. However, the instructors are inadequate
	1-2	Effort to Improve	We teach those that are not well qualified Politicians have attended the empowerment of qualified people Most are not young people, they go for complex studies We use to write but without response to our requests	Employed new instructors to handle aspect of the training The Parmanent staff contribute money from their pocket to pay 2 temporary staff employed
	1-3	Challenges	There is little improvement They lack new techniques or skills for new design for those things to teach the trainees	Inadequate training on new skills Some are employed on temporary basis Inadequate funding from the LGA to run the Centre
Course	1-4	Assess Courses	Sewing, knittting,Pomade, Tye& Dye,Saloon, Beads. These are the only skills/ courses we teach. Women need things such as animale rearing , poultry etc.	The Centre runs training on sewing, knitting, leather work, beads & hat These courses are extended to trainees but the instructors lack adequate knowledge in the areas, working materials also not provided
	1-5	Effort to Improve	We introduced lesson plan Instructors also do their notice board Train the instructors also	Introduced bead work & leather work to expand the scope of the course Built a room for safe keeping of trasher machine Introduced management system, book & record keeping at the Centre
	1-6	Challenges	They are old, do not have new skills to teach the students, new skills in tune with modern times or trades	Part of the Centre have been taken over by the WDC health insitution. Thus a plan on the way to move the WDC out from the building. No staff to teach some aspect of the course content e.g embroidery, hair saloon training is now not available,no instructor to teach the course
Equipment	1-7	Assess Equipment	Equipments are not improved, some have spoiled but repaired due to training on management received. Our borehole has collapsed No imprest	The centre have enough & functional equipment fot training Instructors take responsibility for maintaining equipments
	1-8	Effort to Improve	We have written to the LGA on additional equipment and repaurs of classes, clinic; but yet without response from the local authorities	Part of the Centre is taken over by the government
	1-9	Challenges	Equipments are functioning but some are not functional. Some of the equipments are beyond repairs and the oil extracting machine is not properly put into use	No enough money to buy spare parts for maintaining the equipments
Working Materials	1-10	Assess	The working materials are not yet adequate. The materials for JICA/NCWD have since finished (Out of stock)	Working materials are not provided by the LGA, they are inadequate
	1-11	Effort to Improve	We use our own money to contribute and get the working materials	Contribute to buy working materials Trainees buy their working materials
	1-12	Challenges	We only have sewing materials, no that of pomade and saloon. This has made the Centre not very functional due to inadequacy	Inadequate working materials due to lack of funding
Graduate Support	1-13	Assess	They are given soft loans to pay back in months There is problem of repayment, many have yet to pay	Graduate support was offered at the WDC only two times (no continuiety) the repayment plan was not successful as half of the beneficiaries refused to pay back
	1-14	Effort to Improve	The Local Govt are yet to contribute to the support and even that of JICA has not been paid	Collaborated with the Police to send warning letter to beneficiaries to pay but this process still did not work as most still refused to pay
	1-15	Challenges	Lack of repayment since this revolving programme, we are now on the third batch but many have not paid	Repayment plan did not work at the WDC

Facility	1-16	Assess	There is no water supply, no enough chairs, no enough benches, chairs are damaged, roof leaking water, no watch man etc.	Facilities in good condition but part of it is taken over for clinic and the other used by state for skills training programme
	1-17	Effort to Improve	We have made efforts to intimate the authorities and we also contribute our own money to see to their maintenance, we also maintain by ourselves	Built a room to harbour rice trasher
	1-18	Challenges	They are in a bad shape and need of repairs, tables , chairs etc.	Part taken over by the government
Lesson Learnt	1-19		We learn to be self reliant by using the little available resource to keep the activity going	If care is not taken we may loose the Centre
Community Positive Recognition				
Husband	2-1	Assess	Husbands contribute a lot to the recognition of the WDC there is positive response	Deminished recognition recorded when JICA withdrew due to current conflict situation
	2-2	Effort	Through women we encourage them to educate their children and other husbands as well as women to participate in the activities to the Centre	Through advocacy
	2-3	Challenges	Only on graduate support, if their wives could not get they become unhappy	Women do not attend because they lack graduate support
Community Lea	2-4	Assess	The people of the community recognise the activities of the centre. They support us, we have meetings with leaders of community to cooperate. Since then we do not have problem	WDC activities are recognised
	2-5	Effort	Constant education of the people of the community especially the leaders on the importance of women empowerment	Community leaders are enlightened
	2-6	Challenges	The basic challenge is that women do not get support after graduation	The introduction of free skill acquisition & graduate support to the State Govt at the LGA level
Women	2-7	Assess	They positively recognize its importance but only recently because ctivities are very low	Was very high before the introduction of free services by the Govt which demoralises the women
	2-8	Effort	We have been making contact with the local government on how to make the WDC functional	Reach out to girls secondary school to access graduates from secondary schools to attend training at the centre
	2-9	Challenges	The serious challenge is that no serious activity is going on at the moment	Free graduate support by the government
Lesson Learnt	2-10		We learned that there is no graduate support after learning the skills, other women will gradually withdraw	It was the support that keep women to patronise the WDC
WDC Management				
Book Keeping	3-1	Assess	For the last 3 years book keeping is not strictly adhered to because there is no imprest, all money's are coming from our contribution	Done adequately
	3-2	Effort	N/A	We keep records intact
	3-3	Challenges	N/A	No money or activity to do book keeping
Budget	3-4	Assess	It has determinated	Inadequate capital to work with no impress given from the LGA
	3-5	Increased?	No money, not aware of any budget to the WDC. There is no imprest, nothing comes from the local government as well as the state government as support	No. no money comes to the WDC at present from the LGA
	3-6	Income generation?	None, it has gone bad. There is nothing to show aa far as the financial income generation was concerned	No
	3-7	Effort	We have made general attempts to inform the higher authorities on the financial condition but yet there was no improvement	intend to invest money on leather works
	3-8	Challenges	Everything is at stand still because materials could not be available for women to make use of	Poor working capital, minimal money to invest

Reporting	3-9	Regular Report	Yes, we write reports but there is no feed back	Monthly report to the LGA Quarterly to the SMWA
	3-10	Effort	We make frantic efforts and attempts at that but the situation has not improved for the better	No improvements from the LGA
	3-11	Challenges	The basic challenge is that of lack of feed back from authorities	No reply to our demands which affects our activities
Lesson Learnt	3-12		We often try to manage the little we get and move forward	No active things to manage
Collaboration with Others				
Collaboration	4-1	Assess	Except JICA/NCWD There is no collaboration with other agencies (NGOs)	No collaboration except with JICA
	4-2	Effort	We cannot be on our own, looking for such collaboration but if they come we should cooperate with them	Is something done at the higher level
	4-3	Challenges	Most of the agencies are within urban areas while we are in the rural areas	N/A
Lesson Learnt	4-4		Equipments to be repaired Purchasing working materials Funding (Money) imprest Water Supply (Borehole)	N/A
Others				
Specific Challenge	5-1		As above	Let all our request be solved
Effort	5-2		By writing and constant reminders	By writing and reminders. We have been doing that
Lesson Learnt	5-3		To remain patient and use available sources for the benefit of women	Keep trying, we shall succeed

Interview with Phase 1 Supported Centres

3. Gaya WDC

			Gaya	
			HOC	WDO
WDC Service				
Instructors	1-1	Level of Instructor	Has instructors with certificates and diploma education who are skilled in various areas of trade	Not adequate, not skillful and not qualified. Only two with diploma certification out of which only four instructors are permanent staff while the rest are temporary workers
	1-2	Effort to Improve	Have attended various trainings to improve their capacity in sewing, embroidery machine, leather works etc.	We wrote to the Local Govt on a number of occasions
	1-3	Challenges	Most instructors are on temporary basis	Previous instructors were qualified (JICA trained) but the current ones are not and were withdrawn because they were not skilled and qualified
Course	1-4	Assess Courses	The courses covered at the centre include sewing & embroidery knitting, food & nutrition, leather works, pomade, lzal, soap, curry etc.	New courses were added from the previous ones of sewing, knitting and literacy but now we have added things like pomade, leather works etc.
	1-5	Effort to Improve	Attended trainings at kano for new skills, including training presented by JICA at Abuja on sewing	We do not have qualified personnel to introduce any change to the contents
	1-6	Challenges	Poor and inadequate furniture, not a single sewing or knitting machine is at the moment functional, no water	Not properly in order, there is maintenance problem, we repair those with minor problems
Equipment	1-7	Assess Equipment	The equipments are few and most equipments have stopped working due to poor repairs. The Centre can not repair the machines	Not properly maintained. When we want to use them we repair them. Not shared if it has improved
	1-8	Effort to Improve	Reorted to the LGA & request for repairing the machines	There is division of labour on the allocation of the equipments, learners were seprated from those qualified
	1-9	Challenges	THE LGA has not yet responded to the demands to repair the equipments	Knitting machines are spoiled only one is functional while sewing machines are easily repaired and are available few are spoiled
Working Materials	1-10	Assess	At initial stage, working materials were available however at present the working materials are exhausted	No working materials at all since the ones provided together with that of women Affairs
	1-11	Effort to Improve	Requested for funds from the LGA which is not yet forthcoming	We wrote a number of times to the Local Govt to meet bur nyet we could noy get
	1-12	Challenges	The working materials are grossly inadequate. No money with which to buy more working materials to sustain the training	We buy the materials by ourselve, students also contributes through the money realized from the purchase of forms for entry into the Centres
Graduate Support	1-13	Assess	The centre has never provided any graduate support	Only once during the time JICA provided The money is borrowed by the Local Govt some in the account in the bank
	1-14	Effort to Improve	N/A	Constant reminders to the concerned
	1-15	Challenges	How to access funding from important personalities and LGA	We do not have graduate because they are not supported or given certificate
Facility	1-16	Assess	Poor & inadequate furniture, not a single sewing or knitting machines at the Centre is functioning No pipeborn water	No tables and chairs
	1-17	Effort to Improve	Reported to the LGA	We have told Local Govt many times
	1-18	Challenges	The LGA do not give the Centre an functional contribution	Tables are broken as well as the chairs but yet they were not repaired
Lesson Learnt	1-19		That the Government must show adequate interest if the WDC is to progress	Need to focus on improved participation by encouraging women with transport
Community Positive Recognition				
Husband	2-1	Assess	The Centre have high recognition from the men who are ready to allow their spouses attend WDC traning	During the first phase of JICA intervention we often work with the husband and they came and cooperated with us
	2-2	Effort	We often sensitise them	We continue with enlightenment
	2-3	Challenges	There are no resistance at the moment but encouragement	We do not have problem of acceptance but motivation and support from Govt
Community Leader	2-4	Assess	Very high community leaers are always ready to assist on enlightening people about the Centre	They supported because we also wrote them many times to see what we do
	2-5	Effort	Visitations to the community leaders	Advocacy visits
	2-6	Challenges	None	We do not have much

Women	2-7	Assess	Most women have stopped patronising the Centre, claiming that no facility support was ever given to them after graduation	Lack of support hampers involvement of women
	2-8	Effort	At present no single trainee is enrolled at the WDC but we have informed community leaders and our superiors to assist in this direction	We have no trainees at the moment
	2-9	Challenges	The introduction of free short term training (usually 10 days) by the Government has shuttled the main training at the Centre. Women were given a package of working materials plus money	We do not have money to support them, they ran away from the WDC
Lesson Learnt	2-10		Participation of women requires collaborative action from various stakeholders	Without support there will be no empowerment
WDC Management				
Book Keeping	3-1	Assess	No record of any book keeping at the WDC since activities are not going on	No record keeping
	3-2	Effort	N/A	We do not have transaction at the moment
	3-3	Challenges	N/A	N/A
Budget	3-4	Assess	The financial position at the WDC is poor	Our condition is bad financially
	3-5	Increased?	No money is given by the LGA to the Centre	We receive nothing in form of support from the LGA
	3-6	Income generation?	None	Finished products (few) and grinding machine provided by JICA
	3-7	Effort	We have paid visits to the Director Planning & Mgt through the HOD community services to intimate him about the condition at the Centre	We officially lodged our complaint with no solution
	3-8	Challenges	How source for more funds in view of the current lack interest from the LGA	We can not generate anything
Reporting	3-9	Regular Report	Yes. We write report monthly to the LGA. At times we are requested to go to the State Ministry for briefing	We write both weekly and quarterly No effect/action from the report
	3-10	Effort	Record of daily activities for the training	Reports are generated out of records
	3-11	Challenges	Not much to write about	There is no much challenge
Lesson Learnt	3-12		For interest must be elicited and better responses given by the authorities	WDC management involve human and material resources
Collaboration with Others				
Collaboration	4-1	Assess	Collaborates with agency for Mass Education who patronises the WDC sporadically. Also has collaborative relations with JICA	No support from them
	4-2	Effort	In process of working with agency for Mass Education	We look forward to collaborate in the future
	4-3	Challenges	We can not approve any collaboration at our own level	The challenge of getting an agency to bring back our activity functional
Lesson Learnt	4-4		In the process of collaborating with others	No
Others				
Specific Challenge	5-1		Trainees are no longer interested as we have no arrangement for graduate support	Yes, to provide graduate support, chairs, tables, working materials in order to activate the centre, yet we only have 5 to 6 students who patronise the centre. We have 10 classes yet no body also with a day-care centre
Effort	5-2		Writing proposal to the newly elected LGA Chairman to make the WDC an important area of focus	There is hope with the new change of Govt.
Lesson Learnt	5-3		Learnt to continue putting pressure until our objectives are accomplished	N/A

Interview with Phase 1 Supported Centres

4. Gezawa WDC

			Gezawa	
			HOC	WDO
WDC Service				
Instructors	1-1	Level of Instructor	We have qualified instructors in various skills but most of them are temporary staff	Have 10 instructors, 3 permanent staff, the rest is temporary. Only four were trained in skills. All staff have knowledge in various skills. However, most lack paper qualifications, only 2 have completed secondary school
	1-2	Effort to Improve	We informed our superiors	No opportunities for further trainings
	1-3	Challenges	Lack of further training and poor funding	Need more education Confirmation of appointment for temporary staff
Course	1-4	Assess Courses	Have many courses offered	Facilitate training on literacy, sewing, knitting food processing
	1-5	Effort to Improve	We did nothing	We can not introduce new content
	1-6	Challenges	Introducing course usually require adequate funding which is not always forthcoming as the LGA refused to fund the Centre	For wider coverage of more trades, more funding should be available
Equipment	1-7	Assess Equipment	Inadequate and in need of repairs	Have adequate equipments for training but face problem of repairs
	1-8	Effort to Improve	We have informed the LG management	Present written request to the LGA but most often no feedback received from the authorities
	1-9	Challenges	The equipment generally inadequate	The oil extractor presented to the WDC has not been put into use since it was given to the Centre eight years ago
Working Materials	1-10	Assess	The LGA takes responsibility for the supply of some working materials	Use money obtained from the sale of forms to buy raw materials
	1-11	Effort to Improve	We requested the LGA to buy working materials	Write request letters on many occasions to the LGA but no feed back
	1-12	Challenges	The raw materials are not forthcoming	No monye to buy th working materials
Graduate Support	1-13	Assess	Refusal to pay back the loans for others to benefit	Was first presented in the year 2010 which revolves for the first cycle, but could not continue for refusal of payment
	1-14	Effort to Improve	Informed the LGA many times	Always request beneficiaries to pay but they refuse paying back
	1-15	Challenges	Inadequate funding and no enough funding to cover additional graduates	Graduate support has ceased since first beneficiaries are yet to pay back
Facility	1-16	Assess	Is in order and good shape	The WDC has enough facilities. The offices does not have leuvers and buglary proof for protection
	1-17	Effort to Improve	We wrote formal complaint to the LGA, no response yet	Have written to the commission mnistry of women affairs on the condition at the WDC
	1-18	Challenges	Structure is in poor condition No electricity and inadequate furniture	Wall cracks No leuvers and bugkary proof
Lesson Learnt	1-19		Follow up	The State Govt policy of free women capacity building affected the WDC to the extent that main training run by the WDC had to stiof for the Govt. arrangement
Community Positive Recognition				
Husband	2-1	Assess	High rate of acceptance and recognition by sending their wives to attend the training at the WDC	We do not have trouble with recognition
	2-2	Effort	No effort is done as the recognition is very high	We ran two sessions per day
	2-3	Challenges	Lack of graduate support and transportation for women	N/A
Community Leader	2-4	Assess	Is very high	There is increase community support
	2-5	Effort	By paying a number of courtesy visits to the community leaders	We did advocacy
	2-6	Challenges	Graduate compliant of not being supported after graduation	Lack of support given to women
Women	2-7	Assess	High recognition as women attend the training	Acceptable to women to the extent that the WDC run two beats per day. Graduated 160 women in April
	2-8	Effort	Intimated the LGA in order to intervene and support the graduates	We approach one of the politicians and he supported women with N2000 as transport and N5000 as graduate support
	2-9	Challenges	Initially not given any support after graduation	Not experienced at the moment
Lesson Learnt	2-10		Arrangements should be made to provide graduate support to women	Impossible to get our way out of the problem like graduate support

WDC Management				
Book Keeping	3-1	Assess	Nothing flows that is worth book keeping	No book keeping
	3-2	Effort	N/A	The Centre has not enrolled and no financial support
	3-3	Challenges	No challenges identified	The lack of finances
Budget	3-4	Assess	No direct funding from LGA	The financial situation is worse
	3-5	Increased?	No budget given to the WDC	The WDC does not have any budget from the LGA
	3-6	Income generation?	Nothing at the moment	No, due to lack of revolving fund
	3-7	Effort	No income generating activity yet	Have requested the LGA to provide funding
	3-8	Challenges	Budgetary allocation not accessible from the LGA	WDC not functioning well
Reporting	3-9	Regular Report	Writes monthly report to the LGA	We write monthly and at times quarterly report to the LGA
	3-10	Effort	Daily documentation of WDC activities	Collaborative efforts
	3-11	Challenges	We have been writing without feedback	No challenges faced
Lesson Learnt	3-12		LGA must be proactive	The WDC must have the attention of the LGA management
Collaboration with Others				
Collaboration	4-1	Assess	No collaboration	Collaborates only with JICA
	4-2	Effort	None	The WDC must have the attention of the LGA
	4-3	Challenges	N/A	No collaboration exist
Lesson Learnt	4-4		Budget for the WDC must be released to the centre and in time	Funds should be available to the WDC
Others				
Specific Challenge	5-1		Write to the LGA requesting for solution to the problem	The WDC is not well secured as the windows are broken down and does not have any buglary
Effort	5-2		Learnt many new skills and techniques from collaboration with JICA	I have informed the LGA and State Ministry
Lesson Learnt	5-3			Enrolment at the centre depends on the nature of materials they get from the authority

Interview with Phase 1 Supported Centres

5. Gwale WDC

			Gwale	
			HOC	WDO
WDC Service				
Instructors	1-1	Level of Instructor	They are well qualified. The WDC has a total of 32 instructors qualified in various fields and vocation	Many are experienced in various skills Have different categories of instructors but most of them operates on part time basis
	1-2	Effort to Improve	Yes, given some skills training on new areas through capacity building and workshop. Interior decoration, leather work, fashion and design are some of the new skills added including soap making, perfum, roll on, dettol etc.	Trainers are given more trainings in home keeping and management and others are soap, lzal, dettol making etc
	1-3	Challenges	Most instructors work on part time basis on little stipend, need to formalise most trainers	Lack of working materials
Course	1-4	Assess Courses	The courses provided new opportunities for the women, improved their capacities and enrolment in the centres. Attracted collaborator such as individuals, spouse, some of the women to the centre	There are many skills to be targeted by the trainers. These courses are new and targeted at women of various class. The courses are interesting and modern
	1-5	Effort to Improve	Trainers who were trained in various skills decided to step down the training at the centre	Hire instructors to teach composite skills covering most of areas above within specific period of time
	1-6	Challenges	Many women hardly want to grauate, many stop attending training No specific time for graduation	Inadequate working materials
Equipment	1-7	Assess Equipment	No problem with this regard. Have enough training machines. The local Govt. handles responsibility for maintaining equipment	Inadequate equipments, but lacking materials to train new modern trades recently introduced
	1-8	Effort to Improve	Moderate number of trainees per machine Help in handling the equipments with proper inspection with specific periods	Make trainees to buy their working materials
	1-9	Challenges	Need more additional equipments	Majority of the equipments are not functioning and need to be repaired
Working Materials	1-10	Assess	A lot of improvements has been witnessed in managing the working materials	Although many skills are available but working materials are grossly inadequate
	1-11	Effort to Improve	Wrote to the LGA and SMWA for more funding for the working materials	Contribute from their pockect to buy Request to the LGA or the participants to buy with their personal money
	1-12	Challenges	Working materials remain inadequate, need to be supported either through direct investment or indirect by the stakeholders	The LGA does not provide finance for the raw materials
Graduate Support	1-13	Assess	Provide soft loans in form of materials and this is a revolving support	Provision was made by JICA at the initial stage for yhr loan which is still revolving at present
	1-14	Effort to Improve	Monitor all graduates who have been supported Graduate support based on criteria such as punctuality, level of commitment & performance of trainer	Ensure accountability and produce in the return for the loan
	1-15	Challenges	Have no serious form of challenge as all supports are attached to a guarrantor Inadequate funding for the support to cover all graduates	Most graduates fail to pay back the soft loans The soft loan is inadequate to cover large number of graduates
Facility	1-16	Assess	Lack adequate electricity and inadequate classroom for the trainees	The facility is in good condition, but classrooms and staff rooms are inadequate No electricity at the centre
	1-17	Effort to Improve	Have requested for expansion of classes Requested for electrical extension with LGA secretariate	Wrote letters to the LGA requesting for support to expand the Centre by letting out at least two of the newly built shops by the LGA to be taken over by the centre
	1-18	Challenges	Lack of stable electricity Inadequate classroom	The space for training is inadequate, also office space for staff not enough
Lesson Learnt	1-19		Created awareness among the public More trainees	We can progress if there is determination as leaders

Community Positive Recognition				
Husband	2-1	Assess	More people are now aware and have accepted and allowed their spouses enrolled in the centre	The WDC is well accepted by the husbands and men. Since most husbands take and allow their wives to attend trainings
	2-2	Effort	Extended advocacy visits to various communities Gather people to sell WDC ideas for them	The time table is short so that women can be allowed to go back home in time Diligent from trainers, no period is allowed without training
	2-3	Challenges	Do not experience any form of challenge from the men	No challenge experienced
Community Leader	2-4	Assess	Established cordial relation with all community leaders in the LGA. This has been extended to other communities neighbouring the LGA	Community leaders have high recognition for the Centres
	2-5	Effort	Sensitization campaign, home visits, enlightenment visits collaborative efforts	We learnt from reaching to the community
	2-6	Challenges	No challenge as the WDC is meant for positive development of their community leaders	No challenge
Women	2-7	Assess	Have high acceptance as more women have registered for various training. Meet with the women at home to deliver training	Very high, as more women patronise the WDC and three shifts are run by the Centre
	2-8	Effort	Meeting women at their homes to train them Including additional variety of skills for the women Soft loans & cooperatives	Teach quality skills and strictly followed the time table
	2-9	Challenges	Lack of adequate funding	Accessing graduate support is hard as the resources are not enough to go round
Lesson Learnt	2-10		Have reduced poverty in many households	More efforts require to expand capacity for graduate support
WDC Management				
Book Keeping	3-1	Assess	Adequate and up to date	Everything is well recorded
	3-2	Effort	Everything well tagged, compactimentalised and serialised Adopted category method, each skilled recorded seperately	They have a well articulated record keeping system kept in the drawers
	3-3	Challenges	No problem as professionalism and division of labour is utilised for this purpose	No much challenge
Budget	3-4	Assess	Inadequate funding, but utilised the little for the training and running of the centre	The WDC is in need of more money to run its affairs even though the LGA has promised to assist with more funding
	3-5	Increased?	Has not been increased from the initial amount	No. The N100,000 for this year is not given or released to the Centre
	3-6	Income generation?	Yes. new source are explored; sale of products	Yes. Various sources are added presently
	3-7	Effort	Request to LGA to increase budget for the WDC	We sell what we produce to individuals and at the market
	3-8	Challenges	Inadequate funding	Inadequate funds to buy raw materials
Reporting	3-9	Regular Report	Write monthly and quarterly report regularly	Writes monthly report to the LGA
	3-10	Effort	Collaborative report writing adopted	Collaborative work with the HOC
	3-11	Challenges	No Challenges	Inadequate space, inadequate funding, no connection with electric power
Lesson Learnt	3-12		To remain focused	Adequate funding must be accessible at the right time
Collaboration with Others				
Collaboration	4-1	Assess	Adequate collaboration with Action Aid, SMWA, NOA and Agency for Mass Education	Collaborates with the Isa Wali Foundation
	4-2	Effort	Accessing more wider collaboration with WOFAN and FOMWAN in the area of Islamic teachings, agricultural income generation activities and soft loans for women	Nothing on ground for this
	4-3	Challenges	No challenges as collaboration based on MOU	We have our limits
Lesson Learnt	4-4		Easy access to loan than from banks, easy community mobilization and better training techniques	N/A
Others				
Specific Challenge	5-1		Inadequate supply of computers for training especially for photography training. Need more support for ICT	No. Need bigger accomodation
Effort	5-2		Wrote to NCWD requesting for the ICT To the LGA	Request forwarded to the LGA
Lesson Learnt	5-3		Access opening for a trainee of ICT at the LGA	When you push you get request

Interview with Phase 1 Supported Centres

6. Kumbotso WDC

			Kumbotso WDO
WDC Service			
Instructors	1-1	Level of Instructor	10 instructors at the Centre They have all category of qualification
	1-2	Effort to Improve	Training on preservation and rice threshing Training on sewing machine repair
	1-3	Challenges	Instructors are on temporary basis No working materials for the training
Course	1-4	Assess Courses	Sewing, Knitting, embroidery, Leather works, bead making, House keeping, spice making, soap, pomade making, air freshner, bag making with maize comb, bedsheet, pillow & cushion
	1-5	Effort to Improve	Introduce new course and techniques in reality with the day
	1-6	Challenges	Use old obsolete equipments. no light to use in working
Equipment	1-7	Assess Equipment	Most equipments are obsolete and not working Trainees have to use their personal equipment
	1-8	Effort to Improve	Reported to the LGA
	1-9	Challenges	Obsolete, not working, no interest to use
Working Materials	1-10	Assess	We are faced with inadequate supply of materials
	1-11	Effort to Improve	We informed the LGA
	1-12	Challenges	We contribute, the students also
Graduate Support	1-13	Assess	Refusal of trainees to pay back
	1-14	Effort to Improve	Continue follow up with the beneficiaries
	1-15	Challenges	Inadequate support, furnitures, office cabinet
Facility	1-16	Assess	Inadequate support, furnitures, office cabinet
	1-17	Effort to Improve	Reported to the DPM and LGA Chairman
	1-18	Challenges	The condition need repairs and provision
Lesson Learnt	1-19		Never give up
Community Positive Recognition			
Husband	2-1	Assess	Level of recognition is high as many husbands enrol their wives themselves
	2-2	Effort	We ensure discipline
	2-3	Challenges	Not a serious challenge
Community Leader	2-4	Assess	Our previous misunderstanding was corrected by the proper interaction with community leaders
	2-5	Effort	We always submit ourselves to convene a meeting in case the need arises
	2-6	Challenges	We have contacts with the communities always
Women	2-7	Assess	Looking at the number of women who turn out at the Centre
	2-8	Effort	Proper enlightenment
	2-9	Challenges	Lack of support to women
Lesson Learnt	2-10		We learned to push for our demands
WDC Management			
Book Keeping	3-1	Assess	No book keeping
	3-2	Effort	N/A
	3-3	Challenges	No money
Budget	3-4	Assess	Financial situation is very poor
	3-5	Increased?	No any money given to the WDC
	3-6	Income generation?	No improvement Infact at present the WDC has no income generating activity
	3-7	Effort	By informing the LGA on the condition of the WDC
	3-8	Challenges	No improvement
Reporting	3-9	Regular Report	Yes. We often write
	3-10	Effort	Without a feedback or response
	3-11	Challenges	When you have nothing to write due to inactivity
Lesson Learnt	3-12		We learnt to work under this conditions
Collaboration with Others			
Collaboration	4-1	Assess	Collaborate with JICA only
	4-2	Effort	Effort on the way to build collaboration with M&D
	4-3	Challenges	The LGA shows no interest in the process
Lesson Learnt	4-4		N/A
Others			
Specific Challenge	5-1		Poor cooperation from LGA management Work at the LGA level has become politicised
Effort	5-2		All effort have yielded no head way with the LGA Have written many letters but the LGA has no interest on women issues
Lesson Learnt	5-3		Lack of interest from the LGA has hindered progress on women empowerment

**Interview with SMWA
(Desk Officer)**

No.	Question	SMWA
1	Since you joined the NCWD/JICA WDC project phase1, how do you assess the current situation of WDC activities in Kano State?	lead to formation of cooperative groups graduate support has empowered the graduates Bichi -Cottage industry (Oil Processing, Rice Processing) have additional income to them The improvement is much, new trades has been discovered and new market outlets have emerged that include safe mother hood clinic Bichi and Gwale now run two sessions
2	What kinds of efforts has SMWA done to activate WDCs in Kano state so far?	Working materials Support to cottage industries (Maintainance of machines)
3	Do you think the idea of WDC activation has been disseminated to other LGAs in Kano state?	No. It has not reached out to other LGAs apart from the six The LGAs are not ready to provide financial running cost to the WDCs
4	What are the current challenges on WDC activation in Kano state in terms of;	No furnitures.
	1) WDC service quality	Most Centres have been taken over for other institutions Lack of additional skills Lack of payments for WDC staff Lack of qualified and permanent staff (LGAs have not provided staff)
	2) WDC positive recognition	Lack of release of funds Dilapidated structure JICA acquired recognition for the programme
	3) WDC management	Management is very active at JICA activation Centres but other Centres not under JICA have poor management. WDC lack LGA commitment to assist the Centres
	4) WDC collaboration with other agencies?	Only a few WDCs have collaboration (Gwale, D/Tofa, Bichi) collaboration with Isa Wali Empowerment
5) any other	N/A	
5	Has the budget for WDC related activities from SMWA been increased?	The budget has various contributors, the LGA do not release budget for the Centres Only N100,000 is meant to come from the 6 LGAs but even that does not come. The counterpart funding from SMWA is also not forthcoming
6	Has SMWA been inquired from other State or other Ministries in Kano about WDC activation?	Linkage with KNARDA and Agency for Mass Literacy in the area of literacy skills (AMA) and Agricultural skills
7	What kinds of lessen-learnt on WDC activation have you got?	The WDC is a good channel to improve womens lives Awareness and enlightened women Improved health and nutrition for women Improved financial independence for women

別紙 1. 先行支援 6WDC の訓練状況一覧 (出典 : WDC Activation Database)

Sewing					
LGA	Duration (days)	Number of Students	Number of graduates	Number of instructors	Number of equipment
Gwale	182	40	30	6	21
Bichi	182	40	40	2	25
Danbatta	182	30	32	2	18
Gezawa*	182	160	160	2	8
Kumbotso	182	30	10	2	1
Gaya	182	50		2	10
Total		350	272	16	83
Catering					
LGA	Duration (days)	Number of Students	Number of graduates	Number of instructors	Number of equipment
Gwale	182		10	5	
Bichi	182	30	10	1	10
Danbatta					
Gezawa*	90	188	188	1	5
Kumbotso	182	3		1	8
Gaya	182	80		1	6
Total		301	208	9	29
Knitting					
LGA	Duration (days)	Number of Students	Number of graduates	Number of instructors	Number of equipment
Gwale	182	20	20	4	15
Bichi	182	30	30	2	7
Danbatta	182	15	7	2	3
Gezawa*	182	28	28	3	5
Kumbotso	182	10	5	2	
Gaya	182	30		1	1
Total		133	90	14	31
Soap Making					
LGA	Duration (days)	Number of Students	Number of graduates	Number of instructors	Number of equipment
Gwale	182	60	60	6	
Bichi	182	100	100	2	
Danbatta	182	55		1	
Gezawa*	182	188	188		5
Kumbotso	182	11	7	2	
Gaya	182	80		1	0
Total		494	355	12	5

Literacy						
LGA	Duration (days)	Number of Students	Number of graduates	Number of instructors	Number of equipment	
Gwale	182	66	66	6		
Bichi	182	100	100	2		
Danbatta	182	10	10	2	3	
Gezawa*	182	188	188	1	100	
Kumbotso						
Gaya	182	50		2	60	
Total		414	364	13	163	
Other Course (1)						
LGA	Course Name	Duration (days)	Number of Students	Number of graduates	Number of instructors	Number of equipment
Gwale						
Bichi						
Danbatta	?	182	55		4	
Gezawa*	Leather	182	188	188	2	
Kumbotso	Leather	182	10	10	3	3
Gaya	leather	182	80		2	
Total			333	198	11	3
Other Course (2)						
LGA	Course Name	Duration (days)	Number of Students	Number of graduates	Number of instructors	Number of equipment
Gwale						
Bichi						
Danbatta						
Gezawa*	Poultry	182	188	188	1	
Kumbotso	Beads	182	8	8	3	0
Gaya	Beads	182	80		2	
Total			276	196	6	0

*Gezawa の生徒数・卒業者数はエラーであることが判明している。

		6 WDCs in Kano	Kano 5 WDCs w/o Gezawa	Kano	Kano WDCs w/o Gezawa	6 States	Remarks
Status	Functional	6	5	16	15	85	
	Not functional			17		37	
	Not existing			6		18	
	Converted			5		6	
	Total			44		146	
Data below : Functional WDCs only	# of functional WDC	6	5	16	15	85	
	%	100%		36%		58%	
Building capacity	Total # of classroom	39	34	87	82	337	*data correction applied
	Average # of classroom	6.5		5.5		4.0	
Facility	Daycare	33%		19%		12%	
	Water	50%		44%		42%	
	Electricity	0%		19%		49%	
Training	# of Students	2,301	1,173	3,574	2,446	10,826	*Kano:includes error of Gezawa
	# of Graduates	1,683	555	2,651	1,523	7,407	*Kano:includes error of Gezawa
	Total Beneficiaries (stu+grad)	3,984	1,728	6,225	3,969	18,233	*Kano:includes error of Gezawa
	Average # of beneficiaries per WDC	664.0	345.6	389.1	264.6	174.0	**6 states": 5 states w/o Kano that includes error.
	Average # of beneficiaries per classroom	102.2	50.8	71.6	48.4	48.0	**6 states": 5 states w/o Kano that includes error.
	Total # of instructors	81		175		901	
	Average # of instructors per classroom	2.1		2.0		2.7	
	Average # of instructors per WDC	13.5		10.9		10.6	
Equipment	Total # of equipment (except literacy course)	151		267		962	
	Average # of equipment per classroom	3.9		3.1		2.9	
	Average # of equipment per WDC	25.2		16.7		11.3	
Income generation	Number of WDCs, products sales available	6		12		56	
	% of WDCs with products sales	100%		75%		66%	
	sales amount (N)	66,500		153,300		740,400	
	Average product sales	11,083		12,775		13,221	
Management for activation	"Graduate support provided"	50%		31%		28%	taking # of responses for recipient numbers
	# of recipients, graduate support WDCs that have sensitization activities	158		408		902	
	Average times of sensitization	100%		75%		75%	
	Average times of sensitization			1.8		2.5	
	# of equipment is enough for students	100%		31%		6%	
	Community support is provided	17%		25%		32%	
	Record keeping done	100%		69%		51%	
	Reporting is done	67%		56%		75%	
	Average reporting frequency	10.0		11.0		5.9	
	WDCs' meeting is held with stakeholders in community	33%		31%		46%	
	Average meeting frequency	1.0		1.0		2.5	*Average 6 WDCs in Kano: only Gaya.
	Budget is provided from LGA	17%		13%		38%	
	Average Budget from LGA	15,000		57,500		40,313	*Amount for 6 WDCs average: only Gwale.
	Material support is provided	17%		25%		14%	
Average material support amount	10,000		37,500		68,333	*Amount for 6 WDCs average: only Gwale.	
Activation Ratio Marks	Average Activation Ratio (/100)	43.8		38.8		36.2	

別添 7： その他活動実績

⑫ ナイジャ州ステークホルダー
定例会議報告書

STAKEHOLDERS MEETING ON WOMEN DEVELOPMENT
CENTRES ACTIVATION IN NIGER STATE ON 13TH
NOVEMBER 2014

The meeting started at about 11.00am with a ward of prayer by Desk Officer SMLG.

It was unfortunate that a high personality man died in Kontagora that took away our important guests for prayers along with chief servant and his wife.

They promised to come, but when Chief Servant decided to go that day, they all went along with him.

The Permanent Secretary SMWA represented the overseeing Commissioner by given an opening remark on her behalf. She spoke on how NCWD/JICA entered into Niger State and the legacy they are about to leave behind as their project is coming to an end in February, 2015.

Director, SMWA told the audience how NCWD/JICA has trained the WDOs, HOCs, Instructors and the Directors Social Services of the three benefiting LGAs. She said it has generally improved the livelihood of our women at the grass root levels, because some women are now independent to their husbands and parents.

The representative of Secretary to the State Government (SSG) advised the stakeholders to handle this issue with seriousness, especially wives of the LGA Chairmen should go back and feed their husbands with what has been discussed in the meeting.

The Director social Services in Paikoro LGA said that, with the intervention of NCWD/JICA, their Chairman was impressed with the increase of women at the WDC and that led him to erect and built a storey building as a WDC for women in his LGA.

All Directors of LGAs commended NCWD/JICA on seeing how women are serious in learning skills of their interest and how women are increasing in number.

The Director SMWA explained to people that, it is the way we embrace this project that NCWD/JICA will extend it to some more LGA's by next year or so.

The representative of SSG said the WDCs should not depend on government alone but also sell the idea of sustainability to the politicians to assist in the maintenance, sustainance and other things.

PWDO Paikoro thanked NCWD/JICA for their efforts of LGAs and also pleaded that, the SMWA should collaborate with SMLG to implement budget for sustainability of WDCs.

The Permanent Secretary SMWA emphasized that the wives of the Chairmen present should try to motivate their husbands (Chairmen) to come and assist to the development of these centres to improve the livelihood of women in their communities.

The community leader of Agaie Local Government Area pleaded with the Permanent Secretary of SMWA to write through SSG to the Governor to assist in the sustainance of these centres after the disengagement of

NCWD/JICA in February, 2015. He also pleaded with the wives of the Chairmen to kindly sit with their husbands and discuss about the centres with them.

Deputy Director Child department made mention that, budgets are not the only thing that can sustain the WDCs but the issue of ownership. WDCs should also market their finished goods and get some percentage to run the affairs of WDCs.

In the closing remarks, the Desk Officer, SMWA pleaded with the wives of the Chairmen to please assist to the development of centres so that poverty will be reduced amongst women in the state, and that they should also try to leave a legacy in the few months that they will stay in the office. She also said that NCWD/JICA has helped us and so we should help ourselves. From among the thirty-six (36) states of the country, Niger State is among the lucky ones to benefit.

She also thanked those that came and bid them journey mercies to their various destinations.

Closing prayer was made by Mrs. Felicia O. Kango at about 12;40pm.

別添 7： その他活動実績

⑬ 会議・WS リスト

Records of Meeting and Workshop

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	29 May 2013	10:00-11:00	Principal Planning Meeting	Nishino, Ochiai, Kubota, Iwase, Ogata, Ikeda, Kaida, Takenaka, Fujii, Kitahara	JICA Japan Headquarter	Kitahara
Meeting	10 June 2013	16:00-17:00	Final Report by Miss Niioka	Niioka, Seki, Kawamoto, Shimodaira, Yamamoto, Ochida, Ikeda, Kaida, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	12 June 2013	14:00~15:00	Introduction of new expert Planned activities on June -August Dispatched schedule of experts	Sadeeq, Kawamoto, Shimodaira, Ikeda, Kaida, Kitahara	DPRS Office	Kitahara
Meeting	20 June 2013	10:00~12:00	Preparation on Action Plan Making Workshop	Umal, Bolakare, Azbike, Aisha, Emma, Habiba, Kaida, Ikeda	Project Office	Secretariat Committee
Workshop	25 - 27 June 2013	9:30~16:30	Action Plan Making Workshop	All Project members, Experts	Meeting Room	Secretariat Committee
Meeting	1 July 2013	12:00-16:00	Completion of Action Plan 2013-2015 - Output1, 2	Umal, Ismaila, Azbike, Ikeda	Project Office	reflect in Action Plan
Meeting	2 July 2013	10:00-12:00	Completion of Action Plan 2013-2015 - Output 3	Umal, Ismaila, Azbike, Ikeda	Project Office	reflect in Action Plan
Meeting	5 July 2013	10:00-10:30	Planning on Action Plan Making Workshop in Kano, Kwara, Anambra and Cross River in July	Umal, Emma, Ikeda, Kitahara	Project Office	Kitahara
Meeting	8 July 2013	11:00-13:00	A planning meeting before Ramadan	Umar, Ikeda, Kitahara, Abie	Project Office	Kitahara
Meeting	9 July 2013	10:00-11:00	Work Plan Correction	Sadeeq, Ikeda, Kitahara	DPRS Office	Reflected in Work Plan
Meeting	11 July 2013	10:00-11:00	Reporting for Expert Departure	Seki, Kawamoto, Shimodaira, Ikeda, Fujii, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	11 July 2013	12:00-12:30	States' Action Plan Workshop	Sadeeq, Ikeda, Kitahara, Fujii, Kawamoto	DPRS Office	Kitahara
Meeting	17 July 2013	10:00-11:00	Team Leaders' Meeting for States' Action Plan Workshop	Umar, Kitahara, Wale, Ismaila, Ijoma, Abieyuwa	Project Office	Abie

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	18-19 July 2013	10:30-15:00(18th) 10:30-12:00(19th)	Meeting for sharing Working Materials for States' Action Plan Workshop	All the visiting members, Ashi, Kitahara, Abie	Borad Room	Kitahara
Meeting	25 July 2013		Reporting for Expert Arrival		JICA Japan Headquarter	
Meeting	30 July 2013	12:00-13:15	Newsletter Committee Meeting	Bolakale, Umar, Kitahara, Abie	Project Office	Kitahara
Meeting	31 July 2013	10:30-11:45	July Monthly Meeting	Umar, Jummai, Wale, Bolakale, Ijeoma, Ashi, Kitahara, Abieyuwa, Aisha, Habiba, Azubike, Raphael, Princess Jumai	Borad Room	Abie
Meeting	6 August 2013	10:30-12:00	Meeting on TOT	Umar, Takenaka, Kitahara, Abie	Project Office	Kitahara
Meeting	6 August 2013	14:30-15:30	NYSC-NCWD-JICA Meeting	Sadeeq, Umar, Danabia(Director/NYSC), Lawrence, Olcolo, Owace, Manny, Takanaka, Kitahara	Borad Room	Abie
Meeting	12 August 2013	11:30-12:30	Meeting on TOT No. 2	Umar, Azubuike, Takenaka, Kitahara, Abie	Project Office	Abie
Meeting	13 August 2013	10:30-11:30	Action Plan Check Meeting (Cross River)	Wale, Yinka, Larai, Takenaka, Kitahara, Abie	Project Office	Reflect in Cross River each Action Plan
Meeting	14 August 2013	10:30-11:30	Action Plan Check Meeting (Kwara)	Bolakale, Mohamed, Takenaka, Kitahara, Abie	Project Office	Reflect in Cross River each Action Plan
Meeting	16 August 2013	10:30-12:00	Action Plan Check Meeting (Anambra)	Ijeoma, Azubike, Aisha, Takenaka, Kitahara, Abie	Project Office	Reflect in Anambra each Action Plan
Meeting	19 August 2013	10:30-11:30	Planning meeting on TOT	Sadeeq, Ikeda, Takenaka, Kitahara	DPRS Office	Kitahara
Meeting	20 August 2013	10:30-12:00	Action Plan Check Meeting (Kano)	Umar, Jummai, Ikeda, Takenaka, Kitahara, Abie	Project Office	Reflect in Kano each Action Plan
Meeting	20 August 2013	14:00-15:30	Reporting for Expert Departure	Seki, Kawamoto, Mikami, Ikeda, Takenaka, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	21 August 2013	14:00-15:30	Reporting on Expert Arrival/Departure	Seki, Kawamoto, Mikami, Ikeda, Takenaka, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	22 August 2013	10:30-11:45	Newsletter Committee Meeting	Bolakale, Umar, Ikeda, Takenaka, Kitahara, Abie	Project Office	Kitahara
Meeting	23 August 2013	10:30-12:00	August Monthly Meeting	cf. Minuites	Borad Room	Abie

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	26 August 2013	11:30-12:30	Discussion on TOT: M&E	Azubike, Ijeoma, Umar, Ikeda, Takenaka, Abie	Project Office	Abie
Meeting	26 August 2013	15:00-16:00	Brief on TOT: M&E, 2 State Action Plan Workshop (Progress on Cost Sharing), Data Analysis Committee, Database	Sadeeq, Ikeda, Takenaka, (Umar)	DPRS Office	
Meeting	27 August 2013	10:30-11:30	Kano Action Plan Workshop Review (2nd)	Muktar, Jumai, Umar, Ikeda, Takenaka, Abie	Project Office	Reflected in Kano Action Plan
Meeting	27 August 2013	14:30-16:00	Discussion with Data Analysis Committee regarding 1) TOT: M&E, 2) Monitoring Formats, 3) TOT: Data Analysis, and 4) Database	Emma, Umar, Ikeda, Takenaka	Project Office	
Meeting	28 August 2013	9:00-10:00	Preparation Meeting for 2 State Action Plan Workshop (Kaduna, Niger: 2-6 Sep 2013)	Emma, Umar, Ikeda, Takenaka, Abie	Project Office	Abie
Courtesy Call	28 August 2013	13:00-14:00	Coutesy Call to FMWA, PS	FMWA: PS, 9 Directors, 1 Staff JICA: Ms Mikami, Halima Project: Ikeda, Takenaka	FMWA, PS Office	
Meeting	29 August 2013	10:30-11:30	TOT: Women' Empowerment & Community Development (Braistorming)	Umar, Jummai, Ikeda, Takenaka, Abie	Project Office	Abie
Meeting	30 August 2013	11:00-12:30	Preparation Meeting for 2 State Action Plan Workshop (Kaduna, Niger: 2-6 Sep 2013)	Umar, Jummai, Amina, Atim, Wafiyah, Ikeda, Takenaka, Abie	Borad Room, Project Office	Abie
Meeting	2 September 2013	10:00-11:00	Regular Update on Project Activities: TOT M&E, TOT: Women Empowerment, TOT: Data Analysis, Database, 2 States Action Plan Worshop, Issues raised while preparing for Action Plan Workshop (Logistics + Info Sharing)	Sadeeq, Ikeda, Takenaka	DPRS Office	
Meeting	4 September 2013	11:00-12:00	1) Feedback Seminar by those who received training in Japan, 2) WDC Activation Project Media Appeal	Sadeeq, Mikami, Ikeda	DPRS Office	Ikeda

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	16 September 2013	10:30-11:00	Monitoring' Reporting System	Sadeeq, Takenaka	DPRS Office	
Meeting	16 September 2013	11:30-13:30	TOT: Women' Empowerment & Community Development - Call for Proposal to step forward	NERFUND (Umar/ Azubike), NAPEP (Mrs.Akano Edith, Umar, Azubike, Takenaka, Abie), Umar, Azubike, Takenaka, Abie	NERFUND, Project Office	Abie
Workshop	17 September 2013	11:00-16:30	Monitoring Meeting (Verification of Questionnaires for WDC Activation & Empowerment)	All Project members, Takenaka	Board Room	
Workshop	19 September 2013	11:00-13:00	Monitoring Meeting (Verification of Questionnaires for WDC Activation & Empowerment + Monitoring Reporting System)	All Project Members, Takenaka	Board Room	
Monthly Meeting	27 September 2013	10:30-12:00	September 2013 Monthly Meeting	Ashi, Aisha, Habiba, Jummai, Mohamed, Nneka, Wale, Muktar, Umar, Ismaila, Azubike, Atim, Takenaka, Abieyuwa, Takenaka, Abie	Board Room	Abie
Meeting	2 October 2013	10:00-11:00	Reporting for Expert Arrival	Tsujino, Iwase, Ikeda, Fujii, Kitahara	JICA Japan Headquarter	Kitahara
Meeting	7 October 2013	14:30-15:30 17:30~18:30	Meeting on the progress/problems of project	Sadeeq, Kaida	Project Manager's Office	Kaida
Meeting	9 October 2013	10:00-11:30	Project Management Meeting	Sadiq Omar, Aisha, Azubike, Ismaila, Umar, Emmanuel, Wafiyah, Bolakale, Habiba, Ashi, Muktar, Moh'd, Larai, Nneka, Yinka, Jummai, Atim, Ja'afaru, Kaida, Takenaka, Takashi, Abieyuwa	Committee Room	Abie
Meeting	9 October 2013	14:00-15:00	Reporting on Expert Arrival	Seki, Mikami, Kaida, Takenaka, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	10 October 2013	10:30-11:10	Planning Meeting (Agenda for Meeting with SMWA/SMLG/LGA)	Jummai, Habiba, Emmanuel, Umar, Bolakale, Atim, Aisha, Ismaila, Kaida, Abieyuwa	Project Office	Abie
Meeting	10-11 October 2013	11:00-11:30	Newsletter Publication	Umar, Bolakale, Kaida, Kitahara, (1st day) Umar, Kitahara (2nd day)	Project Office	Kitahara

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	21 October 2013	10:20-13:20	State stakeholder Workshop Preparatory Meeting	Ismaila, Bolakale, Onilearo, Umar, Aisha, Ijeoma, Azubike, Muktar, Yinka, Atim, Nneka, Larai, Kaida, Abieyuwa	Project Office	Abie
Meeting	22 October 2013	11:00-11:45	Newsletter Publication	Umar, Bolakale, Kitahara	Project Office	Kitahara
Meeting	8 November 2013	10:30-11:00	Reporting on Expert Arrival	Seki, Mikami, Ikeda, Fujii, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	22 November 2013	12:00-13:00	Meeting on TOT data analysis 1	Dr. Kari, Ikeda, Kaida	Project office	kaida
Meeting	19 November 2013	13:00~14:00	Budget for Monitring	Sadeeq, Mikami, Ikeda	Sadeeq Room	Ikeda
Meeting	25th November 2013	17:00~18:00	planned activities for the period of December 2013-March 2014	Sadeeq, Ikeda, Kaida	Sadeeq Room	Kaida
Meeting	2 December 2013	10:00~12:00	Monthly Meeting	Project Members, Ikeda, Kaida, Abie	Board Room	Abie
Meeting	2 December 2013	14:00-14:30	Meeting on TOT data analysis 2	Dr. Kari, Ikeda, Kaida	Project office	kaida
JCC	4 December 2013	10:30~15:30	JCC		Vanquet Room	Habiba
Meeting	5 December 2013	10:00~12:00	Meeting for reviewing JCC and other issues	Umar, Ikeda, Kaida	Project office	kaida
Meeting	9 December 2013	10:30-11:35	Focal Person Meeting	Aisha, Habiba, Muktar, Umar, Azubike, Atim, Bolakale, Ikeda, Kaida, Abieyuwa	Project Meeting Room	Project Office Board Room
Meeting	12 December 2013	8:00-9:30	Kwara Radio Station	Musa, Umal. Ikeda, Kaida, Kitahara	Project Meeting Room	Abie
Meeting	12 December 2013	12:30-13:40	Monitoring Preparatory Meeting with NCWD Project Members	Ashi, Habiba, Yinka, Azubike, Umar, Bolakale, Atim, Aisha, Ismaila, Larai, Ja'afaru, Wale, Atim, Ikeda, Kaida, Abieyuwa	Board Room	Abieyuwa
Meeting	16 December 2013	11:00-11:40	Meeting on TOT data analysis 3	Dr. Kari, Ikeda, Kitahara, Umar	Project office	Kitahara
Meeting	16 December 2013	15:50-16:30	Meeting with Sdeeq on PDM	Sadeeq, Ikeda	Sadeeq Room	Ikeda
Meeting	17 December 2013	14:30-16:00	Reporting on Expert Departure	Seki, Mikami, Shimodaira, Ikeda, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	18 December 2013	11:00-12:00	Niger Radio Meeting	Rep. Radio Station, Umar, Ikeda, Kitahara	JICA Office	Abie

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	18 December 2013	3:37-3:51	Kano Radio Meeting	Rep. Radio Station, Umar, Ikeda, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	19 December 2013	14:30-15:30	Meeting on Radio Programming for the first airing	Umar, Kitahara, Halima	NCWD/JICA Office	Kitahara
Meeting	22 December 2013	11:00-12:00	Anambra Radio Meeting	Rep. Radio Station, Umar, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	22 December 2013	19:30-20:00	Cross River Radio Meeting	Rep. Radio Station, Umar, Kitahara	JICA Office	Kitahara
Meeting	7 January 2014	14:30-15:00	Meeting on Radio Programming for the first airing with reporter	Umar, Kitahara, Hadiza	JICA Office	Kitahara
Meeting	9 January 2014	11:00~13:00	Reporting for activities progress	JICA : Nishino, Tsujino, Iwase, Kubota OPC : Tsuyuki, Ikeda, Kaida, Fujii, Takenaka	JICA Japan Headquarter	Takenaka
Meeting	15 January 2014	3:00pm-3:30pm	Radio Programme Preparatory Meeting	Halima, Mikami, Kitahara, Abieyuwa, Hadiza	JICA Office	Abie
Meeting	20th January 2014	11:45~12:15	planned activities, and others.	Sadeeq, Kaida	Sadeeq Room	Kaida
Meeting	23 January 2014	10:25-12:58	Monthly Meeting	Aisha, Azubike, Ismaila, Umar, Emmanuel, Jummai Modu, Wafiyah, Bolakale, Moh'd, Larai, Princess Jummai, Wale, Raphael, Yinka, Amina, Muktar, Kaida, Takashi, Abieyuwa	Board Room	Abieyuwa
Meeting	27 January 2014	20th January (email) 21st January (email) 22nd January (phone) 22nd January (email) 26th January (e-mail) 27th January (phone)	TOT Data Analysis (with Dr.Kabir)		Through phone/email	Kaida
Meeting	5 February 2014	-	Database Information Collection Activity and Kano FU Survey	Dr. Kabir, Dr. Bello, Kaida, Takenaka	Project Office	Takenaka

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	5 February 2014~7 February	Day 1: 09:00-4:45 Day 2: 10:10-5:25 Day 3: 9:30-16:00	TOT Meeting	<p>Day 1 :Arrived before 9:30 (Umar, Ashi, Jummai Modu, Atim, Ismaila, Bolakale) Arrived around 10:00; (Ufoma,Wale, Aisha, , Habiba, Wafiyah, Amina) Arrived around 10:30; (Nneka, Larai, Yinka, Azubike, Emmanuel) Kaida, Hiromi, Abieyuwa Resource Persons: Dr. Kabir Bello, Dr. Bello Ibrahim</p> <p>Day 2 : Arrived before 9:30 (Jummai Modu, Aisha, Umar, Ashi, Atim, Nneka, Habiba, Bolakale) Arrived around 10:00 (Amina, ,Yinka) Arrived around 10:30 (Ufoma, Wale) Arrived around 11:00 (Azubike, Wafiyah) after 11:30(Ismaila,Larai) Kaida, Hiromi, Abieyuwa Resource Persons: Dr. Kabir Bello, Dr. Bello Ibrahim</p> <p>Day 3 :Arrived before 9:30 (Ufoma, Jummai Modu, Aisha, Umar, Ashi, Habiba, Atim, Amina, Bolakale, Nneka, Wale) Arrived around 10:00; (Wafiyah) Arrived after 11:00;(Yinka) Kaida, Hiromi, Abieyuwa Resource Persons: Dr. Kabir Bello, Dr. Bello Ibrahim</p>	Siman Suites Bed & Breakfast	Abieyuwa
Meeting	7 February 2014		Database Information Collection Activity and Kano FU Survey	Dr. Kabir, Dr. Bello, Kaida, Takenaka	Project Office	Takenaka
Reporting	10 February 2014	10:15~11:30	Reporting for implementation schedule Other explanations about activities	Mikami, Kaida, Takenaka	JICA Office	Takenaka
Meeting	12 February 2014	14:00~14:30	Discussion with Project Manager, Mr. Sadeeq	Sadeeq, Kaida	Sadeeq Room	Kaida
Meeting	13 February 2014	10:00-12:00	Reporting and discussion of project activities and personnel matter	Tsujino, Kubota, Iwase Ikeda, Fujii	JICA Japan Headquarter	Fujii

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	24 February 2014	10:30am-11:00am	Monthly Meeting	Aisha, Azubike, Jummai, Ismaila, Umar, Emmanuel, Bolakale, Habiba, Ashi, Moh'd, Atim, Kaida, Hiromi, Abieyuwa	Board Room	Abiyuwa
Meeting	25-27 February 2014		Niger Visit	Takenaka, Kaida, Abieyuwa	Niger State	Abieyuwa
Meeting	3 March 2014	11:15am- 12:00pm	Stakeholder Preparatory Meeting (WDC Activation Project Meeting with Monitoring team leaders in preparation for State Stakeholders Workshop in Abuja)	Bolakale, Umar, Azubike, Habiba, Jummai Modu, Kaida	Project Office	Abieyuwa
Meeting	11 March 2014		Consultation about personnel allocation (kitahara⇒Sakamoto) Approval of 2 Uchiawase-bo Info sharing about study session in OPC held on Feb 19, 2014.	Iwase, Okumoto (successor of Iwase), Ikeda, Tsuyuki, Sakamoto	JICA Japan Headquarter	Sakamoto
Meeting	17 March 2014	10:00~11:30	Progress report and discussion about several concerning matters on the project	Mikami, Kaida, Takenaka	JICA Office	Takenaka
Meeting	19 March 2014	13:00-14:30	Database Information Collection Activity and Kano FU Survey	Dr. Kabir, Kaida, Takenaka	Project Office	Takenaka
Meeting	29 March 2014	27th January (phone)	Work handover/ Progress & information sharing (Kaida, Takenaka ⇒Ikeda, Sakamoto) Briefing about project activities on April to May	Ikeda, Kaida, Takenaka, Sakamoto	Project office	Sakamoto
Meeting	2 April 2014	14:00-15:00	News Letter Committee Meeting	Umer, Bolakale, Ikeda, Sakamoto	Project office	Sakamoto
Meeting	2 April 2014	16:00-17:30	Reporting on progress of project activities and remaining activities up to February 2015	Chief Representative Mr. Seki, Ms. Shimodaira, Ikeda, Takenaka, Sakamoto	JICA Office	Sakamoto
Meeting	4 April 2014	11:00-12:00	Manual Committee Meeting	Ikeda, Takenaka, Ismaila, Habiba, Abie	Project Office	Abie
Meeting	4 April 2014	12:00-13:00	Discussion with Sadeeq	Sadeeq, Ikeda, Takenaka	Sadeeq Office	Takenaka

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	10 April 2014	9:30-10:00	Discussion with Sadeeq	Sadeeq, Ikeda, Sakamoto	Sadeeq Office	Ikeda
Meeting	10 April 2014	10:00-11:00	News Letter Committee Meeting (No.2)	Umar, Bolakale, Ikeda, Sakamoto, Abie	Project Office	Abieyuwa
Meeting	14 April 2014	10:45:00-12:00	Review of the 1st Monitoring and Preparation of 2nd Monitoring Meeting	Ismaila, Bolakale, Umar, Aisha, Habiba, Jummai Modu, Emmanuel, Wafiyah, Ashi, Larai, Wale, Yinka, Raphael, Nneka, Amina, Ja'afaru, Atim, Ikeda, Mirei, Abieyuwa	Board Room	Abieyuwa
Meeting	15 April 2014	10:00-11:00	Report on activities Confirmation of recent schedule	Ms. Mikami (JICA Nigeria), Ikeda, Sakamoto	Project Office	Sakamoto
Meeting	23 April 2014	13:30-16:00	Internal Meeting for the 2nd Monitoring Survey	Ismaila, Bolakale, Umar, Azubike, Aisha, Emmanuel, Wafiyah, Ashi, Larai, Wale, Raphael, Nneka, Ja'afaru, Atim, Ikeda, Mirei, Abieyuwa	Board Room	Abieyuwa
Meeting	24 April 2014	13:00-14:00	Visit NCWD by JICA Mission Team Meeting with DG, PM	JICA: Mr. Machii, Mr. Seki, Ms. Mikami, Ms. Halima Project: Ikeda, Sakamoto, Abieyuwa	Board Room	Sakamoto
Meeting	25 April 2014	16:00-16:40	Meeting with Mr. Monday Ewans in SMEDAN about TOT and further collaboration with JICA	Mr. Monday Ewans (SMEDAN), Ikeda, Sakamoto	SMEDAN	Sakamoto
Meeting	5 May 2014	14:10-14:30	Meeting with JICA Vice President and DG	JICA: Mr. Kato, Mr. Seki, Halima NCWD: DG, Directors (Finance, Info/Technology, Training, Legal Advice, PR) Project: Takenaka	DG Big Meeting Room	Takenaka
Meeting	5 May 2014	14:30-15:05	Meeting with JICA Vice President and PM	Mr.Kato, Mr. Seki, Halima, Takenaka	PM Office	Takenaka
Meeting	7 May 2014	16:30-18:00	Meeting with JICA Vice President and PM	Mr.Kato, Mr. Seki, Halima, Takenaka	PM Office	Takenaka
Monthly Meeting	14 May 2014	10:30-11:00	Report on activities Confirmation of coming activities	JICA: Mr. Tsujino, Ms. Okumoto Project: Ikeda, Tsuyuki, Sakamoto	JICA HQ	Sakamoto

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	19 May 2014	15:00-16:00	Discussion on Possibility regarding New Project	Ms. Mikami Kaida, Takenaka	Project Office	Kaida
Workshop	5 June 2014	10:30-15:00	Debriefing by the Researchers for Database/ Phase 1 FU Data Collection & Discussion for the findings	Sadeeq, Umar, Ashi, Yinka, Wale, Jaffer, Jumai, Wafia, Ismaila, Habiba, Nneka, Aisha, Ijeoma, Emma, Blessing, Amina, Atim, Mohammed, Ikeda, Kaida, Takenaka	Board Room	Habiba
Monthly Meeting	5 June 2014	15:00-15:30	May Monthly Meeting	Project Members, Takenaka	Board Room	Habiba
Training	5 June 2014	15:30-16:00	Data Entry Training for 2nd Monitoring (Introduction of New Data Entry/ Analysis Format)	Project Members, Kaida	Board Room	Habiba
Meeting	5 June 2014	14:00-16:00	Feedback & Discussion with Researchers for Database/ Phase 1 FU Data Collection	Dr. Kabir, Dr. Bello, Kaida, Takenaka	Project Office	-
Meeting	5 June 2014	15:00-17:30	Meeting at JICA Nigeria Office	JICA Nigeria Office: Mr. Seki, Ms Shimodaira, Ms Mikami, Halima Project: Ikeda	JICA Nigeria Office	Ikeda
Meeting	12 June 2014	11:00-12:30	Meeting for Possibility for the Future Project	Sadeeq, Umar, Ikeda, Kaida	PM Office	-
Meeting	16 June 2014	12:30-13:00	Meeting for Possibility for TOT Women's Empowerment with SMEDAN	Mr. Monday Ewans (SMEDAN), Umal, Ikeda	SMEDAN	Ikeda
Meeting	25 June 2014	9:30-12:00	Meeting for Possibility for the Future Project	Umar, Aisha, Atim, Azubike, Bolakale, Habiba, Ikeda, Kaida	Project Office	-
Courtesy Call	25 June 2014	13:00-14:00	Progress report and discussion about several concerning matters on the project	FMWA: PS (Dr. Habiba Lawal), Deputy director of economic service (Mr. Olowwoyeku J. Olusiji) , Special assistant to PS (Ms.Akpabio Grace I.A.) , Personal assistant to PS (Ms. Ebi Emezue) JICA: Ms. Mikami, Ms, Halima NCWD: Umar, Ikeda, Kaida	FMWA, PS Office	Kaida

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	1 July 2014	10:00-13:00	Pre-Action Plan Workshop Meeting with Team Leader	Aisha, Azubike, Ismaila, Umar, Emma, Bolakale, Habiba, Ikeda, Kaida, Abie	Project Office	Abie
Meeting	2 July 2014	10:00-10:30	Monthly Meeting	Aisha, Azubike, Ismaila, Umar, Ijeoma, Jafaru, Raphael, Ashi, Nneka, Wale, Atim, Moh'd, Emmanuel, Bolakale, Habiba, Ikeda, Kaida, Abieyuwa	Board Room	Abie
Workshop	2 July 2014	10:30-13:00	Preparation Workshop for Action Plan Workshop	Aisha, Azubike, Ismaila, Umar, Emma, Bolakale, Habiba, Ashi, Ijeoma, Mohammed, Wale, Raphael, Nneka, Atim, Musa Ja'afaru, Ikeda, Kaida, Abie	Board Room	Abie
Meeting	11 July 2014	11:00-12:20	Updates of Project Activities & Challenges Facing	JICA Nigeria Office: Ms Mikami Project: Ikeda, Takenaka	JICA Nigeria Office	Takenaka
Meeting	17 July 2014	14:00~15:30	Updates of project activities Challenges facing project implementation (budget of Nigerian side, PDM indicators, Terminal Evaluation Schedule), Q&A	JICA: Ms.Hara, Mr.Tsujino, Ms.Kubota, Ms. Okumoto Ikeda, Kaida, Tsuyuki	JICA HQ	Kaida
Meeting	8 August 2014	8:45-9:10	News letter Committee Meeting	Umar, Bolakare, Kaida, Sakamoto	Project Office	Sakamoto
Meeting	12 August 2014	10:20am- 10:40am	Monthly Meeting	Azubike, Nneka, Ismaila, Umar, Abdul, Ijeoma, Wale, Yinka, Jummai Modu, Atim, Aisha, Sadeeq Omar, Kaida, Sakamoto, Abieyuwa	Board Room	Abie
Meeting	14 August 2014	10:00-14:00	Preparation meeting for the 2nd monitoring survey	Aisha, Azubike, Ismaila, Umar, Bolakale Habiba, Ashi, Ijeoma, Wale, Raphael, Nneka, Blessing, Yinka, Atim, Clement, Kaida, Sakamoto	Board room	Sakamoto
Monitoring	21 August - 31 August 2014	All day	Monitoring at 6 States	SMLG, SMWA, NCWD Monitoring Team members	6 States	Kaida, Sakamoto for Niger state
Meeting	26 August 2014	12:30 pm- 13:00pm	Pre-discussion for TOT Programme development by SMEDAN	Mr. Ado A. Bello (Assistant Director, Training SMEDAN), Ms. Rejoice Gapani (SMEDAN), Mrs. Ijeoma Duru, Ms. Ikeda,	Project Office	Ijeoma, Abie

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	1 September 2014	11:00-13:00	Reporting on August Activities and Discussion on Activities up till December 2014	JICA Nigeria Office: Mr.Seki, Ms.Mikami Ikeda, Kaida, Sakamoto	JICA Nigeria Office	Sakamoto
Meeting	3 September 2014	10:30-12:50	Mannual Committee	Ismaila, Umar, Atim, Ashi, Ikeda, Sakamoto, Abieyuwa	Project Office	Abieyuwa
Meeting	4 September 2014	9:00-16:00	Monitoring Reporting WS Action Plan Preparation Meeting Project Monthly Meeting	Azubike, Nneka, Ismaila, Umar, Abdul, Ijeoma, Wale, Yinka, Emmanuel, Atim, Aisha, Raphael, Ja'afaru, Habiba, Wafiyah, Larai, Wale, Blessing, Amina, Clement, Ikeda, Kaida, Mirei, Abieyuwa	Board room	Abieyuwa
WS	7 September - 12 September 2014	All day	Action Plan Workshop for 2015	SMLG, SMWA, Respective LGAs (HOC, WDO, HOD), NCWD Action Plan WS Members	6 States	Abieyuwa for Niger State
Meeting	11 September 2014	10:30-12:15	Reporting on August to September Activities and Discussion on Activities up till December 2014	JICA: Ms Kubota, Ms Okumoto Project: Ikeda, Takenaka, Tsuyuki	JICA HQ	Takenaka
Meeting	16 September 2014	11:45am-12:30pm	Newsletter Committee meeting	Umar, Bolakare, Takenaka, Sakamoto	Project Office	Sakamoto
Meeting	17 September 2014	12:30-13:00	TOT: Women Empowerment & Rural Development	Mrs. Justina David (Director, Enterprise, Promotion and development) Mr. Ado A. Bello (Assistant Director, Training SMEDAN) Umar, Kaida	SMEDAN	Kaida
WS	18 September 2014	9:00-16:00	Monitoring Report Writing WS	Umar, Aisha, Azubike, Atim, Ufoma, Yinka, Ismaila, Jafa, Ashi, Nneka, Amina, Habiba, Bolakale, Raphael, Ema, Ijeoma, Jummai, Clemant, Kaida	Alexis Hotel	Kaida
TOT	23-25 September 2014	9:00-16:00	TOT: Women Empowerment & Rural Development	Azubike, Nneka, Ismaila, Umar, Blessing, Amina, Abdul, Ijeoma, Wale, Yinka, Jummai Modu, Atim, Aisha, Jafaru, Rapheal, Emmanuel, Wafiyah, Kaida, Takenaka Abieyuwa	Alexis Hotel	Abieyuwa
Monthly Meeting	30 September 2014	10:00-10:30	Monthly Meeting	Project members, Kaida, Takenaka	Board Room	Abieyuwa
Meeting	30 September 2014	10:30-11:00	Mannual Committee	Ismaila, Ashi, Umar, Atim, Abieyuwa, Hiromi	Board Room	Abieyuwa

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
Meeting	28 October 2014	15:00-14:30	Preparation Meeting for Terminal Evaluation	Ikeda (by Skype), Kaida, Sakamoto	OPC	Sakamoto
Meeting	28 October 2014	17:00-18:30	Preparation Meeting for Terminal Evaluation with Evaluator	Ms. Kawahara Ikeda (by Skype), Sakamoto	OPC	Ikeda/Sakamoto
Training	29 October 2014	10:00-12:00	Training on Database Utilization DAY 1	Azubike, Nneka, Ismaila, Umar, Abdul, Waffiyah, Wale, Yinka, Atim, Aisha, Amina, Rapheal, Kurata, Yuki, Hiromi, Abieyuwa	Bolaige Building, NCWD	Abieyuwa
Training	30 October 2014	10:00-12:00	Training on Database Utilization DAY 2	Azubike, Nneka, Ismaila, Umar, Abdul, Waffiyah, Wale, Yinka, Atim, Aisha, Amina, Rapheal, Kurata, Yuki, Hiromi, Abieyuwa	Bolaige Building, NCWD	Abieyuwa
Meeting	30 October 2014	1:35-2:05	Monthly Meeting	Azubike, Nneka, Ismaila, Umar, Abdul, Waffiyah, Wale, Yinka, Emmanuel, Blessing, Atim, Aisha, Amina, Rapheal, Moh'd, Kurata, Yuki, Hiromi, Abieyuwa	Bolaige Building, NCWD	Abieyuwa
Meeting	5 November 2014	10:30-12:30	Meeting on Database development	Ikeda, Kurata, Oba, Sakamoto	OPC	Sakamoto
Meeting	13 November 2014	17:00-18:00	Meeting on Terminal Evaluation	Mr. Tsujino, Ms. Kubota, Ms. Mikami, Ms. Nishihata, Mr. Seki, Ms. Mikami, Ms. Shimodaira Ikeda, Sakamoto, Kaida(Nigeria)	JICA HQ	Sakamoto
Workshop	18-20 November 2014	9:00-16:00	State stakeholder Meeting in Abuja Day-1~Day-3		NCWD	Abieyuwa
Interview	21 November 2014	12:00-13:00	Interview to Japanese Expert for Terminal Evaluation (Ikeda)	Ms. Kawahara, Ikeda	NCWD Library	Ms. Kawahara
Interview	21 November 2014	14:00-15:30	Interview to Japanese Expert for Terminal Evaluation (Kaida)	Ms. Kawahara, Kaida	NCWD Library	Ms. Kawahara
Interview	22 November 2014	13:00-14:00	Interview to Japanese Expert for Terminal Evaluation (Sakamoto)	Ms. Kawahara, Sakamoto	Hotel	Ms. Kawahara
Meeting	25 November 2014	10:15-11:00	Newsletter Committee Meeting	Umar, Bolakare, Ikeda, Sakamoto	Project Office	Sakamoto
Interview	25 November 2014		Interview to Japanese Expert for Terminal Evaluation (Takenaka)	Ms. Kawahara, Takenaka	Project Office	Ms. Kawahara

	Date	Time	Agenda	Participants	Venue	Minutes writer
JCC	3 December 2014	9:30-14:30	JCC, Result of Terminal Evaluation	D.G/DPRS- Mal. Sadeeq Omar, DoT- Princess Jummai Idonije, Ismaila , Azubike, Nneka, , Umar, Abdul, Habiba, Atim, Yinka, Blessing, Aisha, Amina, Rapheal, Moh'd, Jafaru, Jummai Modu, State Delegate rom: Anambra, Kano, Niger and Cross River JICA Country Rep. Mr. Tetsuo Seki, Ms. Emiko, JICA Evaluation Team, WDC Project Team- Ikeda, Mirei, Hiromi, Kiyomi, Abieyuwa	Banquet hall, NCWD	Abieyuwa
Meeting	8 December 2014	14:00-19:00	Manual Committee Meeting Check the contents of SMWA/WDO	Umar, Ismaila, Ikeda, Sakamoto	Project Office	Sakamoto, Takenaka (Manual Revision)
Meeting	9 December 2014	9:30-15:00	Manual Committee Meeting Check the contents of SMWA/WDO	Umar, Ismaila, Ikeda, Sakamoto	Project Office	Sakamoto, Takenaka (Manual Revision)
Workshop	11 December 2014	9:30-15:00	National Workshop on WDC Activation Manual		Art and Craft block, NCWD	Abieyuwa
Monthly Meeting	16 December 2014	10:00-12:00	Monthly Meeting	Ismaila, Umar, Abdul, Jafaru, Raphael, Ashi, Jummai Modu, Aisha, Ikeda, Kiyomi, Sakamoto, Abieyuwa	Project office	None
Meeting	12 January 2015	09:30-10:30	Reporting to JICA Nigeria office due to project termination	JICA Nigeria Office: Mr.Seki, Ms.Mikami Ikeda,Sakamoto	JICA Nigeria Office	Sakamoto
Meeting	12 January 2015	11:30-12:30	Reporting to Embassy of Japan in Nigeria due to project termination	Embassy: Chiba, JICA: Mikami Ikeda, Sakamoto	Embassy of Japan in Nigeria	Sakamoto

別添 7： その他活動実績

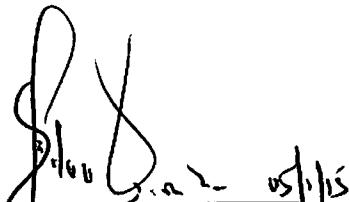
⑭ 供与・携行機材引渡確認同意書

AGREEMENT
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
NATIONAL CENTRE FOR WOMEN DEVELOPMENT
ON
CONFIRMATION OF THE HANDED OVER EQUIPMENT, MATERIALS AND THE
VEHICLE PROCURED IN THE PROJECT ON WOMEN DEVELOPMENT CENTRES TO
IMPROVE WOMEN'S LIVELIHOOD IN NIGERIA (PHASE II)
REGARDING TO THE PROJECT TERMINATION

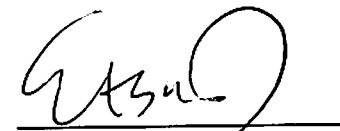
Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") procured various equipment and a vehicle for the "Project on Women Development Centres to Improve Women's Livelihood in Nigeria (Phase II)" (hereinafter referred to as the "Project" which was launched on February 2011 to February 2015). In here with permissions of the Records of Discussions signed between JICA and the government of the Federal Republic of Nigeria on 12 October 2010, things mentioned the list (ANNEX-1) were properly used for the Project implementation and immediately handed over to NCWD after the procurement.

It is certified that JICA and NCWD mutually confirmed once again due to the termination of the Project the machinery, equipment and other materials necessary for the implementation of the Project shall become the property of the government of the Federal Republic of Nigeria. Those things shall be utilized to extend WDCs Activation after the completion of the Project.

January 9, 2015
Abuja FCT, Nigeria


Sadeeq U. Omar

Project Manager,
National Centre for Women Development


Ms. Etsuko IKEDA

Chief Advisor/ Gender Mainstreaming/
Institutional Capacity Development
Women Development Centres to
Improve Women's Livelihood in
Nigeria

ANNEX-1

List of Vehicle, Equipment and Office Supplies which are handed over to NCWD from JICA

Equipment procured by the Project (the later Phase 2) *Mentioned to the "Terminal Evaluation"

Item	QTY	Specifications
AVR	1	StablizerMecury A100
Computer (Laptop)	1	HP Pavillion g6
UPS	1	Crista pro-pcMecury1500
Printer	1	HP LaserJet 400 M401 PCL 6
Projector(**purchased by OPC)	1	Acer
D-Link (Internet)	1	D-link internet booster

Equipment procured by the first Phase 2

Item	QTY	Specifications
Vehicle	1	Mitsubishi Pajero Jeep 6G72XH7221 Registration #: BT556KUJ Chassis #: JMYLRV93WBJ000144 Engine #: 6G72XH7221 Color: Custom Transmission: Automatic <u>Note: *Licence will be expired on March 2015.</u> <u>*As of handing over, JICA Nigeria is the owner of this vehicle.</u> <u>Kindly register it as NCWD immediately after handover.</u>
Minibus	1	Nissan Civilian 4.5LT Chassis #: JN1UDHW Engine #: TB 45-117047 Color: White Transmission: Manual
Laptop	1	HP Pavilion DV6/ P3400
HP Color Printer	1	Laserjet CP1515n
Photo copier	1	Canon 2525i image runner <u>Note: *Periodical maintainance is up to February 2015</u>
Desktop Computer	2	HP LE1901w, HP S2031a <u>Note: *A desktop is for "Data Library" which stores information related to the WDC Activation</u>
Desktop Computer (with box)	1	HP LE1901w, HSTND-2671-F (NK570AA) <u>*It has not been opened yet.</u>
Scanner	1	HP Scanner G311
Cash box	1	Eagle Safer
Refrigerator	1	LG
Printer	1	Digital

Office goods procured by the first Phase 2

Item	QTY	Specifications
Punch for binding	1	BY2088
Electric kettle for WS	1	Masterchef/small kettle
Cup (with containar)	1	80 cups
Stabilizer	3	Original super master, 2 Mecury A 2000
Mercury Sound down 280W	1	Mercury
Axtron speaker	1	Axtron
Kchibo Band Radio	1	Kchibo
SONY Handicam	1	SONY,
SANYO paper cutter	1	SANYO,
Extension code	5	3 Luccy England and 1 APC, 1 Mecury
Money counter	1	Stila
Electric kettle (Small)	1	Black & Decker
Camera	2	Lumix
Camera	3	Samsung ES 95
Laminating Machine	1	Buyor

Others

Item	QTY	Specifications
MTN USB for internet	2	MTN
USB	6	Imation (2GB)
Calculator	4	Casio, Citizen

Stationary

Item	QTY	Specifications
Iron flip chart stand	1	
Screen for projector	1	
Toner (HP color)	8	Laserjet color A208
Toner (HP black)		HP M400
Toner (Canon)		Canon
Scissor	2	
Flip chart		
Marker		box
A4 Papers		box
Notebooks		
Plastic back for WS		packets
Ball point pen		box
Envelopes		packets
Sticker		
Plastic basket with plates	1	Plastic box & basket
Project reciever stand	1	Banner Stand



